



Catalyst 6500 シリーズ スイッチ システム メッセージ ガイド

Software Release 8.5(1)



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコシステムズが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリックドメインバージョンの一部として、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work、Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という用語を使用しているも、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0502R)

Catalyst 6500 シリーズスイッチ システム メッセージ ガイド

Copyright © 1997–2005, Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



はじめに	ix
対象読者	ix
マニュアルの構成	ix
関連資料	ix
表記法	x
マニュアルの入手方法	xi
Cisco.com	xi
Product Documentation DVD	xi
マニュアルの発注方法	xi
シスコ製品のセキュリティ	xii
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	xii
テクニカル サポート	xiii
Cisco Technical Support & Documentation Web サイト	xiii
Japan TAC Web サイト	xiii
Service Request ツールの使用	xiv
問題の重大度の定義	xiv
その他の資料および情報の入手方法	xv

CHAPTER 1

メッセージの形式	1-1
システム メッセージの構造	1-2
ファシリティ コード	1-2
重大度	1-3
ニーモニック コード	1-4
記述フィールド	1-4
システム メッセージ ログ	1-5
システム メッセージ ログのデフォルト設定	1-5
システム メッセージ ログ オプションの設定	1-6
システム メッセージ ロギングの設定	1-6
UNIX Syslog サーバ上での Syslog デーモンの設定	1-7
Syslog サーバの設定	1-7
ログ バッファ サイズの変更	1-8

ロギング タイムスタンプの変更	1-9
Telnet ログイン セッションの設定	1-9
システム ロギング設定の表示	1-10
システム メッセージの表示	1-12

CHAPTER 2

メッセージおよび回復手順	2-1
新規のシステム メッセージ	2-1
ACL メッセージ	2-5
ACL-2	2-5
ACL-3	2-6
ACL-4	2-10
ACL-5	2-11
ACL-6	2-13
CallHome	2-14
CALLHOME-3	2-14
CALLHOME-4	2-15
CALLHOME-7	2-15
CDP メッセージ	2-16
CDP-2	2-16
CDP-3	2-16
CDP-4	2-16
CDP-7	2-17
COPS メッセージ	2-18
COPS-3	2-18
COPS-5	2-18
COPS-6	2-19
COPS-7	2-20
DHCP Snooping	2-21
DHCP Snooping-3	2-21
DHCP Snooping-5	2-22
DRIP メッセージ	2-24
DRIP-3	2-24
DRIP-4	2-25
DRIP-5	2-26
DTP メッセージ	2-27
DTP-1	2-27
DTP-3	2-27
DTP-4	2-28
DTP-5	2-28

DTP-7	2-29
DVLAN メッセージ	2-30
DVLAN-1	2-30
DVLAN-2	2-31
DVLAN-3	2-32
DVLAN-4	2-33
DVLAN-6	2-34
DVLAN-7	2-34
EARL メッセージ	2-35
EARL-2	2-35
EARL-3	2-36
EARL-4	2-37
EARL-5	2-38
EARL-6	2-39
EOAM メッセージ	2-40
EOAM-4	2-40
EOAM-5	2-40
EOU メッセージ	2-41
EOU-1	2-41
EOU-3	2-41
EOU-6	2-42
ETHC メッセージ	2-44
ETHC-3	2-44
ETHC-5	2-44
ETHC-7	2-45
FILESYS メッセージ	2-47
FILESYS-1	2-47
GL2PT メッセージ	2-48
GL2PT-3	2-48
GL2PT-5	2-49
GL2PT-6	2-50
GVRP メッセージ	2-50
GVRP-0	2-50
GVRP-2	2-50
GVRP-3	2-51
IP メッセージ	2-53
IP-3	2-53
IP-4	2-54

IP-6	2-54	
KERNEL メッセージ	2-55	
KERNEL-0	2-55	
KERNEL-1	2-55	
KERNEL-4	2-56	
KERNEL-5	2-56	
LD メッセージ	2-57	
LD-3	2-57	
LD-5	2-57	
MCAST メッセージ	2-58	
MCAST-2	2-58	
MCAST-4	2-60	
MCAST-5	2-62	
MCAST-6	2-63	
MGMT メッセージ	2-67	
MGMT-1	2-67	
MGMT-2	2-67	
MGMT-3	2-67	
MGMT-4	2-68	
MGMT-5	2-68	
MGMT-6	2-74	
MGMT-7	2-75	
MLS メッセージ	2-76	
MLS-1	2-76	
MLS-2	2-78	
MLS-3	2-79	
MLS-4	2-81	
MLS-5	2-82	
MLS-6	2-84	
MLS-7	2-85	
PRIVATEVLAN メッセージ	2-86	
PRIVATEVLAN-3	2-86	
PRIVATEVLAN-5	2-89	
PRIVATEVLAN-7	2-89	
PROTFILT メッセージ	2-90	
PROTFILT-5	2-90	
VTP の PRUNING メッセージ	2-91	
PRUNING-2	2-91	

PRUNING-3	2-92
PRUNING-4	2-93
PRUNING-5	2-95
PRUNING-6	2-97
QoS メッセージ	2-98
QOS-3	2-98
QOS-4	2-104
QOS-5	2-105
RADIUS メッセージ	2-107
RADIUS-2	2-107
RADIUS-3	2-107
RADIUS-4	2-108
RADIUS-5	2-108
RSVP メッセージ	2-109
RSVP-3	2-109
RSVP-4	2-109
RSVP-6	2-109
SECURITY メッセージ	2-111
SECURITY-1	2-111
SECURITY-2	2-113
SECURITY-3	2-113
SECURITY-4	2-116
SECURITY-5	2-118
SECURITY-7	2-119
SNMP メッセージ	2-120
SNMP-2	2-120
SNMP-3	2-120
SNMP-5	2-120
SNMP-6	2-125
SNMP RMON メッセージ	2-127
SNMP-5	2-127
SPANTREE メッセージ	2-129
SPANTREE-2	2-129
SPANTREE-3	2-133
SPANTREE-4	2-134
SPANTREE-5	2-134
SPANTREE-6	2-136
SPANTREE-7	2-138

SYS メッセージ	2-141
SYS-0	2-141
SYS-1	2-147
SYS-2	2-152
SYS-3	2-161
SYS-4	2-195
SYS-5	2-202
SYS-6	2-217
SYS-7	2-223
TAC メッセージ	2-224
TAC-2	2-224
TAC-7	2-224
TCP メッセージ	2-227
TCP-2	2-227
TCP-4	2-227
UDLD プロトコル メッセージ	2-228
UDLD-3	2-228
UDLD-4	2-229
UDLD-7	2-229
VMPS メッセージ	2-230
VMPS-2	2-230
VMPS-3	2-232
VMPS-7	2-233
VTP メッセージ	2-234
VTP-1	2-234
VTP-2	2-234
VTP-4	2-235
VTP-5	2-237
VTP-6	2-237

APPENDIX A

略語 A-1

INDEX

索引



はじめに

ここでは、『Catalyst 6500 シリーズ スイッチ システム メッセージ ガイド』の対象読者、構成、および表記法について説明します。

対象読者

このマニュアルは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチ システム ソフトウェアの使用経験があるインストーラー担当者およびユーザが対象です。ネットワーク管理者およびこのスイッチの設定と保守を担当するその他のスタッフも対象に含まれます。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	説明
第 1 章	メッセージの形式	システム メッセージまたはエラー メッセージの読み方について説明します。
第 2 章	メッセージおよび回復手順	システム メッセージの説明および回復手順について説明します。

関連資料

ここでは、関連する製品マニュアルを紹介します。

- 『Catalyst 6500 Series Switch Software Configuration Guide』
- 『Catalyst 6500 Series Switch Command Reference』
- 『Catalyst 6500 Series Switch Quick Software Configuration』

表記法

このマニュアルは、次の表記法を使用しています。

表記	説明
太字	コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手することができます。また、テクニカル サポートおよびその他のテクニカル リソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

シスコの最新のマニュアルは、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、ポータブル メディアに収容された、技術的な製品マニュアルの総合的なライブラリです。この DVD を使用すると、シスコ製品の各種バージョンのハードウェアのインストール、ソフトウェアのインストール、設定、およびコマンドに関するガイドにアクセスし、HTML で技術マニュアルを表示できます。DVD を使用することで、インターネットに接続しなくてもシスコの Web サイトと同じマニュアルを参照できます。製品によっては、マニュアルの PDF バージョンも用意されています。

Product Documentation DVD は単一製品として、またはサブスクリプションとして入手できます。Cisco.com (Cisco Direct Customers) に登録されている場合、次の URL にある Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法

Cisco.com に登録されている場合、2005 年 6 月 30 日から、次の URL にある Cisco Marketplace の Product Documentation Store でシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、以下のタスクを実行できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意のリストが以下の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項が変更された際に、リアルタイムで確認したい場合は、以下の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) にアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 security-alert@cisco.com
緊急度の高い問題とは、システムが激しい攻撃を受けている状態、または急を要する深刻なセキュリティの脆弱性を報告する必要がある状態を指します。それ以外の状態はすべて、緊急度の低い問題とみなされます。
- 緊急度の低い問題 psirt@cisco.com

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 8.x と互換性のある暗号化情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT と通信する際は、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary にリンクされている有効な公開鍵を使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクに、現在使用されている PGP 鍵の ID があります。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいる場合は、Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも提供されます。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。この Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックして、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する show コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカルサポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨される解決方法を提供します。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、Cisco の技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題には Cisco の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカルサポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋：+61 2 8446 7411（オーストラリア：1 800 805 227）

EMEA：+32 2 704 55 55

米国：1 800 553-2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、シスコシステムズが発行するテクニカル ユーザー向けの季刊誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するのに役立ちます。『Packet』には、ネットワーク分野の最新動向、テクノロジーの進展、およびシスコの製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンライン リソースへのリンクが盛り込まれています。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

- 『iQ Magazine』は、シスコのテクノロジーを使って収益の増加、ビジネス効率の向上、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的とした、シスコシステムズが発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌は、実際の事例研究や事業戦略を用いて、これら企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確化し、テクノロジーの投資に関して読者が正しい決断を行う手助けをします。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

または次の URL でデジタル版をご覧ください。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーク製品およびカスタマー サポート サービスについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワーキング専門家がネットワーキング製品やネットワーキング技術に関する質問、提案、情報をシスコの専門家および他のネットワーキング専門家と共有するためのインタラクティブな Web サイトです。ディスカッションに参加するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>



メッセージの形式

この章では、スイッチ メッセージの形式について説明します。また、システム メッセージ ログ機能を使用してスイッチの内部バッファおよびシステム コンソールにメッセージを送信して表示(さらに任意で、他のシステム上のロギング サーバに送信)する方法について説明します。すべてのメッセージが問題を意味するわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。

メッセージは、生成元となるファシリティ(ハードウェア装置、プロトコル、またはモジュール / システム ソフトウェア)別に記載されています。各ファシリティ内では、重大度の高いメッセージから順に 1 ~ 7 で記載されています。各メッセージに続いて、説明文および対処方法を示します。メッセージは、システムが動作中のときだけ表示されます。

次に、システム メッセージの例を示します。

```
3/17/2004,18:31:15:SYS-5-MOD_INSERT:Module 5 has been inserted
```

この場合、

3/17/2004,18:31:15 は、エラーの発生した日時です(これは、システム ログ メッセージで設定されている場合に表示されます)。

SYS はファシリティ タイプです。

5 は、重大度であり、正常ではあるけれども重要な状態を表します。

MOD_INSERT は、メッセージを一意に識別するニーモニック コードです。

Module 5 has been inserted は、メッセージ テキストです。

この章の内容は、次のとおりです。

- [システム メッセージの構造 \(p.1-2\)](#)
- [システム メッセージ ログ \(p.1-5\)](#)

システム メッセージの構造

システム メッセージには次の情報が含まれます。

- ファシリティ コード
- 重大度
- ニーモニック コード
- 記述フィールド

システム メッセージの構造は、次のとおりです。

```
facility-severity-MNEMONIC:description
```

システム メッセージ ログのメッセージは、構造は同じですが、メッセージの先頭に日時スタンプが入ります。

```
mm/dd/yyyy:hh/mm/ss:facility-severity-MNEMONIC:description
```

この場合、

```
mm/dd/yyyy:hh/mm/ss
```

これは、エラーまたはイベントが発生した日時です。

ファシリティ コード

ファシリティ コードは、2つ以上の大文字からなり、メッセージが関連するファシリティを示します。ファシリティは、ハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールです。表 1-1 に、ファシリティ コードを示します。

表 1-1 ファシリティ コード

コード	ファシリティ
ACL	Access Control List (アクセス制御リスト)
CDP	Cisco Discovery Protocol
CALLHOME	CallHome
COPS	Common Open Policy Service
DHCPSNOOPING	Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング
DRIP	Dual Ring Protocol
DTP	Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング プロトコル)
DVLAN	Dynamic VLAN (ダイナミック VLAN)
EARL	Enhanced Address Recognition Logic
EOAM	Ethernet Operation, Administration, and Maintenance
EOU	EAP Over UDP
ETHC	Ethernet Channel (イーサネット チャネル)
FILESYS	Flash File System (フラッシュ ファイル システム)
GL2PT	Generic Layer 2 Protocol Tunneling
GVRP	GARP VLAN Registration Protocol
IP	Internet Protocol (インターネット プロトコル)
KERNEL	カーネル

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

コード	ファシリティ
LD	Local Director
MCAST	マルチキャスト
MGMT	管理
MLS	Multilayer Switching (マルチレイヤ スイッチング)
PRIVATEVLAN	プライベート VLAN
PROTFILT	プロトコル フィルタリング
PRUNING	VLAN Trunking Protocol (VLAN トランキング プロトコル) プルーニング
QOS	Quality of Service (サービス品質)
RADIUS	Remote Authentication Dial-In User Service
RSVP	Resource Reservation Protocol (リソース予約プロトコル)
SECURITY	ポート セキュリティ
SNMP	簡易ネットワーク管理プロトコル
SNMP RMON	簡易ネットワーク管理プロトコル Remote Monitoring (リモート モニタリング)
SPANTREE	Spanning Tree Protocol (スパンニングツリー プロトコル)
SYS	システム
TAC	Terminal Access Controller Access Control System Plus (TACACS+)
TCP	Transmission Control Protocol (伝送制御プロトコル)
UDLD	UniDirectional Link Detection Protocol (単一方向リンク検出プロトコル)
VMPS	VLAN Membership Policy Server (VLAN メンバーシップ ポリシー サーバ)
VTP	VLAN Trunking Protocol (VLAN トランキング プロトコル)

重大度

SEVERITY (重大度) は、状況の重大度を示す 0 ~ 7 の 1 桁のコードです。この値が小さいほど、重大な状況を意味します。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 緊急	システムは使用不能
1 アラート	即時対応が必要
2 クリティカル	クリティカル状態
3 エラー	エラー状態
4 警告	警告状態
5 通知	正常だが注意を要する状態
6 情報	通知目的のみのメッセージ
7 デバッグ	デバッグ中にのみ表示されるメッセージ

ニーモニック コード

ニーモニック コードは、エラー メッセージを一意に識別します。ニーモニックはすべて大文字の文字列です。

記述フィールド

記述フィールドは、状況を説明する文字列です。この文字列には、発生したイベントに関する詳細情報（端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリのアドレス スペース内の特定ロケーションに対応するアドレスなど）が含まれる場合があります。これらの変数フィールドに含まれる情報は、メッセージごとに異なるので、このマニュアルでは、該当する短い文字列を角カッコ (`[]`) で囲んで示しています。たとえば、10 進数は `[dec]` で表します。表 1-3 に、メッセージ内の変数フィールドを示します。

表 1-3 変数フィールドの表記

表記	情報のタイプ
<code>[dec]</code>	10 進数
<code>[chars]</code>	文字列
<code>[hex]</code>	16 進整数

システム メッセージ ログ

システム メッセージ ログ (Syslog) ソフトウェアを使用すると、ログ ファイルにシステム メッセージを保存したり、メッセージを他の装置に転送したりできます。システム メッセージ ログイング ソフトウェアには、次の機能があります。

- モニタリングおよびトラブルシューティング用にログ情報を提供
- キャプチャするログ情報のタイプの選択
- キャプチャしたログ情報の宛先の選択

デフォルトでは、スイッチは、正常だが重要なシステム メッセージを内部バッファにログイングし、これらのメッセージをシステム コンソールに送信します。保存するシステム メッセージはファシリティ タイプおよび重大度に基づいて指定できます。メッセージにタイムスタンプを設定することにより、リアルタイムのデバッグ機能および管理機能を強化できます。

記録されたシステム メッセージにアクセスするには、スイッチの CLI を使用するか、または適切に設定された Syslog サーバにシステム メッセージを保存します。スイッチのソフトウェアは Syslog メッセージを内部バッファに保存します。適切に設定された UNIX サーバにメッセージを保存することもできます。Syslog ソフトウェアは、バッファからメッセージを読み取って、指定された宛先に送信します。

Syslog を使用すれば、Telnet を介してコンソールにログインし、システム メッセージにアクセスできます。これにより、Telnet プロトコルをサポートする任意のワークステーションからシステム メッセージをリモートでモニタできます。

システム メッセージ ログのデフォルト設定

スイッチは、表 1-4 に示すデフォルト設定で出荷されます。

表 1-4 システム メッセージ ログのデフォルト設定

コンフィギュレーション パラメータ	デフォルト設定
コンソールへのシステム メッセージ ログイング	イネーブル
Telnet セッションへのシステム メッセージ ログイング	イネーブル
ログ サーバ	ディセーブル
Syslog サーバの IP アドレス	未設定
サーバ ファシリティ	LOCAL7
サーバの重大度	警告 (4)
ログイング バッファ サイズ	500
ログイング ヒストリ サイズ	1
タイムスタンプ オプション	ディセーブル
システム メッセージのファシリティ / 重大度	sys/5 dtp/5 pagp/5 mgmt/5 mls/5 cdp/4 udld/4 ld/3 その他のファシリティ / 2

■ システム メッセージ ログ

スイッチのコンソールに初めてログオンしたときに、`show logging` コマンドを入力すると、デフォルト設定が表示されます。

システム メッセージ ログ オプションの設定

ここでは、システム メッセージ ログのオプションを設定する手順について説明します。

システム メッセージ ログの設定

デフォルトのシステム メッセージ ログのファシリティおよび重大度を変更するには、イネーブルモードで次のいずれかの作業を行います。

	作業	コマンド
ステップ 1	システム メッセージのデフォルトのファシリティおよび重大度を設定します。	<code>set logging level facility severity [default]</code>
ステップ 2	コンソールへのシステム メッセージ ログをディセーブルにします。	<code>set logging console disable</code>

次に、Cisco Discovery Protocol (CDP) に関するシステム メッセージ ログのデフォルトのファシリティおよび重大度を 3 に変更する例を示します。

```
Console> (enable) set logging level cdp 3
System logging facility <cdp> for this session set to severity 3(errors)
Console> (enable)
```



(注) メッセージ ファシリティに対応する Syslog メッセージを受け取るには、サーバの重大度がそのメッセージ ファシリティで設定したデフォルトの重大度と同じか、それ以上でなければなりません。

次に、コンソールへのシステム メッセージ ログをディセーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging console disable
System logging messages will not be sent to the console.
Console> (enable)
```

UNIX Syslog サーバ上での Syslog デーモンの設定

UNIX Syslog サーバにシステム ログ メッセージを送信するには、UNIX サーバ上で Syslog デーモンを設定しておく必要があります。

Syslog デーモンを設定するには、root でログインし、次の作業を行います。

	作業	コマンド
ステップ 1	/etc/syslog.conf ファイルに 1 行追加します。 ¹	<code>user.debug /var/log/myfile.log²</code>
ステップ 2	UNIX シェル プロンプトに右のコマンドを入力することによって、ログファイルを作成します。	<code>\$ touch/var/log/myfile.log</code> <code>\$ chmod 666/var/log/myfile.log</code>
ステップ 3	右のコマンドを入力することによって、Syslog デーモンに新しい設定値を読み取らせませす。	<code>\$ kill -HUP `cat /etc/syslog.pid</code>

1. スイッチは、指定されたファシリティ タイプと重大度に従って、メッセージを送信します。user キーワードは、UNIX ログイン ファシリティを指定します。スイッチのメッセージはユーザ プロセスによって生成されます。debug キーワードは、ロギングされる状況の重大度を指定します。UNIX システムがスイッチからすべてのメッセージを受信するように設定することもできます。

2. user.debug と /var/log/myfile.log の間には 5 つのタブ文字がなければなりません。詳細を示す例については、/etc/syslog.conf ファイルのエントリを参照してください。

Syslog サーバの設定

UNIX Syslog サーバにシステム ログ メッセージを送信するには、「UNIX Syslog サーバ上での Syslog デーモンの設定」(p.1-7) で説明したように、UNIX サーバ上で Syslog デーモンを設定しておく必要があります。Syslog サーバにメッセージをロギングするようにスイッチを設定するには、イネーブルモードで次の作業を行います。

	作業	コマンド
ステップ 1	設定に Syslog サーバを追加します。最大 3 つの Syslog サーバを一度に設定できます。	<code>set logging server ip_addr</code>
ステップ 2	設定した Syslog サーバにシステム メッセージがロギングされるようにします。	<code>set logging server enable</code>
ステップ 3	Syslog サーバメッセージのファシリティおよび重大度を設定します。	<code>set logging server facility server_facility_parameter</code> <code>set logging server severity server_severity_level</code>

次に、IP アドレス 171.69.192.205 の新しい Syslog サーバをシステム ロギング サーバテーブルに追加する例を示します。

```
Console> (enable) set logging server 171.69.192.205
171.69.192.205 added to the System logging server table.
Console> (enable)
```

次に、設定された Syslog サーバへのシステム メッセージ ロギングをイネーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging server enable
System logging messages will be sent to the configured syslog servers.
Console> (enable)
```

次に、Syslog サーバ ファシリティを local0 に設定する例を示します。

```
Console> (enable) set logging server facility local0
System logging server facility set to <local0>
Console> (enable)
```

次に、Syslog サーバの重大度を 4 に設定する例を示します。

```
Console> (enable) set logging server severity 4
System logging server severity set to <4>
Console> (enable)
```

設定から Syslog サーバを削除するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
設定から Syslog サーバを削除します。	clear logging server ip_addr

次に、設定から Syslog サーバ 171.69.192.207 を削除する例を示します。

```
Console> (enable) clear logging server 171.69.192.207
System log server 171.69.192.207 removed from system log server table.
Console> (enable)
```

Syslog サーバへのロギングをディセーブルにするには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
設定された Syslog サーバへのシステム メッセージ ロギングをディセーブルにします。	set logging server disable

次に、設定された Syslog サーバへのシステム メッセージ ロギングをディセーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging server disable
System logging messages will not be sent to the configured syslog servers.
Console> (enable)
```

ログバッファ サイズの変更

バッファに保管するメッセージの数を制限するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
バッファを変更して保管するメッセージの数を制限します。	set logging buffer buffer_size

次に、バッファに保管するメッセージの数を 200 に制限する例を示します。

```
Console> (enable) set logging buffer 200
System logging buffer size set to <200>
Console> (enable)
```

ロギング タイムスタンプの変更

システム ロギング メッセージのタイムスタンプをイネーブルまたはディセーブルにするには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
システム ロギング メッセージ上のタイムスタンプ表示をイネーブルまたはディセーブルにします。	<code>set logging timestamp {enable disable}</code>

次に、システム ロギング メッセージ上のタイムスタンプ表示をイネーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging timestamp enable
System logging messages timestamp will be enabled.
Console> (enable)
```

Telnet ログイン セッションの設定

デフォルトでは、システム メッセージはデフォルトのファシリティおよび重大度の値に基づいて、Telnet セッションへ送信されます。

Telnet セッションのロギング値を設定するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

	作業	コマンド
ステップ 1	Telnet ロギング セッションについてのファシリティおよび重大度の値を変更します。	<code>set logging level <i>facility severity</i></code>
ステップ 2	現在の Telnet ログイン セッションへのシステム メッセージ ロギングをディセーブルにします。	<code>set logging session disable</code>
ステップ 3	コンソールへのシステム メッセージ ロギングをディセーブルにします。	<code>set logging console disable</code>
ステップ 4	現在の Telnet ログイン セッションへのシステム メッセージ ロギングを再びイネーブルにします。	<code>set logging session enable</code>
ステップ 5	コンソールへのシステム メッセージ ロギングを再びイネーブルにします。	<code>set logging console enable</code>

次に、Telnet ロギング セッションについての、ファシリティおよび重大度の値を変更する例を示します。

```
Console> (enable) set logging level cdp 3
System logging facility <cdp> for this session set to severity 3(errors)
Console> (enable)
```

次に、現在の Telnet セッションへのシステム メッセージ ロギングをディセーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging session disable
System logging messages will not be sent to the current login session.
Console> (enable)
```

■ システム メッセージ ログ

次に、コンソール セッションへのシステム メッセージ ログングをディセーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging console disable
System logging messages will not be sent to the console.
Console> (enable)
```

次に、現在の Telnet セッションへのシステム メッセージ ログングを再びイネーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging session enable
System logging messages will be sent to the current login session.
Console> (enable)
```

次に、コンソール セッションへのシステム メッセージ ログングを再びイネーブルにする例を示します。

```
Console> (enable) set logging console enable
System logging messages will be sent to the console.
Console> (enable)
```

システム ログング設定の表示

システム メッセージの現在の設定を表示するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
現在のシステム メッセージ ログ設定を表示します。	show logging

次に、**show logging** コマンドの出力例を示します。

```

Console> show logging

Logging buffer size:          500
        timestamp option:    enabled
Logging history size:        1
Logging console:             enabled
Logging server:              disabled
        server facility:     LOCAL7
        server severity:     warnings (4)
Current Logging Session:     enabled

Facility                      Default Severity          Current Session Severity
-----
acl                            5                          5
cdp                            4                          4
cops                           3                          3
dtp                            5                          5
earl                            2                          2
fileSYS                        2                          2
gvrp                           2                          2
icc                            2                          2
ip                             2                          2
ipc                            2                          2
kernel                         2                          2
ld                             3                          3
mcast                          2                          2
mgmt                           5                          5
mls                            5                          5
pagp                           5                          5
protfilt                      2                          2
pruning                       2                          2
privatevlan                   3                          3
qos                            3                          3
radius                        2                          2
rsvp                           3                          3
security                      2                          2
snmp                          2                          2
spantree                      2                          2
sys                            5                          5
tac                            2                          2
tcp                            2                          2
telnet                        2                          2
tftp                          2                          2
udld                          4                          4
vmps                          2                          2
vtp                            2                          2

0 (emergencies)              1 (alerts)                 2 (critical)
3 (errors)                   4 (warnings)              5 (notifications)
6 (information)              7 (debugging)

```

Console>

システム メッセージ ログの設定を確認するには、**show logging** コマンドを入力します。コンソールのシステム メッセージ ログ設定を確認していて、Syslog サーバがディセーブルになっている場合、出力の最初の 5 行は次のようになります。

```

Console> (enable) show logging
Logging buffer size:          500
        timestamp:          enabled
Logging history size:        1
Logging console:             enabled
Logging server:              disabled

```

Telnet ログイン セッションのシステム メッセージ ログ設定を確認している場合、現在のログイン セッションを示す追加行が次のように表示されます。

```
Console> (enable) show logging
Logging buffer size:      500
      timestamp:         enabled
Logging history size:    1
Logging console:         enabled
Logging server:          disabled
Current Logging Session:  enabled
```

システムメッセージの表示

スイッチの内部バッファで最初の N 個のシステム メッセージを表示するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
バッファの最初の N 個のメッセージを表示します。	<code>show logging buffer N</code>

次に、内部バッファの最初の 5 個のメッセージを表示する例を示します。

```
Console> (enable) show logging buffer 5
%PRUNING-4-NOTRUNK:trunk 100 not found(domain Lab_Network)
%PRUNING-4-NOTRUNK:trunk 100 not found(domain Lab_Network)
%MLS-5-ROUTERDEL:Route Processor 172.20.52.6 deleted - router excluded from include list
%SYS-5-RTE_DEFGATEFROM:Default Gateway switching from 172.20.52.121
%SYS-5-RTE_DEFGATETO:Default Gateway switching to 172.20.52.125
Console> (enable)
```

スイッチの内部バッファで最後の N 個のシステム メッセージを表示するには、イネーブル モードで次の作業を行います。

作業	コマンド
バッファの最後の N 個のメッセージを表示します。	<code>show logging buffer [-] [N]</code>

次に、内部バッファの最後の 5 個のメッセージを表示する例を示します。

```
Console> (enable) show logging buffer -5
%CDP-4-DUPLEXMISMATCH:Full/half duplex mismatch detected on port 10/1
%DTP-5-TRUNKPORTON:Port 10/1 has become dot1q trunk
%PAGP-5-PORTTOSTP:Port 10/1 joined bridge port 10/1
%SPANTREE-2-RX_1QPVIDERR: Rcvd pvid_inc BPDU on 1Q port 10/1 vlan 1.
%SPANTREE-2-TX_BLKPORTPVID: Block 10/1 on xmtting vlan 522 for inc peer vlan.
Console> (enable)
```



メッセージおよび回復手順

この章では、システムメッセージをファシリティ別に紹介します。ファシリティごとに、重大度 0 から 7 の順にメッセージをリストします。0 が最も重大度が高く、7 が最も重大度の低いメッセージです。各メッセージに続いて、説明文および対処方法を示します。



(注) この章にリストされているメッセージには日付 / 時刻スタンプの表示はありません。日付 / 時刻スタンプは、ソフトウェアがシステム ログメッセージに設定されている場合にだけ表示されます。

新規のシステム メッセージ

表 2-1 に、Catalyst ソフトウェア リリース 8.5 で新規に追加されたシステム メッセージを示します。

表 2-1 Catalyst ソフトウェア リリース 8.5 の新規システム メッセージ

ファシリティ	メッセージ
ACL	ACL-3-ACLPORTBASENVRAMFAIL: Failed to save Port Security ACL to NVRAM for port [dec]/[dec] ACL-3-PACLMAPNVRAMFAIL: Failed to commit Security ACL map between ACL [chars] and port [dec]/[dec] to NVRAM ACL-3-VACLMAPNVRAMFAIL: Failed to commit Security ACL map between ACL [chars] and vlan [dec] to NVRAM
CDP	CDP-2-L2LOOP: Possible loop in VLAN [dec]. Port [dec]/[dec] received its own CDP packet
DHCP Snooping	DHCP Snooping-5-MALFORMED_OPTION: [chars]: malformed option [hex] on port. Source MAC [chars]
EOAM	EOAM-4-CRITICALLINK EVENT:[chars] on [dec]/[dec], indicating [chars] EOAM-5-LINK EVENT: [chars] [chars] on port [dec]/[dec], indicating [chars] EOAM-5-LOOPBACK: port [dec]/[dec] has [chars] loopback mode\n EOAM-5-NOTPOINTTOPOINTLINK: port [dec]/[dec] may not be on a point-to-point link\n

表 2-1 Catalyst ソフトウェア リリース 8.5 の新規システム メッセージ (続き)

ファシリティ	メッセージ
EOU	<p>EOU-1-EOU_NO_RADIUS_SERVER: No RADIUS servers configured</p> <p>EOU-3-EOU_GROUP_NOT_FOUND: Group [chars] not found. Fail to install policy for IP [chars] and Mac [chars] on [dec]/[dec]</p> <p>EOU-3-EOU_UNKNOWN_EVENT: EOU: Unknown Event received for IP [chars] and Mac [chars]</p> <p>EOU-3-EOU_VERSION_MISMATCH: EOU: EoU version mismatch for host IP [chars] on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_AUTH_STATUS_FAIL: Host with IP [chars] and MAC [chars] failed to authenticate on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_AUTH_STATUS_SUCCESS: Host with IP [chars] and MAC [chars] successful authenticated on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_AUTHTYPE: EOU: Host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec] authenticated using [chars]</p> <p>EOU-6-EOU_BAD_PKT: Bad packet received from IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_CTA_DETECT: CTA detected on host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_HOST_EXCEPTION: Exception host [chars] on port [dec]/[dec], installed policy [chars]</p> <p>EOU-6-EOU_HOST_POLICY: IP [chars] received policy group [chars] on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_HOST_SESSION: IP [chars] session removed on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_HOSTNAME: Host [chars] with IP [chars] and Mac [chars] authenticated on [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_NEW_IP_LEARNT: New IP [chars] and MAC [chars] seen on port ([dec]/[dec])</p> <p>EOU-6-EOU_POSTURE_TOKEN: Recvd token [chars] for host IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]</p> <p>EOU-6-EOU_SQ: Status query of host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]</p>
ETHC	ETHC-3-ONMODEFAIL: Port [dec]/[dec] errdisabled, ON mode attributes mismatch
KERNEL	KERNEL-1-WARNDISPATCH: Task [chars] pid = [dec] ran for [dec] ms, time allowed = [dec] ms
MCAST	<p>MCAST-4-IGMPV3_EXCLUDE_RECORD: Received [dec] IGMP v3 EXCLUDE Group Records. Last received from [dec]/[dec]. Treated them as IGMP v2 Reports.</p> <p>MCAST-4-IGMPV3_LTL_FAILURE: LTL allocation failure. Deleting V3 States for Group-[chars] in VLAN-[dec]\n)</p>
MGMT	<p>MGMT-5-CONFIG_END_MOD: Auto config ended with [chars] for module [dec]</p> <p>MGMT-5-CONFIG_START_MOD: Auto config started with [chars] for module [dec]</p>

表 2-1 Catalyst ソフトウェア リリース 8.5 の新規システム メッセージ (続き)

ファシリティ	メッセージ
SECURITY	<p>SECURITY-1-DOT1X_ACL_NON_IP_ACL: DOT1X: ACL [chars] is not a IP ACL</p> <p>SECURITY-1-DOT1X_ACL_PORT_PORTBASED_MODE: DOT1X: Port [dec]/[dec] in port based mode</p> <p>SECURITY-3-DOT1X_FAIL_VLAN_INVALID: DOT1X: Auth fail vlan ([dec]) is non-ether for port [dec]/[dec]</p> <p>SECURITY-3-DOT1X_INACTIVE_VLAN: DOT1X: Inactive auth fail vlan ([dec]) for port [dec]/[dec]</p> <p>SECURITY-4-DOT1X_ACL_NOT_APPLIED: DOT1X: ACL [chars] could not be applied on [dec]/[dec]</p>
SNMP	<p>SNMP-5-CLTCDROPEXCEEDTRAP: Tunneling port [dec]/[dec] exceeded [chars] drop threshold</p> <p>SNMP-5-CLTCSHUTEXCEEDTRAP: Tunneling port [dec]/[dec] exceeded [chars] shutdown threshold</p> <p>SNMP-5-CLEMHIGHTHRESHEXCDTRAP: port [dec]/[dec] [chars] exceeded low threshold</p> <p>SNMP-5-CEMLOWTHRESHEXCDTRAP: port [dec]/[dec] [chars] exceeded low threshold</p>
SPAN TREE	<p>SPAN TREE-2-MST_CHOP_MREC: Rcvd malformed MST bpdu on [dec]/[dec] (payload len [dec])</p> <p>SPAN TREE-2-MSTREG_CHANGE: Port [dec][dec] moved from [chars]</p>
SYS	<p>SYS-0-CHAN_HMDIAGFAIL: Channel [dec] shutdown due to successive health-monitoring test failures</p> <p>SYS-0-FIFOBUS_AUTOSHUT: FIFO bus overflow error detected [dec] times in less than [dec] mins. Shutting down module [dec].</p> <p>SYS-0-FIFOBUS_WARN: Bus FIFO overflow detected again. FIFO thresholds already set to a lower value.</p> <p>SYS-0-MOD_PFCMISMATCH: PFC mismatch on module [dec], disabling standby supervisor</p> <p>SYS-0-MOD_THERMALSHUTDOWN: Module [dec] 'shutdown' temperature threshold exceeded on CPU [dec]\n</p> <p>SYS-0-MOD_THERMALWARNING: Module [dec] 'warning' temperature threshold exceeded on CPU [dec]\n</p> <p>SYS-0-PORT_HMDIAGFAIL: Port [chars] shutdown due to [dec] consecutive health-monitoring test failures</p> <p>SYS-0-SUP_NO_SWMODE: Active switching mode not available, resetting standby</p> <p>SYS-3-FAB_RESET_NOT_READY: Module [dec] reset, not ready to synch during HA switchover</p> <p>SYS-3-MODONLINE_LCPRUNRDY: LCPRUNRDY message received after module [dec] online...resetting module</p> <p>SYS-3-PKTBUFFERFAIL_ERRDIS: Packet buffer failure detected. Err-disabling port [dec]/[dec]</p>

表 2-1 Catalyst ソフトウェア リリース 8.5 の新規システム メッセージ (続き)

ファシリティ	メッセージ
SYS	<p>SYS-3-PKTBUFFERFAIL_SUP_PWRCYCLE: Packet buffer failure detected on module [dec]. Shutting down supervisor.</p> <p>SYS-3-PORT_ALIGNMENT_ERROR: Port [dec]/[chars] detected [dec] alignment errors in last 30 minutes</p> <p>PORT_FCS_ERROR: Port [dec]/[chars] detected [dec] FCS errors in last 30 minutes</p> <p>SYS-3-PORT_GBICNOTSUPP: Port [dec]/[dec] GBIC is unsupported</p> <p>SYS-3-PORT_IN_ERRORS: Port [dec]/[chars] detected [dec] input packet(s) contained errors in last 30 minutes</p> <p>SYS-3-PORT_RX_BADCODE: Port [dec]/[chars] detected [dec] bad code errors in last 30 minutes</p> <p>SYS-3-PRF_FLASH_FILEDELSBYERR: Error deleting profile file [chars] from the standby supervisor</p> <p>SYS-3-PRF_FLASH_FILESTRINGSYNCERR: Failed to sync the profile file string to the standby supervisor</p> <p>SYS-3-PRF_FLASH_FILESYNCERR: Failed to sync profile file [chars] to the standby supervisor</p> <p>SYS-3-SUP_MODNONSBY: Module [dec] is present but not in standby mode</p> <p>SYS-3-SUP_PWRDNPORTINTF: Supervisor Port Interface sync (Module [dec]) not recovered. Powering down the module\n</p> <p>SYS-3-SYSINFOLOG_FTPCFGERR: Ftp username or password not configured, Authentication Failure</p> <p>SYS-3-SYS_RMONMEMLOW: Fail to allocate memory for RMON. System memory usage excess [dec]</p> <p>SYS-4-PKTBUFFERFAIL_SUP_WARN: Packet buffer failure. Powercycle supervisor to recover from this error.</p> <p>SYS-5-MOD_POWERDENY: Module [dec] inserted, but not powered up as power to slot is disabled in the configuration.</p> <p>SYS-5-PRF_FLASH_FILEDELSBY: Profile file [chars] deleted from the standby supervisor</p>
TCP	TCP-4-MAXCONNRATE: Possible TCP attack - [dec] TCP connections per minute exceeded. Last connection from [chars]
VMPS	VMPS-3-DUPMAC: PARSE: Duplicate MAC addr [chars] at line [dec]

ACL メッセージ

ここでは、Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) メッセージについて説明します。

ACL-2

エラー メッセージ ACL-2-ARPINSPECTCOPYFAIL: Could not copy packet, out of mbufs

説明 システムのメモリ バッファが不足しています。

推奨処置 この障害は一時的な場合があります。このエラー メッセージが繰り返し表示される場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-2-ARPINSPECTMEMFAIL: Could not allocate memory

説明 システムのメモリが不足しています。

推奨処置 システムを再起動します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-2-ARPINSPECTTASKFAIL: Task exits: [dec]

説明 ARP 検査タスクが不正終了しました。[dec] はタスク番号です。

推奨処置 出力されたエラー メッセージをそのままコピーし、テクニカル サポートの担当者に提出してください。システムを再起動して、ARP 検査機能が稼働していることを確認してください。

エラー メッセージ ACL-2-TASKFAIL: ACL task exits

説明 ACL タスクが作成されなかったため、セキュリティまたは QoS (サービス品質) 機能が利用できません。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-2-VACLLOGTASKFAIL: VACL Logging task exits: [dec]

説明 VLAN Access Control List (VACL; VLAN アクセス制御リスト) ログイング タスクが終了しています。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

ACL-3

エラー メッセージ ACL-3-ACLPORTBASENVRAMFAIL: Failed to save Port Security ACL to NVRAM for port [dec]/[dec]

説明 ポートセキュリティ ACL ポートベース情報を保存するために割り当てられた NVRAM スペースがありません。その時点でも ACL をハードウェアに書き込むことはできますが、NVRAM に保存されていない場合、リセット後には設定が失われます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 現在より多くの NVRAM を割り当ててください。

エラー メッセージ ACL-3-ARPINSPECTACLCFGFAIL: Could not configure Dynamic ARP Inspection on vlan [dec] due to ACL error

説明 ACL マネージャがエラーを返したため、ARP 検査を設定できません。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 Ternary Content Addressable Memory (TCAM) テーブルがいっぱいの可能性があります。TCAM テーブルに空きスペースがあることを確認してください。

エラー メッセージ ACL-3-ARPINSPECTQFULL: Task queue full. Packet dropped

説明 ARP 検査キューがいっぱいです。

推奨処置 ARP 検査のグローバルレートリミットを少なくします。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-NOLABEL: acl engine is out of label

説明 ハードウェアによる ACL の VLAN またはポートに対するマッピングができません。

推奨処置 ACL の VLAN またはポートに対するマッピングを少なくするか、またはテクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-NOLOU: acl engine is out of logical operation unit

説明 TCP/UDP ポート番号の演算処理を行うハードウェアの論理演算ユニットが不足しています。

推奨処置 実行している演算の数を減らしてください。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-PACLMAPNVRAMFAIL: Failed to commit Security ACL map between ACL [chars] and port [dec]/[dec] to NVRAM

説明 ACL [chars] の PACL マップを NVRAM の指定ポートに保存するための NVRAM スペースがありません。マップはハードウェアから削除されます。[chars] は ACL、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 現在より多くの NVRAM を割り当ててください。

エラー メッセージ ACL-3-PBFMSFCCHANGE: MSFC and PBF are running in the same time

説明 Policy-Based Forwarding (PBF; ポリシーベース転送)が Network Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ)上で設定されており、MSFC が起動されています。この設定はサポートされていません。

推奨処置 MSFC を ROMMON に設定するか、または PBF の設定を消去してください。

エラー メッセージ ACL-3-PBFMSFCPRESENT: PBF was committed in NVRAM, but PBF engine is not set, MSFC present

説明 PBF の MAC (メディア アクセス制御) アドレスが NVRAM (不揮発性 RAM) に保存されましたが、MSFC が動作しているためハードウェアに保存されませんでした。

推奨処置 MSFC を ROMMON に設定するか、または PBF の設定を消去する必要があります。

エラー メッセージ ACL-3-PBFOK: MSFC is down, PBF status is OK

説明 MSFC が ROMMON 状態になり、PBF が正常に動作しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_ADDPVLANFAIL: Failed to add secondary VLAN [dec] to primary VLAN [dec]

説明 Cisco IOS ACL またはダイナミック ACE が既存の VLAN にマップされているときに、既存の VLAN がセカンダリ VLAN になりました。既存の VLAN がセカンダリ VLAN になり、プライマリ VLAN にポリシー ルーティング ACL が設定されていた場合にも表示されます (Supervisor Engine 2 でのみ有効)。最初の [dec] はセカンダリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はプライマリ VLAN 番号です。

推奨処置 セカンダリ VLAN を追加する前に、Cisco IOS ACL マッピングを削除してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_ATTACHACLFAIL: Failed to map router ACL to private VLAN [dec]

説明 ルータが Cisco IOS ACL またはダイナミック ACE を既存のセカンダリ VLAN にダウンロードしようとしたか、またはポリシー ルーティング ACL がプライマリ VLAN に設定されています。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 PVLAN を標準の VLAN に設定してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_DELETEACLFAIL: Failed to delete router ACL from secondary VLAN [dec]

説明 セカンダリ VLAN からルータの ACL を削除しました。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 セカンダリ VLAN 上にルータ インターフェイスを設定しないでください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_LDPGATEDLTACLFAIL: Failed to delete LDA ACL from secondary VLAN [dec]

説明 LocalDirector Accelerator (LDA) 機能によって作成された ACL をセカンダリ VLAN から削除できません。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。



(注) LocalDirector Accelerator の現在の名称は、Accelerated Server Load Balancing (ASLB) です。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_LDPGATEMAPFAIL: Failed to propagate LDA ACL to secondary VLAN [dec]

説明 LDA 機能によって作成された ACL をセカンダリ VLAN にマップできません。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_PGATEDFLTACTION: Failed to propagate router default action to secondary to VLAN [dec]

説明 ルータがプライマリ VLAN 上でデフォルトのアクションを設定しましたが、このアクションはセカンダリ VLAN に送信されませんでした。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_PGATEDLTACLFAIL: Failed to propagate router ACL deletion to secondary VLAN [dec]

説明 プライマリ VLAN 上で ACL を削除しましたが、セカンダリ VLAN での同一 ACL のマッピングの削除に失敗しました。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_PGATEMAPFAIL: Failed to propagate router ACL to secondary VLAN [dec]

説明 プライマリ VLAN にダウンロードされた Cisco IOS ACL がセカンダリ VLAN に伝播されませんでした。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-PVLAN_SETDFLTFAIL: Failed to set router default action on secondary VLAN [dec]

説明 ルータがセカンダリ VLAN 上にデフォルトのアクションを設定しようとした。[dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 セカンダリ VLAN 上にルータ インターフェイスを設定しないでください。

エラー メッセージ ACL-3-RACLMAPCOMMITFAIL: Failed to map Router ACL to VLAN [dec]

説明 Private VLAN (PVLAN; プライベート VLAN) を指定して VLAN が設定されていますが、Policy Feature Card (PFC; ポリシー フィーチャ カード) でこの VLAN に対応する Router Access Control List (RACL; ルータ アクセス制御リスト) を設定できませんでした。RACL は、Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード) のソフトウェアで実装されます。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 PVLAN の設定を削除し、RACL を VLAN に結合し直して、PFC で PVLAN を設定してください。

エラー メッセージ ACL-3-TCAMFULL: acl engine TCAM table is full

説明 新しい ACL を設定するときに、ハードウェアの TCAM テーブルがいっぱいでした。

推奨処置 使用していないセキュリティまたは QoS の ACL を削除するか、またはテクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-TCAMRSVREGFULL: Acl engine TCAM Reserved Region is full

説明 TCAM の予約領域がいっぱいです。TCAM の予約領域は固定サイズで、ダイナミック ACL および再帰 ACL のインストールに使用されます。

推奨処置 この状態は、一般に一時的なものです。システムから不要な CBAC 設定を削除します。不要な CBAC を削除してもエラーが表示される場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-VACLACLCOMMITFAIL: Failed to commit Security ACL [chars]

説明 ACL をハードウェアにコミットできませんでした。[chars] は ACL の名前です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-3-VACLACLNVRAMFAIL: Failed to commit Security ACL [chars] to NVRAM

説明 NVRAM とハードウェアが連動していません。ACL 設定はハードウェアには保存されていますが、NVRAM には保存されていません。[chars] は ACL の名前です。

推奨処置 ACL 設定をフラッシュに移すか、または NVRAM 内にスペースを確保してから、改めてコミットしてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-VACLMAPCOMMITFAIL: Failed to Map Security ACL [chars] to Vlan [dec]

説明 ACL と VLAN をマップできませんでした。[chars] は ACL 名、[dec] は VLAN 名です。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ACL-3-VACLMAPDELETEFAIL: Failed to remove map between ACL [chars] and Vlan [dec]

説明 VLAN から VACL を切り離すことができませんでした。[chars] は VACL ストリング、[dec] は VLAN インターフェイス番号です。

推奨処置 VACL 名と VLAN インターフェイス番号を確認してください。

エラー メッセージ ACL-3-VACLMAPNVRAMFAIL: Failed to commit Security ACL map between ACL [chars] and vlan [dec] to NVRAM

説明 NVRAM へのセキュリティ ACL の保存に失敗しました。このエラーが発生した場合には、ACL がエディット バッファにあっても、ACL とすべてのマッピングがハードウェアおよび NVRAM から削除されます。ユーザが十分な NVRAM スペースを解放し、再度コミットを行えば、ACL は正常に書き込まれ、NVRAM に保存されます。[chars] は ACL 名、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 現在より多くの NVRAM を割り当ててください。

ACL-4

エラー メッセージ ACL-4-ACLMERGE: Failed to enable bdd: not enough memory

説明 スーパーバイザ エンジンの DRAM メモリが不足しているため、ACL マージ アルゴリズムの Binary Decision Diagram (BDD) がイネーブルになりませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-4-ARPINSPECTRATELIMITDISABLED: Dot1x DHCP and ARP Inspection global rate is disabled

説明 Dot1x Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) および ARP 検査のレート制限機能がディセーブルになっています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-4-VACLLOGRATELIMITDISABLED: VACL Logging rate limit disabled

説明 VACL ログイングのレート制限機能がディセーブルになっています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

ACL-5

エラー メッセージ ACL-5-ARPINSPECTADDRVALIDATIONFAIL1: Ethernet Source MAC [chars]

説明 MAC アドレスまたは IP アドレスが無効なパケットをポートが受信しました。[chars] は受信したアドレスです。

推奨処置 このエラーは、不正なユーザがポートにアクセスしたために発生した可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ ACL-5-ARPINSPECTADDRVALIDATIONFAIL2: ARP Payload: Source IP [chars] and source MAC [chars]. Port [dec]/[dec]

説明 このメッセージは、VALIDATIONFAIL1 メッセージに関連しており、これに続いて表示されます。MAC アドレスまたは IP アドレスが無効なパケットをポートが受信したことを示しています。最初の [chars] は受信した送信元 IP アドレス、2 番目の [chars] は受信した送信元 MAC アドレス、[dec]/[dec] は無効なアドレスを受信したモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 このエラーは、不正なユーザがポートにアクセスしたために発生した可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ ACL-5-ARPINSPECTDROPTHRESHOLD: Drop threshold ([dec] pps) exceeded on port [dec]/[dec]. Packet dropped

説明 ポート単位のパケット廃棄スレッショールドを超過しました。[dec] はパケット廃棄スレッショールドです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-5-ARPINSPECTIPPKT1: IP packet with source IP 0.0.0.0, destination IP 0.0.0.0, and IP protocol ICMP

説明 ICMP プロトコルを使用した、送信元 IP 0.0.0.0 および宛先 IP 0.0.0.0 のパケットをポートが受信しました。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ ACL-5-ARPINSPECTIPPKT2: Source MAC [chars] and received on port [dec]/[dec]. Packet dropped

説明 通常、このメッセージは ARPINSPECTIPPKT1 メッセージに続いて表示されます。ICMP プロトコルを使用した、送信元 IP 0.0.0.0 および宛先 IP 0.0.0.0 のパケットをポートが受信しました。[chars] は送信元 MAC アドレス、[dec]/[dec] はパケットを受信したモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTJUMBOFRAMEDROPPED: Dropped jumbo ARP packet of size [dec] from port [dec]/[dec]

説明 ジャンボフレームがサポートされていないため、ARP 検査タスクが ARP ジャンボ フレームを廃棄しました。最初の [dec] はパケット サイズ、[dec]/[dec] はジャンボ パケットが検出されたモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTMATCHMACFAIL1: Source MAC address [chars] does not match ARP header source MAC address.

説明 イーサネット ヘッダーの送信元 MAC が、ARP ヘッダーの送信元 MAC と一致しませんでした。[chars] は MAC アドレスです。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTMATCHMACFAIL2: ARP Payload: Source IP [chars] and source MAC [chars]. Port [dec]/[dec]

説明 通常、このメッセージは ARPINSPECTMATCHMACFAIL1 メッセージに続いて表示されます。イーサネット ヘッダーの送信元 MAC が、ARP ヘッダーの送信元 MAC と一致しなかったことを示しています。最初の [chars] は送信元 IP アドレス、2 番めの [chars] は送信元 MAC アドレス、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTPKTDENIED1: Packet denied. Source MAC [chars]

説明 設定規則により ARP パケットが拒否されました。[chars] は送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTPKTDENIED2: ARP Payload: Source IP [chars] and source MAC [chars]. Port [dec]/[dec]

説明 通常、このメッセージは ARPINSPECTPKTDENIED1 メッセージに続いて表示されます。設定規則により ARP パケットが拒否されたことを示しています。最初の [chars] は送信元 IP アドレス、2 番めの [chars] は送信元 MAC アドレス、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ ACL-5-ARPINSPECTSHUTTHRESHOLD: Shutdown threshold ([dec] pps) exceeded on port [dec]/[dec]. Port shutdown

説明 ポート単位のシャットダウン スレッシュホールドを超えました。[dec] はスレッシュホールドの制限値、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ ACL-5-RACLCONFLICTLDA: RACL conflicts with LDA on Vlan [dec]

説明 LocalDirector Accelerator (LDA) が設定されている VLAN 上で、Cisco IOS ACL を設定しようとした。スイッチは Cisco IOS ACL を設定できませんでした。Vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 設定を確認します。不適切な設定が問題の原因となっている場合は、マニュアルを参照して、設定を修正します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。



(注) LDA の現在の名称は、Accelerated Server Load Balancing (ASLB) です。

ACL-6

エラー メッセージ ACL-6-LOUEXPANSION: Acl engine is performing l4 operators expansion

説明 Logical Operator Unit (LOU; 論理演算ユニット) 外の状態を解消するために、ACL コードが 1 つの Access Control Entry (ACE; アクセス制御エントリ) を一連の同等な ACE に変換しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-6-VACLFINISHRESTORE: Finished restoring Security ACL configuration to hardware

説明 このメッセージは、ACL 設定のハードウェアへの復元が完了したときに表示されます。ACL がマップされた VLAN 上のトラフィックは、ACL の設定規則に従います。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-6-VACLLOG: VLAN [dec] (Port [dec][dec]) denied [chars]

説明 このメッセージが生成されるのは、VACL ログ機能がいネーブルのときです。ログされたパケット拒否情報は、コンソールに表示されるか、または VACLLOG メッセージの形式で、Syslog サーバに転送されます。最初の [dec] は VLAN 番号、Port [dec][dec] はモジュール番号およびポート番号です。[chars] には送信元 IP アドレス、TCP 送信元ポート番号、宛先 IP アドレス、TCP 宛先ポート番号、およびパケット数が入ります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ACL-6-VACLSTARTRESTORE: Restoring Security ACL configuration to hardware

説明 このメッセージは起動時に出力され、ACL 設定コンフィギュレーションがハードウェアに復元されることをユーザに通知します。次のメッセージ (VACLFINISHRESTORE) が出力されるまでの間、どのトラフィックも ACL がマップされている VLAN を通過できません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

CallHome

ここでは、CallHome プロトコルのメッセージについて説明します。

CALLHOME-3

エラー メッセージ CALLHOME-3-CALLHOME_ERR: [chars]

説明 メモリの破壊、システム コールの障害、または SMTP の障害が発生しました。

次の [chars] 文字列は、メモリ破壊の問題に関連しています。

- CallHome table index out of bounds

次の [chars] 文字列は、システム コールの障害に関連しています。

- Socket open failed
- ioctl fionbio on socket failed
- Fdset system failed
- Nonblocking connect system call to SMTP server failed
- Select system call failed
- Write system call failed
- Read system call failed

次の [chars] 文字列は、SMTP の障害に関連しています。

- SMTP server did not send expected response to connect call
- SMTP client did not send **ehlo** (extended **helo**) command to SMTP server
- SMTP client did not send **helo** command to SMTP server
- SMTP server did not send expected response to **ehlo/helo** command
- SMTP client did not send **mail from** command to SMTP server
- SMTP server did not send expected response to **mail from** command
- SMTP client did not send **rcpt to** command to SMTP server
- SMTP server did not send expected response to **rcpt to** command
- SMTP client did not send **data** command to SMPT server
- SMTP server did not send expected response to **data** command
- SMTP client did not send content to SMTP server
- SMTP client did not send to SMTP server
- SMTP server did not send expected response
- SMTP client did not send **quit** command to SMTP server
- SMTP server did not send expected response to **ehlo quit** command
- SMTP server did not send expected response to **helo quit** command

推奨処置 メモリ破壊の場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。システム コール障害の場合は、障害の原因を調べてください。問題を特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。SMTP の障害の場合は、障害の原因を調べてください。問題を特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CALLHOME-4

エラー メッセージ CALLHOME-4-CALLHOME_WARN: [chars]

説明 SMTP に障害が発生しました。このメッセージの [chars] 文字列には、次のメッセージが表示されます。

- SMTP client did not send SUBJECT field to SMTP server.
- SMTP client did not send REPLY-TO field to SMTP server.

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CALLHOME-7

エラー メッセージ CALLHOME-7-CALLHOME_DBG: [chars]

説明 次の問題のうちいずれかが発生しました。表示される [chars] 文字列は、次のとおりです。

- CallHome functionality is disabled CallHome 機能がディセーブルになっています。このメッセージは、CallHome 機能が要求されていて、システムが CallHome 機能がディセーブルになっていることを検知すると表示されます。
- System management interface IP address not configured 管理インターフェイスが設定されていません。このメッセージは、CallHome 機能が要求されていて、管理インターフェイスが未設定の場合に表示されます。CallHome 機能は、管理インターフェイスが動作していて、SMTP サーバに ping できる場合以外は動作しません。
- CallHome SMTP server table has zero servers configured SMTP サーバが設定されていません。このメッセージは、CallHome 機能が要求されていて、システム コンフィギュレーション内に SMTP サーバが存在しない場合に表示されます。スイッチから SMTP サーバに ping できない場合、CallHome 機能は動作しません。
- CallHome destination address table has zero addresses configured CallHome メッセージの宛先アドレスが設定されていません。このメッセージは、CallHome 機能が要求されていて、宛先アドレスが存在しない場合に表示されます。システム コンフィギュレーション内に宛先アドレスが存在しない場合、Syslog メッセージを送信できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CDP メッセージ

ここでは、Cisco Discovery Protocol (CDP) メッセージについて説明します。

CDP-2

エラー メッセージ CDP-2-L2LOOP: Possible loop in VLAN [dec]. Port [dec]/[dec] received its own CDP packet

説明 ディセーブルの VLAN 上でループエラーが検出され、ポートがシャットダウンされています。VLAN [dec] は VLAN 番号、[dec]/[dec] は障害ポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CDP-3

エラー メッセージ CDP-3-SENDFAIL: Transmit failure on port [dec]/[dec]

説明 ポート上で送信エラーが発生しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CDP-4

エラー メッセージ CDP-4-DUPLEXMISMATCH: Full/half duplex mismatch detected on port [dec]/[dec]

説明 イーサネット ポートのデュプレックス設定が、少なくとも1つの隣接ポートでの設定と異なっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 デュプレックス設定を確認します。デュプレックス設定に不一致がある場合は、正しく設定してください。設定に不一致が見つからない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ CDP-4-NVLANMISMATCH: Native vlan mismatch detected on port [dec]/[dec]

説明 ネイティブ VLAN が、少なくとも1つの隣接ポートで設定されているものと異なります。[dec]/[dec] は不一致ポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ネイティブ VLAN の設定を確認します。VLAN (仮想 LAN) の設定に不一致がある場合は、正しく設定してください。設定に不一致が見つからない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

CDP-7

エラー メッセージ CDP-7-PACKETRX: Packet Reception detected on port [dec]/[dec]

説明 モジュールポート上でパケットが検出されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ CDP-7-PACKETTX: Packet Transmission detected on port [dec]/[dec]

説明 モジュールポートからパケットが送信されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ CDP-7-PKTDROP: Packet dropped as CDP is disabled on port [dec]/[dec]

説明 ポート上で CDP がディセーブルだったため、パケットが廃棄されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 CDP ポートの状態を調べます。ポートがディセーブルになっている場合は、イネーブルにします。ポートがイネーブルの場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

COPS メッセージ

ここでは、Common Open Policy Service (COPS) メッセージについて説明します。

COPS-3

エラー メッセージ COPS-3-DS-CLIENT_INIT_FAILED: Failed to initialize DsClient, error status [dec]

説明 COPS DS クライアントを初期化できませんでした。[dec] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ COPS-3-SERVER_NOT_CONFIGURED: COPS server not configured for [chars] client

説明 スイッチ上に COPS サーバが設定されていません。[chars] はクライアント サーバ名です。

推奨処置 COPS サーバの IP アドレスまたはサーバ名を設定します。

エラー メッセージ COPS-3-TTL_TIMER_MALLOC_FAILED: Malloc Failed for Pib Ttl Timer

説明 メモリ不足が原因で、COPS DC クライアントは内部オブジェクトの 1 つにメモリを割り当てることができませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

COPS-5

エラー メッセージ COPS-5-HA_POLICY_TIMER_EXPIRED: HA Policy Timer Expired - Applying local policy on ports that do not have COPS policy

説明 COPS ポリシーが不完全か、または COPS サーバから完全に受信されていない可能性があります。COPS ポリシーが完全に受信されるまで、ローカルで設定された COPS ポリシーがポートに適用されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ COPS-5-TTL_TIMER_EXPIRED: Ttl Timer expired, reverting to NVRAM policy

説明 COPS DS クライアントと COPS サーバ間の接続が切断されました。接続切断後の一定期間、COPS ポリシーはキャッシュされます。キャッシュ タイマーの期限が切れると、COPS DS クライアントはローカル NVRAM ポリシーをすべてのインターフェイスに適用します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

COPS-6

エラー メッセージ COPS-6-CONN_LOST: Connection to COPS server [chars] (port: [dec]) lost

説明 COPS の Connection Manager と COPS サーバ間の接続が切断されました。[chars] は IP アドレス、[dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ COPS-6-CONN_MADE: New Connection made to COPS server [chars] (port: [dec])

説明 COPS の Connection Manager が COPS サーバに対して新しい接続を確立しました。[chars] は IP アドレス、[dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ COPS-6-DS_CLIENT_EXITING: COPS Ds Client Exiting

説明 COPS DC クライアントはコマンドライン インターフェイスからディセーブルに設定されたあと、完全にシャットダウンしました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ COPS-6-KA_TIMER_EXPIRED: Keep Alive timer expired for connection to COPS

説明 キープアライブ タイマーの期限が切れました。COPS の Connection Manager は、COPS サーバとの接続が切断されたものとみなして、サーバへの再接続を試行します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ COPS-6-SERVER_DNS_LOOKUP_FAILED: Name lookup for [chars] COPS server for Cops-[chars] client failed

説明 COPS サーバ名が正しくないため、COPS クライアントが COPS サーバ名を解決できませんでした。最初の [chars] は入力された COPS サーバ名、2 番めの [chars] は COPS クライアント名です。

推奨処置 正しい COPS サーバ名を入力します。

COPS-7

エラーメッセージ COPS-7-CONN_ATTEMPT_FAILED: Connection attempt to COPS server [chars] (port: [dec]) failed

説明 COPS の Connection Manager が COPS サーバとの接続を確立できませんでした。[chars] は IP アドレス、[dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ COPS-7-CONN_ATTEMPT_MADE: Attempting to connect to COPS server [chars] (port: [dec]) for [chars] client

説明 ポリシー情報を入手するために、スイッチが COPS サーバに接続しようとしてしました。[chars] は COPS サーバ名、[dec] はポート番号、[chars] はクライアントサーバ名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

DHCP Snooping

ここでは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) スヌーピング (DHCP Snooping) メッセージについて説明します。

DHCP Snooping-3

エラーメッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Binding Limit Exceeded: Binding limit exceeded. More binding cannot be added.

説明 システム上の DHCP スヌーピング バインディングの総数が許可された最大数を超過しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Jumbo Framed Dropped: Dropped Jumbo DHCP packet of size [dec] on port [dec]/[dec]

説明 ジャンボ フレームが ARP 検査タスクによって廃棄されました。ARP 検査はジャンボ フレームをサポートしていません。size [dec] は廃棄されているパケットのサイズ、[dec]/[dec] はジャンボ パケットが検出されたモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Port Limit Exceeded: Per port binding limit exceeded on port [dec]/[dec]. More bindings cannot be added on port [dec]/[dec].

説明 ポート上の DHCP スヌーピング バインディングの総数が許可された最大数を超過しています。最初の [dec]/[dec] はバインディングの上限を超えたモジュール番号とポート番号です。2 番目の [dec]/[dec] も同じモジュール番号とポート番号で、ここにバインディングを追加することはできません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Queue Full: Task queue full. Packet dropped on port [dec]/[dec]

説明 パケットのフラッディングによりタスクのキューがいっぱいです。[dec]/[dec] はパケットのフラッディングが検出されたモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 この機能のレート制限がディセーブルになっていないこと、または大きな値に設定されていることを確認します。

エラーメッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Source Guard Config Fail: Could not configure Source Guard on port [dec]/[dec] due to ACL error.

説明 ACL (アクセス制御リスト) マネージャがエラーを検出したため、ソースガード機能を設定できません。[dec]/[dec] はエラーが検出されたモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 TCAM に空きがなくなっている可能性があるため、ACL 設定を確認してください。

エラー メッセージ DHCP Snooping-3-DHCP Snooping Source Guard Port Limit: Port [dec]/[dec] already has [dec] addresses -- [chars] will not be able to send IP packets

説明 ポート上の IP アドレス数が、サポートされている最大数である 10 を超えました。[dec]/[dec] はエラーが発生したモジュール番号とポート番号、[dec] はポート上の IP アドレス数、[chars] は IP パケットの送信元です。

推奨処置 考えられるネットワーク トポロジー上の問題を確認します。ソースガード機能が有効になっている可能性があります。その場合は、無効にします。

DHCP Snooping-5

エラー メッセージ DHCP Snooping-5-DHCP Snooping Destination Not Found: [chars] could not find destination port. Destination MAC [chars].

説明 DHCP スヌーピングが、応答のための宛先ポートを特定できません。最初の [chars] は DHCP メッセージのタイプ、2 番目の [chars] はパケットの送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 一時的なエラーか、または悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ DHCP Snooping-5-DHCP Snooping Fake IP: [chars] IP address in packet does not match binding table. Source MAC [chars].

説明 DHCP ヘッダ (一般に DHCP Release) 内の IP アドレスが、バインディングテーブル内の IP アドレスと一致しません。最初の [chars] は DHCP メッセージのタイプ、2 番目の [chars] はパケットの送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ DHCP Snooping-5-DHCP Snooping Match MAC Fail: [chars] source MAC [chars] does not match DHCP 'chaddr' [chars].

説明 イーサネット ヘッダ内の送信元 MAC アドレスが、DHCP ヘッダ内の 'chaddr' と一致しません。このチェックは MAC アドレス検査機能がイネーブルになっている場合にのみ実行されます。[chars] は DHCP メッセージのタイプ、2 番目の [chars] はイーサネット ヘッダ内の送信元 MAC アドレス、3 番目の [chars] は DHCP ヘッダ内の 'chaddr' です。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラー メッセージ DHCP Snooping-5-DHCP Snooping Non-Zero Giaddr: [chars] non-zero giaddr or option 82 from untrusted port. Source MAC [chars].

説明 0 以外のゲートウェイ アドレス (giaddr) またはオプション 82 を伴う DHCP パケットを、信頼性のないポートから受信しました。最初の [chars] は DHCP メッセージのタイプ、2 番目の [chars] はパケットの送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ DHCP Snooping-5-DHCP SnoopingPKTDROP: Packet dropped on port [dec] [dec] on VLAN [dec].

説明 パケットが廃棄されました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はモジュールのポート番号、3 番目の [dec] は VLAN (仮想 LAN) 番号です。

推奨処置 対処は不要です。前に示されるメッセージにより、廃棄の理由が示されます。

エラーメッセージ DHCP Snooping-5-DHCP SnoopingUntrustedPort: [chars] disallowed on untrusted ports. Source MAC [chars].

説明 信頼性のあるポートからのみ許容されている DHCP パケットを、信頼性のないポートで受信しました。最初の [chars] は DHCP メッセージのタイプ、2 番目の [chars] はパケットの送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 悪意のある不正なユーザがポートに接続している可能性があります。ポートに接続しているユーザを確認してください。

エラーメッセージ DHCP Snooping-5-Malformed Option: [chars]: malformed option [hex] on port. Source MAC [chars]

説明 DHCP スヌーピングが不正な形式の DHCP オプションを受信しました。最初の [chars] は DHCP メッセージのタイプ、[hex] は DHCP オプション番号、2 番目の [chars] はパケットのイーサネットヘッダーの送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 このメッセージが表示されている理由を判別するには、パケット送信者を調べます。

DRIP メッセージ

ここでは、Dual Ring Protocol (DRiP) メッセージについて説明します。

DRIP-3

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPALRINIT: Drip Already Initialized

説明 DRiP はすでにイネーブルになっており、初期化済みですが、ソフトウェア モジュールがデータベースの再初期化を要求しています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPALRSHUT: Drip Already Shutdown

説明 DRiP はすでにシャットダウンされていますが、ソフトウェア モジュールがもう一度シャットダウンを要求しています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPCONFMAC2: LOC: [chars], REM: [chars]

説明 これは、各 DRiP-3 レベル コンフリクト メッセージ (Invalid Change Request. Status [hex] など) の前に示されるメッセージです。最初の [chars] はローカル スイッチの MAC アドレス、次の [chars] はリモート スイッチの MAC アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPCOREERROR: Drip Core Error

説明 DRiP コードが内部エラーを検出しました。この時点における DRiP は信頼性の低いプロセスです。

推奨処置 `show drip statistics` コマンドを実行し、表示された情報をテクニカル サポートの担当者に提供してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPINVCHG: Invalid Change Request. Status [hex]

説明 DRiP データベースが、無効なステータス バイトについて、データベースを更新するよう呼び出されました。[hex] はステータス バイトです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPNOLCLBOX: No Local Box. Vlanid [dec], MAC [chars]

説明 DRiP データベースが呼び出されましたが、ローカル MAC アドレスおよび VLAN (仮想 LAN) に対応するエントリがありません。[dec] は VLAN 番号、[chars] は MAC アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPNOMAC: No Mac [chars] Match. Vlanid [dec]

説明 DRiP データベースが呼び出されましたが、VLAN 上にこの MAC アドレスに対応するエントリがありません。[chars] は MAC アドレス、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPNOVLAN: No Vlanid [dec] Match. MAC [chars]

説明 DRiP データベースが呼び出されましたが、このスイッチ用の VLAN エントリがありません。[dec] は VLAN 番号、[chars] はスイッチ名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-3-DRIPOUTRANGE: Vlanid [dec] out of range. MAC [chars]

説明 DRiP データベースに対して、範囲外の VLAN ID 番号を入力する要求が出されました。[dec] は VLAN 番号、[chars] は MAC アドレスです。

推奨処置 VLAN ID および MAC アドレスを記録して、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DRIP-4

エラー メッセージ DRIP-4-DRIPCONFLICTACT: Vlanid [dec] Active Conflict. Status [hex]

説明 TrCRF VLAN のポートが、Concentrator Relay Function (CRF; コンセントレータ リレー機能) VLAN を分配する複数のスイッチに割り当てられ、アクティブになっています。[dec] は VLAN 番号、[hex] は戻されたステータスです。DRiP データベースには、この VLAN に対する無効なステータス表示があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-4-DRIPCONFLICTCON: Vlanid [dec] Configuration conflict

説明 TrCRF VLAN のポートが、CRF VLAN を分配する複数のスイッチに割り当てられています。[dec] は、VLAN 番号です。ポートを割り当てることができるのは、この VLAN に対応する 1 つのスイッチだけです。

推奨処置 1 つのスイッチに限定して、この VLAN のポートをもう一度割り当ててください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-4-DRIPCONFLICTCONACT: Vlanid [dec] Configuration/Active Conflict

説明 TrCRF VLAN のポートが、CRF VLAN を分配する複数のスイッチに割り当てられ、アクティブになっています。[dec] は VLAN ID 番号です。ポートを割り当てることができるのは、この VLAN に対応する 1 つのスイッチだけです。

推奨処置 この VLAN のポートを 1 つのスイッチに割り当て直してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DRIP-4-DRIPCONFMAC1: LOC: [chars], REM: [chars]

説明 これは、各 DRiP-4 レベル コンフリクト メッセージ (Configuration conflict on vlan [dec] など) の前に示されるメッセージです。最初の [chars] はローカル スイッチの MAC アドレス、次の [chars] はリモート スイッチの MAC アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

DRIP-5

エラー メッセージ DRIP-5-DRIPFAILSCP: SCP Failure

説明 DRiP は Serial Control Protocol (SCP) メッセージをモジュールに送信しようとしたが、失敗しました。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DTP メッセージ

ここでは、Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランキング プロトコル) メッセージについて説明します。

DTP-1

エラー メッセージ DTP-1-ILGLCFG: Illegal config (on, isl--on,dot1q) on Port [dec]/[dec]

説明 トランクの片方の末端が ON、ISL に設定されています。トランクの他端は ON、dot1Q に設定されています。[dec]/[dec] は Syslog メッセージが出力されたモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 これは不正な設定です。トランクの両端でカプセル化タイプが一致するように変更する必要があります。

DTP-3

エラー メッセージ DTP-3-NONTRUNKPORTFAIL: Port [dec]/[chars] failed to become non-trunk

説明 ポートを非トランクにできませんでした。[dec]/[chars] はモジュール番号/ポート範囲です。

推奨処置 次の作業を行い、ステップごとに接続を再試行してください。

ステップ 1 使用できる総メモリ数を調べます。総メモリ数が 0 に近い場合は、それがエラーの原因になっている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。そうでない場合は、次のステップに進んでください。

ステップ 2 Serial Control Protocol (SCP) のステータスを確認し、カウント フィールドを調べます。数回、繰り返してください。カウントが増えている場合は、それがエラーの原因になっている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。カウントが増えない場合も、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DTP-3-TRUNKPORTFAIL: Port [dec]/[chars] failed to become trunk

説明 ポートをトランクにできませんでした。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 次の作業を行い、ステップごとに接続を再試行してください。

ステップ 1 使用できる総メモリ数を調べます。総メモリ数が 0 に近い場合は、それがエラーの原因になっている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。そうでない場合は、次のステップに進んでください。

ステップ 2 SCP のステータスを確認し、カウント フィールドを調べます。カウントが増えている場合は、それがエラーの原因になっている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。カウントが増えない場合も、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DTP-4

エラー メッセージ DTP-4-PKTQFULL: DTP internal queue dtpPktQ full

説明 異常な状態により、DTP 内部パケット キューがオーバーフローしました。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DTP-5

エラー メッセージ DTP-5-AUXVLANPORTOFF: Auxiliary vlan removed on port [dec]/[chars]

説明 マルチ VLAN アクセス ポート上のリンクがダウンしているか、またはマルチ VLAN アクセス ポートの設定から補助 VLAN が削除されています。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-AUXVLANPORTON: Auxiliary vlan added on port [dec]/[chars]

説明 マルチ VLAN で設定されたポート上でリンクがアップする際に、ポートがネゴシエートしてトランク ポートにならない場合、そのポートはマルチ VLAN アクセス ポートになります。補助 VLAN が稼働中のアクセス ポートに追加された場合にも、このメッセージが生成されることがあります。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-NONTRUNKPORTON: Port [dec]/[chars] has become non-trunk

説明 ポートが非トランクです。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-NONVLAN2PORTON: Port [dec]/[chars] has become a nonvlan2-access port

説明 マルチ VLAN アクセス ポート上のリンクが切断されました。補助 VLAN が稼働中のアクセス ポートから削除された場合にも、このメッセージが生成されます。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTCHG: Port [dec]/[chars] has changed from [chars] trunk to [chars] trunk.

説明 トランクのカプセル化タイプが変更されました。[dec] はモジュール番号、最初の [chars] はポート番号、2 番めの [chars] は元のカプセル化タイプ、3 番めの [chars] は新しいカプセル化タイプです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTON: Port [dec]/[chars] has become trunk

説明 ポートがトランクです。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-VLAN2PORTON: Port [dec]/[chars] has become a vlan2-access port

説明 マルチ VLAN で設定されたポートがネゴシエートしてトランク ポートにならずに、マルチ VLAN アクセス ポートになりました。補助 VLAN が稼働中のアクセス ポートに追加された場合にも、このメッセージが生成されます。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

DTP-7

エラー メッセージ DTP-7-MULTIDROP: Port [dec]/[dec] detected multiple neighbors.

説明 トランクが複数のネイバを検出しました (共用環境)。DTP はそのポートへのトランキングをオフにします。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートのトランキングをオフにする場合は、処置は不要です。

エラー メッセージ DTP-7-NODTP: Port [dec]/[dec] not recd DTP packet for 5m.

説明 隣接ポートから 5 分間、DTP パケットを受信していないので、ポートは非トランキングです。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DTP-7-PORTLINKDOWN: Port [dec]/[chars] Link down

説明 DTP は、ポートのリンクが切断されていることを検出しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DTP-7-PORTLINKUP: Port [dec]/[chars] Link up

説明 DTP は、ポートのリンクがアクティブであることを検出しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DTP-7-SYNCUPMSG: Port [dec]/[dec] recd [chars] from 2.2x4.4x

説明 ポートが受信した DTP ステータスおよび隣接ポートの MAC (メディア アクセス制御) アドレスを示しています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、recd [chars] は受信したステータスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DVLAN メッセージ

ここでは、スイッチのダイナミック VLAN (DVLAN) メッセージについて説明します。

DVLAN-1

エラー メッセージ DVLAN-1-DENYHOST: Host [chars] denied on port [dec]/[chars]

説明 VLAN Membership Policy Server (VMPS; VLAN メンバーシップ ポリシー サーバ) が、ホストへの接続を拒否する応答を送信しました。[chars] はホストの MAC アドレス、[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 VMPS データベースで接続が拒否された理由を確認してください。データベース情報に問題がない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-DENYHOSTVLAN: Host [chars] denied on port [dec]/[chars] by inactive vlan

説明 VMPS によって割り当てられた VLAN (仮想 LAN) がスイッチ内でアクティブになっていません。[chars] はホストの MAC アドレス、[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 VLAN がアクティブであることを確認して、操作をやり直してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-DENYHOSTVVID: Host [chars] denied on port [dec]/[dec] as PVID=VVID

説明 ポート VLAN と音声 VLAN の ID が同じであるため、ホストがポート上で拒否されます。[chars] はホスト名、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 VLAN および音声 VLAN の ID を訂正します。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-NOVMPS: VMPS address not configured

説明 VMPS サーバアドレスが設定されていません。

推奨処置 VMPS サーバアドレスを設定します。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-SHUTDOWNPORT1: Port [dec]/[chars] shutdown by VMPS

説明 VMPS がポート上で未知の MAC アドレスを検出し、そのポートをシャットダウンしました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 未知のホストを削除し、ポートをイネーブルにして、操作をやり直します。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-SHUTDOWNPORT2: Port [dec]/[chars] shutdown by EARL failure

説明 ハッシュ インデックスの全 4 ページがいっぱいのため、新しいホストのダイナミック Enhanced Address Recognition Logic (EARL) エントリを EARL に設定できません。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 ポートをイネーブルにして、操作をやり直します。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-SHUTDOWNPORT3: Port [dec]/[chars] shutdown by active host limit

説明 1 つのダイナミック ポートで 50 を超えるアクティブ ホストが検出されました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 アクティブ ホストの数を少なくし、ポートをイネーブルにして、操作をやり直します。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-1-SHUTDOWNPORT4: Port [dec]/[chars] shutdown by Internal Vlan

説明 インテリジェント モジュール用に予約された内部 VLAN のポートであるため、シャットダウンされます。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 拡張範囲 VLAN を使用する場合は、データ VLAN に 4094 またはそれより小さい値から始まる番号を割り当てます。そうすることにより、1025 以上の値を使用する内部 VLAN の割り当てとの競合を避けられます。

エラー メッセージ DVLAN-1-VVIDINVALID: Invalid VVID packet, VMPS should be configured for voice packet mac. mNo [dec] pNo [dec] vvid [dec]

説明 音声 VLAN ID の無効なパケットが受信されました。mNo [dec] はモジュール番号、pNo [dec] はポート番号、vvid [dec] は音声 VLAN ID 番号です。

推奨処置 VMPS は音声パケットに対応するように設定する必要があります。

DVLAN-2

エラー メッセージ DVLAN-2-MACNOTRECONFIRMED: Mac [chars] is not reconfirmed

説明 MAC アドレスがシステムによって再確認されていません。[chars] は MAC アドレスです。

推奨処置 サーバの設定を確認します。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DVLAN-3

エラー メッセージ DVLAN-3-BINDFAIL: Failed to bind DVLAN socket

説明 DVLAN ソケットのバインド エラーが発生しました。

推奨処置 すべてのダイナミック ポートをスタティックに設定し、そのあとでダイナミックに戻します。それでもうまくいかない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-DOMAININVALID: Invalid-Management-Domain opcode in response

説明 VMPS 応答の管理ドメイン名が、システムで設定されている VLAN Trunk Protocol (VTP; VLAN トランク プロトコル) ドメイン名と一致しません。

推奨処置 データベースまたはシステムのどちらかで、ドメイン名を修正してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-NOCOKIE: Response has no Cookie

説明 VMPS 応答にクッキーがありません。

推奨処置 VMPS サーバを調べてから、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-NORESOURCE: No-Resource opcode in response

説明 VMPS の応答は [No-Resource] でした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-NOVLAN: Response has no VLAN ID

説明 VMPS 応答に VLAN 名がありません。

推奨処置 VMPS サーバを調べてから、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-RECEIVEFAIL: Failed (err = [dec]) to receive response from VMPS [chars]

説明 VMPS 応答の受信エラーが発生しました。[dec] はエラー番号、[chars] は VMPS サーバ アドレスです。

推奨処置 メッセージに表示されたエラー番号について、テクニカル サポートの担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ DVLAN-3-SENDFAIL: Failed (err = [dec]) to send query to VMPS [chars]

説明 VMPS へのクエリー送信エラーが発生しました。[dec] はエラー番号、[chars] は VMPS アドレスです。

推奨処置 メッセージに表示されたエラー番号について、テクニカル サポートの担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ DVLAN-3-SOCKFAIL: Failed to open socket for DVLAN

説明 DVLAN ソケットを開くことができませんでした。

推奨処置 すべてのダイナミック ポートをスタティックに設定し、そのあとでダイナミックに戻します。それでもうまくいかない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-TRAPDIAGFAIL: EARL trap diag failed on supervisor module

説明 EARL トラップ診断でエラーが発生しました。EARL トラップ診断エラーが発生した場合、ポートをダイナミックに設定できません。

推奨処置 show test コマンドを入力して、トラップ エラーを確認し、システムをリセットします。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-TRAPUNSUPPORTED: EARL trap not supported in supervisor module

説明 EARL のトラップ機能をサポートしない、旧スーパーバイザ エンジン(ハードウェアバージョン 1.3 以下)がインストールされています。これらのモジュールでは、ポートをダイナミックに設定できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-VERSIONINVALID: Invalid-Version opcode in response

説明 VMPS 応答に無効なバージョン番号が含まれていました。VMPS バージョンは 1 でなければなりません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ DVLAN-3-VLANINVALID: Invalid VLAN ID ([chars]) in response

説明 VMPS 応答で指定されている VLAN 名をシステムでは使用できません。([chars]) は VLAN 名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

DVLAN-4

エラー メッセージ DVLAN-4-NODYNPORT: No dynamic ports configured, reconfirm aborted

説明 reconfirm vmps コマンドが実行されましたが、ダイナミック ポートが設定されていません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DVLAN-4-NOHOST: No host on dynamic ports, reconfirm aborted

説明 reconfirm vmpls コマンドが実行されましたが、ダイナミック ポートに接続されたアクティブ ホストがありません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

DVLAN-6

エラー メッセージ DVLAN-6-MOVEDHOST: Host [chars] moved from static to dynamic port [dec]/[chars]

説明 ホストがスタティック ポートからダイナミック ポートに移されました。[chars] はホストの MAC アドレス、[dec]/[chars] は変更されたポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

DVLAN-7

エラー メッセージ DVLAN-7-ASSIGNVLAN: VLAN [dec] assigned to Port [dec]/[chars]

説明 このメッセージは、デバッグ中にだけ出力されます。VLAN がダイナミック ポートに割り当てられたことを示しています。[dec] は VLAN 番号、[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ DVLAN-7-PRIMARYVMPS: Primary VMPS [chars] is alive

説明 このメッセージは、デバッグ中にだけ出力されます。スイッチが VMPS サーバと通信できることを示しています。[chars] はサーバ名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

EARL メッセージ

ここでは、Enhanced Address Recognition Logic (EARL) メッセージについて説明します。

EARL-2

エラー メッセージ EARL-2-CAM_MON_ABOVE_HITHRESH_SHUT: number of entries [dec] exceeded high threshold of [dec] on [chars] [chars]

説明 ポート、VLAN (仮想 LAN)、またはポートと VLAN の組み合わせによって学習された MAC (メディア アクセス制御) アドレス エントリ数が、モニタ制限機能のユーザ定義スレッシュホールドを超えました。errdisable ステートにすると、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせがシャットダウンされます。最初の [dec] は、このポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせに対する CAM の MAC アドレス (10 進数) です。2 番目の [dec] は設定されたスレッシュホールドの値です。最初の [chars] は、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせを示す文字列です。2 番目の [chars] が表示されている場合は、スレッシュホールドを超えた場合の動作 (warning、no learn、または shutdown など) を示します。

推奨処置 set port enable *port* コマンドを使用してポートを再度イネーブルにします。また、set errdisable-timeout enable cam-monitor または set errdisable-timeout interval *interval* コマンドを使用して、指定時間後にポートを自動的に再度イネーブルにするようにタイマーを設定します。interval の値はデフォルトで 300 秒です。

エラー メッセージ EARL-2-CAM_USAGE: CAM usage is currently [dec]

説明 CAM テーブルがいっぱいで、エージング処理によってエントリを削除しています。[dec] は CAM テーブル内のエントリ数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-2-EARL4LOOKUPRAMERROR: Address [hex], data [hex]-[hex]-[hex]-[hex], count [dec]

説明 ルックアップ RAM のパリティ エラーが検出されました。address [hex] フィールドは、エラーが検出された転送テーブル内のアドレスです。data [hex]-[hex]-[hex]-[hex] フィールドは、パリティ エラーが発生した RAM データのワード 0、ワード 1、ワード 2、およびワード 3 です。count [dec] フィールドはパリティ エラーの総数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-2-EARL6L2L3_SEQERROR: L2 Seq 1[dec], L3 Seq 1[dec]

説明 クリティカルなエラーが発生し、EARL がパケットの転送を停止しました。このメッセージは、システムがリカバリを行う際に表示されます。2 つの [dec] は不一致の生じたシーケンス番号です。

推奨処置 2 ~ 3 分おきにこのメッセージが表示される場合を除き対処は不要です。また、モジュールのオフ / オンを繰り返してこのメッセージが表示された場合も対処は不要です。

EARL-3

エラー メッセージ EARL-3-BADCOLOR: Bad color [dec] read from [hex] for a [chars] entry

説明 システムは無効な VLAN 上の MAC アドレスを読み取りました。[dec] は VLAN 番号、[hex] はロケーション、[chars] は *static* または *dynamic* です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-DELETEVLANTIMER: Failure to remove timer [dec] from vlan [dec]

説明 EARL はこの VLAN のエージング タイマーを削除できませんでした。timer [dec] はタイマー番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-EARLDELETE: Earl delete error

説明 EARL エントリを削除しようとしたのですが、できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-L2_RATELIMITER_RECONFIGURE: Layer2 rate limiter [chars] due to change in fabric switching mode

説明 ユーザがレイヤ 2 レート リミッタを設定しており、truncated モードと nontruncated モードの間でシステム モードの変更が行われています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EARL-3-L3_PARERR: CentauriInterrupt:L3 parity Error [hex] [hex] [hex]

説明 レイヤ 3 スイッチング エンジンがレイヤ 3 テーブルのデータでパリティ エラーを検出しました。最初の [hex] はカウント、2 番めの [hex] はレイヤ 3 パリティ エラー レジスタ 0 の内容、3 番めの [hex] はレイヤ 3 パリティ エラー レジスタ 1 の内容です。

推奨処置 このメッセージが何度も表示される場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-LTL: Failure to set LTL for module [dec]

説明 EARL はモジュールの Local Targeting Logic (LTL) ASIC を設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-MC_DBUSLEN: CentauriInterrupt:DBus length error [hex]

説明 レイヤ3スイッチングエンジンがDBus 長エラーを検出しました。[hex] はエラー カウントです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ EARL-3-SETVLANTIMER: Failure to set timer [dec] from vlan [dec]

説明 EARL はこの VLAN のエージング タイマーを設定できませんでした。timer [dec] はタイマー番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

EARL-4

エラー メッセージ EARL-4-CAM_MON_ABOVE_HITHRESH: Number of entries [dec] exceeded high threshold of [dec] on [chars] [chars]

説明 ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせによって学習された MAC アドレス エントリ数が、モニタ制限機能のユーザ定義スレッシュホールドを超えました。管理者が warning 処理に対してモニタ制限を設定している場合、高スレッシュホールドを超えたユーザに対して警告が送られます。管理者が no learn 処理に対してモニタ制限を設定している場合、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせがディセーブルになります。MAC アドレス エントリがスレッシュホールドを下回ると、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせは再びイネーブルになります。no learn 処理に対して低スレッシュホールドおよび高スレッシュホールドのモニタ制限が設定されている場合、MAC アドレスが高スレッシュホールドを超えると学習がディセーブルになりますが、MAC アドレス数が低スレッシュホールドを下回るまで再びイネーブルになることはありません。最初の [dec] は、このポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせに対する CAM の MAC アドレス (10 進数) です。2 番めの [dec] は設定されたスレッシュホールドの値です。最初の [chars] は、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせを示す文字列です。2 番めの [chars] が表示されている場合は、スレッシュホールドを超えた場合の動作 (warning、no learn、または shutdown など) を示します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EARL-4-CAM_MON_ABOVE_LOWTHRESH: Number of entries [dec] exceeded low threshold of [dec] on [chars] [chars]

説明 ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせによって学習された MAC アドレス エントリ数が、モニタ制限機能のユーザ定義スレッシュホールドを超えました。管理者が warning 処理に対してモニタ制限を設定している場合、高スレッシュホールドを超えたユーザに対して警告が送られます。管理者が no learn 処理に対してモニタ制限を設定している場合、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせがディセーブルになります。MAC アドレス エントリがスレッシュホールドを下回ると、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせは再びイネーブルになります。no learn 処理に対して低スレッシュホールドおよび高スレッシュホールドのモニタ制限が設定されている場合、MAC アドレスが高スレッシュホールドを超えると学習がディセーブルになりますが、MAC アドレス数が低スレッシュホールドを下回るまで再びイネーブルになることはありません。最初の [dec] は、このポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせに対する CAM の MAC アドレス (10 進数) です。2 番めの [dec] は設

定されたスレッシュホールドの値です。最初の [chars] は、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせを示す文字列です。2 番目の [chars] が表示されている場合は、スレッシュホールドを超えた場合の動作 (warning、no learn、または shutdown など) を示します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EARL-4-MAC_MOVE: Host [dec] is flapping between port [chars] and port [chars]

説明 リストされた MAC アドレスを持つホストが 2 つのポート間で移動しました。これは、スイッチの設定が誤っているか、同一 VLAN のポートのペア間でホストが移動された場合に発生します。[dec] は MAC アドレス、最初の [chars] は「from」モジュールおよびポート番号、2 番目の [chars] は「to」モジュールおよびポート番号です。

推奨処置 スwitch の設定を確認し、エラーがあれば修正します。

エラー メッセージ EARL-4-MAC_NOTIF_FAIL: Resource allocation failed, will try during next iteration

説明 システムが CAM テーブルの統計情報を要求していますが、情報が得られません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

EARL-5

エラー メッセージ EARL-5-CAM_MON_BELOW_LOWTHRESH: number of entries [dec] dropped below low threshold of [dec] on [chars] [chars]

説明 ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせによって学習された MAC アドレス エントリ数が、モニタ制限機能のユーザ定義の低スレッシュホールドを下回りました。最初の [dec] は、このポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせに対する CAM の MAC アドレス (10 進数) です。2 番目の [dec] は設定されたスレッシュホールドの値です。最初の [chars] は、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせを示す文字列です。2 番目の [chars] が表示されている場合は、スレッシュホールドを超えた場合の動作 (warning、no learn、または shutdown など) を示します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EARL-5-FDDI: Failed to send CAM message to FDDI module [dec]

説明 プロセス間メッセージが正常に送信されませんでした。これは、トラフィックの非常に多い状況下、または多数の VLAN のあるシステムでトポロジが変更された場合に、生じることがあります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

EARL-6

エラーメッセージ EARL-6-CAM_MON_BELOW_HITTHRESH: number of entries [dec] dropped below high threshold of [dec] on [chars] [chars]

説明 ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせによって学習された MAC アドレス エントリ数が、モニタ制限機能のユーザ定義の高スレッシュホールドを下回りました。最初の [dec] は、このポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせに対する CAM の MAC アドレス(10進数)です。2番めの [dec] は設定されたスレッシュホールドの値です。最初の [chars] は、ポート、VLAN、またはポートと VLAN の組み合わせを示す文字列です。2番めの [chars] が表示されている場合は、スレッシュホールドを超えた場合の動作 (warning、no learn、または shutdown など) を示します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ EARL-6-MAC_NOTIF_SLEEP: Process is going to sleep for the next [dec] seconds

説明 CAM テーブルから統計情報を取得するプロセスが指定された秒数の期間シャットダウンされます。[dec] は秒数です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

EOAM メッセージ

EOAM-4

エラー メッセージ EOAM-4-CRITICALLINKEVENT: [chars] on [dec]/[dec], indicating [chars]

説明 OAM クリティカル リンク イベントが、イベント タイプ (Link Fault、Dying Gasp、または Critical Event) とともに所定のポートで検出または受信されました。最初の [chars] は「detected」または「received」のいずれかで、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、2 番め [chars] はイベント タイプです。

推奨処置 Link Fault のイベントでは、リンクのシャットダウンを試行します。メッセージが引き続き表示される場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

EOAM-5

エラー メッセージ EOAM-5-LINKEVENT: [chars] [chars] on port [dec]/[dec], indicating [chars]

説明 OAM リンク イベントが、イベントの詳細とともに所定のポートで検出または受信されました。最初の [chars] は「detected」または「received」のいずれかで、2 番め [chars] はエラー タイプ、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番めの [chars] はイベントの詳細を表示しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOAM-5-LOOPBACK: port [dec]/[dec] has [chars] loopback mode\n

説明 ポートで OAM ループバック モードが開始または終了しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はループバック タイプ (たとえば、local または remote) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOAM-5-NOTPOINTTOPOINTLINK: port [dec]/[dec] may not be on a point-to-point link\n

説明 ポートがローカル ポートから OAMPDU を受信しませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 イーサネット OAM がポートのポイントツーポイントでのみイネーブルになっていることを確認します。

EOU メッセージ

ここでは、EAP Over UDP (EOU) メッセージについて説明します。

EOU-1

エラー メッセージ EOU-1-EOU_NO_RADIUS_SERVER: No RADIUS servers configured

説明 EOU はイネーブルで、RADIUS サーバは設定されていません。

推奨処置 show radius コマンドを使用して、RADIUS サーバが設定されているかどうかを判別します。1 つ以上の RADIUS サーバが設定され、アクティブになっている必要があります。

EOU-3

エラー メッセージ EOU-3-EOU_GROUP_NOT_FOUND: Group [chars] not found. Fail to install policy for IP [chars] and Mac [chars] on [dec]/[dec]

説明 RADIUS サーバが送信したポリシー グループがスイッチ上に存在しません。最初の [chars] はポリシー グループ名、2 番目の [chars] はホストの IP アドレス、3 番目の [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 スイッチ ポリシー グループの設定を確認します。スイッチ上でポリシー グループを作成するには、ACL CLI を使用します。

エラー メッセージ EOU-3-EOU_UNKNOWN_EVENT: EOU: Unknown Event received for IP [chars] and Mac [chars]

説明 ホスト IP のステートが未知のイベントを受信しました。最初の [chars] は IP アドレス、2 番目の [chars] は MAC アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-3-EOU_VERSION_MISMATCH: EOU: EoU version mismatch for host IP [chars] on port [dec]/[dec]

説明 ホストが送信した EOU バージョン フィールドと、スイッチの現在の EOU バージョンが一致せず、ホストが送信したすべての EOU パケットが廃棄されます。[chars] は IP アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 CTA のバージョンを確認します。

EOU-6

エラー メッセージ EOU-6-EOU_AUTH_STATUS_FAIL: Host with IP [chars] and MAC [chars] failed to authenticate on port [dec]/[dec]

説明 ホストの認証が失敗しました。最初の [chars] はホストの IP アドレス、2 番めの [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 ユーザの詳細な ACS 設定を確認するとともに、ポリシーのスイッチ設定を確認し、必要に応じて変更します。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_AUTH_STATUS_SUCCESS: Host with IP [chars] and MAC [chars] successful authenticated on port [dec]/[dec]

説明 ホストが正常に認証されました。最初の [chars] はホストの IP アドレス、2 番めの [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_AUTHTYPE: EOU: Host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec] authenticated using [chars]

説明 ホストの認証に使用された認証タイプ (EOU、clientless、または exception/static) を表示します。最初の [chars] はホストの IP アドレス、2 番めの [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号、3 番めの [chars] は認証タイプです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_BAD_PKT: Bad packet received from IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]

説明 不正な形式の EOU パケット (たとえば、チェックサムが一致しない、無効な長さであるなど) を受信しました。最初の [chars] は IP アドレス、2 番めの [chars] は MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 CTA の設定を確認し、必要に応じて変更します。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_CTA_DETECT: CTA detected on host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]

説明 ホスト上で CTA が検出されました。CTA は、スイッチにより送信された EOU ID 要求検証に対してホストが応答する際に、ホスト上に存在していることになっています。最初の [chars] はホストの IP アドレス、2 番めの [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_HOST_EXCEPTION: Exception host [chars] on port [dec]/[dec], installed policy [chars]

説明 例外ホストが検出されました。最初の [chars] は例外ホスト名、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号、2 番目の [chars] はポリシー名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_HOST_POLICY: IP [chars] received policy group [chars] on port [dec]/[dec]

説明 正常なクライアントレス認証または EOU 認証の一部として、RADIUS サーバから受信したポリシー グループを表示します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_HOST_SESSION: IP [chars] session removed on port [dec]/[dec]

説明 スイッチが送信した ARP プロブに回答していないため、ホストセッションが消去されました。最初の [chars] は IP アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 ARP プロブに対して応答するための CTA アベイラビリティを確認し、必要に応じて変更します。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_HOSTNAME: Host [chars] with IP [chars] and Mac [chars] authenticated on [dec]/[dec]

説明 正常に認証されたあとのホスト名を表示します。最初の [chars] はホスト名、2 番目の [chars] はホストの IP アドレス、3 番目の [chars] はホストの MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_NEW_IP_LEARNNT: New IP [chars] and MAC [chars] seen on port ([dec]/[dec])

説明 ポート上で新しい IP アドレスが学習され、その新しい IP アドレスに対して NAC セッションが開始されました。新しい IP アドレスは、ARP 検査または DHCP スヌーピングによって学習が可能です。最初の [chars] は IP アドレス、2 番目の [chars] は MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_POSTURE_TOKEN: Recvd token [chars] for host IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]

説明 RADIUS から受信したポスチャ トークン アトリビュートを表示します。最初の [chars] は受信したトークン、2 番目の [chars] はホストの IP アドレス、3 番目の [chars] は MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ EOU-6-EOU_SQ: Status query of host with IP [chars] and MAC [chars] on port [dec]/[dec]

説明 ホスト ポート上でステータス クエリーが受信されました。最初の [chars] は IP アドレス、2 番目の [chars] は MAC アドレス、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

ETHC メッセージ

ここでは、Ethernet Channel (ETHC) メッセージについて説明します。

ETHC-3

エラー メッセージ ETHC-3-ONMODEFAIL: Port [dec]/[dec] errdisabled, ON mode attributes mismatch

説明 チャネル モードが ON に設定されたとき、チャネル属性の不一致が原因でポートが errdisable になりました。通常は、すべてのチャネル属性が、ON モードのチャネル ポートで同じになっている必要があります。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 不一致になったチャネル属性を判別し、一致する値に設定してからポートを再度イネーブルにします。

ETHC-5

エラー メッセージ ETHC-5-ACTIVATEPORT: Port [dec]/[dec] left suspended state (LACP active/passive mode)

説明 現在の動作条件が Link Aggregation Control Protocol (LACP) のアクティブ モードとパッシブ モードに適合しているため、停止されていたポートが再度有効になりました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ETHC-5-LACPDISABLE: LACP disabled on port [dec]/[dec] (half-duplex link)

説明 LACP PDU の送信が停止されています。また、ポートがチャネルの一部で切り離されている場合、ポートは単一接続として動作しています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートを全二重に設定するか、またはポートのチャネル モードをオフにします。リンクを全二重に設定すると、LACP は自動的に再度イネーブルになります。

エラー メッセージ ETHC-5-LACPENABLE: LACP re-enabled on port [dec]/[dec]

説明 ポート上で LACP が再びイネーブルになりました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ETHC-5-PORTFROMSTP: Port [dec]/[dec] left bridge port [dec]/[chars]

説明 論理ポートから物理ポートが切り離されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ETHC-5-PORTTOSTP: Port [dec]/[dec] joined bridge port [dec]/[chars]

説明 物理ポートが論理ポートに加入しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ETHC-5-SUSPENDPORT: Port [dec]/[dec] entered suspended state (LACP active/passive mode)

説明 動作条件がこのプロトコルでサポートされていないため、ポートが停止されました(スパンニングツリー上には配置されません)。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポート上でプロトコルが動作する妨げになっている条件を取り除きます。ポートの動作特性を変更できない場合は、そのポートのチャンネル モードをオフにします。

ETHC-7

エラー メッセージ ETHC-7-BADQUEUEMSG: Unknown message in queue [chars]

説明 プロセッサが識別不能なメッセージを受信しました。[chars] はメッセージ文字列です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ ETHC-7-INACTIVEVLAN: ([dec]/[dec]) vlan inactive

説明 VLAN がアクティブではないときに、システムが VLAN (仮想 LAN) にパケットを送信しようとした。([dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 VLAN ポートの設定が正しいことを確認してください。VLAN ポートの設定が正しい場合は、システムをリセットします。再びメッセージが出力された場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-INVALIDPORT: Invalid agportIndex = [dec] (mNo/aNo = [dec]/[dec])

説明 agportIndex が範囲外です (論理ポートが無効です)。[dec] はインデックス、([dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-NOACTIVEVLAN: Failed to transmit info pdu --- no active vlan ([dec]/[dec])

説明 システムがアクティブでない VLAN を介してパケットを送信しようとした。([dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-NOMEM: No (SCP) memory for PAgP_Group_Rx process

説明 プロセッサがモジュールにメッセージを送信してチャンネルを設定しようとしたが、バッファがいっぱいです。

推奨処置 システムをリセットします。再びメッセージが出力された場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-PROCFAIL: Failed to create PAgP_Group_Rx process

説明 PAgP_Group_Rx プロセスが作成されなかったため、チャンネルが許可されていません。

推奨処置 システムをリセットします。再びメッセージが出力された場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-QFULL: [chars] queue is full

説明 2つのプロセッサ間のメッセージ バッファがいっぱいです。[chars] はバッファです。

推奨処置 システムをリセットします。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-STPDISABLED: Failed to transmit info pdu --- disabled STP ([dec]/[dec])

説明 スパニングツリーがディセーブルになっているため、パケットを送信できません。([dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート範囲です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ ETHC-7-WAITFORMEM: Wait for successful memory allocation

説明 システムがより多くのメモリを処理に割り当てようとしたが、十分なメモリが残っていません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

FILESYS メッセージ

ここでは、フラッシュ ファイル システム (FILESYS) メッセージについて説明します。

FILESYS-1

エラー メッセージ FILESYS-1-BT_REFMT: Bootflash size mismatch with file system

説明 ブート フラッシュ ファイル システムのコンフィギュレーション エラーが発生しました。

推奨処置 ブート フラッシュ ファイルをフォーマットしてください。

エラー メッセージ FILESYS-1-PC_INSERT: PCMCIA flash card inserted into [chars]

説明 スロットにフラッシュ PC カードが搭載されました。[chars] は slot 0 または slot 1 です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ FILESYS-1-PC_REMOVE: PCMCIA flash card removed from [chars]

説明 スロットからフラッシュ PC カードが取り外されました。[chars] は slot 0 または slot 1 です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ FILESYS-1-PCMCIA_INSERT: PCMCIA flash card inserted in [chars]

説明 スロットにフラッシュ PC カードが搭載されました。[chars] は slot 0 または slot 1 です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ FILESYS-1-PCMCIA_REMOVE: PCMCIA flash card removed from [chars]

説明 スロットからフラッシュ PC カードが取り外されました。[chars] は slot 0 または slot 1 です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

GL2PT メッセージ

ここでは、Generic Layer 2 Protocol Tunneling (GL2PT) メッセージについて説明します。

GL2PT-3

エラーメッセージ GL2PT-3-CDPTHRESHOLDEXCEEDDROP: CDP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded CDP drop threshold. PDU(s) dropped.

説明 トンネリングポートの CDP Protocol Data Unit (PDU; プロトコルデータユニット) レートが廃棄スレッシュホールドの値を超えたため、PDU が廃棄されています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートの CDP 廃棄スレッシュホールドを大きくするか、または着信 PDU レートを小さくします。

エラーメッセージ GL2PT-3-INGRESSSELFLOOP: Tunneling port [dec]/[dec] received a tunneled PDU. Port disabled.

説明 トンネリングポートがトンネルされた PDU を受信しました。ループ、またはスイッチや ISP スwitch の設定ミスが原因で、トンネリングポートが L2PT カプセル化 PDU を受信しました。ポートはディセーブルです。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 設定を調べて、カプセル化 PDU のループが存在しないことを確認します。問題が解消されない場合は、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ GL2PT-3-STPTHRESHOLDEXCEEDDROP: STP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded STP drop threshold. PDU(s) dropped.

説明 トンネリングポートの STP PDU レートが廃棄スレッシュホールドの値を超えたため、PDU が廃棄されています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートの STP 廃棄スレッシュホールドを大きくするか、または着信 PDU レートを小さくします。

エラーメッセージ GL2PT-3-VTPPTHRESHOLDEXCEEDDROP: VTP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded VTP drop threshold. PDU(s) dropped.

説明 トンネリングポートの VTP PDU レートが廃棄スレッシュホールドの値を超えたため、PDU が廃棄されています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートの VTP 廃棄スレッシュホールドを大きくするか、または着信 PDU レートを小さくします。

GL2PT-5

エラー メッセージ GL2PT-5-CDPTHRESHOLDEXCEEDDISABLE: CDP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded CDP shutdown threshold. Port disabled.

説明 トンネリング ポートの CDP PDU レートがポート CDP シャットダウン スレッシュホールドを超えたため、ポートがディセーブルになっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートのシャットダウン スレッシュホールドを大きくするか、または着信 CDP PDU レートを小さくします。ポートのスレッシュホールド値を修正したら、ポートを再びイネーブルにします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ GL2PT-5-STPTHRESHOLDEXCEEDDISABLE: STP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded STP shutdown threshold. Port disabled.

説明 トンネリング ポートの STP PDU レートがポート STP シャットダウン スレッシュホールドを超えたため、ポートがディセーブルになっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートのシャットダウン スレッシュホールドを大きくするか、または着信 STP PDU レートを小さくします。ポートのスレッシュホールド値を修正したら、ポートを再びイネーブルにします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ GL2PT-5-THRESHOLDEXCEEDDISABLE: PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded shutdown threshold. Port disabled.

説明 トンネリング ポートの PDU レートがポート シャットダウン スレッシュホールドを超えたため、ポートがディセーブルになっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートのシャットダウン スレッシュホールドを大きくするか、または着信 PDU レートを小さくします。ポートのスレッシュホールド値を修正したら、ポートを再びイネーブルにします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ GL2PT-5-VTPPTHRESHOLDEXCEEDDISABLE: VTP PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded VTP shutdown threshold. Port disabled.

説明 トンネリング ポートの VTP PDU レートがポート VTP シャットダウン スレッシュホールドを超えたため、ポートがディセーブルになっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートのシャットダウン スレッシュホールドを大きくするか、または着信 VTP PDU レートを小さくします。ポートのスレッシュホールド値を修正したら、ポートを再びイネーブルにします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

GL2PT-6

エラー メッセージ GL2PT-6-THRESHOLDEXCEEDDROP: PDU rate on tunneling port [dec]/[dec] exceeded drop threshold. PDU(s) dropped.

説明 トネリング ポートの PDU レートが廃棄スレッシュホールドの値を超えたため、PDU が廃棄されています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートの廃棄スレッシュホールドを大きくするか、または着信 PDU レートを小さくします。

GVRP メッセージ

ここでは、GARP VLAN Registration Protocol (GVRP) メッセージについて説明します。

GVRP-0

エラー メッセージ GVRP-0-NOMBUF: no mbuf to [chars]

説明 VLAN (仮想 LAN) の作成時または削除時に、GVRP は VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) に通知できませんでした。この問題が発生したのは、VTP のメッセージバッファスペースがすべて消費されていたときです。[chars] はメッセージ本文です。

推奨処置 VTP サーバ モードとトランスペアレント モードを切り替えることによって、VTP 設定を再初期化します。問題が解消されない場合は、スイッチをリセットするか、またはスイッチの電源をオフ / オンしてください。

GVRP-2

エラー メッセージ GVRP-2-DISABLEDYNVLANCREATE: Disable dynamic VLAN creation temporarily since non-dot1q or non-GVRP trunk [dec]/[dec] exists

説明 スイッチに非 dot1q または非 GVRP トランクが 1 つ以上存在しています。ダイナミック VLAN 作成がイネーブルに設定されている場合でも、GVRP は一時的にダイナミック VLAN 作成をディセーブルにします。[dec]/[dec] は、GVRP が最初に検出した非 dot1q トランク モジュール / ポートです。

推奨処置 ダイナミック VLAN 作成をディセーブルにするか、またはすべてのトランク ポートを dot1q に設定してください。

エラー メッセージ GVRP-2-RESUMEDYNVLANCREATE: Resume dynamic vlan creation since the last non-dot1q or non-GVRP trunk [dec]/[dec] is removed

説明 すべてのトランク ポートが dot1q または GVRP であることが、GVRP によって検出されました。GVRP は、スイッチ上でダイナミック VLAN 作成がイネーブルになっている場合、ダイナミック VLAN 作成を再開します。[dec]/[dec] は、GVRP が最後に除去を検出した非 dot1q トランク モジュールおよびポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

GVRP-3

エラー メッセージ GVRP-3-CREATEPROCESSFAILED: Failed to create GVRP process

説明 システムの初期化時、または GVRP がイネーブルに設定されたときに、GVRP プロセスが正常に完了しませんでした。スイッチのリソース割り当てで問題が起きた可能性があります。

推奨処置 スイッチ上の GVRP をディセーブルに設定し、システムが安定してから再試行してください。問題が再発する場合は、スイッチをリセットするか、またはスイッチの電源をオフ/オンしてください。

エラー メッセージ GVRP-3-CREATEVLANNONETHERNET: cannot create non-Ethernet VLAN [dec]

説明 受信した GVRP join メッセージに、スイッチ上に現在存在しているイーサネット VLAN 以外の、新しい VLAN 番号が含まれていました。[dec] はイーサネット以外の VLAN 番号です。

推奨処置 イーサネットに VLAN 番号を割り当て直すか、または GVRP 装置のピア側で VLAN 設定を修正し、VLAN の一貫性を確保してください。

エラー メッセージ GVRP-3-CREATEVLANNOTALLOWED: Dynamically adding VLAN [dec] not allowed

説明 受信した GVRP join メッセージに、ダイナミック VLAN 作成がスイッチ上でイネーブルになっていないために許容されない新しい VLAN 番号が含まれていました。[dec] は新しい VLAN 番号です。

推奨処置 新しい VLAN がスイッチに追加されるようにするには、ダイナミック VLAN 作成をイネーブルにしておく必要があります。

エラー メッセージ GVRP-3-CREATEVLANSUSPENDED: cannot create suspended VLAN [dec]

説明 受信した GVRP join メッセージに、スイッチ上ですでに保留されている新しい VLAN 番号が含まれていました。[dec] は保留されている VLAN 番号です。

推奨処置 保留されている VLAN を除去すると、その VLAN を動的に再作成できます。または、保留されている VLAN を再びアクティブにすることができます。

エラー メッセージ GVRP-3-DELETEVLANNONEXISTING: cannot delete or withdraw non-existing VLAN [dec]

説明 GVRP または VLAN 設定によって削除または取り消すべき VLAN が存在していません。GVRP の場合、VLAN 削除は不要です。[dec] は存在しない VLAN 番号です。

推奨処置 有効な VLAN 番号を指定してください。

エラー メッセージ GVRP-3-LOSTTRUNKEVT: TRUNK creation/deletion event lost for TRUNK [dec]/[dec]

説明 VTP キューがいっぱいだった、または VTP タスクが実行中ではなかったので、VTP は GVRP が送信した要求を受信しませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ GVRP-3-LOSTVLANEVT: vlan creation/deletion event lost for vlan [dec]

説明 受信した GVRP join メッセージに、動的に作成しなければならない新しい VLAN 番号が含まれていましたが、GVRP は VLAN 作成を VTP に通知できませんでした。GVRP が VLAN を削除するときに、VTP にその削除を通知できなかった場合にも、このエラーが発生することがあります。この問題が発生するのは、VTP メッセージ キューがいっぱいのときです。[dec] は新しい VLAN 番号です。

推奨処置 VTP サーバ モードとトランスペアレント モードを切り替えることによって、VTP 設定を再初期化します。問題が解消されない場合は、スイッチをリセットするか、またはスイッチの電源をオフ / オンしてください。

エラー メッセージ GVRP-3-RECVNONGVRPTRUNK: drop GVRP PDU received on non-GVRP port [dec]/[dec]

説明 ポートで GVRP が稼働していなかったため、GVRP 無効ポートから受信した GVRP Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) フレームが廃棄されました。[dec]/[dec] は GVRP PDU フレームを受信したモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 GVRP 装置のピア側を調べ、GVRP 設定の一貫性を確保します。モジュール / ポートを GVRP イネーブルに設定するか、またはピア側を GVRP ディセーブルに設定します。

エラー メッセージ GVRP-3-RECVVTPGVRPTRUNK: Drop VTP PDU received on GVRP port [dec]/[dec]

説明 GVRP トランクで VTP メッセージが受信されましたが、スイッチ間の設定不一致（一方のスイッチが VTP として設定され、他方が GVRP として設定されていた）により、そのメッセージは廃棄されました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 すべての接続ポート上で、同じタイプのトランク（GVRP または VTP）を設定してください。

IP メッセージ

ここでは、IP メッセージについて説明します。

IP-3

エラー メッセージ IP-3-DUPIPADDR: Duplicate IP address [chars] sent from MAC address: [chars]

説明 システムが、送信元 IP アドレスが NMP IP アドレスと同じである ARP 要求または応答を受け取りました。最初の [chars] はドット付き 10 進数表記の IP アドレス、2 番めの [chars] は正規表記のイーサネット MAC アドレスです。

推奨処置 NMP 管理 VLAN 内で IP アドレス割り当ての重複がないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ IP-3-DUPIPADDR_TR: Duplicate IP address [chars] sent from MAC address: [chars] ([chars])

説明 システムが、送信元 IP アドレスが NMP IP アドレスと同じである ARP 要求または応答を受け取りました。最初の [chars] はドット付き 10 進数表記の IP アドレス、2 番めの [chars] は正規表記のトークンリング MAC アドレス、3 番めの [chars] は正規表記ではないトークンリング MAC アドレスです。

推奨処置 NMP 管理 VLAN 内で IP アドレス割り当ての重複がないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ IP-3-TCP_BADCKSUM: TCP bad checksum

説明 システムが、管理 VLAN 上の別の装置からチェックサム不良の TCP パケットを受信しました。このパケットは廃棄されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ IP-3-TCP_SOCKOVFL: TCP socket [dec] overflow

説明 管理 VLAN 上の TCP トラフィックが多すぎたことが原因で、NMP の TCP ソケット用バッファがすべて消費されました。[dec] はソケット番号です。

推奨処置 これ以上 TCP パケットが失われないように、TCP パケットの送信元を除去するか、ブロックする必要があります。

エラー メッセージ IP-3-UDP_BADCKSUM: UDP bad checksum

説明 システムが、管理 VLAN 上で別の装置からチェックサム不良の UDP パケットを受信しました。このパケットは廃棄されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

IP-4

エラーメッセージ IP-4-PERMITFAIL: Unauthorized [chars] access attempt from [chars]

説明 不正アクセスが行われました。最初の [chars] はアクセス タイプ（現在は Telnet または SNMP）、2 番目の [chars] は不正アクセスが行われた IP アドレスです。

推奨処置 アクセスし直してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

IP-6

エラーメッセージ IP-6-UDP_SOCKOVFL: UDP socket overflow from Source IP:[chars], Destination port:[dec]

説明 管理 VLAN 上の UDP トラフィックが多すぎたことが原因で、NMP の UDP ソケット用バッファがすべて消費されたため、他のトラフィックを収容できません。[chars] は送信元 IP アドレス、[dec] は宛先ポート番号です。

推奨処置 これ以上 UDP パケットが失われないように、UDP パケットの送信元を除去するか、ブロックします。

KERNEL メッセージ

ここでは、カーネル (KERNEL) メッセージについて説明します。



(注)

カーネル メッセージは、システム パフォーマンスの問題を意味するものではありませんが、テクニカル サポートの担当者に伝える必要があります。

KERNEL-0

エラー メッセージ KERNEL-0-SLEEPFROMINT: sleep() called from Interrupt context.

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ KERNEL-0-SLEEPFROMKER: sleep() called from Kernel context.

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

KERNEL-1

エラー メッセージ KERNEL-1-CHECKSTACK: stk-ahrt [chars],sp: %08x size: 0x%04x

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[chars] は stk-ahrt メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ KERNEL-1-CREATEPROCESSFAILED: Error in creating process:
[chars]; stack type: [dec]; Name: [chars]

説明 作成プロセスでエラーが発生しました。システムは処理を行うことができません。Catalyst OS (オペレーティングシステム) の場合、使用できるスタック数に応じて、限られた数のプロセスが許可されます。スタックが使用できない場合、このメッセージが生成されます。最初の [chars] はプロセス ID、[dec] はスタック タイプ、2 番目の [chars] はプロセス名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ KERNEL-1-WARNDISPATCH: Task [chars] pid = [dec] ran for [dec] ms, time allowed = [dec] ms

説明 このメッセージは、許可された時間以上にプロセスが実行された場合に表示されます。[chars] はタスク名、最初の [dec] はプロセス番号、2 番目の [dec] はプロセスが実行された時間 (ミリ秒)、3 番目の [dec] は許可された時間 (ミリ秒) です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

KERNEL-4

エラー メッセージ KERNEL-4-PDELAYFROMKER: pdelay () called from Kernel context.

説明 関数がカーネル コンテキストからカーネル ユーティリティを呼び出しています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ KERNEL-4-YLDCPUFROMKER: yield_cpu() called from Kernel context.

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

KERNEL-5

エラー メッセージ KERNEL-5-DONTLOOKUPBIT: DONT LOOKUP BIT found:
pid=[dec]/[chars]/[hex]

説明 帯域内パケット伝送で DONTLOOKUPBIT 条件が設定されています。[dec] はフレーム長、[chars] はプロセス ID 名、[hex] はタスク ID です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ KERNEL-5-UNALIGNACCESS: Alignment correction made at 0x%08X
[chars]ing 0x%08X

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

LD メッセージ

ここでは、LocalDirector (LD) メッセージについて説明します。

LD-3

エラーメッセージ LD-3-LDACOMMITFAIL: Failed to Commit Local Director Accelerator

説明 LocalDirector Accelerator、すなわち Accelerated Server Load Balancing (ASLB) がハードウェアにコミットされませんでした。このメッセージが出力されるのは起動時だけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

LD-5

エラーメッセージ LD-5-LDHWDNORLSD: Hardware resources not completely freed

説明 ASLB のために割り当てられたハードウェア リソースの一部が解放されていません。VLAN Access Control List (VACL; VLAN アクセス制御リスト) の割り当てが解除されていないか、CAM テーブルの LD エントリが消去されていないか、フルフロー モードが宛先専用モードに切り替えられていないかのいずれかが考えられます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MCAST メッセージ

ここでは、MCAST (マルチキャスト) メッセージについて説明します。MCAST メッセージには、Cisco Group Management Protocol (CGMP) /Internet Group Management Protocol (IGMP) メッセージおよび GARP Multicast Registration Protocol (GMRP) メッセージが含まれます。

MCAST-2

エラー メッセージ MCAST-2-ADDGDAFAIL: EARL add failed for GDA [chars] in vlan [dec]

説明 IGMP スヌーピングが Enhanced Address Recognition Logic (EARL) 2 テーブルにエントリを追加できませんでした。[chars] はエントリ値、[dec] は VLAN (仮想 LAN) 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMP_ADDRAL: IGMP: Address Aliasing for [chars]

説明 Network Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ) が特殊なマルチキャスト アドレス宛のマルチキャスト データ ストリームを検出しました。マルチキャスト プロトコル (IGMP、DVMRP、MOSPF、および PIM など) では、制御用に特殊なクラス D アドレスを使用します。これらのアドレス宛の制御用以外のパケットは、アドレスのエイリアシングとみなされます。システムがこれらのアドレスのいずれかで制御用以外のパケットを 50 パケット検出すると、このメッセージが生成されます。このメッセージが 3 回生成されると、IGMP スヌーピング機能がディセーブルになります。[chars] は、次のマルチキャスト アドレスのいずれかです。これらはエイリアスを引き起こす原因となります。

01-00-5e-00-00-01
01-00-5e-00-00-04
01-00-5e-00-00-05
01-00-5e-00-00-06
01-00-5e-00-00-0d

推奨処置 この種のマルチキャスト トラフィックを発生させているホストを隔離します。エイリアスが設定されているアドレスを調べ、マルチキャスト データ送信にはそのアドレスを使用しないようにしてください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMP_FALLBACK: IGMP: Running in FALL BACK mode

説明 NMP は、プロトコル リダイレクション エスケープ ロジックがディセーブルで、なおかつ次の特殊なマルチキャスト アドレスのいずれか宛に送信されたマルチキャスト データ ストリームを検出しました。

01-00-5e-00-00-01
01-00-5e-00-00-04
01-00-5e-00-00-05
01-00-5e-00-00-06
01-00-5e-00-00-0d

推奨処置 この種のマルチキャスト トラフィックを発生させているホストを隔離します。エイリアスが設定されているアドレスを調べ、マルチキャスト データ送信にはそのアドレスを使用しないようにしてください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMP_FALLBACKPERM: IGMP: Changed to FALL BACK permanently

説明 NMP は、プロトコルリダイレクション エスケープ ロジックがディセーブルで、なおかつ次の特殊なマルチキャスト アドレスのいずれをエイリアスとするマルチキャスト データ ストリームを検出しました。

01-00-5e-00-00-01
01-00-5e-00-00-04
01-00-5e-00-00-05
01-00-5e-00-00-06
01-00-5e-00-00-0d

推奨処置 この種のマルチキャストトラフィックを発生させているホストを隔離します。スイッチをリセットするか、または IGMP スヌーピング機能をいったんディセーブルにして、再びイネーブルにしてください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMP_RATELIMITER: IGMP: Higher WaterMark reached for [chars]-[chars]. Rate limiting it for 30 seconds

説明 IGMP スヌーピングのレートリミッタ機能により、コントロールプレーン レートが設定されたウォーターマーク値を超えていることが検出されました。この機能は、マルチキャストのコントロールプレーンアドレスのレート制限を行い、NMP を保護します。最初の [chars] はコントロールプレーン アドレス、2 番めの [chars] はコントロールプレーンのプロトコル名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMPV3_BADPKT: IGMPV3: No of bad packets received ([chars]) = [dec]

説明 ポート上で不正パケットが受信されました。[chars] は不正パケットの理由、[dec] はモジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMPV3_DISABLED: IGMPV3: Disabling IGMPV3 processing since MMLS was enabled on MSFC

説明 MSFC 上で MMLS がイネーブルになっている場合、IGMPV3 処理はディセーブルになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-2-IGMPV3_ENABLED: IGMPV3: Enabling IGMPV3 processing

説明 MSFC 上で MMLS がディセーブルになっている場合、IGMPV3 処理はイネーブルになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ MCAST-2-MAXGDALIMIT: No. of Multicast entries has reached the max [dec]

説明 マルチキャスト エントリの数が最大限度に達しました。[dec] は 15488 で、これがマルチキャスト エントリの最大数です。以後、新しいエントリは作成されません。

推奨処置 使用するグループ数が 15488 を超えないようにしてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MCAST-4

エラーメッセージ MCAST-4-IGMP_BADPKT: IGMP: No of Packets received with [chars] in last 5 minutes = [dec]

説明 直前の 5 分間にシステムが受信した不正パケットの数を示しています。[chars] は不正パケットの状態、[dec] はパケット数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MCAST-4-IGMP_PKT_DROPPED: IGMP: IGMP Queue full (high packet rate/CPU busy), dropped packet

説明 IGMP のキューがパケットを廃棄しました。高パケット レートによりキューがいっぱいであるか、CPU の負荷が大きいかのいずれかが考えられます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MCAST-4-IGMPV3_BADPKT: IGMPV3: Rcvd bad packet [chars] on [dec]/[dec]

説明 ポート上で不正パケットが受信されました。[chars] は不正パケットの理由、[dec]/[dec] はモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MCAST-4-IGMPV3_EXCLUDE_RECORD: Received [dec] IGMP v3 EXCLUDE Group Records. Last received from [dec]/[dec]. Treated them as IGMP v2 Reports.

説明 ホストが、IGMP v3 スヌーピングによってサポートされていない EXCLUDE モードグループレコードを IGMP v3 レポート内に送信しています。IGMP v3 レポートは IGMP v2 レポートとして処理され、重要な IGMP v3 レポート データが失われます。最初の [dec] は IGMP v3 EXCLUDE グループレコードの番号、2 番めの [dec] はモジュール番号、3 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 `set igmp v3-processing disable` コマンドでスイッチ側の IGMP v3 処理をディセーブルにするか、または EXCLUDE モードメッセージを送信しないようにホストを設定します。

エラーメッセージ MCAST-4-IGMPV3_LTL_FAILURE: LTL allocation failure. Deleting V3 States for Group-[chars] in VLAN-[dec]\n

説明 バージョン 8.3(2) 以降のソフトウェアを実行しているスイッチ上で IGMP-V3 スヌーピングがイネーブルであり、特定 VLAN の所定の送信元およびそのグループの IGMP-V3 転送エントリを作成するのに十分なシステム リソースが IGMP スヌーピングにない場合に、このメッセージが表示されます。その VLAN の他の送信元を持つ IGMP-V3 グループは、IGMP-V2 スヌーピングにフォールバックします。[chars] はグループ名、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MCAST-4-MCAST_RATELIMITER: Threshold rate of [dec] pps exceeded. Ratelimiting vlan-[dec] for [dec] seconds

説明 マルチキャスト制御パケットについて設定されたスレッシュホールド レートを超えたため、最も高いレートでパケットを受信する VLAN のレートが制限されます。また、同じ VLAN が継続してそのレートでパケットを受信していることが検出されると、その VLAN のレート制限は延長されます。最初の [dec] はスレッシュホールド レート、2 番目の [dec] は VLAN 番号、3 番目の [dec] は VLAN がレート制限される時間です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MCAST-4-RTRDEL_TIMEOUT: Deleting Router Port [dec/dec] in vlan [dec] - Timeout

説明 ルータ ポート タイマーがタイムアウトして、ルータ ポート エントリが削除されました。[dec/dec] はルータのモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号です。スイッチがルータ固有のパケット (IGMP 一般クエリー、PIMv1 クエリー、DVMRP プロブ、PIMv2 hello、または MOSPF hello) を受信していないことが原因になる場合があります。

推奨処置 ルータがそのポート上にあり、IGMP がイネーブルに設定されているかどうかを確認してください。

エラーメッセージ MCAST-4-RX_IGMPLV: IGMP: Rcvd IGMP Leave [chars] on [dec]/[dec]

説明 スイッチは、モジュール / ポート上のグループに対する IGMP leave メッセージを受信しました。[chars] はグループ番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ MCAST-4-RX_IGMPREPORT: IGMP: Rcvd IGMP Report [chars] on [dec]/[dec]

説明 スイッチは、モジュール / ポート上のグループに対する IGMP report メッセージを受信しました。[chars] はグループ番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-4-RX_JNRANGE: IGMP: Rcvd Report in the range of 01-00-5e-00-00-xx

説明 スイッチは、01-00-5e-00-00-xx の範囲のグループ アドレスに関する IGMP レポートをホストから受信しました。この範囲は通常、制御パケットに使用するものであり、一般のマルチキャスト データトラフィックには使用しません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MCAST-4-RX_LVRANGE: IGMP: Rcvd Leave in the range of 01-00-5e-00-00-xx

説明 スイッチは、01-00-5e-00-00-xx の範囲のグループ アドレスに関する IGMP leave をホストから受信しました。この範囲は通常、制御パケットに使用するものであり、一般のマルチキャスト データトラフィックには使用しません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MCAST-5

エラー メッセージ MCAST-5-CGMPLV_ENABLE: CGMP Leave Feature is [chars]abled

説明 leave 機能がイネーブルまたはディセーブルになっています。[chars] は [en] (イネーブル) または [dis] (ディセーブル) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-GMRP_ADDGDA: GMRP: Add Multicast Group [chars] on port [dec]/[dec]

説明 GMRP によって EARL テーブルにマルチキャスト グループ アドレスが追加されました。この状況になるのは、特定のグループ アドレスで join メッセージが受信されたときです。[chars] はグループ アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-GMRP_DELGDA: GMRP: Delete Multicast Group [chars] on port [dec]/[dec]

説明 GMRP によって EARL テーブルからマルチキャスト グループ アドレスが削除されました。この状況になるのは、leave タイマーが満了したときです。[chars] はグループ アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-GMRP_FWDALLEN: GMRP: ForwardAll [chars]abled on port [dec]/[dec]

説明 forward all (すべて転送) 機能がこのポートでイネーブルまたはディセーブルです。[chars] は [en] (イネーブル) または [dis] (ディセーブル) です。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-GMRP_PORTENABLE: GMRP [chars]abled on port [dec]/[dec]

説明 ポート上で GMRP がディセーブルです。[chars]abled は [dis]abled (ディセーブル)、port [dec]/[dec] は GMRP がディセーブルになっているポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-GMRP_REG: GMRP: Registration is set to [chars] on port [dec]/[dec]

説明 このポート上で登録されているあらゆるアトリビュートの登録タイプを示しています。[chars] は、normal (標準)、fixed (固定)、または forbidden (禁止) のいずれかです。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-IGMP_NORMAL: IGMP: Running in NORMAL mode

説明 次のマルチキャストアドレスに関して、NMP がアドレスエイリアス設定から回復し、リダイレクションエスケープロジックが再びイネーブルになりました。

```
01-00-5e-00-00-01
01-00-5e-00-00-04
01-00-5e-00-00-05
01-00-5e-00-00-06
01-00-5e-00-00-0d
```

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-5-PROT_STATUS: [chars] Feature is [chars]abled

説明 レイヤ2マルチキャスト機能がイネーブルなのか、ディセーブルなのかを示しています。このメッセージは、IGMP スヌーピングまたは GMRP をイネーブルまたはディセーブルにする CLI コマンドを実行するたびに表示されます。最初の [chars] はイネーブルまたはディセーブルになっている機能、次の [chars] は enabled または disabled です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MCAST-6

エラー メッセージ MCAST-6-CGMP_JOININFO: CGMP: GDA: [chars] USA: [chars]

説明 システムが、送信元アドレスが USA のホストに対応するルータから、Group Destination Address (GDA) の CGMP join メッセージを受信しました。最初の [chars] はグループ宛先アドレス、次の [chars] はユニキャスト送信元アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-DELGDA: Deleting a GDA [chars] in vlan [dec]

説明 この GDA に対応する最後のホストから IGMP leave を受信したので、指定された VLAN のマルチキャスト エントリが削除されます。[chars] はグループ宛先アドレス、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MCAST-6-RGMP_JOIN: Rcvd RGMP Join Mesg [dec]/[dec] vlan [dec] for Group [chars]

説明 ルータがマルチキャスト グループに加入しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、group [chars] はグループ名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RGMP_JOINRANGE: Rcvd RGMP Join Mesg in the range 01-00-5e-00-00-xx

説明 ルータは無効 (予約済み) アドレスにメッセージを送信しました。RGMP がアドレス 01-00-5e-00-00-xx を使用することはできません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RGMP_LEAVE: Rcvd RGMP Leave Mesg [dec]/[dec] vlan [dec] for Group [chars]

説明 ルータがマルチキャスト グループから脱退しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、group [chars] はグループ名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RGMP_LVRANGE: Rcvd RGMP Leave Mesg in the range 01-00-5e-00-00-xx

説明 ルータは無効 (予約済み) アドレスにメッセージを送信しました。RGMP がアドレス 01-00-5e-00-00-xx を使用することはできません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRADD_HSRP: Adding Router Port [dec/dec] in vlan [dec] - HSRP mesg

説明 CGMP/IGMP スヌーピングは、Hot Standby Router Protocol (HSRP) メッセージからルータポートを読み取りました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRADD_PIM: Adding Router Port [dec]/[dec] in vlan [dec] - PIM mesg

説明 CGMP/IGMP スヌーピングは、PIM メッセージからルータ ポートを読み取りました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRADD_PROT: Adding Router Port [dec/dec] in vlan [dec]

説明 CGMP/IGMP が新しいルータ ポートを読み取りました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRADD_USERCFG: Adding Router Port [dec/dec] in vlan [dec] - User Configd

説明 ユーザが `set multicast router` コマンドを使用して、ユーザ設定可能なマルチキャスト ルータを設定しました。[dec/dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRRGMP_BYE: Router Port [dec]/[dec] in vlan [dec] has become nonRGMP-capable

説明 RGMP ルータ ポートが非 RGMP ルータ ポートに変更されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRRGMP_HELLO: Router Port [dec]/[dec] in vlan [dec] has become RGMP-capable

説明 ルータ ポートが RGMP 対応ポートに変更されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RTRRGMP_TIMEOUT: Router Port [dec]/[dec] in vlan [dec] is no longer RGMP capable-Timeout

説明 RGMP ルータがタイムアウトしました。ポートは RGMP 対応ではありません。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RX_CGMPJN: CGMP: Rcvd CGMP Join Mesg in vlan [dec]

説明 VLAN が CGMP join メッセージを受信しました。vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-RX_CGMPLV: CGMP: Rcvd CGMP Leave Mesg [dec/dec] vlan [dec]

説明 VLAN ポート上で CGMP leave メッセージが受信されました。[dec/dec] はメッセージを受信したモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MCAST-6-TOPOCHG: Recvd Topology Change Notification in vlan [dec]

説明 NMP が VLAN のトポロジー変更通知を受信しました。vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MGMT メッセージ

ここでは、MGMT メッセージについて説明します。

MGMT-1

エラー メッセージ MGMT-1-DHCP_EXPIRE: DHCP lease expired, relinquishing IP address [chars]

説明 DHCP リース期間が終了したので、Network Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ) がシステム IP アドレスをクリアします。[chars] は解放されるシステム IP アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MGMT-2

エラー メッセージ MGMT-2-SESSION_FAIL: Out of [chars] processes. Try later.

説明 Secure Shell (SSH; セキュア シェル) セッションまたは Telnet セッションをこれ以上確立できません。[chars] はプロセス タイプです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MGMT-3

エラー メッセージ MGMT-3-DECRYPT_FAIL: RSAPrivateDecrypt [chars] failed

説明 SSH クライアントがシステムに接続しようとしたときに、SSH セッションキーの RSA 秘密鍵による復号化に失敗しました。これは、奇数長の暗号鍵を使用する場合に起きることがあります。[chars] は SSH 名です。

推奨処置 暗号鍵長を偶数に設定します。鍵長を設定するには、`set crypto key rsa nbits` コマンドを使用します。

エラー メッセージ MGMT-3-TOPN_IOBYTE: Port [dec]/[dec] transmit receive byte count is excessive, 1st poll [chars], 2nd poll [chars]

説明 最初のポーリング時に取得した Tx/Rx バイト値と、2 回目のポーリング時に取得した Tx/Rx バイト値の相違が大きすぎます。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、1st poll [chars] は最初のポーリングのカウント値、2nd poll [chars] は 2 回目のポーリングのカウント値です。

推奨処置 TopN レポートの Tx+Rx bytes カラムで、異常な値を調べてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MGMT-4

エラー メッセージ MGMT-4-DHCP_REBIND: DHCP lease will expire in [dec] minutes

説明 サーバは DHCP リースを更新しようとしていますが、DHCP リース期間の満了が迫っています。[dec] は DHCP リースの残りの分数です。

推奨処置 DHCP リースが満了しないうちに、できるだけ迅速にこの問題を解決する必要があります。そうしないと、リースの満了後にソフトウェアによって、システム IP アドレスが解放されてしまいます。テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MGMT-4-OUTOFNVRAM: Out of NVRAM space: ([dec], [dec], [dec], dec)

説明 スペース不足が原因で、NVRAM (不揮発性 RAM) の書き込み操作ができませんでした。最初の [dec] は NVRAM に書き込むはずだったコンフィギュレーション ブロック、2 番目の [dec] は NVRAM に書き込むはずだったコンフィギュレーションのサイズ、3 番目の [dec] はシステムの総 NVRAM 容量、4 番目の [dec] は使用できる NVRAM スペースの大きさです。

推奨処置 フラッシュメモリに ACL コンフィギュレーションを移すか、または使用していないモジュールのコンフィギュレーションを消去してください。

MGMT-5

エラー メッセージ MGMT-5-CONFIG_END_MOD: Auto config ended with [chars] for module [dec]

説明 自動設定機能によるモジュールのコンフィギュレーションのロードが完了しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-CONFIG_START: Auto config started with [chars]

説明 スタートアップコンフィギュレーションが起動しました。[chars] は使用中のコンフィギュレーションファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-CONFIG_START_MOD: Auto config started with [chars] for module [dec]

説明 自動設定機能がモジュールで開始されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-DHCP: Assigned IP address [chars] from DHCP

説明 DHCP サーバによってシステム IP アドレスが割り当てられました。[chars] は新しく割り当てられた IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-DHCP_S: Assigned IP address [chars] from DHCP Server [chars]

説明 DHCP によってシステム IP アドレスが割り当てられました。最初の [chars] は新しく割り当てられた IP アドレス、2 番目の [chars] は DHCP サーバの IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-ENABLE_FAIL: User [chars] failed to enter enable mode from [chars]

説明 パスワードが間違っているか、またはユーザが管理上許可されていないため、イネーブルモードを開始できませんでした。最初の [chars] はユーザ名、2 番目の [chars] はホスト名または IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-ERRDISPORTENABLED: Port [dec]/[dec] err-disabled by [chars] enabled by errdisable timeout

説明 errdisable ステートになっていたポートが再びイネーブルになります。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HADISABLED: High Availability disabled due to lack of system resources

説明 このメッセージが生成されるのは、通常、copy config コマンドを使用してコンフィギュレーション ファイルがロードされ、なおかつハイ アベイラビリティ機能がイネーブルになっていた場合です。リソース不足が原因で、ハイ アベイラビリティ機能が一時的にディセーブルになりました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HADISABLEFAIL: High Availability disable due to lack of system resources failed

説明 システムはリソース不足を理由に、ハイ アベイラビリティ機能をディセーブルにしようとしたが、できませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HANVRAMDISABLED: NVRAM synchronization disabled due to lack of system resources

説明 システムはリソース不足を理由に、NVRAM 同期をディセーブルにしました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HANVRAMENABLED: NVRAM synchronization has been reenabled

説明 システムはNVRAM同期を再びイネーブルにしました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HAREENABLED: High Availability has been re-enabled

説明 システムがハイアベイラビリティ機能を再びイネーブルにしました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HAREENABLEFAIL: Failed to re-enable High Availability

説明 システムは、システムリソース不足が原因でディセーブルになっていたハイアベイラビリティ機能を再びイネーブルにしようとしたましたが、できませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-HTTP_TABLEFULL: All HTTP sessions in use, client [chars] denied access

説明 使用できるHTTPセッションはすべて使用中です。[chars]は、クライアントが拒否されたアクセスです。

推奨処置 HTTPセッションが使用できるようになるまで待ち、やり直してください。

エラー メッセージ MGMT-5-HTTP_URINOTFOUND: Request for [chars] from client [chars] not found

説明 スイッチ上で稼働しているHTTPサーバのファイルがブラウザから要求されましたが、見つかりませんでした。最初の[chars]は要求されたファイル、2番目の[chars]はクライアントのアドレスです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MGMT-5-LOGIN_FAIL: User [chars] failed to log in from [chars]

説明 ログインに失敗しました。[chars]はログイン名(表示可能な場合)、2番目の[chars]はコンソールまたはIPです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-NVRAM_MINDOWN: Reset mindown in progress. Configuration changes are not saved to NVRAM

説明 reset mindown中は、設定の更新がNVRAMに保存されません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PORT_ERRDISABLE: Port [dec]/[dec] is errdisabled because of Broadcast Suppression

説明 ブロードキャスト抑制により、ポートは errdisable ステートになっています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_END: Profile config ended

説明 プロファイル コンフィギュレーションが正常にロードされました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_END_MOD: Profile config ended for module [dec]

説明 プロファイル コンフィギュレーションが正常にロードされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_FILE_ERROR: Profile file [chars]

説明 プロファイル ファイルに問題があるため、プロファイル コンフィギュレーションのロードに失敗しました。たとえば、プロファイル ファイルが存在しないか、またはプロファイル ファイルが不正なコンフィギュレーション ファイルです。[chars] はプロファイル ファイル名です。

推奨処置 プロファイル ファイルが存在し、有効なコンフィギュレーション ファイルであることを確認してください。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_MOD_SKIP: Profile config load for module [dec] skipped because [chars]

説明 プロファイル コンフィギュレーションは、モジュールがデフォルト コンフィギュレーションを持つ場合にのみモジュールにロードできます。デフォルト コンフィギュレーションが存在しない場合には、ロードはスキップされ、このメッセージが表示されます。[dec] はモジュール番号、[chars] はファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_SKIP: Profile config loading skipped, because system has non-default configuration

説明 システムがリセットされましたが、モジュールまたはグローバル コンフィギュレーションのデフォルト コンフィギュレーションが1つもありません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_START: Profile config started with [chars]

説明 システムは表示のファイルからプロファイル コンフィギュレーションをロードしています。このメッセージは、システムのリセット後の、プロファイル コンフィギュレーションのロード時に表示されます。[chars] はプロファイル ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_START_FAIL: Unable to start profile configuration on the system

説明 システムのメモリ不足のため、システムにプロファイル コンフィギュレーションをロードできません。

推奨処置 対処は不要です。大量のメモリを使用しているプロセスを確認するには、`show proc memory` コマンドを入力します。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_START_MOD: Profile config started for module [dec] with [chars]

説明 プロファイル コンフィギュレーションをモジュールにロードしています。このメッセージは、リセット後にモジュールがオンラインになったとき、またはモジュール コンフィギュレーションが `clear config mod` コマンドでクリアされたときに表示されます。[dec] はモジュール番号、[chars] はプロファイル ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-PROFILE_CFG_START_MOD_FAIL: Unable to start profile configuration for module [dec]

説明 モジュールのメモリ不足のため、モジュールへのプロファイル コンフィギュレーションのロードが失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_END: System config ended

説明 システムのコンフィギュレーション プロセスが終了しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_END_MOD: System config ended for module [dec]

説明 モジュールのコンフィギュレーション プロセスが終了しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_MAX_FILE_SIZE_EXCEEDED: File bootflash:
[chars] exceeds 2000000 bytes, the maximum text configuration file size allowed

説明 テキスト コンフィギュレーション ファイルが大きすぎて実行できません。[chars] はテキスト コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_START: System configuration started with
[chars]

説明 システムのコンフィギュレーション プロセスが起動しました。[chars] は、コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_START_FAIL: Unable to start system
configuration

説明 システムの起動時に、テキスト コンフィギュレーション ファイルを使用してシステムの
コンフィギュレーション プロセスを開始できませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_START_MOD: System config started with
[chars] for module [dec]

説明 指定されたモジュール上で、システムのコンフィギュレーション プロセスが起動しまし
た。[chars] はコンフィギュレーション ファイル名、[dec] はモジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-SYS_CONFIG_START_MOD_FAIL: Unable to start system
configuration for module [dec]

説明 システムの起動時に、テスト コンフィギュレーション ファイルを使用してモジュール上
でシステム コンフィギュレーション プロセスを開始できませんでした。[dec] は、モジュール番
号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-TOPN_ABORT: Report [dec] aborted due to configuration
changes

説明 コンフィギュレーションの変更が原因で、TopN レポートが中止されました。[dec] は TopN
レポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-TOPN_AVAILABLE: Report [dec] available

説明 バックグラウンドで実行されている TopN レポートを使用できます。[dec] は TopN レポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-TOPN_DROPMOD: Report [dec] dropped module [dec] data due to module reset

説明 レポートの作成中にモジュールがリセットされたので、TopN レポートにそのモジュールのポートが含まれません。Report [dec] は TopN レポート番号、module [dec] はモジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-TOPN_START: Report [dec] started by [chars]

説明 指定されたバックグラウンド オプションを使用して実行する TopN メッセージがレポートを作成しています。[dec] は TopN レポート番号、[chars] はレポートを開始したプロセスです。レポートが使用できるようになると、別のメッセージが生成されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-5-TOPN_TERMINATE: Report [dec] terminated by [chars]

説明 指定されたプロセスによって、TopN メッセージが中止されました。[dec] は TopN レポート番号、[chars] はレポート作成を中止したプロセスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MGMT-6

エラー メッセージ MGMT-6-CONFIG_END: Auto config ended

説明 スタートアップ コンフィギュレーションが終了しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-6-ENABLEFAIL: User [chars] failed to enter enable mode from [chars]

説明 ユーザはイネーブル モードを開始できませんでした。[chars] はログイン名（表示可能な場合）、2 番目の [chars] はコンソールまたは IP です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-6-ENABLEPASS: User [chars] entered enable mode from [chars]

説明 ユーザにより、イネーブルモードが正常に開始されました。[chars] はログイン名（表示可能な場合）、2番目の [chars] はコンソールまたは IP です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-6-LOGINFAIL: User [chars] failed to log in from [chars]

説明 ログインに失敗しました。[chars] はログイン名（表示可能な場合）、2番目の [chars] はコンソールまたは IP です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MGMT-6-LOGINPASS: User [chars] logged in from [chars]

説明 ユーザが正常にログインしました。[chars] はログイン名（表示可能な場合）、2番目の [chars] はコンソールまたは IP です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MGMT-7

エラー メッセージ MGMT-7-ERRDISPORTENABLEFAIL: ErrDisable process failed to enable [dec]/[dec] - [chars]

説明 errdisable ステートになっていたポートを再びイネーブルにする処理が失敗しました。[dec]/[dec] はエラー ポートのモジュール番号とポート番号、[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MLS メッセージ

ここでは、マルチレイヤ スイッチング (MLS) メッセージについて説明します。

MLS-1

エラー メッセージ MLS-1-FIB_ADJCHECK_FAIL: Incorrect Adj [hex] for nextHop [0x08[hex]] dmac [[hex][hex][hex][hex][hex][hex]] vlan [dec] sw_vlan [dec] mtu [dec] sw_mtu [dec]

説明 表示されているプレフィクスに対する隣接関係の書き換え情報が正しくありません。不一致は検出されるだけで、訂正されません。Adj [hex] は書き換え情報に誤りのあるプレフィクス、nextHop [hex] はネクスト ホップ アドレス、DMAC の値は 16 進数表記のメモリアドレス、vlan [dec] はハードウェア Ternary Content Addressable Memory (TCAM) の値、sw_vlan [dec] はソフトウェア TCAM の値、mtu [dec] はハードウェア TCAM の値、sw_mtu はハードウェア TCAM の値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_ECC_ERROR: TCAM ECC error: [chars][dec]

説明 隣接関係の読み込み / 書き込みにおいて Error Checking and Correction (ECC; エラー確認および訂正) が発生しました。[chars] は ECC が訂正可能かどうかを示し、[dec] はエラー番号を示します。

推奨処置 ECC エラーが訂正可能な場合、これは単なる通知メッセージです。ECC が訂正可能な場合は、隣接関係情報をリロードしてください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_RPF_WARNING: RPF check mode for [chars] [chars] changed to loose mode

説明 RPF パスの数がハードウェアのマルチパスの容量を超えています。[chars] [chars] は Loose Mode に変更された IP アドレスとマスクです。

推奨処置 ハードウェアの容量に合わせて RPF パスの数を少なくする必要があります。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_TCAM_CHECK_FAIL: FIB TCAM Mismatch for [chars]: Index: [dec] Expected Entry: 3[hex]-8[hex]-8[hex] Hardware: Entry: 3[hex]-8[hex]-8[hex]

説明 FIB TCAM に不一致が生じています。[chars] は FIB TCAM のインデックス識別名、[hex] 変数は具体的なインデックスの不一致の値です。

推奨処置 Cisco Express Forwarding をリロードします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_TCAM_TBL_CHECK_FAIL: Inconsistent TCAM table management structure for [chars]

説明 テーブル管理とハードウェアの間に不一致が発生しました。[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 Cisco Express Forwarding をリロードします。問題が解消されない場合は、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_TCAMCHECK_MASKFAIL: Inconsistent mask: Class [hex] Entry Index l[dec] Mask Index l[dec] Shadow TCAM [0x081[hex]] Phy TCAM [0x081[hex]]

説明 ハードウェア TCAM と特定のプレフィクスに対応するソフトウェア エントリの間でマスクの不一致が検出されました。この不一致はただちに訂正されます。Class [hex] は 5 (IP)、6 (IPX)、または 7 (マルチキャスト IP)、Entry Index は不一致のあるプレフィクスの TCAM インデックスです (値の範囲は 0 ~ 256 K-1)。Shadow TCAM は対応するソフトウェア エントリで、ソフトウェア エントリの値を 16 進数表記で表示します。Phy TCAM はハードウェア TCAM エントリを 16 進数表記で示します。

推奨処置 不一致はただちに訂正されるため、対処は不要です。ただし、出力されたエラーメッセージをそのままコピーし、テクニカルサポートの担当者に提出してください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_TCAMCHECK_MASKSHUFFLEFAIL: TCAM blk shuffle pbm: Ent Idx [dec] class [hex] Msk [dec] Shadow 0x08[hex] Prev Msk 0x08[hex]

説明 プレフィクス エントリに設定されたマスクに誤りがあります。Ent Idx [dec] はマスクに誤りのあるプレフィクスの TCAM インデックス (値の範囲は 0 ~ 256 K-1)、Class [hex] は 5 (IP)、6 (IPX)、または 7 (マルチキャスト IP)、Msk [dec] は対応するエントリのマスク、Shadow 0x08[hex] は対応するソフトウェアのマスク エントリ、Prev Msk 0x08[hex] は直前のマスク ブロックです。

推奨処置 メッセージをコピーして、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-1-FIB_TCAMCHECK_PREFIXFAIL: Inconsistent prefix: Class [hex] Entry Index l[dec] Shadow TCAM [0x081[hex]] Phy TCAM [0x081[hex]]

説明 ハードウェア TCAM と特定のプレフィクスに対応するソフトウェア エントリの間で不一致が検出されました。この不一致はただちに訂正されます。Class [hex] は 5 (IP)、6 (IPX)、または 7 (マルチキャスト IP)、Entry Index は不一致のあるプレフィクスの TCAM インデックス (値の範囲は 0 ~ 256 K-1)。Shadow TCAM は対応するソフトウェア エントリで、ソフトウェア エントリの値を 16 進数表記で表示します。Phy TCAM はハードウェア TCAM エントリを 16 進数表記で示します。

推奨処置 不一致はただちに訂正されるため、対処は不要です。ただし、出力されたエラーメッセージをそのままコピーし、テクニカルサポートの担当者に提出してください。

エラーメッセージ MLS-1-FIB_TCAM_MASKBLOCK_CHECK: Wrong mask block [dec] for mask [dec] at entry_index [dec]

説明 プレフィクス エントリを設定する際に不正なマスク ブロックが選択されました。このメッセージは、プレフィクス エントリの設定前に動的に表示されます。Mask block [dec] はマスク ブロックに誤りのあるハードウェア TCAM、mask [dec] は対応するエントリのマスク、entry_index [dec] は誤りのあるプレフィクスの TCAM インデックスです (値の範囲は 0 ~ 256 K-1)。

推奨処置 出力されたメッセージをそのままコピーし、テクニカル サポートの担当者に提出してください。

エラーメッセージ MLS-1-MCAST_RTRADDRCHNG: MAC address of the MLS Route Processor [chars] changed from [chars] to [chars]

説明 MLS ルート プロセッサの MAC (メディア アクセス制御) アドレス変更が検出されました。最初の [chars] はルート プロセッサ、2 番めの [chars] は旧 MAC アドレス、3 番めの [chars] は新 MAC アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MLS-1-MCAST_RTRDEL: MLS Route Processor [chars] deleted - Timeout

説明 Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード) が MLS スーパーバイザ エンジン メッセージに 응답していません。スーパーバイザ エンジンは、ルート プロセッサが使用できないものとみなして、ルート プロセッサがダウンロードしたすべてのショートカットを削除しました。[chars] はルート プロセッサ名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MLS-2

エラーメッセージ MLS-2-BANFFLTLFAIL: Set BANFF LTL failed, new shortcuts disabled

説明 中央の書き換えエンジンの設定エラーが原因で、新しい MLS ショートカットを作成できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ MLS-2-MCAST_ASSERT: Function: [chars] msg: [chars]

説明 指定されたファンクションでエラーが検出されました。Function: [chars] はファンクション名、msg: [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-2-MCAST_METFULL: Multicast Expansion Table full

説明 発信 VLAN 情報を保管するためのマルチキャスト拡張テーブルがいっぱいです。ネットワークに問題があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-2-MCAST_TASKFAIL: Task creation failed

説明 Multicast Multilayer Switching (MMLS; マルチキャスト マルチレイヤ スイッチング) 機能がプロセスを開始できませんでした。この機能はスイッチによってディセーブルになっています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-2-WHISTLERMIERRORDIS: Whistler MI error exceeded threshold, MLS stopped

説明 メモリ インターフェイス エラー数がスレッシュホールドを超過しました。MLS はディセーブルです。

推奨処置 これはハードウェア不良です。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-2-WHISTLERPARITYERROR: Whistler parity error, MLS stopped

説明 NetFlow Feature Card (NFFC; NetFlow フィーチャカード) II Whistler ASIC でパリティ エラーが発生しました。

推奨処置 これはハードウェア不良です。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

MLS-3

エラー メッセージ MLS-3-FIB_FAILRXMSG: SCP(mcast) registration for rxing fib msgs failed

説明 Network Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ) が登録できなかったことが原因で、NMP は MSRP から送信された Forwarding Information Base (FIB; 転送情報ベース) テーブルのアップデートを受信できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-3-FIB_MAXHSRP: Maximum number of supported HSRP addresses (16) exceeded

説明 MSRP から送信された Hot Standby Router Protocol (HSRP) グループの数が、NMP がサポートする HSRP グループの数を超過しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-3-GETNEWLEARN: Get new learn mac notification [hex]

説明 MLS は、新しい送信元アドレス ラーニング通知を受け取っていません。[hex] は新しい送信元 MAC アドレスです。これは内部エラーを意味するメッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-3-NEWSCREATION: New MLS entries creation [chars]abled by [chars]

説明 プロセスの終了時に、新しい MLS エントリの作成で問題が検出されたことを伝える、警告メッセージです。最初の [chars] は disabled または enabled、2 番めの [chars] はタスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-3-RATELIMIT_HWFFAILED: Hardware update of rate limiter for [chars] failed

説明 システムはレート リミッタのハードウェア設定を更新できませんでした。[chars] はレート リミッタ名です。

推奨処置 システムをリセットします。問題が解消されない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-3-RATELIMIT_NOFREERATELIMITER: No free rate limiter for [chars]

説明 システムがハードウェア レート リミッタをすべて消費しているため、指定したレート リミッタの設定がエラーになりました。[chars] はエラーになったレート リミッタ名です。

推奨処置 不要なレート リミッタを削除してから、エラーになったレート リミッタを設定し直します。

エラー メッセージ MLS-3-RATELIMIT_NOMEM: No memory, rate limiting configuration for [chars] failed

説明 システムがメモリをすべて消費しているため、指定したレート リミッタの設定がエラーになりました。[chars] はエラーになったレート リミッタ名です。

推奨処置 システムのメモリを確認し、メモリに空きがあるときにレート リミッタを設定し直します。

エラー メッセージ MLS-3-WHISTLERMIIERRORHRST: Whistler MI error, MI hard reset

説明 NFFC II Whistler ASIC でメモリ インターフェイス エラーが発生しました。メモリ インターフェイスはハードウェア リセットされます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MLS-4

エラー メッセージ MLS-4-FIB_ADJ_FULLL: No free adjacency for [chars]

説明 割り当てられたリージョンがいっぱいなので、新しい隣接関係をハードウェア隣接テーブルにインストールできません。そのため、この隣接関係を使用するパケットは MSFC に送信されてソフトウェアで転送されます。[chars] は、この隣接関係のインストールを要求しているアプリケーションです。

推奨処置 これはハードウェア上の制約です。アプリケーションが IP ユニキャストの場合、ハードウェアの隣接関係の使用を少なくするには、`set mls cef per-prefix-stats disable` コマンドを使用してプレフィクスごとの統計情報をディセーブルにします。

エラー メッセージ MLS-4-FIB_ALLOC_TCAM_FULLL: Allocated FIB TCAM space full for [chars]

説明 テーブルがいっぱいなので、新しい FIB エントリをハードウェア FIB TCAM テーブルにインストールできません。そのため、ハードウェア FIB 検索が必要なパケットは MSFC に送信されてソフトウェアで転送されます。[chars] は、FIB エントリのインストールを要求しているプロトコルです。

推奨処置 `set mls cef maximum-routes` コマンドを使用してアプリケーションに割り当てる FIB エントリを増やすか、またはスーパーバイザ エンジンをアップグレードして FIB TCAM の容量を増やします。

エラー メッセージ MLS-4-FIB_MAXROUTES_RESET: Resetting standby supervisor for new maximum-routes configuration

説明 `mls cef maximum-routes` コマンドの設定について、冗長側のスーパーバイザ エンジンをリセットして、アクティブ側のスーパーバイザ エンジンの起動設定と同期させる必要があります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-4-FIB_TCAM_FULLL: FIB TCAM full

説明 テーブルがいっぱいなので、新しい FIB エントリをハードウェア FIB TCAM テーブルにインストールできません。そのため、ハードウェア FIB 検索に失敗したパケットは MSFC に送信されてソフトウェアで転送されます。

推奨処置 これはハードウェア上の制約です。スイッチ上のルート数を減らすには、他のスイッチと負荷分散を行うか、またはスーパーバイザ エンジンをアップグレードして FIB TCAM の容量を増やします。

エラー メッセージ MLS-4-LOSEEVENT: Event loss, purge all entries

説明 システム リソース不足が原因で、内部 MLS イベント損失が発生しました。すべての MLS エントリが除去されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-4-MOVEOVERFLOW: Too many moves, stop MLS for [dec] sec ([hex])

説明 短時間の間に非常に多くのレイヤ 2 送信元アドレス変更が発生しました。このメッセージは、トポロジー変更またはスパンニングツリー ループが原因で生成されることがあります。MLS は指定された秒数の間停止し、すべてのエントリが除去されます。[dec] は秒数、[hex] は移動のイベント コードです。

推奨処置 トポロジーにループがないかどうかを調べてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-4-RESUMESC: Resume MLS after detecting too many moves

説明 短時間に非常に多くのレイヤ 2 送信元アドレス変更が検出されたため、停止していた MLS が再開されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MLS-5

エラー メッセージ MLS-5-FLOWMASKCHANGE: [chars] flowmask changed from [chars] to [chars]

説明 スイッチング エンジンの MLS フロー マスクが、元のフロー マスクから新しいフロー マスクに変更されました。最初の [chars] はスイッチング エンジン、2 番めの [chars] は元のフロー マスク、3 番めの [chars] は新しいフロー マスクです。フロー マスクは DEST、DEST-SRC、または FULL です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-IPXMAXHOPCHANGE: IPX max hop count changed from [dec] to [dec]

説明 スイッチの最大ホップ カウント値が変更されました。このカウントは、すべての MLS ルート プロセッサが要求する最小値です。最初の [dec] は以前の最大ホップ カウント、次の [dec] は新しい最大ホップ カウントです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_GLOBALPURGE: Purging All Multicast Flows due to [chars]

説明 ルート プロセッサによってダウンロードされたすべてのフローが MLS スーパーバイザ エンジンによって除去されます。[chars] は除去の理由です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_LCFailure: Resetting linecard- [dec] due to SCP failures

説明 Serial Control Protocol (SCP) エラーを検出したため、システムはモジュールをリセットします。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 すべてのモジュールを確実に装着し、非脱落型ネジを締めます。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_ROUTERDOWN: Router Down event for [chars]. Purging all related Multicast Flows

説明 指定ルータがダウンしているため、マルチキャストフローが除去されました。[chars] はルータ名です。

推奨処置 ルータのリロード時にこのメッセージが表示されます。予期しない、または予定外のリロードが行われて、このエラーメッセージが表示された場合は、関連するすべての情報を集めて、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_ROUTERPURGE: Received Global Delete Message from [chars]. Purging all related Multicast Flows

説明 ルータは、ダウンロードされていたすべてのマルチキャストフローを除去しました。この状況が発生するのは、マルチキャストMLS機能がルータ上でディセーブルになった場合、または機能がディセーブルになるような重大な問題が発生した場合です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_SCPFAILURE: SCP failure detected on module: ([dec])

説明 指定したモジュールが、Out-of-Band Channel (EOBC) のSCPメッセージに応答できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 すべてのモジュールを確実に装着し、非脱落型ネジを締めます。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-5-MCAST_STATUS: IP Multicast L3 Multilayer Switching Feature is [chars]abled

説明 マルチキャストレイヤ3マルチレイヤ機能がイネーブルであるか、ディセーブルであるかを示しています。[chars]abled は disabled または enabled です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-MLSDISABLED: Multilayer switching is disabled

説明 MLS はディセーブルです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-MLSEENABLED: Multilayer switching is enabled

説明 MLS はイネーブルです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-NDEDISABLED: Netflow Data Export disabled

説明 時間の経過したあらゆるフローに関するフロー統計情報の送信が停止されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-NDEENABLED: Netflow Data Export enabled

説明 時間の経過したあらゆるフローに関するフロー統計情報が、UDP データグラムとして、設定されているホストに送信されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-ROUTERADD: Route processor [chars] added

説明 MLS スイッチング エンジンによって、MLS ルート プロセッサが追加されました。[chars] は MLS ルート プロセッサの ID です。MLS スイッチング エンジンは、MLS ルート プロセッサのレイヤ 3 スイッチングを開始します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ MLS-5-ROUTERDEL: Route Processor [chars] deleted - [chars]

説明 MLS スイッチング エンジンによって、MLS ルート プロセッサが削除されました。最初の [chars] は MLS ルート プロセッサの ID、2 番めの [chars] は削除理由です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MLS-6

エラー メッセージ MLS-6-MCAST_L3FLOW: Installed from the Route Processor [chars] for Source [chars] Group [chars] Vlan [dec]

説明 新しいマルチキャスト フローがインストールされました。最初の [chars] はルート プロセッサ名、2 番めの [chars] は送信元の名前、3 番めの [chars] はグループ名、Vlan [dec] は VLAN (仮想 LAN) 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ MLS-6-WHISTLERXTAGERROR: Whistler error xtag=[dec]

説明 NFFC II Whistler ASIC で xtag エラーが発生しました。[dec] は xtag エラーの数です。このエラーが MLS の機能に影響を与えることはありません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

MLS-7

エラー メッセージ MLS-7-MCAST_VLANDEL: VLAN [dec] deleted from flows of route processor [chars]

説明 レイヤ 2 イベントが原因でルート プロセッサによりインストールされたマルチキャストフローから、この VLAN が削除されたことを示しています（たとえば、VLAN の最後のルータがダウンしている、VLAN がダウンしている、またはレイヤ 2 がディセーブルである、など）。[dec] は削除された VLAN の番号、[chars] はフローをインストールしたルータ プロセッサの IP です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

PRIVATEVLAN メッセージ

ここでは、プライベート VLAN メッセージについて説明します。

PRIVATEVLAN-3

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-ACL_MAPFAIL: Unable to map ACL to VLAN

説明 システムは ACL(アクセス制御リスト)を VLAN(仮想 LAN)にマップできませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-ACL_RESTOREFAIL: Failed to apply configuration to ACLs

説明 システムは ACL に設定を適用できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-ACL_UNMAPFAIL: Unable to unmap ACL from VLAN

説明 システムは VLAN と ACL とのマップを解除できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-DElassociationFAIL: Failed to delete association between [dec] and [dec]

説明 システムはプライマリ VLAN とセカンダリ VLAN 間のアソシエーションを削除できませんでした。最初の [dec] はプライマリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-DELMapFAIL: Failed to delete map between [dec] and [dec] on [dec]/[dec]

説明 システムは指定されたモジュールおよびポート上で、プライマリ VLAN とセカンダリ VLAN 間のマップを削除できませんでした。最初の [dec] はプライマリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はセカンダリ VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-MapNVRAMFAIL: Failed to save mapping configuration to NVRAM

説明 システムは NVRAM(不揮発性 RAM)にマッピング コンフィギュレーションを保存できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-PORT_CFGFAIL: Failed to set port [dec]/[dec] to Private Vlan [dec], [dec], [chars]

説明 システムは、指定されたポートをプライベート VLAN に設定できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、Private Vlan [dec], [dec] はプライマリ VLAN 番号およびセカンダリ VLAN 番号、[chars] はエラーメッセージの文字列です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-PORT_INACTIVE: Set port [dec]/[dec] to inactive because using vlan [dec] belonging to a Private Vlan

説明 VLAN がプライベート VLAN に属しているため、システムは指定されたポートを非アクティブに設定しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、VLAN [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-PORT_REMOVEFAIL: Failed to remove port [dec]/[dec] from Private Vlan [dec], [dec] [chars]

説明 システムはプライベート VLAN からポートを削除できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、Private Vlan [dec], [dec] はプライマリ VLAN 番号およびセカンダリ VLAN 番号、[chars] はエラーメッセージの文字列です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-REMAP_CFGFAIL: Failed to add mapping for [dec] to [dec] in port [dec]/[dec] [chars]

説明 システムは指定されたモジュールおよびポート上で、セカンダリ VLAN からプライマリ VLAN へのマップを追加できませんでした。最初の [dec] はセカンダリ VLAN 番号、2 番目の [dec] はプライマリ VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラーの原因を示すオプションの文字列です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-REMAP_DELETED1: Mapping between [dec] and [dec] failed on [dec]/[dec] due to [chars] and has been deleted

説明 指定されたモジュールおよびポート上で、プライマリ VLAN とセカンダリ VLAN のマッピングがエラーになり、そのマッピングは削除されました。最初の [dec] はプライマリ VLAN 番号、2 番目の [dec] はセカンダリ VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラーの原因を記した文字列です。

REMAP_DELETED1 には REMAP_DELETED2 が追加されるため、エラーメッセージ REMAP_DELETED1 および REMAP_DELETED2 は通常、いっしょに表示されます。これは、セカンダリ VLAN 用のインターフェイスが MSFC 上に存在していて、そのインターフェイスで設定エラーが発生した場合に実行される処置を示しています。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-REMAP_DELETED2: Delete subinterface [dec] on module [dec] and recreate the mapping

説明 システムは、指定されたモジュールのサブインターフェイス VLAN を削除しました。最初の [dec] は VLAN 番号、2 番めの [dec] はモジュール番号です。

REMAP_DELETED1 には REMAP_DELETED2 が追加されるため、エラーメッセージ REMAP_DELETED1 および REMAP_DELETED2 は通常、いっしょに表示されます。これは、セカンダリ VLAN 用のインターフェイスが MSFC 上に存在していて、そのインターフェイスで設定エラーが発生した場合に実行される処置を示しています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-REMAP_REMOVEFAIL: Failed to remove mapping for [dec] to [dec] from port [dec]/[dec] [chars]

説明 システムは指定されたモジュールおよびポート上で、セカンダリ VLAN からプライマリ VLAN へのマップを削除できませんでした。最初の [dec] はセカンダリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はプライマリ VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラーの原因を示すオプションの文字列です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-RESTOREASSOCFAIL: Failed to set association between [dec] and [dec]

説明 システムはプライマリ VLAN とセカンダリ VLAN 間のアソシエーションを設定できませんでした。最初の [dec] はプライマリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-RESTOREMAPFAIL: Failed to set mapping between [dec] and [dec] on [dec]/[dec]

説明 システムは指定されたモジュールおよびポート上で、プライマリ VLAN とセカンダリ VLAN 間のマッピングを設定できませんでした。最初の [dec] はプライマリ VLAN 番号、2 番めの [dec] はセカンダリ VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRIVATEVLAN-3-RESTOREPORTFAIL: Failed to add port [dec]/[dec] to [dec], [dec]

説明 システムは、プライマリおよびセカンダリ VLAN にポートを追加できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、次の [dec] はプライマリ VLAN 番号、最後の [dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-3-RESTOREVLANFAIL: Failed to set private vlan type for [dec]

説明 システムは、指定された VLAN で、VLAN タイプをプライベートに設定できませんでした。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PRIVATEVLAN-5

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-5-DELPORTRFAIL: Failed to remove port [dec]/[dec] from [dec], [dec]

説明 システムは、プライマリおよびセカンダリ VLAN からポートを削除できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、次の [dec] はプライマリ VLAN 番号、最後の [dec] はセカンダリ VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PRIVATEVLAN-7

エラーメッセージ PRIVATEVLAN-7-SYS_MEMALLOCFAIL: Failed to allocate memory in private vlan features in [chars], line [dec]

説明 システムはプライベート VLAN 機能にメモリを割り当てるできませんでした。[chars] はファイル名、[dec] はエラーが発生したライン番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PROTFILT メッセージ

ここでは、プロトコルフィルタ (PROTFILT) メッセージについて説明します。

PROTFILT-5

エラー メッセージ PROTFILT-5-AUTO_OFF: Port [dec]/[dec] is set to AUTO-OFF for [chars]

説明 ポートは、プロトコルグループが auto-off として設定されています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はプロトコルグループです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PROTFILT-5-AUTO_ON: Port [dec]/[dec] is set to AUTO-ON for [chars]

説明 ポートは、プロトコルグループが auto-on として設定されています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はプロトコルグループです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

VTP の PRUNING メッセージ

ここでは、VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) の PRUNING メッセージについて説明します。

PRUNING-2

エラー メッセージ PRUNING-2-INITSEMERR: semaphore [hex] not null at vtp_initialization!

説明 VTP セマフォの作成時に初期化プロセス エラーが発生しました。[hex] はセマフォ値です。

推奨処置 スイッチをリセットします。エラーが繰り返される場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-INVSTS: FATAL- inv vlan [dec] status [hex]

説明 これは内部エラーを意味するメッセージです。[dec] は VLAN (仮想 LAN) 番号、[hex] はステータス値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-LOSTST1: update: lost trunk [dec]/[dec]([dec]) vlan [dec] state [dec]

説明 トランクの VLAN スパニングツリー ステート変更を保存しようとしたのですが、アップデート中に失われました。[dec]/[dec]([dec]) は、モジュール番号 / ポート番号 (ポート番号は内部で保存)、vlan [dec] は VLAN 番号、state [dec] は失われたスパニングツリー ステート (0= ディセーブル、1= リスニング、2= ラーニング、3= フォワーディング、および 4= ブロッキング) です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-LOSTST2: set: lost trunk [dec]/[dec]([dec]) vlan [dec] state [dec]

説明 トランクの VLAN スパニングツリー ステート変更を保存しようとしたのですが、設定時に失われました。[dec]/[dec]([dec]) は、モジュール番号 / ポート番号 (ポート番号は内部で保存)、vlan [dec] は VLAN 番号、state [dec] は失われたスパニングツリー ステート (0= ディセーブル、1= リスニング、2= ラーニング、3= フォワーディング、および 4= ブロッキング) です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-LOSTSTCHG: vlan state change: can't find trunk (index=[hex])

説明 VLAN プルーニング ステートの変更時に、トランクが見つかりませんでした。[hex] は失われたトランクのインデックスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-NOVLANBITS: no vlan string for trunk [dec]/[dec]
(domain [chars])

説明 これは内部エラーを意味するメッセージです。[dec]/[dec] はトランクのモジュール番号 / ポート番号、[chars] はドメイン名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-2-SCPWRERR: SCP failed to write LTL on module [dec]

説明 モジュール [dec] の内部エラーを意味するメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PRUNING-3

エラー メッセージ PRUNING-3-INVTLV: rx summary on trunk [chars] with invalid TLV
value: [hex]

説明 他の VTP 装置に内部エラーがあります。[chars] はトランクのモジュール番号 / ポート番号、[hex] は無効な値です。

推奨処置 内部エラーのある VTP 装置を特定してください。トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-JOININVFSTV: Join rx on trunk [chars]-invalid first
vlan: [dec]

説明 他の VTP 装置に内部エラーがあります。[chars] はトランクのモジュール番号 / ポート番号、[dec] は最初の無効な VLAN 番号です。

推奨処置 内部エラーのある VTP 装置を特定してください。トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-JOININVLLEN: Join rx on trunk [chars]-invalid len:
[dec] ([dec])

説明 他の VTP 装置に内部エラーがあります。[chars] はトランク モジュール番号 / ポート番号、最初の [dec] は実際のパケット長の値、2 番めの ([dec]) は無効なパケット長です。

推奨処置 内部エラーのある VTP 装置を特定してください。トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-JOININVLSTV: Join rx on trunk [chars]-invalid last vlan: [dec]

説明 他の VTP 装置に内部エラーがあります。[chars] はトランクのモジュール番号 / ポート番号、[dec] は最後の無効な VLAN 番号です。

推奨処置 内部エラーのある VTP 装置を特定してください。トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-NOMEM: no memory to build trunk [dec]/[dec] info for dependent code

説明 使用できるシステム メモリがなかったため、指定されたトランクの内部ステータスが失われました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 システム メモリ (RAM) サイズを拡張してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-NOSCPMEM: failed to allocate scpmsg buffer vtp_dep_vlan_state_change-notification

説明 VTP がメモリを割り当てようとしたが、メモリが不足していました。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-3-SCPSENDERR: SCP send error: [chars] [dec]

説明 スーパーバイザ エンジンがモジュールと通信するときに、内部エラーが発生しました。[chars] は最後に記録されたデバッグ メッセージ、[dec] は最後に記録されたデバッグ値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PRUNING-4

エラー メッセージ PRUNING-4-INVASSOC: invalid vlan local assoc: [hex] (domain [chars])

説明 中間エラーが発生しました。トランク上で VTP プルーニングが動作している場合もあれば、動作していない場合もあります。[hex] は VLAN ローカル アソシエーション値、([chars]) はドメイン名です。

推奨処置 show trunk コマンドを入力して、トランクで VTP プルーニングが動作しているかどうかを確認してください。動作していない場合は、トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-INVLNKST: invalid link state: [hex]

説明 トランク リンクが無効なステートに設定されています。[hex] は無効なステート値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-INVPMODE: invalid pruning mode: [hex]

説明 中間エラーが発生しました。そのトランク上で VTP プルーニングが動作している場合もあれば、動作していない場合もあります。[hex] はプルーニング モード値です。

推奨処置 トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-INVSPSTST: invalid SPT state: [hex]

説明 中間スパニングツリー (SPT) エラーが発生しました。トランク上で VTP プルーニングが動作している場合もあれば、動作していない場合もあります。[hex] は次のエラーのいずれかです。

```
invalid link state: link state value
vlan [vlan no] not found [domain name]
invalid SPT state: [spt state value]
```

推奨処置 show trunk コマンドを入力して、そのトランクで VTP プルーニングが動作しているかどうかを確認してください。動作していない場合は、トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-LOSTASSOCEVT: lost vlan local assoc event (vlan=[dec], assoc=[dec])

説明 バッファ メモリ不足が原因で、内部イベントが失われました。vlan=[dec] は VLAN 番号、assoc=[dec] はローカル アソシエーション ステータスです。

推奨処置 処置は不要です。自動的に復旧します。

エラー メッセージ PRUNING-4-LOSTGVRPEVT: lost gvrp trunk change event (vlan=[dec])

説明 GVRP が VTP に join/leave 要求を送信しようとしたますが、VTP が稼働していないか、または VTP キューがいっぱいでした。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-LOSTSPTEVT: lost spt state event (trunk=[dec]/[dec], vlan=[dec], state=[dec])

説明 バッファ メモリ不足が原因で、内部イベントが失われました。trunk=[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan=[dec] は VLAN 番号、state=[dec] はスパニングツリー プロトコル ステータスです。

推奨処置 処置は不要です。自動的に復旧します。

エラー メッセージ PRUNING-4-NOBUF: no mbuf to build join

説明 VTP プルーニングに使用できるバッファ メモリがありません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-NODOMAIN: domain [chars]([dec]) not found

説明 中間コンフィギュレーションが一致していません。[chars] はドメイン名、([dec]) はドメイン名の長さです。

推奨処置 メッセージが繰り返し表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-NOTRUNK: trunk [dec]/[dec] not found (domain [chars])

説明 中間エラーが発生しました。トランク上で VTP プルーニングが動作している場合もあれば、動作していない場合もあります。[dec]/[dec] はトランクのモジュール番号 / ポート番号、([chars]) はドメイン名です。

推奨処置 show trunk コマンドを入力して、トランクで VTP プルーニングが動作しているかどうかを確認してください。動作していない場合は、トランク ポートをいったんディセーブルにしてから、改めてイネーブルにしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-4-NOVLAN: vlan [dec] not found (domain [chars])

説明 VLAN が見つかりませんでした。[dec] は VLAN 番号、([chars]) はドメイン名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

PRUNING-5

エラー メッセージ PRUNING-5-BOGUSTIMEOUT: bogus timeout for trunk [chars]

説明 トランク上で内部通知が発生しました。[chars] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-CHGPMODE: change domain [chars] pruning mode to [chars]

説明 VTP プルーニング モードが変更されました。最初の [chars] はドメイン名、2 番めの [chars] は enabled または disabled です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-JOINDIFFDOMAIN: domain [chars] not found in rx Join (trunk [dec]/[dec])

説明 他の VTP 装置が別のドメインに割り当てられています。[chars] はドメイン名、(trunk [dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 別のドメインに割り当てられている他の VTP 装置を確認してください。それらの装置に clear config all コマンドを入力し、さらに正しいドメイン名を割り当ててください。

エラー メッセージ PRUNING-5-JOINDISCARD: rx Join on trunk [dec]/[dec] when pruning disabled

説明 ネットワークに VTP の不一致があります。trunk [dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 他の装置を確認し、どこで不一致が生じているかを突き止めて、修正してください。

エラー メッセージ PRUNING-5-JOINNONAME: no domain name in rx Join (trunk [dec]/[dec])

説明 他の VTP 装置で内部エラーが発生した可能性があります。(trunk [dec]/[dec]) はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 他の VTP 装置で内部エラーの有無を確認してください。エラーが見つからない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PRUNING-5-JOINNOTRUNK: trunk [dec]/[dec] not found for rx Join

説明 中間エラーが発生しました。trunk [dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-LEARNDOMAIN: learn domain [chars] from network

説明 VTP ドメインが別の VTP 装置から読み取られました。[chars] は、ドメイン名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-RECOVASSOC: Recover from local assoc event loss

説明 内部イベント損失からソフトウェアが自動的に回復しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-RECOVSPT: recover from spt event loss for trunk [dec]/[dec]

説明 内部イベント損失からソフトウェアが自動的に回復しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-VLANJOINED: Joined-trunk [dec]/[dec] vlan [dec]

説明 トランクの VLAN がプルーンングされていません。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-5-VLANPRUNED: Pruned-trunk [dec]/[dec] vlan [dec]

説明 トランクの VLAN がプルニングされています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

PRUNING-6

エラー メッセージ PRUNING-6-FSMSTCHG:

T[chars],V[dec]:st=[chars],event=[chars],new st=[chars]

説明 トランク上の VLAN のステート変化を示しています。

- T[chars] はトランクのモジュール番号およびポート番号です。
- V[dec] は VLAN 番号 [vlan_id] です。
- st=[chars] は現在のステート [state] です。この場合、[chars] は Null、Disable、NoPrune、Joined、または Pruned です。
- event=[chars] はイベント [event] です。この場合、[event] は Null、RxVer1、RxJ1、RxJ0、Fwd、NonFwd、Tick、Tmo、LnkDn、LnkUp、Inelig、Eligi、Trans、NoTran、AddTrk、または Refrsh です。
- new st=[chars] は新しいステート [state] です。この場合、[state] は Null、Disable、NoPrune、Joined、または Pruned です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PRUNING-6-TRIGJOIN: trunk [chars]- send trig Join

説明 VLAN ステータス変更が原因で、VTP プルニング メッセージがトランクでトリガされました。[chars] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

QoS メッセージ

ここでは、Quality of Service (QoS; サービス品質) メッセージについて説明します。

QOS-3

エラー メッセージ QOS-3-ACL_DEFINEFAIL: Unable to define ACL [chars]. Error is [chars]

説明 システムは ACL (アクセス制御リスト) を定義できませんでした。最初の [chars] は ACL リスト名、2 番めの [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-ACL_MAPPORTFAIL: Unable to map ACL [chars] to port [dec]/[dec]. Error is [chars]

説明 指定された ACL をポートにマップできませんでした。ACL [chars] は ACL の ID、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、2 番めの [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-ACL_MAPVLANFAIL: Unable to map ACL [chars] to VLAN [dec]. Error is [chars]

説明 指定された ACL を VLAN (仮想 LAN) にマップできませんでした。ACL [chars] は ACL の ID、[dec] は VLAN 番号、2 番めの [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-ACL_UNMAPPORTFAIL: Unable to unmap ACL [chars] to port [dec]/[dec]. Error is [chars]

説明 指定された QoS ACL マップをポートから消去できませんでした。ACL [chars] は ACL の ID、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、2 番めの [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-ACL_UNMAPVLANFAIL: Unable to unmap ACL [chars] to VLAN [dec]. Error is [chars]

説明 指定された QoS ACL マップを VLAN から消去できませんでした。ACL [chars] は ACL の ID、[dec] は VLAN 番号、2 番めの [chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-CLRSTATSFALL: Unable to clear statistics on port [dec]/[dec]

説明 システムは、統計情報をポートから削除できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETCOSCOSMAPFAIL: Unable to get CoS to CoS map on [dec]/[dec]. Error code [dec]

説明 ポートの Class of Service (CoS; サービス クラス) 間マップを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号/ポート番号です。2番めの [dec] はエラー コード番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETCOSMAPFAIL: Unable to get CoS map on [dec]/[dec]

説明 ポートの CoS マップを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETDEFCSFAIL: Unable to get default CoS on port [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートのデフォルト CoS を読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETIPPRECMAPENFAIL: Unable to get enable/disable mapping of IP precedence to CoS

説明 フォワーディング エンジンから IP precedence/CoS マッピングのイネーブルまたはディセーブル ステートを読み取ることができませんでした。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETIPPRECMAPFAIL: Unable to get mapping of IP precedence to CoS

説明 IP precedence/CoS マッピングをフォワーディング エンジンから読み取ることができませんでした。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETPORTERRSTATSFAIL: Unable to retrieve QoS error statistics for port [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートのエラー統計を読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETRXQSIZEFAIL: Unable to get receive queue sizes on [dec]/[dec]. Error code [dec]

説明 スイッチが、特定ポートのキュー サイズの絶対値およびパーセント値を照会できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] はエラー コードメッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-GETRXTHRFAIL: Unable to get receive threshold on [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートの受信スレッシュホールドを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETTRUSTFAIL: Unable to get trust type on [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートのトラスト タイプを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETTXQSIZEFAIL: Unable to get transmit queue sizes on [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートの送信キュー サイズを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETTXTHRFAIL: Unable to get transmit threshold on [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートの送信スレッシュホールドを読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-GETWRRFAIL: Unable to get WRR on [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートの Weighted Round-Robin (WRR; 重み付きラウンドロビン) の重み (ウエイト) を読み取ることができませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-NOMEM: QoS: ERROR - Unable to allocate memory for SCP message to [dec]/[dec]

説明 メモリ不足で QoS を設定できませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 システムをリセットします。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-POLICER_AGGFULL: Out of Aggregate policers. Failed to allocate [chars]

説明 スイッチはソフトウェアで集約ポリサーを割り当てることができませんでした。ソフトウェアにより、ハードウェアで保存できるより多くのポリサー定義を保存できるので、実際にハードウェアにマッピングするポリサーを選択できます。ハードウェアでポリサーを作成する実際のプロセスは、対応する ACL がインターフェイスにマップされた時点で実行されます。[chars] はポリサーです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-POLICER_AGGUFFAIL: Aggregate [chars] - Microflow [chars] combination is not available at this time.

説明 設定する ACL で使用する集約ポリサーとマイクロフロー ポリサーの組み合わせがハードウェアでサポートされていません。最初の [chars] は集約名、次の [chars] はポリサー名です。

推奨処置 これはハードウェア上の制約です。対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-POLICER_HWAGGFULL: Out of Hardware Aggregate policers. Failed to allocate [chars]

説明 ハードウェアで使用できる集約ポリサー エントリが残っていません。上限は 1023 ですが、集約ポリサー エントリの利用率が低い場合はこの値より小さくなる可能性があります。[chars] はポリサーです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-POLICER_HWUFFULL: Out of Hardware Microflow policers. Failed to allocate [chars]

説明 ハードウェアで使用できるマイクロフロー ポリサー エントリが残っていません。上限は 64 ですが、これより少なくなる場合があります。[chars] はポリサーです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-POLICER_UFFULL: Out of Microflow policers. Failer to allocate [chars]

説明 ソフトウェアがマイクロフロー ポリサーをすべて消費しています。現在の上限は 64 です。[chars] はポリサーです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-3-QOS_CONFIG_MISMATCH: QoS: Unable to configure module [dec], NVRAM QoS configuration incompatible, module is disabled

説明 無効な QoS NVRAM 設定が検出されました。これは、レイヤ 2 スイッチング エンジンとレイヤ 3 スイッチング エンジンの交換が原因になっている可能性があります。[dec] はエラーが発生したモジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SCPERR: SCP failure on message with opcode 0x[hex], errcode=[dec]. Error Code [dec]

説明 モジュールの QoS 設定エラーが発生しました。opcode [hex] はオペレーション コード値、error code [dec] はエラー コード値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。テクニカル サポートの担当者に、メッセージに示されたオペレーション コード値およびエラー コード値を伝える必要があります。

エラー メッセージ QOS-3-SETCOSCOSMAPFAIL: Unable to set CoS to CoS map on module [dec]. Error code [dec]

説明 モジュール ポートで所定の CoS 間マップを設定できませんでした。[dec] はモジュール番号、次の [dec] はエラー コード番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETCOSMAPFAIL: Unable to set CoS map on module [dec]

説明 モジュールで所定の CoS マップを設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETDEFCSFAIL: Unable to set default CoS on port [dec]/[dec]

説明 モジュール ポートで所定のデフォルト CoS を設定できませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETFLOWMASKFAIL: Unable to set flow mask to [chars]

説明 システムはフロー マスクを設定できませんでした。[chars] はシステム ID です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETIPPRECMAPEFAIL: Unable to enable/disable mapping of IP precedence to CoS

説明 フォワーディング エンジンで、IP precedence/CoS マッピング機能をイネーブルまたはディセーブルにできませんでした。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETIPPRECMAPEFAIL: Unable to set mapping of IP precedence to CoS

説明 フォワーディング エンジンで、所定の IP precedence/CoS マッピング機能を設定できませんでした。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETPORTQOSTYPEFAIL: Unable to set port qos type on port [dec]/[dec]. Error code [dec]

説明 特定のポートで QoS タイプを設定できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] はエラー コード番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETRXQSIZEFAIL: Unable to set receive queue sizes on module [dec]. Error code [dec]

説明 モジュールで所定の受信キュー サイズを設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETRXTHRFAIL: Unable to set receive threshold on module [dec]

説明 モジュールで所定の受信スレッシュホールドを設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETTRUSTFAIL: Unable to set trust type on [dec]/[dec]

説明 モジュールで所定のトラスト タイプを設定できませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETTXQSIZEFAIL: Unable to set transmit queue sizes on module [dec]

説明 モジュールで所定の送信キュー サイズを設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETTXTHRFAIL: Unable to set transmit threshold on module [dec]

説明 モジュールで所定の送信スレッシュホールドを設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-3-SETWRRFAIL: Unable to set WRR on module [dec]

説明 モジュールで WRR に所定の重み (ウエイト) を設定できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールのハードウェアに問題がないかどうかを確認します。問題が特定できない場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

QOS-4

エラー メッセージ QOS-4-DEVICE_CDP_DIS: Port [dec]/[dec] configured for trust-device with CDP disabled

説明 trust-device に設定されているポート上で Cisco Discovery Protocol (CDP) がイネーブルになっていません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 CDP をイネーブルにします。

エラー メッセージ QOS-4-DEVICE_UNTRUSTED: Trust-Device feature enabled on port(s) [chars] with port trust set to untrusted

説明 ポートが untrusted に設定されおり、そのポートで trust-device 機能がイネーブルになっています。ポートの設定が untrusted に設定されている場合、ポート上の機能は動作しません。[chars] はモジュール番号とポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ QOS-4-HASWITCH: WARNING - QoS runtime information may be inconsistent for a short period after switchover

説明 スイッチオーバー後の短時間に QoS 関連コマンドを使用すると、現在のハードウェア設定と一致しない値が表示される可能性があります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

QOS-5

エラー メッセージ QOS-5-COSMUTATED: Output codepoint mutation performed on Vlan Mapped Id [dec]. Outputted scheduling based on the mutated CoS.

説明 スケジューリングで使用する CoS は変換された DSCP に基づいています。QoS ドメイン内の優先順位付けには、変換された DSCP ではなく、現在のドメインの DSCP を使用する必要がありますが、ハードウェアはこれを実行できません。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-DEVICE_DETECTED: ciscoipphone detected on port [dec]/[dec], port set to [chars]

説明 ポートの信頼状態が変更されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はポートの新しい信頼タイプ (コンフィギュレーションで指定されたもの) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-DEVICE_LOST: ciscoipphone no longer detected on port [dec]/[dec], port set to untrusted

説明 ポート上ですでにイネーブルに設定されている機能が、そのポート上で検出されなくなりました。ポートが切り離され、ポートの信頼状態が変わったことを示しています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-DISABLED: QoS has been disabled on switch

説明 QoS 機能がディセーブルになりました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-ENABLE_BRIDGEPOL: Bridged microflow policing must be enabled in order for policing to occur for multicast flows.

説明ブリッジングされたマイクロフロー ポリシングがイネーブルになったため、マルチキャストフローに対してポリシングを実行できます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-ENABLED: QoS has been enabled on switch

説明 QoS 機能がイネーブルになりました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-POLICER_DSCPMISMATCH: Mismatch in DSCP specified for aggregate policer [chars]. Mismatching DSCP=[dec]

説明 同じ集約ポリサーに2種類のDSCP値が対応付けられています。[chars]は集約ポリサー、[dec]は不一致の値です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ QOS-5-POLICER_TRSTMISMATCH: Mismatch in Trust specified for aggregate policer [chars]. Mismatching Trust = [chars]

説明 ACLの信頼値が異なる2種類のACE(アクセス制御エントリ)およびACLによって集約ポリサーが使用されています。最初の[chars]はポリサー、2番めの[chars]は一致しない信頼値です。

推奨処置 信頼値を同じに設定するか、またはACLとACEの両方を備えた集約ポリサーを使用しないようにします。

RADIUS メッセージ

ここでは、Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) メッセージについて説明します。

RADIUS-2

エラー メッセージ RADIUS-2-NOSERVERS: No Radius servers configured

説明 RADIUS はイネーブルですが、サーバが設定されていません。

推奨処置 RADIUS サーバを設定します。

エラー メッセージ RADIUS-2-SRVNORESP: Unable to contact RADIUS server

説明 RADIUS はイネーブルですが、スイッチが RADIUS サーバと通信できません。

推奨処置 スイッチから RADIUS サーバが正しくセットアップされていることを確認してください。

RADIUS-3

エラー メッセージ RADIUS-3-REQUESTSENDFAIL: Request send error, bytes sent [dec], expected [dec]

説明 パケット送信エラーが発生しました。sent [dec] は送信されたパケット数、expected [dec] は送信される予定だったパケット数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ RADIUS-3-RESPONSERECVFAIL: Response receive error, bytes received [dec], expected [dec]

説明 パケット受信エラーが発生しました。received [dec] は受信したパケット数、expected [dec] は受信する予定だったパケット数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ RADIUS-3-SENDACCTFAIL: Fail to send out accounting information to configured Radius server(s)

説明 RADIUS サーバ (1 つまたは複数) からアカウントング情報を受信しませんでした。

推奨処置 スイッチおよび RADIUS サーバが正しく設定されているかどうかを確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ RADIUS-3-SOCKETFAIL: Radius socket error

説明 ソケットを開けませんでした。リソース不足が考えられます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

RADIUS-4

エラーメッセージ RADIUS-4-RADIUS_SERVER_DNS_FIND_FAIL: Unable to contact RADIUS server, DNS is disable

説明 RADIUS サーバには、IP アドレスの代わりに名前を使用してアクセスできます。ただし、DNS サーバに到達不能なために名前を利用できない場合は、このメッセージが表示されます。

推奨処置 IP アドレスまたは別の名前を使用して RADIUS サーバにアクセスしてください。

RADIUS-5

エラーメッセージ RADIUS-5-ALLDEADSERVER: All Radius servers dead: identification [dec]

説明 システムは、いずれの RADIUS サーバとも接続を確立できませんでした。[dec] は RADIUS 要求パケットの ID 番号です。

推奨処置 ネットワーク接続を確認してください。

エラーメッセージ RADIUS-5-SERVERALIVE: Radius server [dec] alive

説明 RADIUS サーバからメッセージを正常に受信しました。[dec] は RADIUS サーバの IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

RSVP メッセージ

ここでは、Resource ReSerVation Protocol (RSVP; リソース予約プロトコル) メッセージについて説明します。

RSVP-3

エラー メッセージ RSVP-3-ATTACHFAILED: Unable to attach RSVP Acl

説明 RSVP は、Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) をインストールする Common Open Policy Service (COPS) の決定にตอบสนองして、ハードウェアに ACL を結合できませんでした。この状況が発生するのは、ダイナミック ACL に割り当てられた TCAM がいっぱいの場合、または QoS (サービス品質) モジュールや ACL マネージャ モジュールで他のエラーが発生した場合です。これら 2 つの機能について Syslog メッセージをイネーブルにすると、エラーの詳細情報が取得できます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

RSVP-4

エラー メッセージ RSVP-4-DISCARDPATH: Input Path msg discarded

説明 このメッセージが生成されるのは、受信した Path メッセージが処理前に廃棄された場合です。これは、大量の RSVP メッセージを受信し、RSVP イベント キューがほぼいっぱいになった場合に起きる可能性があります。COPS サーバがオーバーロードしている可能性があり、データベースに登録済みのフローに関する要求にตอบสนองしていません。未処理の要求数が少なくなるまで、データベースは新しいフローを受け付けません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ RSVP-4-MISSINGL2HOP: Missing or invalid NHOP_L2 in Path msg - dropping msg

説明 このメッセージが生成されるのは、ダウンストリームに転送するものとして受信した Path メッセージに、Subnet Bandwidth Manager (SBM) 仕様に基づいて入力された NHOP_L2 オブジェクトが含まれていなかった場合です。スイッチはネクスト ホップの MAC (メディア アクセス制御) アドレスが不明なので、正しい出力ポートを特定できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

RSVP-6

エラー メッセージ RSVP-6-PDPCLOSEDCONN: PDP closed connection - flushing policy

説明 COPS サーバから COPS Client Close メッセージを受信しました。この状況が発生すると、スイッチは対応する RSVP データベースをフラッシュし、インストールされているすべての ACL を切り離します。COPS サーバとの新しい接続が試行されます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ RSVP-6-PDPUP: New connection made to COPS server

説明 COPS は、スイッチから送信された COPS Client Open メッセージに対して、COPS Client Accept メッセージで応答しました。これは、アクティブ COPS 接続の存在を意味します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ RSVP-6-POLICYTTLEXPRIED: Disconnected from PDP: Policy timer expired

説明 COPS サーバとの接続が切断されました。スイッチはダウンロードしたポリシーをキャッシュに格納し、設定されている時間内に、再接続を試行します。タイマーが満了した時点で、スイッチは RSVP データベースをフラッシュし、引き続き COPS サーバとの接続を試行します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ RSVP-6-RSVPEXITING: RSVP Exiting

説明 このメッセージが生成されるのは、RSVP がディセーブルまたは QoS がディセーブルの場合です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ RSVP-6-UNKNOWNOUTPORT: Unknown output port for Path msg - flooding on VLAN

説明 このメッセージが表示されるのは、L2_NHOP オブジェクトで指定されているとおりの MAC アドレスに、対応するポートをスイッチが読み取ることができなかった場合です。このメッセージは、その VLAN (仮想 LAN) の全ポートに送信されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SECURITY メッセージ

ここでは、SECURITY メッセージについて説明します。

SECURITY-1

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_ACL_NON_IP_ACL: DOT1X: ACL [chars] is not a IP ACL

説明 RADIUS が IP ACL ではない ACL 名を送信したため、認証に失敗した場合にこのメッセージが表示されます。802.1X は、IP ACL 割り当てのみをサポートし、MAC/IPX ACL はサポートしません。[chars] は、受信した ACL 名です。

推奨処置 RADIUS が IP ACL である ACL を送信していることを確認します。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_ACL_PORT_PORTBASED_MODE: DOT1X: Port [dec]/[dec] in port based mode

説明 VLAN にマップされる VACL を RADIUS が送信しながら、802.1X ポートがセキュリティ ACL ポートベース モードになっていて、認証が失敗した場合にこのメッセージが表示されます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 ACL モードをポートベースとして設定し、RADIUS から VACL が受信される場合、802.1X ポートは無許可となります。モードを VLAN ベースに変更してください。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_BACKEND_SERVER: No Radius servers configured

説明 次の 3 つの条件のうちの 1 つが発生しました。802.1X system-auth-control がイネーブルであり、すべての RADIUS サーバが CLI (コマンドライン インターフェイス) から消去されたか、802.1X system-auth-control がイネーブルであり、RADIUS サーバが 1 つずつ削除され、プライマリ RADIUS サーバが残っていません。または、RADIUS サーバが未設定で、802.1X system-auth-control がイネーブルです。

推奨処置 set radius コマンドを使用して RADIUS サーバを設定してください。認証を行う 802.1X に対して、有効な WAP-RADIUS サーバを少なくとも 1 つ設定する必要があります。

エラー メッセージ SECURITY-1-PORT_ACL_MAPPED: DOT1X: Port [dec]/[dec] already has a user mapped ACL

説明 802.1X ポートが、Access Accept パケットの一部として ACS から ACL (アクセス制御リスト) 名を受信しましたが、ポートには別の ACL 名がすでにマップされています。802.1X は ACS から受信した ACL 名の適用に失敗し、Syslog が表示されます。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 802.1X ポートへの ACL のマップを解除します。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_PORT_DUP_IPADDR: Dot1xPort port [dec]/[dec] shutdown because of duplicate IP address [chars] on [dec]/[dec]

説明 DHCP スヌーピングは IP アドレスを別のポートに割り当てます。IP アドレス割り当ては RADIUS FIP アトリビュートによっても行われます。802.1X は、2 つのポートが同一 IP アドレスであることを検出し、2 番目のポートをシャットダウンしました。

推奨処置 2 つのポートが同一 IP アドレスになった理由を確認してください。シャットダウンされたポートは、最初のポートの IP アドレスをスプーフィングしていたものとみなされます。

エラー メッセージ SECURITY-1-PORT_PACL_MAP: DOT1X: ACL [chars] mapped successfully to port [dec]/[dec]

説明 802.1X ポートが、Access Accept パケットの一部として ACS から ACL 名を受信し、ポートにマップしました。[chars] はマップされた ACL 名、[dec] は VLAN (仮想 LAN) 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_PORT_SHUTDOWN: Dot1xPort port [dec]/[dec] shutdown because of dot1x security violation by [chars]

説明 セキュリティ違反が原因で、802.1X ポートがシャットダウンされています。たとえば、ポートがシングル ホスト モードとして設定されていて、システムがそのポート上で、許可されたポートの MAC (メディア アクセス制御) アドレスとは異なる MAC アドレスを検出した場合です。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 ポート上で許可されるホストは 1 つだけなので、ポートに接続された複数のホストを削除してください。また、`set port dot1x mod/port multiple-host` イネーブル コマンドを使用して、ポートで複数ホスト オプションをイネーブルにすることもできます。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_PORT_UNAUTHORIZED_EARL_FAILURE: Dot1xPort [dec]/[dec] unauthorized due to EARL failure while adding an entry

説明 システムは、VLAN から EARL に対してスーパーバイザ エンジンの MAC アドレスを追加できませんでした。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_PORT_VACL_DIFFERENT: DOT1X: port [dec]/[dec] already has a different ACL mapped to vlan [dec]

説明 802.1X ポートが、Access Accept パケットの一部として ACS から ACL 名を受信しましたが、VLAN には別の ACL 名がすでにマップされています。802.1X は ACS から受信した ACL 名の適用に失敗し、Syslog が表示されます。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、最後の [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 802.1X ポートへの ACL のマップを解除します。

エラー メッセージ SECURITY-1-DOT1X_PORT_VACL_MAP: DOT1X: ACL [chars] mapped successfully to vlan [dec]

説明 802.1X ポートが、Access Accept パケットの一部として ACS から ACL 名を受信し、VLAN にマップしました。[chars] はマップされた ACL 名、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-1-PORTSHUTDOWN: Port [dec]/[dec] shutdown due to [chars]

説明 そのポートに対するパケットの送信元ホストが安全ではないので、ポートはシャットダウンされました。[dec]/[dec] はシャットダウンしたポートのモジュール番号 / ポート番号、[chars] は security violation(セキュリティ違反)または no space in the forwarding engine lookup table(フォワーディングエンジン ルックアップ テーブルのスペース不足)です。

推奨処置 ホストがそのポートに対するパケットの送信元になった原因を確認してください。

SECURITY-2

エラー メッセージ SECURITY-2-DOT1X_RADIUS_SERVER_INACTIVE: No Active radius server found

説明 Dot1x Radius Keep Alive 検査機能がイネーブルであり、設定されている RADIUS サーバがないか到達可能な設定済み RADIUS サーバがありません。

推奨処置 セキュリティ機能を使用していない場合、対処は不要です。セキュリティ機能を使用している場合は、`set radius server` コマンドを使用して RADIUS サーバを設定し、Dot1x、LPIP、および Mac Authentication Bypass などのセキュリティ機能がその RADIUS サーバに到達可能であることを確認します。

SECURITY-3

エラー メッセージ SECURITY-3-DOT1X_ACL_GRPNOTFOUND: DOT1X: Group [chars] not found in Group Database - Port is unauthorized

説明 RADIUS が送信したグループがグループ データベース内に存在しません。[chars] は存在しないグループ名です。

推奨処置 グループ データベースにグループを作成して、認証をやり直してください。

エラー メッセージ SECURITY-3-DOT1X_ACL_TCAMFAIL: DOT1X: ACL Manager failed to program TCAM - Port is unauthorized

説明 TCAM テーブルがいっぱいだったか、またはそれ以外の理由で、ACL マネージャは TCAM テーブルにエントリを作成できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_FAIL_VLAN_INVALID: DOT1X: Auth fail vlan ([dec]) is non-ether for port [dec]/[dec]

説明 認証に失敗したユーザに対して設定された VLAN が無効な VLAN (たとえば、内部 VLAN またはプライベート VLAN) である場合にこのメッセージが表示されます。最初の [dec] は認証に失敗した VLAN、2 番めの [dec] はモジュール番号、3 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 認証失敗 VLAN をイーサネット VLAN に変更します。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_INACTIVE_VLAN: DOT1X: Inactive auth fail vlan ([dec]) for port [dec]/[dec]

説明 VLAN が非アクティブである (VTP データベースに存在しない) ときに認証に失敗したユーザに対して設定された VLAN にポートを移動しようとした場合、このメッセージが表示されます。最初の [dec] は認証に失敗した VLAN、2 番めの [dec] はモジュール番号、3 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 認証失敗 VLAN をイネーブルにします。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_NONETHERVLAN: DOT1X: Inactive or non-Ethernet vlan [dec] in RADIUS response

説明 アクティブでない VLAN またはイーサネット以外の VLAN が検出されました。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_PORT_NAMEFAIL: Configuring Port Name Failed, Feature not supported on ([dec]/[dec]) - Port is unauthorized

説明 ネットワーク解析モジュールのポートで、RADIUS から認証済みポート名を受信しました。ネットワーク解析モジュールのポートは、このポート名機能をサポートしていません。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 このポートから RADIUS 応答のポート名 AV ペアを削除してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_PRIVATEVLAN: DOT1X: Private vlan [dec] in RADIUS response - Port is unauthorized

説明 プライベート VLAN の RADIUS 認証に失敗しました。[dec] はプライベート VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_ACLNOTFOUND: DOT1X: Policy [chars] is not pre-configured - Port is unauthorized

説明 RADIUS がスイッチ上で未設定の ACL を送信したため、認証に失敗しました。[chars] はポリシー名です。

推奨処置 QoS (サービス品質) ACL を設定して、認証をやり直してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_ACLUNCOMMITTED: DOT1X: Policy [chars] is uncommitted - Port is unauthorized

説明 スイッチで QoS ACL が作成されましたが、コミットされていません。[chars] はポリシー名です。

推奨処置 QoS ACL をコミットし直して、認証を行ってください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_INVALIDARG: DOT1X: [chars] is an invalid argument - Port is unauthorized

説明 QoS モジュールが 802.1X から無効な引数を受信しました。認証は失敗です。[chars] は無効な引数です。

推奨処置 認証をやり直してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_NOACLATTACHED: DOT1X: Policy not attached to the interface before - Port is unauthorized

説明 システムはインターフェイスに ACL を適用できませんでした。

推奨処置 インターフェイスに別の ACL がすでに設定されていないことを確認してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_POLICYPORTBASED: DOT1X: Trying to enable vlan-based policy on the interface [dec]/[dec] - Port is unauthorized

説明 ポートにはポートベースのポリシーが設定されていますが、802.1X は QoS に VLAN ベースのポリシーを設定するように要求しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポリシーを VLAN ベースのポリシーに変更して、認証をやり直してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_POLICYSRCCOPS: DOT1X: COPS enabled on the interface - Port is unauthorized

説明 COPS がポート上でイネーブルになっているため、802.1X からポリシーが取得されません。

推奨処置 対象のポート上で COPS をオフにして、再度認証してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_POLICYVLANBASED: DOT1X: Trying to enable port-based policy on the interface [dec]/[dec] - Port is unauthorized

説明 ポートには VLAN ベースのポリシーが設定されていますが、802.1X は QoS にポートベースのポリシーを設定するように要求しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポリシーをポートベースのポリシーに変更して、認証をやり直してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_QOSNOTENABLED: DOT1X: QoS not enabled, Enable QoS for AutoQoS to work - Port is unauthorized

説明 システムで QoS をイネーブルにしないまま、QoS ポリシーをインターフェイスに適用する要求を受信しました。

推奨処置 QoS をイネーブルにして、認証をやり直してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_QOS_WAITFORCALLBACK: DOT1X: Policy [chars] is still in process of being programmed - Port is unauthorized

説明 QoS がハードウェアでポリシーのインストールを試行している際に、QoS はポリシーを設定する別の要求を受信しました。認証はエラーになるため、やり直す必要があります。[chars] はポリシー名です。

推奨処置 対処は不要です。認証は自動的に再試行されます。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_RSPANVLAN: DOT1X: RSPAN vlan [dec] in RADIUS response - Port is unauthorized

説明 RSPAN VLAN が 802.1X 対応ポートを検出しました。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_VLANINVALID: DOT1X: Invalid VLAN ID[chars] in RADIUS response

説明 システムは VTP データベースから VLAN 情報にアクセスできませんでした。または VLAN が無効です。[chars] は VLAN です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SECURITY-3-DOT1X_VVID: DOT1X: Port [dec]/[dec] vlan ([dec]) Equal to Auxiliary vlan ([dec]) received in RADIUS response - Port is unauthorized

説明 MVAP ポートとして設定されている 802.1X 対応ポートが RADIUS から VLAN を受信しました。受信した VLAN は、ポート上の補助 VLAN として設定されている VLAN と同じです。最初の [dec] は RADIUS が応答した VLAN 番号、次の [dec] は補助 VLAN 番号です。

推奨処置 RADIUS に別の VLAN を設定するか、または別の VLAN をポート上の補助 VLAN として設定してください。

SECURITY-4

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_ACL_NOT_APPLIED: DOT1X: ACL [chars] could not be applied on [dec]/[dec]

説明 802.1X が RADIUS により送信された ACL のマップに失敗し、認証も失敗した場合にこのメッセージが表示されます。[chars] は受信した ACL 名、最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号です。

推奨処置 PACL がサポートされている必要があります。Supervisor Engine 720 または互換性のある別のスーパーバイザ エンジンを使用していることを確認します。

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_PORT_NAME_TRUNCATED: DOT1X: Port name received from RADIUS is truncated

説明 認証済みポート名が最大文字数の 20 文字を超えています。

推奨処置 認証済みポート名を 20 文字以内にしてください。

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_QOS_MAP_EGRESS_VACL: DOT1X: QoS ACL [chars] mapped as Egress VACL for dot1x port [dec]/[dec]

説明 マップされている QoS ACL が出力 VACL です。出力 VACL は ACL 名と 802.1X ポート情報 (モジュール番号とポート番号) を利用します。[chars] は ACL 名、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_QOS_MAP_INGRESS_PACL: DOT1X: QoS ACL [chars] mapped as Ingress PAACL for dot1x port [dec]/[dec]

説明 マップされている QoS ACL は入力 PAACL です。入力 PAACL は ACL 名と 802.1X ポート情報 (モジュール番号とポート番号) を利用します。[chars] は ACL 名、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_QOS_MAP_INGRESS_VACL: DOT1X: QoS ACL [chars] mapped as Ingress VACL for dot1x port [dec]/[dec]

説明 マップされている QoS ACL は入力 VACL です。入力 VACL は ACL 名と 802.1X ポート情報 (モジュール番号とポート番号) を利用します。[chars] は ACL 名、最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SECURITY-4-DOT1X_RAD_NVRAM_VLAN_EQUAL: DOT1X: Port ([dec]/[dec]), RADIUS sent vlan [dec] = Port vlan [dec], "So Ignoring RADIUS vlan"

説明 ポートの管理 VLAN と RADIUS によって割り当てられた VLAN が同一です。最初の [dec] は RADIUS に割り当てられた VLAN、2 番めの [dec] は管理 VLAN です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SECURITY-4-FIREWALLVLAN: Vlan [dec] also defined on firewall module [dec]

説明 Firewall Services Module 上で VLAN が定義されています。最初の [dec] は VLAN 番号、2 番めの [dec] は Firewall Services Module 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SECURITY-5

エラー メッセージ SECURITY-5-CLEARADDRESS: [chars] cleared from secure address list for port [dec]/[dec] due to [chars]

説明 セキュア アドレス リストからアドレスが消去されました。[chars] は消去されたアドレス、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、2 番目の [chars] はアドレスが消去された理由で、age out (期限切れ) または conflict with the online module (オンライン モジュールと衝突) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DEVICE_DETECTED: ciscoipphone detected on port [dec]/[dec], Auxiliary Vlan enabled

説明 CDP 確認機能がイネーブルに設定されたシステム ポートが、Cisco IP Phone を検出しました。このとき、補助 VLAN はポート上でイネーブルになっています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DEVICE_LOST: ciscoipphone not detected on port [dec]/[dec], Auxiliary Vlan disabled

説明 CDP 確認機能がイネーブルに設定されたシステム ポートが、Cisco IP Phone が切り離されていることを検出しました。または CDP ネイバが切断されました。このとき、補助 VLAN はポート上でディセーブルになっています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_ASSIGNVLAN: VLAN [dec] assigned to Dot1x Port [dec]/[dec]

説明 VLAN が正常に割り当てられませんでした。[dec] は VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_AUTHENTICATION_FAILURE: Authentication failed for port [dec]/[dec]: port unauthorized

説明 802.1X 認証プロセスの実行中に Designated Port (DP; 指定ポート) が無許可に設定されました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_AUTHENTICATION_SUCCESS: Authentication successful for port [dec]/[dec]

説明 802.1X 認証プロセスの実行中に DP が許可に設定されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_PORT_AUTHORIZED: Port [dec]/[dec] authorized

説明 802.1X ポートが許可されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_PORT_UNAUTHORIZED: Port [dec]/[dec] unauthorized

説明 802.1X ポートが許可されていません。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-DOT1X_STATE_MACHINE_INITIALIZATION: Dot1x State Machine Reset for port [dec]/[dec]

説明 802.1X 認証ステート システムが初期化されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-5-PORTREENABLED: Port [dec]/[dec] is re-enabled after shutdown timeout

説明 ポートがシャットダウンされたあと、再びイネーブルになりました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SECURITY-7

エラー メッセージ SECURITY-7-DOT1X_AUTHENTICATOR_STATE: DOT1X: Port [dec]/[dec] is in [chars] state

説明 ポートの 802.1X オーセンティケータ (認証側) の状態を示しています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はバックエンドの状態です。オーセンティケータの状態は、disconnected (切断)、connecting (接続中)、held (保留中)、authenticating (認証中)、authenticated (認証済み)、aborting (中断)、force_auth、または force_unauth です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SECURITY-7-DOT1X_BACKEND_STATE: DOT1X: backend state for port [dec]/[dec] is [chars]

説明 ポートの 802.1X バックエンドの状態を示しています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はバックエンドの状態です。バックエンドの状態は、request (リクエスト)、response (応答)、success (成功)、fail (失敗)、timeout (タイムアウト)、finished (完了) または abort (中断) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SNMP メッセージ

ここでは、SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) のメッセージについて説明します。

SNMP-2

エラー メッセージ SNMP-2-TCPSKTOPENFAIL: Can't open TCP socket for [dec]

説明 ポートの Transmission Control Protocol (TCP) ソケットを開けません。[dec] は、TCP ポート番号です。

推奨処置 システムを再起動してください。

SNMP-3

エラー メッセージ SNMP-3-INITFAIL: Initialization failed [dec]

説明 モジュールの初期化プロセスに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 シャーシのモジュールを取り付け直してください。

エラー メッセージ SNMP-3-UDPSKTOPENFAIL: Can't open UDP socket for [dec]

説明 ポートの UDP ソケットを開けません。[dec] は、UDP ポート番号です。

推奨処置 システムを再起動してください。

SNMP-5

エラー メッセージ SNMP-5-CHASSISALARM: Chassis Alarm Trap: tmpAlarm([chars]), minorAlarm([chars]), and/or majorAlarm([chars])

説明 Chassis Alarm Trap: tmpAlarm([chars])、minorAlarm([chars])、および majorAlarm([chars]) の on および off 状態を示しています。[chars] は、on または off です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-CLEMHIGHTHRESHEXCOTRAP: port [dec]/[dec] [chars] exceeded high threshold

説明 インターフェイスのエラー カウンタ タイプの増加が、2 つの連続したサンプリングの間 の clemSamplingTimes 時間にエラー カウンタの clemThresholdHigh を超えた場合に、このメッセージが表示されます。対応する clemAction 値は、インターフェイス上で有効になります。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号、[chars] はカウンタタイプです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-CLEMLOWTHRESHEXCDTRAP: port [dec]/[dec] [chars] exceeded low threshold

説明 インターフェイスのエラー カウンタ タイプの増加が、2つの連続したサンプリングの間の clemSamplingTimes 時間にエラー カウンタの clemThresholdLow を超えた場合に、このメッセージが表示されます。最初の [dec] はモジュール番号、2番めの [dec] はポート番号、[chars] はカウンタ タイプです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-CLOCKCHANGETRAP: clock changed to [chars]

説明 システム クロックが手動で変更されました。[chars] は、新しい日付と時刻です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-COLDSTART: Cold Start Trap

説明 送信中のプロトコル エンティティが再初期化中です。エージェントの設定またはプロトコル エンティティの実装が変更された可能性があります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-CLTCDROPEXCEEDTRAP: Tunneling port [dec]/[dec] exceeded [chars] drop threshold

説明 所定のプロトコルのインターフェイス上で cltcTunnelDropThreshold を超過した場合にこのメッセージが表示されます。インターフェイスは、所定のプロトコルの PDU の廃棄を開始します。最初の [dec] はモジュール番号、2番めの [dec] はポート番号、[chars] はトンネリング プロトコルです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-CLTCSHUTEXCEEDTRAP: Tunneling port [dec]/[dec] exceeded [chars] shutdown threshold

説明 所定のプロトコルのインターフェイス上で cltcTunnelShutdownThreshold を超過した場合にこのメッセージが表示されます。インターフェイスは、所定のプロトコルに対してシャットダウンします。最初の [dec] はモジュール番号、2番めの [dec] はポート番号、[chars] はトンネリング プロトコルです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-ENTITYMODTRAP: Module [dec] status changed to [chars]

説明 cefcModuleOperStatus 値の変更が検出されました。[chars] は、変更後のステータスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-ENTITYPOWERTRAP: Status changed to [chars]

説明 フィールド交換可能デバイスに電源ステータスの変更が検出されました。[chars] は、変更後の電源ステータスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-ENTITYTRAP: Entity Mib last change time [dec] ticks

説明 entLastChangeTime MIB (管理情報ベース) オブジェクトの値が変更されました。[dec] は、このイベントの発生時点での sysUpTime の値です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-ENVMONFANTRAP: Environmental Monitor Fan Trap: [chars]

説明 ファントレイに問題が検出されました。[chars] は、通知メッセージです。

推奨処置 ファントレイを交換してください。

エラー メッセージ SNMP-5-ENVMONPOWERTRAP: Environmental Monitor Redundant Power Supply Trap: [chars]

説明 冗長電源装置に問題が検出されました。[chars] は、通知メッセージです。

推奨処置 障害のある電源装置を交換してください。

エラー メッセージ SNMP-5-ENVMONSHUTDOWNTRAP: Environmental Monitor Shutdown Trap: The system shutdown due to [chars], the sensor index is [dec]

説明 環境モニタが検出した環境条件によって、システムがシャットダウンされました。[chars] はシャットダウンの理由、[dec] はセンサの検出値です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-ENVMONTEMPTRAP: Environmental Monitor Temperature Trap

説明 システムのシャーシ温度に問題があります。[chars] は、通知メッセージです。

推奨処置 シャーシの周囲温度を確認してください。また、シャーシの通気が妨げられていないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ SNMP-5-FRUINSERTEDTRAP: [chars] inserted

説明 モジュール、電源装置、またはファントレイがシャーシに装着されました。[chars] は、取り外されたFRUです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-FRUREMOVEDTRAP: [chars] removed

説明 モジュール、電源装置、またはファントレイがシャーシから取り外されました。[chars] は、取り外された FRU です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-LELALARMTRAP: FDDI Ler Alarm [[chars]] Trap for [[dec]/[dec]]

説明 FDDI-SMT73-MIB (RFC 1512) の fddimibPORTLerFlag オブジェクトにより、ポートの 1 つがオンまたはオフに設定されました。[[chars]] は on または off、[[dec]/[dec]] はモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-LINKTRAP: Link [chars] Trap -- ifName=[chars]

説明 指定した名前によるリンクトラップのタイプを示しています。最初の [chars] は up または down、2 番目の [chars] は sc0/sl0/mNo-pNo です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-MODAUTOSHUTTRAP: Auto shutdown trap for module [dec]

説明 スイッチングモジュールが自動シャットダウン機能によってシャットダウンされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-MODULETRAP: Module [dec] ([chars]) Trap

説明 モジュールトラップのタイプを示しています。[dec] はモジュール番号、([chars]) は up または down です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-NEWROOTTRAP: New Root Trap for VLAN [[dec]]

説明 スパニングツリーに新しいルートが存在しています。[[dec]] は、VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-RFPROGRESSIONTRAP: Active supervisor module in [chars] state, Standby supervisor module in [chars] state

説明 アクティブスーパーバイザエンジンおよび冗長スーパーバイザエンジンの現在のスタンバイステートを示しています。最初の [chars] はアクティブスーパーバイザエンジンの現在のステート、2 番目の [chars] は冗長スーパーバイザエンジンの現在のスタンバイステートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-RFWACTTRAP: Supervisor module switch over caused by [chars]

説明 冗長フレームワーク モニタにより、スーパーバイザ エンジンのスイッチオーバーが検出されました。[chars] は、スイッチオーバーの理由です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-RPTHEALTHTRAP: Repeater health trap:rptrOperStatus([dec],[dec])=[chars]

説明 リピータ ヘルス トラップ rptrOperStatus のステータスを示しています。[dec],[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] は other、ok、rptrFailure、groupFailure、portFailure、または generalFailure のいずれかです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-RPTRESETTRAP: Repeater reset trap:rptrOperStatus([dec],[dec])=[chars]

説明 リピータ リセット トラップ rptrOperStatus のステータスを示しています。[dec],[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] は other、ok、rptrFailure、groupFailure、portFailure、または generalFailure のいずれかです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-SNMPAUTHFAIL: Authentication failed for message from [chars]

説明 受信した SNMP メッセージが正しく認証されていません。[chars] は、メッセージの送信元です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-STPXTRAP: STP Extension Inconsistency vlan [dec] port [[dec/dec]] ([chars])

説明 Spanning Tree Protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) により、VLAN の不一致が検出されました。[dec] は VLAN 番号、[[dec]/[dec]] はモジュール番号 / ポート番号、([chars]) は検出された不一致です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-STPXTRAPROOT: STP Extension Root Inconsistency vlan [dec] port [dec]/[dec] ([chars])

説明 スパニングツリー インスタンスのポートが、ルートまたはループの不一致状態に参加した、または不一致状態から脱退しました。[dec] は VLAN 番号、[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、([chars]) はエラー メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-TOPOTRAP: Topology Change Trap for VLAN [[dec]]

説明 設定済みポートがラーニング ステートからフォワーディング ステートへ、またはフォワーディング ステートからブロッキング ステートへ移行しました。[[dec]] は、VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-5-WARMSTART: Warm Start Trap

説明 冗長スーパーバイザ エンジンに制御が移行しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SNMP-6

エラー メッセージ SNMP-6-SUBAGENTCONN: Subagent [dec] [chars]

説明 サブエージェントの接続ステータスを示しています。[dec] はサブエージェント番号、[chars] は other、OK、rptrFailure、groupFailure、portFailure、または general Failure のいずれかです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-SUBAGENTDIS: Disconnect Subagent [dec], [chars]

説明 サブエージェントが切断されました。[dec] はサブエージェントのインデックス、[chars] は切断の理由です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-SUBAGENTTIMEOUT: Subagent [dec] Timeout, drop connection

説明 サブエージェントとの通信中にマスター エージェントのタイムアウトが発生し、サブエージェントが切断されました。[dec] は、サブエージェントのインデックスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-TCPSKTCLOSE: TCP socket [[dec]] closed

説明 指定した TCP ソケットが閉じました。[[dec]] は、TCP ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-TCPSKTOPEN: TCP socket [[dec]] opened

説明 指定した TCP ソケットが開きました。[[dec]] は、TCP ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-UDPSKTCLOSE: UDP socket [[dec]] closed

説明 指定した UDP ソケットが閉じました。[[dec]] は、UDP ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SNMP-6-UDPSKTOPEN: UDP socket [[dec]] opened

説明 指定した UDP ソケットが開きました。[[dec]] は、UDP ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SNMP RMON メッセージ

ここでは、Remote Monitoring (RMON) 用の SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) メッセージについて説明します。

SNMP-5

エラー メッセージ SNMP-5-RMONDISFAIL: Rmon Disable is progress, In another session

説明 Telnet セッションで RMON のディセーブル化を試みたとき、別の Telnet セッションで RMON のディセーブル化が実行中です。

推奨処置 しばらく待ってから、RMON のディセーブル化を試みてください。何度試みても、このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-RMONENFAIL: Rmon Enable is progress, In another session

説明 Telnet セッションで RMON のイネーブル化を試みたとき、別の Telnet セッションで RMON のイネーブル化が実行中です。

推奨処置 しばらく待ってから、RMON のイネーブル化を試みてください。何度試みても、このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-RMONNOALARM: Alarm Index [dec] is Not Saved

説明 指定したインデックスのアラーム エントリが NVRAM (不揮発性 RAM) に保存されていません。[dec] はアラーム エントリのインデックスです。

推奨処置 MIB Object Identifier (OID; オブジェクト ID) の長さが 18 以下であるオブジェクトに、エントリのアラーム変数を設定してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-RMONNOMEM: No memory for ControlEntry

説明 メモリがいっぱいで、新しい RMON テーブルをインストールできません。

推奨処置 既存の RMON エントリの一部を削除し、メモリを解放してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-RMONNOSCP: Out of RMON ScpUsage

説明 RMON の ScpUsage テーブルがいっぱいです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-TABLEFULL: [chars] Table is Full

説明 指定したテーブルがいっぱいです。[chars] は history (ヒストリ)、alarm (アラーム)、または event (イベント) テーブルです。

推奨処置 既存の RMON エントリの一部を削除し、メモリを解放してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SNMP-5-UPDATENVRAM: UpdateNvram() failed: blockno is [dec]

説明 指定したブロックの NVRAM 設定の更新に失敗しました。[dec] は NVRAM ブロックです。

推奨処置 メモリ不足の可能性があります。show version コマンドを入力して、正しいバージョンが実行されているかどうかを確認してください。必要に応じて、メモリの一部を解放してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

SPANTREE メッセージ

ここでは、Spanning Tree Protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) のメッセージについて説明します。

SPANTREE-2

エラー メッセージ SPANTREE-2-BPDU_SKEWING: BPDU skewed with a delay of [dec] seconds (max_age/2)

説明 Multi Instance Spanning Tree Protocol (MISTP) の実行中に、1 つまたは複数の VLAN (仮想 LAN) またはインスタンスの Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) に、max_age/2 の長さを超えるスキュー (到達遅延) が発生しました。

推奨処置 対処は不要です。スキューが検出された VLAN を判別するには、show spantree sum novlan コマンドを使用してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-CHNMISCFG: STP loop - channel [dec]/[chars] is disabled in vlan [dec]

説明 EtherChannel のタイプ設定 (auto/desirable/on) が不正である可能性を示しています。チャンネル設定が不正な場合、スパニングツリー ループが発生する原因になります。[dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-CHNMISCFG2: BPDU source mac addresses: [chars], [chars]

説明 このメッセージは、SPANTREE-2-CHNMISCFG メッセージが表示されたあとで表示されます。チャンネル エラーの原因となった STP BPDU の送信元 MAC アドレスを示しています。[chars],[chars] は、BPDU の送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-L2LOOP: Loop detected on Spanning Tree disabled VLAN [dec]. Port [dec]/[dec] disabled

説明 ディセーブルの VLAN 上でループエラーが検出され、ポートがシャットダウンされました。VLAN [dec] は VLAN 番号、[dec]/[dec] は障害ポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARDBLOCK: No BPDUs were received on port [chars] in [chars] [dec]. Moved to loop-inconsistent state

説明 単方向リンク障害、またはブリッジ障害により、BPDU がポート上で受信されませんでした。ループを防止するために、ポートはループ ガードによりブロックされています。最初の [chars] はモジュール / ポート インスタンス、2 番めの [chars] は VLAN インスタンス、[dec] は VLAN 番号 / インスタンス番号です。

推奨処置 このポートに接続しているブリッジを調べ、リンクのテストを行って、単方向障害が発生していないかどうかを確認してください。また、連続する BPDU 間の遅延が大きすぎると、このイベントが発生することがあります。この場合には、次の BPDU が到達した時点でポートステートが回復するので、対処は不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARDUNBLOCK: Port [chars] restored in [chars] [dec]

説明 ポートのブロック状態が解除されました。最初の [chars] はモジュール / ポート インスタンス、2 番めの [chars] は VLAN インスタンス、[dec] は VLAN 番号 / インスタンス番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-2-MAPCONFLICTEND: conflict resolved for vlan [dec]. Prepare to enter instance [dec]

説明 既存の不整合が解決しました。転送遅延のあと、VLAN はインスタンスを開始します。最初の [dec] は VLAN 番号、2 番めの [dec] はこの VLAN を要求した最後のインスタンスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-2-MAPCONFLICTSTART: vlan [dec] conflicting. Leaving instance [dec].

説明 異なる MISTP インスタンスに関連付けられた 2 つ以上の BPDU が、インスタンスの一部として同じ VLAN を要求しています。不整合が解決するまで、VLAN はブロックされます。最初の [dec] は VLAN 番号、2 番めの [dec] はこの VLAN を要求した最初の MISTP インスタンスです。

推奨処置 1 つのインスタンスだけが VLAN にマップされるように、ネットワーク上の MISTP を再設定してください。VLAN を要求しているスイッチを判別するには、`show spantree conflict` コマンドを使用します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-MST_CHOP_MREC: Rcvd malformed MST bpdu on [dec]/[dec] (payload len [dec])

説明 受信 MST BPDU のサイズが正しくないため、BPDU が切り捨てられる可能性があります。この場合には、IST ポーションまたは mrecord のいずれかが切り捨てられます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号、3 番めの [dec] はイーサネット ヘッダーを含む受信された BPDU の実際の長さです。

推奨処置 MST BPDU のサイズを確認し、切り捨てられるどうかを判別します。必要に応じて修正します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-MSTREG_CHANGE: Port [dec][dec] moved from [chars]

説明 指定されたポートが、バウンダリまたは内部ポートになりました。ポートは、異なるリージョン設定（たとえば「内部からバウンダリへ」）の MST BPDU、または同一リージョン設定（たとえば「バウンダリから内部へ」）の MST BPDU を受信しました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はポート番号、[chars] はリージョンです。

推奨処置 変更を認識している場合は、対処は不要です。そうでない場合は、リージョン設定を確認してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PORTADD_FAILNOMEM: [dec]/[dec] in [dec] malloc fail ([chars]) not add STP

説明 システムのメモリ不足により、指定した VLAN へのポートの追加に失敗しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、([chars]) はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PORTUNBLK: Unblock previously inc port [dec]/[chars] on vlan [dec]

説明 ポート タイプまたは VLAN の不一致によりブロックされていたポートのブロック状態が解除されました。[dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、2 番目の [dec] は VLAN 番号です。このメッセージはまた、ポート上の既存の不一致がクリアされ、さらに他の不一致が検出されなかったことを意味します。

推奨処置 ポートは標準のスパニングツリー ステートになります。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PVSTSIM_FAIL: Superior PVST BPDU rcvd on vlan [dec] port [chars], from [dec]-[chars] invoking root-guard to block port

説明 VLAN ポートがルートから上位 BPDU を受信したため、ルート ガードによってポートがブロックされました。vlan [dec] は VLAN 番号、[chars] はポート ID、[dec]-[chars] はルート ID です。

推奨処置 システム設定のブリッジ プライオリティまたはスパニングツリー モードを確認し、使用するトポロジーに適した対処を行ってください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARDBLOCK: Port [chars] tried to become non-designated in [chars] [dec]. Moved to root-inconsistent state

説明 ルート ガードがイネーブルであるポートが上位 BPDU を受信し、ポートの役割が指定ポートからルートまたはブロッキングポートに移りました。[chars] はポート番号（チャンネルポートのリスト）2 番目の [chars] は Per VLAN Spanning Tree+ (PVST+) 実行中であれば VLAN、MISTP 実行中であれば instance、[dec] は VLAN 番号またはインスタンス番号です。

推奨処置 最初の [chars] に示されたポートが下位 BPDU を受信するように、リンク他端のスイッチ上の STP を再設定してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARDUNBLOCK: Port [chars] restored in [chars] [dec]

説明 リンク他端のスイッチからの上位 BPDU の送信が停止され、ルート不一致が検出されたポートが標準 STP ステートに戻りました。最初の [chars] はポート番号 (チャンネルポートのリスト)、2 番目の [chars] は PVST+ 実行中であれば VLAN、MISTP 実行中であれば *instance*、[dec] は VLAN 番号またはインスタンス番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RX_1QNON1QTRUNK: Rcvd 1Q-BPDU on non-1Q-trunk port [chars] vlan [dec] from [chars]

説明 非 1Q トランキング (ISL) ポートが、受信 VLAN 上で最低 1 つの 1Q タグ付きスパニングツリー BPDU フレームを受信しました。[chars] はポート番号、[dec] は VLAN 番号、2 番目の [chars] は BPDU の送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 非 1Q トランキング ポートを 1Q トランキング ポートに変更するか、ピアの 1Q トランキング ポートを対応する非 1Q トランキング ポートに変更してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RX_1QNONTRUNK: Rcvd 1Q-BPDU on non-trunk port [dec]/[dec] vlan [dec] from [chars]

説明 非トランキング ポートが、受信 VLAN 上で最低 1 つの 1Q タグ付きスパニングツリー BPDU フレームを受信しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番目の [dec] は VLAN 番号、[chars] は BPDU の送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 非トランキング ポートを 1Q トランキング ポートに変更するか、ピアの 1Q トランキング ポートを非トランキング ポートに変更してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RX_1QPVIDERR: Rcvd pvid_inc BPDU on 1Q port [dec]/[dec] vlan [dec] from [chars]

説明 1Q トランキング ポートが、送信側 VLAN ID が受信ポートの VLAN ID と一致しない、1Q タグ付きスパニングツリー BPDU フレームを最低 1 つ受信しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番目の [dec] は VLAN 番号、[chars] は BPDU の送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 受信ポートの VLAN ID をピアポートと同じ VLAN ID に変更するか、ピアポートの VLAN ID を受信ポートと同じ VLAN ID に変更してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RX_BPDUGUARD: Received BPDU on bpdu guard enabled port. Disabling [chars]

説明 スイッチ上でスパニングツリー BPDU ガード機能がイネーブルに設定され、ポートが別のブリッジから BPDU を受信しました。[chars] はモジュール / ポート番号です。

推奨処置 PortFast がイネーブルの場合、またはデフォルトで PortFast がグローバルにイネーブルに設定されている場合には、ポートの PortFast をディセーブルにしてください。ポート上で BPDU ガードがイネーブルに設定されている場合は、そのポートの BPDU ガードをいったんディセーブルにし、再びイネーブルにしてください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RX_BLKPORTPVID: Block [dec]/[dec] on rcving vlan [dec] for inc peer vlan [dec]

説明 BPDU の受信 VLAN 上でトラフィックを受信しないように、ポートがブロックされています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番めの [dec] は受信 VLAN 番号、4 番めの [dec] はピアの VLAN 番号です。

推奨処置 受信ポートの VLAN ID をピアポートと同じ VLAN ID に変更するか、ピアポートの VLAN ID を受信ポートと同じ VLAN ID に変更してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-SWOVER_TOOLONG: Switchover took too much time. All STP ports restarted

説明 スイッチオーバー プロセスを完了するまでに 4 秒を越える時間がかかりました。その結果、すべての STP ポートが再起動されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-2-TX_BLKPORTPVID: Block [dec]/[dec] on xmtting vlan [dec] for inc peer vlan

説明 送信 VLAN から BPDU によるトラフィックを受信しないように、ポートがブロックされています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番めの [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 受信ポートの VLAN ID をピアポートと同じ VLAN ID に変更するか、ピアポートの VLAN ID を受信ポートと同じ VLAN ID に変更してください。ポートは、pvid-inconsistent ステータスに設定されています。

SPANTREE-3

エラー メッセージ SPANTREE-3-EVACT_NOTREG: unexpected HA-event received by STP on the active supervisor ([dec])

説明 スパニングツリーのアクティブスーパーバイザエンジンが、未登録のイベントを受信しました。[dec] はアクティブスーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 未登録のイベントは廃棄されるので、対処は不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-3-EVREC_NOTREG: unexpected HA-event received by STP for switchover recovery ([dec])

説明 スパニングツリーが、未登録のイベントを受信しました。このイベントは、ハイアベイラビリティスイッチオーバーの実行後に受信されました。[dec] は、スーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 未登録のイベントは廃棄されるので、対処は不要です。

■ SPANTREE メッセージ

エラー メッセージ SPANTREE-3-EVSTBY_NOTREG: unexpected HA-event received by STP on the active supervisor ([dec])

説明 スパニングツリーの冗長スーパーバイザ エンジンが、未登録のイベントを受信しました。[dec] は冗長スーパーバイザ エンジンの番号です。

推奨処置 未登録のイベントは廃棄されるので、対処は不要です。

SPANTREE-4

エラー メッセージ SPANTREE-4-UFAST_BRREGFAIL: Uplinkfast unable to register Ibipc port

説明 UplinkFast 機能が、一部のギガビット イーサネット モジュールで動作していない可能性があります。

推奨処置 テクニカル サービス担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-4-UFAST_MGETFAIL: Uplinkfast unable to get mbuf

説明 UplinkFast の処理でメモリ バッファを使用できませんでした。一部または全ステーションで、高速コンバージェンスが実行されない可能性があります。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-4-UFAST_QFULL: Uplinkfast task does not exist or queue full

説明 ポートのフォワーディング ステータスの変更通知に失敗しました。一部の VLAN 内のすべてのエンドステーションで、高速コンバージェンスが実行されません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

SPANTREE-5

エラー メッセージ SPANTREE-5-MSTCONFIG_COMMIT: Changes to MST Configuration (Name: [chars] Revision [dec]) are saved

説明 新しい Multiple Spanning Tree (MST) 設定が、エディット バッファから NVRAM に正しく保管されました。[chars] はファイル名、[dec] はファイルのリビジョン番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-5-MSTCONFIG_ROLLBACK: new mst configuration made by [chars] are discarded

説明 ユーザがエディット バッファにアクセスし、新しい設定を廃棄しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SPANTREE-5-MSTWITH_NEWCONFIG: MST spanning trees are restarted with the new configuration

説明 スパニングツリー モードが MST の場合、MST スパニングツリーが、NVRAM に保管された新しい設定で再起動します。このメッセージは、MSTCONFIG_COMMIT メッセージの表示後に自動的に表示されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SPANTREE-5-PORTADD_FAILNONOPER: Port [dec]/[dec] in [dec] not up ([chars]) not added to STP

説明 ポートがアクティブでないために、特定の VLAN 上のポートがスパニングツリーに追加されませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、([chars]) はエラーメッセージです。

推奨処置 ポートの再イネーブル化を試行してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SPANTREE-5-PORTADD_FAILTRNONOPER: Port [dec] in [dec] not up - not added to STP

説明 ポートが動作していないために、特定の VLAN のポートが STP に追加されませんでした。Port [dec] は追加されなかったポート番号、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 ポートをいったんディセーブルにし、再びイネーブルにしてください。

エラーメッセージ SPANTREE-5-PORTDEL_FAILNOTFOUND: [dec]/[dec] in vlan [dec] not found ([chars])

説明 削除を指定したポートがスパニングツリー データベースに存在しませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、([chars]) は削除を開始したタスクの ID です。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

エラーメッセージ SPANTREE-5-PORTDEL_FAILOUTRANGE: [dec]/[dec] - vlan [dec] out of range ([chars])

説明 ポート VLAN が有効範囲外だったために、削除を指定したポートが削除されませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、([chars]) は削除を開始したタスクの ID です。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

エラーメッセージ SPANTREE-5-PORTLISTEN: port [dec]/[chars] state in vlan [dec] changed to Listening

説明 VLAN の特定ポートのステートが、リスニング ステートに移行しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-5-ROOTCHANGE: Root changed for Vlan [dec]: New root port [dec]/[dec]. New Root mac address is [chars]

説明 指定したスパンニングツリー インスタンスに、新しいルート ポートまたは新しいルートブリッジが選択されました。最初の [dec] はスパンニングツリー インスタンスを識別する VLAN、2 番目の [dec]/[dec] は新しいルート ポートのモジュール番号 / ポート番号、[chars] は新しいルートブリッジの MAC アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-5-TR_PORTLISTEN: trcrf [dec] in trbrf [dec] changed to Listening

説明 指定した Token Ring Bridge Relay Function (TrBRF; トークンリングブリッジリレー機能) の指定した Token Ring Concentrator Relay Function (TrCRF; トークンリングコンセントレータリレー機能) に関連付けられたポートが、リスニングステートに移行しました。最初の [dec] は TrCRF 番号、2 番目の [dec] は TrBRF 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-5-UFAST_PORTFWD: port [dec]/[chars] in vlan [dec] moved to Fwding (UplinkFast)

説明 VLAN の特定ポートが、UplinkFast 機能によって直接フォワーディングステートに移行しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SPANTREE-6

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTBLK: port [dec]/[chars] state in vlan [dec] changed to blocking

説明 VLAN の特定ポートのステートが、ブロッキングステートに移行しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTFWD: port [dec]/[chars] state in vlan [dec] changed to forwarding

説明 VLAN のポートステートが、フォワーディングに移行しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTLEARN: port [dec]/[chars] state in vlan [dec] changed to Learning

説明 VLAN の特定ポートのステートが、ラーニングステートに移行しました。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-RX_INFBPDU: Received inferior BPDU on port [dec]/[chars] in vlan [dec]

説明 ポートが BPDU を受信しています。これは、代表スイッチからルートスイッチへの接続が失われたことを意味します。このメッセージが表示されるのは、BackboneFast 機能がイネーブルに設定されている場合だけです。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-RX_RLQREPLY: Received RLQ response PDU on port [dec/chars] in vlan [dec]

説明 BackboneFast 機能が高速コンバージェンスを試行中です。ネットワークの一部でリンク障害が発生しています。最も可能性が高いのは、VLAN の特定ポートの障害です。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-RX_RLQREQ: Received RLQ request PDU on port [dec]/[chars] in vlan [dec]

説明 BackboneFast 機能が高速コンバージェンスを試行中です。ネットワークの一部でリンク障害が発生しています。最も可能性が高いのは、VLAN の特定ポートの障害です。[dec]/[chars] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-SSTP_PORTBLK: Block [dec]/[dec] on rcving vlan [dec] for inc trunk port

説明 受信 VLAN 上でトラフィックを受信しないように、ポートがブロックされています。これは、ピアのポートタイプの不一致によって発生する可能性のあるトラフィックループを防止するためです。ポートは、type-inconsistent ステートに設定されています。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、3 番めの [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 受信ポートの VLAN ID をピアポートと同じ VLAN ID に変更するか、ピアポートの VLAN ID を受信ポートと同じ VLAN ID に変更してください。

エラー メッセージ SPANTREE-6-TR_MSGAGEEXPIRY: Msg Age timer expired on trcrf [dec] in trbrf [dec]

説明 TrBRF 内の特定の TrCRF が、メッセージのエージタイム内に BPDU を受信しませんでした。最初の [dec] はポート番号、2 番めの [dec] は VLAN 番号です。VLAN のメッセージエージを表示するには、show spantree コマンドを使用します。

推奨処置 このメッセージが同じ VLAN およびポートについて頻繁に表示される場合、障害の可能性がります。テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

■ SPANTREE メッセージ

エラー メッセージ SPANTREE-6-TR_PORTBLK: trcrf [dec] in trbrf [dec] changed to blocking

説明 TrBRF VLAN に対応する TrCRF ポートがブロッキング ステートに移行しました。trcrf [dec] は TrCRF ポート番号、trbrf [dec] は TrBRF VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-TR_PORTFWD: trcrf [dec] in trbrf [dec] changed to forwarding

説明 TrBRF VLAN に対応する TrCRF ポートがフォワーディング ステートに移行しました。trcrf [dec] は TrCRF ポート番号、trbrf [dec] は TrBRF VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-6-TR_PORTLEARN: trcrf [dec] in trbrf [dec] changed to Learning

説明 TrBRF VLAN に存在する TrCRF ポートが、ラーニング ステートに移行しました。最初の [dec] はポート番号、2 番めの [dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SPANTREE-7

エラー メッセージ SPANTREE-7-MISTPORTDEL_ERROR: [dec]/[dec] in vlan [dec] (instance [dec]) status [dec] ([chars])

説明 スパニングツリーからポートを削除するときに、エラーが発生しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、instance [dec] は VLAN が割り当てられているインスタンス番号、status [dec] はステータス番号、[chars] はポートの削除を試行したプロセス名です。このメッセージは、必ずしもポート削除エラーを示すとは限りません。ポートが存在しない、ポートに VLAN がマップされていない、または VLAN に不整合が発生している場合にも、このメッセージが表示されることがあります。

推奨処置 ポートの状態を確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-7-MISTPORTDEL_FAILNOTFOUND: [dec]/[dec] in vlan [dec] (instance [dec]) not found ([chars])

説明 MISTP インスタンスの一部である VLAN からポートを削除しようとしたとき、そのポートが見つかりませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、instance [dec] は VLAN が割り当てられているインスタンス番号、[chars] はポートの削除を試行したプロセス名です。このメッセージは、必ずしもポート削除エラーを示すとは限りません。ポートが存在しない、ポートに VLAN がマップされていない、または VLAN に不整合が発生している場合にも、このメッセージが表示されることがあります。

推奨処置 ポートの状態を確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SPANTREE-7-MSGAGEEXPIRY: Msg Age timer expired on port [dec/chars] in vlan [dec]

説明 ポートが 20 秒間 (max_age のデフォルト値) BPDU を受信しませんでした。[dec]/[chars] はポートの識別、vlan [dec] は VLAN 番号です。ポートは、指定ポートになります。

推奨処置 このメッセージは、頻繁に表示されなければ問題はありますが、特定の VLAN について短時間に繰り返し表示される場合には、障害が発生しています。VLAN 単位のメッセージなので、繰り返し表示されても、異なる VLAN に関するメッセージであれば問題はありません。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SPANTREE-7-PORTADD_DISABLE: [dec]/[dec] in [dec] add stp - disable O[dec] E-[dec] S-[dec]

説明 ディセーブル ステートのスパンニングツリーに、VLAN 用のポートが追加されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、O[dec] は動作可能または動作不可、E-[dec] はイネーブルまたはディセーブル、S-[dec] はサポートまたは非サポートを示します。

推奨処置 ポートの状態を確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SPANTREE-7-PORTADD_FAILACTIVEVLAN: [dec]/[dec] in [dec] add fail A-[dec] ([chars])

説明 addSTP フラグが false に設定されているため、VLAN 上のポートが STP に追加されませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、A-[dec] は addSTP フラグの値、([chars]) はエラーメッセージです。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

エラーメッセージ SPANTREE-7-PORTADD_FAILAGPORT: [dec]/[dec] in [dec] agport=0 ([chars]) not add STP

説明 対応する AgPort 番号が 0 であるために、VLAN 用のポートを STP に追加できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、([chars]) はエラーメッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SPANTREE-7-PORTADD_FAILCLCFG: [dec]/[dec] in [dec] cl-cfg ([chars]) not add STP

説明 システムが設定を消去中のため、VLAN にポートを追加できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、([chars]) はエラーメッセージです。

推奨処置 ポートをいったんディセーブルにし、再びイネーブルにしてください。問題が解決されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTADD_FAILINACTIVEVLAN: [dec]/[dec] in [dec] add fail S-[dec] ([chars])

説明 VLAN が非アクティブであるために、VLAN 用のポートをスパンニングツリーに追加できませんでした。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[dec] は VLAN 番号、S-[dec] はサポートまたは非サポート、([chars]) はエラー メッセージです。

推奨処置 ポートを追加する VLAN をアクティブに設定してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTDEL_FAILEMPTYVLAN: [dec]/[dec] - vlan [dec] empty ([chars])

説明 ポートの削除を指定した VLAN に、指定のポートが含まれていません。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、([chars]) は削除を開始したタスクの ID です。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTDEL_SUCCESS: [dec]/[dec] removed from vlan [dec] ([chars])

説明 削除が正常に完了しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、([chars]) は削除を開始したタスクの ID です。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTDEL_SUCCESSFROMCHN: [dec]/[dec] in vlan [dec] deleted - channel still on ([chars])

説明 ポートを削除しましたが、ポートはチャンネルの一部であり、チャンネルはまだ有効です。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は VLAN 番号、([chars]) は削除を開始したタスクの ID です。

推奨処置 これは、デバッグ用のメッセージです。

SYS メッセージ

ここでは、システム信号メッセージを含む、システム (SYS) メッセージについて説明します。

SYS-0

エラーメッセージ SYS-0-CHAN_HMDIAGFAIL: Channel [dec] shutdown due to successive health-monitoring test failures

説明 チャンネル内のすべてのポート (チャンネルにはそれぞれ 8 つのポートがある) が、ヘルスマニタリング テストに 10 回失敗しました。ポートは障害モードになり、シャットダウンします。[dec] は、失敗した回数です。

推奨処置 障害モードになったポートを判別します。スイッチング モジュールをリセットしてください。スイッチング モジュールが再びオンラインになったら、障害ポートで多数のパケットが廃棄されているかどうかを判別します。さらにパケットが廃棄されている場合、コンフィギュレーションに障害があることを示しています。必要であれば、コンフィギュレーションを修正してください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-0-CKP_FLASH_CONFIGSYNCSTART:Active supervisor is synchronizing config file [chars]

説明 アクティブスーパーバイザエンジンがコンフィギュレーション ファイルを同期化しています。[chars] は、コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-0-CKP_FLASH_CONFIGSYNCFINISH:Active supervisor has synchronized config file [chars]

説明 アクティブスーパーバイザエンジンがコンフィギュレーション ファイルを同期化しました。[chars] は、コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-0-FAB_DISABLEPORT: Last switch fabric module [dec] down. Disabling all ports

説明 システムのクロスバー フォールバックが none に設定されています。この場合、最後のスイッチ ファブリック モジュールが取り外されると、ファブリック互換モジュールおよびファブリック非互換モジュールの両方で、すべてのポートがディセーブルになります。[dec] は、最後のスイッチ ファブリック モジュール番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-0-FAN_SYSTEMSHUTDOWNCHEDULED: System shutdown scheduled in [dec] min, fan tray version incompatible

説明 ファントレイソフトウェアがバージョン1で、スーパーバイザエンジンにファントレイソフトウェアバージョン2が必要な場合、このメッセージが表示されます。[dec]は、システムがシャットダウンするまでの分数です。デフォルト値は5分です。

推奨処置 debug-eng プロンプトで、set env shuttime を入力します。

エラー メッセージ SYS-0-FIFOBUS_AUTOSHUT: FIFO bus overflow error detected [dec] times in less than [dec] mins. Shutting down module [dec].

説明 スイッチングモジュールが10分以内に指定回数オーバーフローエラーになっているのに、スイッチングモジュールのFIFOスレッシュホールド値を下げた場合にこのメッセージが表示されます。スイッチングモジュールの電源が切断されます。最初の[dec]はエラーが検出された回数、2番目の[dec]は分数、3番目の[dec]はスイッチングモジュール番号です。

推奨処置 必要に応じて、手動でモジュールの電源を入れます。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-FIFOBUS_WARN: Bus FIFO overflow detected again. FIFO thresholds already set to a lower value.

説明 FIFOスレッシュホールド登録値を下げたあとにもスイッチングモジュールがFIFOオーバーフローエラーを受信する場合に、このメッセージが表示されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_ATMEXCEED: Max limit of atm/rsm card in the system exceeded

説明 システム設定が、Asynchronous Transfer Mode (ATM; 非同期転送モード)モジュールおよびRoute Switch Module (RSM; ルートスイッチモジュール)の許容最大数を超過しています。

推奨処置 リリースノートを参照し、サポートされる設定を確認してください。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_INBANDFAILURE: Module [dec] local inband failure... resetting module

説明 アクティブとスタンバイのNetwork Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ)スーパーバイザエンジンプロセッサ間で通信エラーが発生しました。エラーの原因は、ローカルスーパーバイザエンジンモジュール上の問題です。[dec]は、エラーが発生したスーパーバイザエンジンのモジュール番号です。

推奨処置 システムは、エラーが発生したスーパーバイザエンジンをリセットし、回復を試みます。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_INSTANCEBAD: Unable to assign instance for module [dec]

説明 モジュールにインスタンスが割り当てられていません。[dec]は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールが起動し、オンラインになっていることを確認してください。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-0-MOD_NOATMINFO: Unable to obtain atm information for module [dec]

説明 ATM モジュールにインスタンスが割り当てられていません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールがオンラインになっていることを確認してください。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-0-MOD_NOSLCPRESPONSE: Module [dec] SLCP not responding... resetting module

説明 スーパーバイザ エンジン プロセッサが、スーパーバイザ エンジン NMP からのリクエストに対する応答に失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールが再びエラーにならなければ、対処は不要です。エラーが解消されない場合には、スーパーバイザ エンジンを交換してください。

エラーメッセージ SYS-0-MOD_PFCMISMATCH: PFC mismatch on module [dec], disabling standby supervisor

説明 スタンバイ スーパーバイザ エンジンにインストールされた PFC バージョンが、アクティブ スーパーバイザ エンジンにインストールされたバージョンと一致しない(または互換性がない)場合に、このメッセージが表示されます。[dec] は、スタンバイ スーパーバイザ エンジンの番号です。アクティブ スーパーバイザ エンジンに、スタンバイ スーパーバイザ エンジンを ROMMON にします。

推奨処置 スタンバイ スーパーバイザ エンジンを、アクティブ スーパーバイザ エンジンにインストールされた PFC バージョンに一致するものに交換します。

エラーメッセージ SYS-0-MOD_PWRDNBADPORT: Module will be powered down, bad transceiver in port [dec]/[dec]

説明 故障した XENPAK が WS-X6704-10GE スイッチング モジュールに挿入されました。この XENPAK によりスイッチング モジュールが加熱し、温度がメジャー スレッシュホールドを超過する可能性があります。

推奨処置 XENPAK を取り外して交換してください。

エラーメッセージ SYS-0-MOD_SCPLOCALERROR: Module [dec] local SCP error detected... resetting module

説明 システムの他のモジュールとの帯域外通信に使用しているスーパーバイザ エンジン シリアル チャネルに、問題があります。[dec] は、エラーが発生したモジュール番号です。

推奨処置 システムは、スーパーバイザ エンジンをリセットし、回復を試みます。問題が解消されない場合には、スーパーバイザ エンジンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_TEMPMAJORFAIL: Module [dec] major temperature threshold exceeded

説明 モジュールの温度センサが、メジャー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。[dec] は、超過温度が検出されたモジュールのスロット番号です。

推奨処置 システムが設置されている室内の空調システムを確認し、必要に応じて温度を調節してください。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_TEMPMAJORRECOVER: Module [dec] major temperature threshold recovered

説明 モジュールの温度が、メジャー スレッシュホールド未満に低下しました。モジュールのシャットダウンは中止され、システムは標準動作に戻ります。[dec] は、モジュールのスロット番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_THERMALSHUTDOWN: Module [dec] 'shutdown' temperature threshold exceeded on CPU [dec]\n

説明 スイッチング モジュールの CPU の動作温度がスレッシュホールドを超え、シャットダウンされる可能性があります。最初の [dec] はモジュール番号、[dec]\n は CPU 番号です。

推奨処置 シャーシの通気口が妨げられていないかどうかを確認し、シャーシ内に十分な冷気を送り込んでください。

エラー メッセージ SYS-0-MOD_THERMALWARNING: Module [dec] 'warning' temperature threshold exceeded on CPU [dec]\n

説明 スイッチング モジュールの CPU の動作温度がスレッシュホールドに近づいています。最初の [dec] はモジュール番号、[dec]\n は CPU 番号です。

推奨処置 シャーシの通気口が妨げられていないかどうかを確認し、シャーシ内に十分な冷気を送り込んでください。

エラー メッセージ SYS-0-PORT_HMDIAGFAIL: Port [chars] shutdown due to [dec] consecutive health-monitoring test failures

説明 単一ポートが、diags で実行されるバックグラウンドヘルスマonitoring テストに 10 回失敗しました。ポートは障害モードになり、シャットダウンします。[chars] はポート、[dec] は失敗した回数です。

推奨処置 障害ステートになったポートを判別します。スイッチング モジュールをリセットしてください。スイッチング モジュールが再びオンラインになったら、障害ポートで多数のパケットが廃棄されているかどうかを確認します。多数のパケットが廃棄されている場合、コンフィギュレーションに問題があります。必要であれば、コンフィギュレーションを修正してください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-SUP_NO_SWMODE: Active switching mode not available, resetting standby

説明 スタンバイ スーパーバイザ エンジンが起動したあと、スイッチ モードを同じ設定にできるように、アクティブ スーパーバイザ エンジンにクエリーを試行し、使用しているファブリック スwitching モードを調べます。最初のクエリーでアクティブ スーパーバイザ エンジンが有効なスイッチング モードを返さなかった場合、スタンバイ スーパーバイザ エンジンは5 秒間待機し、再試行します。2 回めの試行も失敗した場合、スタンバイ スーパーバイザ エンジンは1 分待機して再試行します。3 回めのクエリーも失敗した場合、スタンバイ スーパーバイザ エンジンはこのメッセージを表示してリセットします。

推奨処置 スタンバイ スーパーバイザ エンジンによるリセットが続く場合には、スタンバイ スーパーバイザ エンジンを交換してください。新しいスタンバイ スーパーバイザ エンジンが繰り返しこのシステム メッセージを表示してリセットする場合、アクティブ スーパーバイザ エンジンを交換します。

エラー メッセージ SYS-0-SUP_TEMPMAJORFAIL: Supervisor in slot [dec] [chars] major temperature threshold exceeded

説明 スーパーバイザ エンジンの温度センサが、メジャー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。スーパーバイザ エンジンは、5 分が経過するとシャットダウンします。5 分以内に温度がメジャー スレッシュホールド未満に低下すれば、シャットダウンは中止されます。[dec] は超過温度が検出されたスーパーバイザ エンジンのスロット番号、[chars] はスーパーバイザ エンジン上のサブモジュール名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-SUP_TEMPMAJORRECOVER: Supervisor in slot [dec] [chars] major temperature threshold recovered

説明 スーパーバイザ エンジンの温度が、メジャー スレッシュホールド未満に低下しました。スーパーバイザ エンジンのシャットダウンは中止され、システムは標準動作に戻ります。[dec] はスーパーバイザ エンジンのスロット番号、[chars] はスーパーバイザ エンジン上のサブモジュール名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-SYS_LCPERR0:Module [dec]: Coil Mdtif Parity Error - Port # [dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 エラーが繰り返し発生する場合には、モジュールを交換してください。または、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-SYS_LCPERR0:Module [dec]: Coil Pb Rx Parity Error - Port # [dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 エラーが繰り返し発生する場合には、モジュールを交換してください。または、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-SYS_SCHERESET: Schedule reset will happen in [chars]

説明 リセットの実行が予定されています。[chars] はリセット実行までの時間で、値は2時間、1時間、30分、5分、または1分です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-SYS_TEMPMAJORFAIL: Chassis major temperature threshold exceeded

説明 シャーシの温度センサが、メジャー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。システムは、5分が経過するとシャットダウンします。5分以内に温度がメジャー スレッシュホールド未満に低下すれば、システムのシャットダウンは中止されます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-SYS_TEMPMAJORRECOVER: Chassis major temperature threshold recovered

説明 シャーシの温度が、メジャー スレッシュホールド未満に低下しました。システムの自動シャットダウンは中止され、標準動作に戻ります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-TEMP_CRITFAIL: Temp critical failure

説明 内部温度が70°C (158°F) を超えました。70°C (158°F) を超える温度が持続すると、5分後にシステムの電源が自動的に切断されます。このメッセージの対象は、スイッチの冗長スーパーバイザ エンジンだけです。

推奨処置 システムの電源を切り、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-0-TEMP_CRITOK: Temp critical okay

説明 内部温度が70°C (158°F) 未満に低下しました。このメッセージの対象は、スイッチの冗長スーパーバイザ エンジンだけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-TEMP_CRITRECOVER: Temp critical recovered

説明 内部温度が70°C (158°F) 未満に低下し、電源の自動切断が中止されました。このメッセージの対象は、スイッチの冗長スーパーバイザ エンジンだけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-0-VTT_MAJORFAIL: VTT major alarm. Two VTT modules failed

説明 3つの Voltage Termination (VTT; 電圧終端) モジュールのうち、少なくとも2つに障害が発生しています。システムを正常に稼働するには、最低2つのVTTモジュールが必要です。スイッチングパスはディセーブルになりますが、スーパーバイザエンジンにはコンソールポートからアクセスできます。

推奨処置 障害のあるVTTモジュールを交換してください。テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

SYS-1

エラー メッセージ SYS-1-CFG_ACL_DEALLOC: NVRAM full. Qos/Security ACL configuration deleted from NVRAM

説明 NVRAM (不揮発性RAM) がいっぱい、ACL (アクセス制御リスト) の設定が現在、DRAM だけに保存されています。

推奨処置 フラッシュメモリの空き容量を確保し、ACLファイルの設定をもう一度、NVRAMに保存してください。

エラー メッセージ SYS-1-CFG_CSFAIL: [chars] block checksum failed

説明 コンフィギュレーションブロックのチェックサムに失敗しました。[chars] は、ユーザまたはプロセスによって変更できるブロックタイプです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-CFG_DEALLOC: [chars] block deallocated

説明 コンフィギュレーションブロックの割り当てが解除されました。[chars] は、ユーザまたはプロセスによって変更できるブロックタイプです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-CFG_FLASH: ACL configuration moved to bootflash [chars]

説明 ソフトウェアのアップグレード実行中に、ACL設定がNVRAMに移されました。[chars] は、ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-1-CFG_FLASH_ERR: Failed to write ACL configuration to bootflash: [chars]

説明 NVRAMへのACL設定ファイルの書き込み中に、エラーが発生しました。[chars] は、ファイル名です。

推奨処置 フラッシュメモリの空き容量を確保し、ACLファイルの設定をもう一度、NVRAMに保存してください。

エラー メッセージ SYS-1-CFG_RESTORE: [chars] block restored from backup

説明 コンフィギュレーション ブロックがバックアップから回復しました。[chars] は、ユーザまたはプロセスによって変更できるブロック タイプです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-FAB_DISABLEPORTERR: Failed to disable port [dec]/[dec]

説明 set system crossbar-fallback コマンドが none に設定されている場合、最後のスイッチ ファブリック モジュールの障害またはモジュールを取り外したあとに、1 つまたは複数のモジュール ポートのディセーブル化に失敗しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-1-FAB_MODSYNCERR: Connection between switch fabric module [dec] and module [dec] failed

説明 スイッチ ファブリック モジュールとモジュールとの間で、複数の同期エラーが発生しました。複数のモジュールで同期エラーが発生している場合以外は、モジュールがリセットされるか、シャットダウンされます。複数のモジュールでエラーが発生している場合には、スイッチ ファブリック モジュールがシャットダウンされます。最初の [dec] はスイッチ ファブリック モジュール番号、2 番めの [dec] はエラーが発生したモジュール番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-1-FAB_MULTISYNCERR: Multiple fabric channel sync errors

説明 ファブリック チャンネルにエラーが発生し、再試行後もチャンネルが同期化されていません。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-1-FAB_NORESPONSE: Module [dec] not responding to switch mode change message

説明 フロースルー モードへの切り換えに失敗し、モジュールの電源が切断されました。システムがコンパクト モードまたは truncated モードの場合、最後のファブリック スイッチング モジュールが取り外されると、ファブリック チャンネル インターフェイスを搭載している全モジュールに対して、フロースルー モードへの切り換えリクエストが送信されます。初回のリクエストに応答しなかったモジュールには、リクエストが再送信されます。再び応答しなかった場合、そのモジュールの電源が切断されます。[dec] は、切り換えに失敗したモジュールの番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラーメッセージ SYS-1-FAB_SWOVER: Fabric channel errors on active switch fabric module [dec]

説明 アクティブ スイッチ ファブリック モジュールとスイッチング モジュール間に複数のエラーが発生し、すべての回復処理が実行されました。スイッチは、スタンバイ スイッチ ファブリック モジュールに切り替わります。[dec] は、スイッチ ファブリック モジュール番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラーメッセージ SYS-1-FAB_SYNCFAIL: Connection between switch fabric module [dec] and [chars] supervisor failed

説明 スイッチ ファブリック モジュールとスーパーバイザ エンジンとの間で、チャンネル エラーが発生しました。[dec] はスイッチ ファブリック モジュール番号、[chars] は冗長スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラーメッセージ SYS-1-FAB_SYNCHMISMATCH: Fabric removed during synch process. Reset the module [dec]

説明 同期プロセス中に、ファブリック チャンネル両端の2つのモジュールのうち、1つが取り外されました。[dec] は、取り外されたモジュールの番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラーメッセージ SYS-1-MOD_INVALIDSEQ: Bus asic invalid sequence occurred on module [dec] (asic=[dec], srcidx=0x[hex], seq=[dec])

説明 このメッセージは、冗長スーパーバイザ エンジンのあるシステム上でシステムの起動時に生成されます。システムが起動すると、スロット2のスーパーバイザ エンジンは、冗長スーパーバイザ エンジンとして動作できることを確認するために、すべてのモジュール上で診断テストを実行します。そのあと、このスーパーバイザ エンジンからスロット1のスーパーバイザ エンジンに制御が移行します。

移行中は、バックプレーン上でパケット転送は行われません。バックプレーン上で転送される各パケットには、シーケンス番号が関連付けられます。モジュールは、送信された最後のシーケンス番号 N を保持しています。アクティブ スーパーバイザ エンジンに制御が移行し、パケット送信が開始されたときに、シーケンス番号が N+1 で始まっていない場合、モジュールによりシーケンス エラーが検出され、このエラー メッセージが生成されます。module [dec] はエラーを検出したモジュール番号、asic=[dec] は asic 番号、srcidx=[hex] はエラー文字列、seq=[dec] はシーケンス番号です。

推奨処置 このメッセージが表示されるのは、冗長スーパーバイザ エンジンが設定されているシステムだけです。スーパーバイザ エンジンが1台だけの場合には表示されません。対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_MACBAD: Module [dec] has invalid MAC address, [chars]

説明 スーパーバイザ エンジン モジュールの MAC (メディア アクセス制御) アドレスが無効です。[dec] はモジュール番号、[chars] は remains offline(オフラインのまま)または bypass enabled(バイパスをイネーブル化)です。

推奨処置 これは単なる通知メッセージですが、スーパーバイザ エンジンの MAC アドレスがデフォルトの MAC アドレス (00-40-4b-ff-00-00) と同じである可能性があります。show mac mod_num/port_num コマンドを入力して、モジュールの MAC アドレスを確認してください。表示された MAC アドレスがデフォルトの MAC アドレスである場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_MINORFAIL: Minor problem in module [dec]

説明 モジュールがセルフテストに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールをリセットしてください。メッセージが再表示される場合には、新しいモジュールを取り付けてください。新しいモジュールの搭載後も、このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_PATHTESTFAIL: Path test failure occurred on module [dec]

説明 ローカル データ パスのテストに失敗しました。[dec] は、エラーが発生したモジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_PWRSPROMFAIL: Power mgmt sprom failure for module [dec]

説明 モジュール上でのシリアル Erasable Programmable Read-Only Memory (EPROM; 消去再書き込み可能 ROM) の読み込みに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。モジュールの電源が切断されます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_SEQERROR: Switching bus sequence error occurred on module [dec]

説明 通知モジュール上のバス ASIC が、バス シーケンス エラーを検出しました。ASIC は自動的に回復します。[dec] は、エラーを通知したモジュールの番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-1-MOD_SEQMISMATCH: Bus ASIC sequence mismatch occurred on module [dec] (asic=[dec], srcidx=0x[hex], seq=[dec])

説明 モジュール上のバス ASIC が、バス シーケンス不一致エラーを通知しました。module [dec] はエラーを通知したモジュール、ASIC [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、srcidx [hex] はヘッダー値の送信元インデックス、seq [dec] はシーケンス番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_DISABLEEPS: Rating of power supplies in redundancy not equal, power supply [dec] disabled

説明 電源装置の定格電力が一致せず、1台の電源装置がシャットダウンされました。[dec]は、シャットダウンされた電源装置の番号です。

推奨処置 シャーシ内の両方の電源装置を、同じ定格電圧にしてください。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_ENABLEEPS: Power supply [dec] enabled

説明 電源装置がイネーブルです。[dec]は、電源装置の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_IDPROMBAD: Chassis idprom data invalid

説明 シャーシのシリアル Electronically Erasable Programmable Read-Only Memory (EEPROM; 電氣的消去再書き込み可能ROM) データが無効であることを示しています。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_MACBAD: Chassis has invalid MAC address, using module MAC address

説明 シャーシのMACアドレスが無効です。

推奨処置 これは単なる通知メッセージですが、シャーシのMACアドレスがデフォルトのMACアドレス(00-40-4b-ff-00-00)と同じである可能性があります。テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_NORMPWRRMGMT: System in normal power management operation

説明 システムが標準の電力管理モードで動作しています。アクティブスーパーバイザエンジンと冗長スーパーバイザエンジンの電力要件が一致しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_OVERPWRRTING: System drawing more power than the power supply rating

説明 システムに、定格電力を超える電力が供給されています。電力管理LEDにレッドが点灯します。この状態は、システムがフル設定され、スーパーバイザエンジンに均等な電力が供給されていない場合に発生します。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-1-SYS_SCHERESETCANCEL: Schedule reset cancelled by [chars]

説明 内部エラーまたはユーザにより、予定されていたリセットが中止されました。[chars]は、ユーザまたは内部エラーです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-1-SYS_SCHEDRESETDELAY: System is not ready for reset yet. Scheduled reset will be delayed for [chars]

説明 予定されていたリセットの準備ができていないため、リセットが延期されました。[chars] は、延期時間です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SYS-2

エラー メッセージ SYS-2-CFG_FLASH_NO_FILE: ACL configuration set to flash but no ACL configuration file found

説明 ACL コンフィギュレーション ファイルがフラッシュ メモリに送信されましたが、フラッシュ メモリにファイルが保管されていません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-DTP_MODDOWN: Module Down: cfg port trunk-hw failed [dec]/[dec]

説明 モジュールがオンラインでないために、ポート トランク ハードウェアの設定に失敗しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-DTP_MODEMPTY: Module Empty: cfg port trunk-hw failed [dec]/[dec]

説明 モジュールが存在しないために、ポート トランク ハードウェアの設定に失敗しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-DTP_MODSTDBY: Module standby: cfg port trunk-hw failed [dec]/[dec]

説明 モジュールがスタンバイ モードであるために、ポート トランク ハードウェアの設定に失敗しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-DTP_SCPFAIL: SCP failure: cfg port trunk-hw failed [dec]/[dec]

説明 Switch Module Configuration Protocol (SCP) メッセージが正常に送信されなかったために、ポート トランク ハードウェアの設定に失敗しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-FAN_FAIL: Fan failed

説明 シャーシ ファンの障害を示しています。

推奨処置 ファンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-FAN_NFAIL: Fan [dec] failed

説明 ファントレイの障害を示しています。[dec] は、ファントレイの番号です。

推奨処置 ファントレイを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-FAN_NOK: Fan [dec] okay

説明 シャーシ ファントレイが再び取り付けられた、または正常な状態に戻りました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-FAN_OK: Fan okay

説明 シャーシ ファントレイが再び取り付けられた、または正常な状態に戻りました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDCPU: CPU (5sec): [dec].[dec][dec] CPU (1min): [dec].[dec][dec] Backplane: [dec].[dec][dec]

説明 5 秒間および 1 分間の CPU 使用率のパーセント値を示しています。バックプレーントラフィックのパーセント値も表示されます。3 つの [dec].[dec][dec] 変数は、すべてパーセント値です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDERROR: Module [dec] local inband error detected

説明 アクティブ Network Management Processor (NMP; ネットワーク管理プロセッサ) スーパーバイザエンジン プロセッサと冗長 NMP スーパーバイザエンジン プロセッサの間で通信エラーが発生しました。エラーの原因は、ローカル スーパーバイザエンジン上の問題です。このメッセージが表示されたあとで、一部の回復プロセスが試みられます。複数の再試行後もスーパーバイザエンジン間で通信ができない場合には、SYS-0-MOD_INBANDFAILURE メッセージが表示されます。[dec] は、エラーが発生したスーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 システムは、エラーが発生したスーパーバイザエンジンの回復を試みます。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDOK: Module [dec] inband ok

説明 スーパーバイザエンジンからモジュールへの帯域内通信が、エラーから回復しました。[dec] は、回復したモジュールの番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDRATE: Module [dec] inband rate: rx=[dec] pps, tx=[dec] pps

説明 モジュールの帯域内データ転送レートを示しています。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はデータ受信レート (パケット数 / 秒)、3 番目の [dec] はデータ送信レート (パケット数 / 秒) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDTEST: Module [dec] error detected... testing

説明 帯域内通信チャンネルでモジュールとスーパーバイザ エンジン間のエラーが検出され、テスト中です。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_INBANDTESTOK: Module [dec] test ok.

説明 モジュールの帯域内通信チャンネルのテストが正常に完了しました。冗長スーパーバイザ モジュールに障害がある可能性があります。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_NOINBANDRESPONSE: Module [dec] not responding over inband

説明 帯域内通信チャンネル上で、モジュールがスーパーバイザ エンジンのリクエストにตอบสนองしていません。エラーの原因としては、スーパーバイザ エンジンの負荷の超過、スパンニングツリー プロトコルのループ、帯域内通信チャンネル上での ACL/QoS ポリサーによるトラフィックのスロットリングまたはドロップ、ポート ASIC 同期障害、またはスイッチ ファブリック モジュール障害が考えられます。[dec] は、応答しなかったモジュールの番号です。

推奨処置 問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_NOSCPRESPONSE: Module [dec] not responding over SCP

説明 帯域外通信チャンネル上で、モジュールがスーパーバイザ エンジンのリクエストへの応答に失敗しました。帯域外チャンネルの負荷が大きい場合に、このエラーが発生することがあります。[dec] は、応答しなかったモジュールの番号です。

推奨処置 問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_SCPERROR2: Module [dec] local SCP error detected... resetting

説明 システムの他のモジュールとの帯域外通信に使用しているスーパーバイザ エンジン シリアル チャンネルに、問題があります。[dec] は、エラーが発生したスーパーバイザ エンジンの番号です。

推奨処置 システムは、エラーが発生したスーパーバイザ エンジンをリセットし、回復を試みます。問題が解消されない場合には、エラーが発生したスーパーバイザ エンジンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_SLPERROR: Module [dec] local SLP error detected...
resetting

説明 冗長スーパーバイザエンジンとの帯域外通信に使用しているスーパーバイザエンジンシリアルチャンネルに、問題があります。[dec] は、エラーが発生したスーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 システムは、エラーが発生したスーパーバイザエンジンをリセットし、回復を試みます。問題が解消されない場合には、スーパーバイザエンジンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_SLPINBANDREMOTE: Detecting SLP and the inband remote failure resetting slot [dec]

説明 スーパーバイザエンジンが、Serial Link Protocol (SLP) 帯域外チャンネルおよび帯域内通信チャンネル上で、冗長スーパーバイザエンジンと通信できません。[dec] は、冗長スーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 システムは、冗長スーパーバイザエンジンをリセットし、回復を試みます。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_SLPREMOTE: Detecting SLP remote failure to slot [dec]

説明 帯域外通信チャンネル上で、モジュールがスーパーバイザエンジンのリクエストへの応答に失敗しました。[dec] は、応答に失敗したモジュールの番号です。

推奨処置 問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_TEMPMINORFAIL: Module [dec] minor temperature threshold exceeded

説明 モジュールの温度センサが、マイナー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。[dec] は、超過温度が検出されたモジュールのスロット番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_TEMPOK: Module [dec] temperature OK

説明 モジュールの温度が、マイナー スレッシュホールド未満に低下しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_TEMPSENSORFAIL: Module [dec] temperature sensors failed, please powercycle the module

説明 モジュールの温度センサに障害が検出されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 シャーシからモジュールを取り外し、再び取り付けてください。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_TEMPSENSOROK: Module [dec] temperature sensors OK

説明 障害がマークされていたスーパーバイザエンジンの温度センサが、正常に動作しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-MOD_TEMPShutdown: Module [dec] shutdown due to high temperature reading

説明 モジュール上でスレッシュホールドを超える温度が検知され、モジュールがシャットダウンされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 シャーシのファントレイアセンブリを調べ、シャーシ内に十分な通気を確保してください。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogGalInsufficientFansShutdown: Resetting linecards due to too few working fans

説明 ファントレイの1つまたは複数のファン、または電源装置のファンに障害があります。過熱を防止するために、モジュールがリセットされました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogGalInsufficientPowerShutdown: Resetting linecards due to insufficient power

説明 電源装置数の要件を満たさないまま、許容時間以上にシステムが実行されています。消費電力を削減するために、モジュールがリセットされました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogGalOverheatingShutdown: Resetting linecards due to critical temperature

説明 システムの温度が限界を超えています。過熱を防止するために、モジュールがリセットされました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogGalSeepromInvalid: Module's serial eeprom is invalid, must manually program

説明 スーパーバイザエンジンのシリアルEEPROMの内容が無効であるため、スイッチをアップにできません。

推奨処置 スーパーバイザエンジンがスロットに正しく装着されていないために、読み込みに失敗した可能性があります。スーパーバイザエンジンを取り外し、再び取り付けてください。エラーが回復しない場合には、スイッチの電源をいったん切り、再投入してください。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogStoreOutOfChunks: Out of chunks of memory

説明 システムのメモリが不足しています。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-P2_LogVc5WatchdogTriggered: NMP Watchdog triggered, system will now reset, please wait...

説明 NMP 管理ソフトウェアが、監視タイマーをリセットしませんでした。無限ループが発生しているか、システムがクラッシュしている可能性があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-PS_FAIL: Power supply [dec] failed

説明 電源装置の障害を示しています。[dec] は、電源装置の番号です。

推奨処置 障害のある電源装置を交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-PS_FANFAIL: Power supply [dec] fan failed

説明 電源装置ファンの障害を示しています。[dec] は、電源装置の番号です。

推奨処置 障害のある電源装置ファンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-PS_INSUFFICIENT: Insufficient power supplies operating, this system requires [dec] and only has [dec]

説明 電源装置が供給している電力量が、モジュールに必要な電力量と一致していません。最初の [dec] はシステムに必要な電源装置数、2 番目の [dec] はシステムが検出した電源装置数です。

推奨処置 冗長電源装置のあるシステムの場合、2 台の装置のうち 1 台がシャットダウンしているか、十分な電力を供給していない可能性があります。電源装置を調べ、電圧の降下または損失がないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ SYS-2-PS_MAJORPOWERALARM: System power usage exceeds the maximum range of [chars] W, the used power will be reduced in [dec] min

説明 放熱のため、一部のシャーシの消費電力を制限する必要があります。消費電力が最大許容範囲を超過すると、このメッセージが表示され、タイマーが起動されます。タイマーが満了すると、消費電力を許容範囲内に抑制するために、ポートとスイッチング モジュールのどちらかまたは両方の電源が遮断されます。[chars] は最大消費電力、[dec] はタイマー設定（単位は分）です。

推奨処置 スwitching モジュールとスイッチ上のインライン パワー ポートのどちらかまたは両方の電源をいくつか切ります。システムが復旧して

SYS-2-PS_MAJORPOWERALARMRECOVER メッセージが表示されれば、システムは正常に機能しています。再び SYS-2-PS_MAJORPOWERALARM メッセージが表示された場合には、まだ消費電力が多すぎます。システムが復旧するまで、さらにスイッチング モジュールやスイッチ上のインライン パワー ポートの電源を切ります。

エラー メッセージ SYS-2-PS_MAJORPOWERALARMRECOVER: System power usage returned to the allowed range

説明 タイマーが満了する前に、消費電力が最大消費電力設定未満に低下しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-PS_NFANFAIL: Power supply [dec] and power supply fan failed

説明 電源装置および電源装置ファンの障害を示しています。[dec] は、電源装置の番号です。

推奨処置 障害のある電源装置およびファンを交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-PS_OK: Power supply [dec] okay

説明 電源装置がオンになったか、適正な状態に戻りました。[dec] は、電源装置の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-SUP_IMGNEEDSMOREDRAM: Image [chars] needs at least [dec] MB DRAM

説明 スーパーバイザ エンジンへのダウンロードを試みたソフトウェア イメージのサイズが大きすぎて、DRAM の使用可能容量を越えています。[chars] はソフトウェア イメージの名前、[dec] はイメージに必要な DRAM 容量です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-SUP_MSFCMISMATCH: MSFC mismatch detected. MSFC on standby supervisor is disabled.

説明 冗長スーパーバイザ エンジンの Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード) ドータカードのタイプが異なっています。両方に同じ MSFC ドータカードが搭載されている必要があります。冗長スーパーバイザ エンジン上の MSFC ドータカードはディセーブルになります。

推奨処置 スタンバイ スーパーバイザ エンジンの MSFC ドータカードを、正しいタイプに交換してください。

エラー メッセージ SYS-2-SUP_NOBOOTIMG: Unable to find boot image on module [dec]

説明 モジュール上のフラッシュ メモリにブート イメージが見つかりませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-SUP_NOBOOTVERSION: Unable to read boot image version on module [dec]

説明 モジュール上のフラッシュ メモリにブート イメージが検出されましたが、バージョン番号を読み取れません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-SUP_NORUNTIMEIMG: Unable to find runtime image on module [dec]

説明 モジュール上の実行イメージを検出できませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-2-SUP_TEMPMINORFAIL: Supervisor in slot [dec] [chars] minor temperature threshold exceeded

説明 スーパーバイザエンジンの温度センサが、マイナー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。[dec] は超過温度が検出されたスーパーバイザエンジンのスロット番号、[chars] はスーパーバイザエンジン上のサブモジュール名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-2-SUP_TEMPOK: Supervisor in slot [dec] [chars] temperature OK

説明 スーパーバイザエンジンの温度が、マイナー スレッシュホールド未満に低下しました。[dec] はスーパーバイザエンジンのスロット番号、[chars] はスーパーバイザエンジン上のサブモジュール名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-2-SUP_TEMPSENSORFAIL: Supervisor temperature sensors failed, please powercycle the system

説明 スーパーバイザエンジンの1つまたは複数の温度センサに障害があります。

推奨処置 システムの電源をいったん切り、再投入して、センサをリセットしてください。

エラーメッセージ SYS-2-SUP_TEMPSENSOROK: Supervisor temperature sensors OK

説明 障害がマークされていたスーパーバイザエンジンの温度センサが、正常に動作していません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-2-SUP_TEMPSHUTDOWN: System shutdown due to high temperature reading on supervisor [dec]

説明 スーパーバイザエンジンの温度センサにより高温が検知され、システムがシャットダウンされました。[dec] は、スーパーバイザエンジンの番号です。

推奨処置 シャーシ ファン アセンブリのファンが停止していないかどうか、シャーシの通気が妨げられていないかどうかを確認してください。

エラーメッセージ SYS-2-SYS_TEMPMINORFAIL: Chassis minor temperature threshold exceeded

説明 シャーシの温度センサが、マイナー スレッシュホールドを超える温度を検出しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-2-SYS_TEMPOK: Chassis temperature OK

説明 シャーシの温度が、マイナー スレッシュホールド未満に低下しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-SYS_TEMPSENSORFAIL: Chassis temperature sensors failed, please powercycle the system

説明 シャーシの1つまたは複数の温度センサに障害があります。

推奨処置 システムの電源をいったん切り、再投入して、センサをリセットしてください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-2-SYS_TEMPSENSOROK: Chassis temperature sensors OK

説明 前のメッセージで 障害があると示されたシャーシの温度センサが、正常に動作しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-SYS_TEMPSHUTDOWN: System shutdown due to high temperature reading on chassis [dec]

説明 高温状態により、システムがシャットダウンされました。[dec] は、シャーシ番号です。

推奨処置 シャーシのファン アセンブリを調べ、ファンに欠陥がないかどうかを確認してください。また、シャーシの通気が妨げられていないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ SYS-2-TEMP_HIGHFAIL: Temp high failure

説明 内部温度が 50°C (122°F) を超えました。このメッセージの対象は、スイッチの冗長スーパーバイザ エンジンだけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。温度が 70°C (158°F) を超えると、Temp Critical Failure メッセージが表示され、システムは 5 分後に自動的にパワーダウンします。

エラー メッセージ SYS-2-TEMP_HIGHOK: Temp high okay

説明 内部温度が 50°C (122°F) 未満に低下しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-TEMPSENSORFAIL: Temperature sensor failure detected, device [dec], interface [dec]

説明 ソフトウェアによって検出されたハードウェア障害により、シャーシ内のセンサが機能していません。最初の [dec] は障害が検出されたデバイス、2 番めの [dec] はそのデバイス上のインターフェイスです。

推奨処置 システムの電源をいったん切ってから再投入してください。

エラー メッセージ SYS-2-TEMPSENSOROK: Chassis temperature sensors OK

説明 前のメッセージで障害があると示されたシャーシの温度センサが、正常に動作しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-VTT_MINORFAIL: VTT minor alarm. A VTT module failed

説明 3つのVTTモジュールの1つに障害があります。残りの2つのVTTモジュールにより、システムは正常に稼働します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-2-VTT_OK: VTT modules recovered from failure

説明 前のメッセージで障害があると示された1つまたは複数のVTTモジュールが、正常に動作しています。

推奨処置 障害のあるVTTモジュールを交換してください。

SYS-3

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FILESTRINGDELERR: Unable to delete the text configuration file name on the standby supervisor

説明 冗長スーパーバイザエンジン上でテキストコンフィギュレーションファイル名を削除できませんでした。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FILESTRINGSYNCERR: Unable to synchronize the text configuration file name [chars] to the standby supervisor

説明 冗長スーパーバイザエンジンにテキストコンフィギュレーションファイル名の文字列を同期化できませんでした。この状況は、システムのリセット後、冗長スーパーバイザエンジンがアクティブになった場合、不正なコンフィギュレーションで起動する原因になります。[chars]は、テキストコンフィギュレーションファイル名の文字列です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FLASH_AUTOCONFIG: Failed to set auto-config options

説明 auto-config オプションの設定に失敗しました。このエラーは、ソフトウェアをアップグレードし、新しいソフトウェアのNVRAM容量が不十分であるためにACL設定をNVRAMから移動する必要が生じた場合、システムの初期設定時に発生することがあります。

推奨処置 システム起動後、手動でauto-configオプションを設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FLASH_FILEDELSBYERR: Error deleting file [chars] from the standby supervisor

説明 冗長スーパーバイザエンジンからコンフィギュレーションファイルを削除できませんでした。[chars]は、コンフィギュレーションファイル名です。

推奨処置 コンフィギュレーションファイルの削除を再度、試みてください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FLASH_FILESTRINGSYNCERR: Failed to sync the auto-config file string to the standby supervisor

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンに、auto-config ファイルの文字列を同期化できませんでした。この状況は、システムのリセット後に冗長スーパーバイザ エンジンがアクティブになった場合、スタートアップ設定機能がイネーブルであるか、ACL 設定がフラッシュメモリに保管されていると、システムが不正なコンフィギュレーションで起動する原因になります。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジンに auto-config ファイルの文字列を手動で設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FLASH_FILESYNCERR: Failed to sync file [chars] to the standby supervisor

説明 冗長スーパーバイザ エンジンにコンフィギュレーション ファイルを同期化できませんでした。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルの同期化を再度、試みてください。

エラー メッセージ SYS-3-CFG_FLASH_RECURRINGSYNCERR: Failed to sync the auto-config recurring option to the standby supervisor

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンに、auto-config recurring オプションを同期化できませんでした。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジン上で、recurring オプションを手動で設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-EOBC_CHANNELHUNG: Ethernet out of band channel on module [dec] is faulty. Module has been powered down!

説明 連続コリジョンの原因となるモジュールが検出されました。モジュールはシャットダウンされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 障害のあるモジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-EOBC_HASYNCSOCPSENDFAIL: SCP channel fail ([dec])

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンの間で通信障害が発生しました。アクティブ スーパーバイザ エンジンが冗長スーパーバイザ エンジンに対してコンフィギュレーションおよび他の情報を同期化すると、冗長スーパーバイザ エンジンはアクティブ スーパーバイザ エンジンに確認応答を戻します。アクティブ スタンバイ エンジンが応答を受信しない、または冗長スーパーバイザ エンジンが情報を受信しない場合、2つのスーパーバイザ エンジン間の EOBC チャネルの障害を示すエラー メッセージが生成されます。[dec] は、スーパーバイザ エンジンの番号です。

推奨処置 このメッセージがロギングされたスーパーバイザ エンジンのリセットしてください。

エラー メッセージ SYS-3-EOBC_POWERDOWN: Ethernet out of band channel fault detected. Systematically shutting down modules to identify faulty module

説明 異常な EOBC コリジョンが検出されたため、障害のあるモジュールを特定するために、モジュールが選択的にパワーダウンされています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_C2_BAD_FAB_SWITCH: Fabric failed, switchover

説明 ファブリック障害が発生しました。ファブリック障害とは、スイッチ ファブリックが診断テストに失敗したか、または最低 2 つのモジュールにファブリック関連の問題が発生していることを意味します。このメッセージは、自動スイッチオーバーが実行される直前に、アクティブスーパーバイザ エンジンのコンソールに表示されます。

推奨処置 スイッチオーバーの実行後、システムが正常に稼働していれば、それまでアクティブだったスーパーバイザ エンジンを交換してください。ファブリック障害が持続する場合には、ファブリック障害が検出されたモジュールを確認してください。ファブリック障害が持続し、障害が複数のモジュールで検出される場合には、シャーシに原因がある可能性があります。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_C2_FAB_BAD_FLOW_THROUGH: Fabric failed, go to flow through mode

説明 アクティブスーパーバイザ エンジンでファブリック障害が検出されましたが、スーパーバイザ エンジンのスイッチオーバーを実行するほどの状態ではありません。この場合、アクティブスーパーバイザ エンジンはスイッチング モードからフロースルー モードに移行します。状況が変わると、アクティブスーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンへの自動スイッチオーバーが開始されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_C2_BAD_STBY_FAB: Active and standby fabric failed; no switchover, go to flow through mode

説明 アクティブスーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンの両方でファブリック障害が検出されました。すでにアクティブスーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンへのスイッチオーバーが実行されているので、現在のアクティブスーパーバイザ エンジンはスイッチオーバーを実行できません。この場合には、スイッチング ファブリックを迂回するために、スーパーバイザ エンジンはスイッチング モードからフロースルー モードに移行します。

推奨処置 両方のスーパーバイザ エンジンを交換してください。問題が解消しない場合には、シャーシに障害がある可能性があります。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_CHNGMODE: System switching mode is being changed to [chars]

説明 最初のスイッチ ファブリック モジュールまたは非ファブリック モジュールが取り付けられたか、または最後のスイッチ ファブリック モジュールまたは非ファブリック モジュールが取り外されたために、システム モードに移行しました。[chars] は、スイッチング モードです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_DENY: SWITCH FABRIC MODULE not supported in this chassis

説明 シャーシ上でサポート対象ではないスイッチ ファブリック モジュールが検出されました。

推奨処置 スイッチ ファブリック モジュールをシャーシから取り外してください。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_DUALCHAN: Dual-fabric-channel card installed in single fabric slot [dec]

説明 シングル ファブリック チャンネルだけをサポートするシャーシ スロットに、デュアル ファブリック チャンネル カードが取り付けられました。[dec] は、デュアル ファブリック チャンネル カードが取り付けられたスロット番号です。

推奨処置 デュアル ファブリック チャンネル カードをスロットから取り外し、デュアル ファブリック チャンネルをサポートするシャーシ スロットに取り付け直す必要があります。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_INCOMPmode: Module [dec] is incompatible with the current switch mode

説明 `set system crossbar-fallback` コマンドが *none* に設定され、フロースルー モードではないシステムに、非ファブリック モジュールが取り付けられました。非ファブリック モジュールはシャットダウンされます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_RESET_NOT_READY: Module [dec] reset, not ready to synch during HA switchover

説明 このメッセージが表示されるのは、Supervisor Engine 720 が使用されている場合だけです。HA スイッチオーバーでは、ファブリック チャンネルは新しいアクティブ スーパーバイザ エンジン上のファブリックに可能な限り迅速に同期されます。チャンネルが同期される前に、チャンネルのスイッチング モジュール側とファブリック側の両方で、準備が整っているかどうかを確認されます。チャンネルの片側で準備が整っておらず、スイッチング モジュールがリセットされました。[dec] は、リセットされているスイッチング モジュールのモジュール番号です。

推奨処置 スwitchング モジュールがリセットされたあと、正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合、スイッチング モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_STBYSYNCERR: Connection between standby switch fabric module [dec] and module [dec] failed

説明 冗長スイッチ ファブリック モジュールを搭載したシステムでファブリック モジュールを起動後、スタンバイのスイッチ ファブリック モジュールにチャンネルを同期化できません。最初の [dec] はスイッチ ファブリック モジュール番号、2 番目の [dec] はエラーが発生したモジュール番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_SWDONE: Fabric switchover completed

説明 スタンバイのスイッチ ファブリック モジュールが、ファブリック対応モジュールへのチャンネルの同期化を完了し、オンラインになりました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_SWPROGRESS: Fabric switchover in progress

説明 アクティブ スイッチ ファブリック モジュールがパワーダウンし、スタンバイ スイッチ ファブリック モジュールに引き継がれます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-FAB_SYNCERR: [chars] detected on fabric channel [dec] from module [dec]

説明 ファブリック チャンネル エラーが検出されました。[chars] はチャンネル エラーのタイプ、最初の [dec] はチャンネル番号、2 番めの [dec] はモジュール番号です。

推奨処置 システムは、モジュールの再同期化またはリセットによる回復を試みます。モジュールが回復しなかった場合には、モジュールを交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-FPOE_MEMALLOCFAIL: Failed to allocate memory in fpoes ([dec])

説明 システムの使用可能メモリが不足し、モジュール上に FPOE を設定できません。スイッチで実行している他のアプリケーションにも、メモリの問題が発生している可能性があります。[dec] は、コード内のエラーが発生した場所です。

推奨処置 スーパーバイザ エンジンをリセットしてください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-LINK_RXCRCERR: Port [dec]/[dec] rxcrcErrors disabled

説明 設定されている上限スレッシュホールドおよびサンプリング要件を、受信した CRC エラー パケットおよびアライメント エラー パケットが超過したため、ポートが errdisable ステートになりました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 ポートを再度イネーブルにするか、またはエラー ディisable タイマーを設定します。

エラー メッセージ SYS-3-LINK_TXCRCERR: Port [dec]/[dec] txcrcErrors disabled

説明 設定されている上限スレッシュホールドおよびサンプリング要件を、送信した CRC エラー パケットが超過したため、ポートが errdisable ステートになりました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 ポートを再度イネーブルにするか、またはエラー ディisable タイマーを設定します。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_IPC2REGFAIL: Failed to register to Ibipc2

説明 スーパーバイザ エンジンが、レイヤ 2 プロトコル パケットについてモジュールと通信できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_REGTBLEXIST: Entry exists in LLC registration table.

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_REGTBLFULL: Registration table full

説明 レイヤ 2 プロトコルを登録できません。スーパーバイザ エンジンは、このプロトコルのパケットを受信できません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_REGTBLNOTEXIST: Entry not exists in LLC registration table.

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_SCPSTATNOTOK: Send scp message to module [dec] status [dec]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-LLC_SENDSCPFFAIL: Send scp message to module [dec] failed

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。



(注) 次のメッセージは、4行で表示されます。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_CFGMISMATCH1: Module [dec] configuration mismatch [chars]

エラー メッセージ SYS-3-MOD_CFGMISMATCH2: *Config:[chars]

エラー メッセージ SYS-3-MOD_CFGMISMATCH3: *Actual:[chars]

エラー メッセージ SYS-3-MOD_CFGMISMATCH4: Insert config type module or do a 'clear config [dec]'

説明 モジュールが、別のモジュール タイプ用に設定されているスロットに挿入されました。Module [dec] はモジュール番号、[chars] は空フィールドまたはディセーブルポート、Config [chars] は NVRAM に設定されているモジュールの説明、Actual [chars] はスロットに挿入されたモジュールの説明、clear config [dec] はコンフィギュレーションをクリアする場合のモジュール番号です。

推奨処置 スロットの設定に適合するモジュールを挿入するか、clear config [mod/port] コマンドを入力してスロットをクリアしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_DIAG: Module [dec] is in offline diagnostic mode

説明 モジュールがオフライン診断モードです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 これは単なる通知メッセージですが、診断テストの問題を示していることもあります。この場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_DMPEXCEPTION: DMP exception occurred on module [dec]

説明 Fiber Distributed Data Interface (FDDI) モジュール上で Data Movement Processor (DMP) 例外が発生しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_DNLDWAIT: Module [dec] waiting for download

説明 モジュールがダウンロード待機中です。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 これは単なる通知メッセージですが、ダウンロード処理の問題を示していることもあります。この場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_FAIL: Module [dec] failed to come online

説明 モジュールがオンラインになりませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。



(注) 次のメッセージは、4行で表示されます。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_FAILREASON: Module [dec] failed due to [chars]

エラー メッセージ [chars]

エラー メッセージ [chars]

エラー メッセージ [chars]

説明 モジュールに、表示されたエラーが発生しました。[dec] はモジュール番号、[chars] は CPU Initialization Error (CPU 初期化エラー)、Memory Test Failed (メモリ テスト エラー)、Boot Checksum Verification Failed (ブート チェックサム検証エラー)、SPROM Checksum Verification Failed (SPROM チェックサム検証エラー)、EOBC Loopback Test Failed (EOBC ループバック テスト エラー)、LTL-A Error (LTL-A エラー)、Flash Erase/Write Error (フラッシュ消去 / 書き込みエラー)、Pinnacle CBL Error (Pinnacle CBL エラー)、Pinnacle Packet Buffer Error (Pinnacle パケットバッファ エラー)、Pinnacle TLB Error (Pinnacle TLB エラー)、Unknown (不明)、または Undocumented Error (エラー説明なし) です。最初の [chars] の行は、モジュールが非 ATM RSM (非 Cisco IOS) の場合、Ports disabled (ポートはディセーブル) になります。2 番めの [chars] の行は、NVRAM に設定されているモジュールタイプの説明です。3 番めの [chars] の行は、スロットに搭載されているモジュールタイプの説明です。

推奨処置 モジュールをリセットしてください。メッセージが再表示される場合には、新しいモジュールを取り付けてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_FCPEXCEPTION: FCP exception occurred on module [dec]

説明 FDDI Control Processor (FCP) に例外が発生しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_GSGINTLGPORTFAIL: Intelligent [dec] backplane port [dec] link down

説明 ギガビットバックプレーンポートのリンクがダウンしています。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_ILCGSGNOREPLY: Exceeded max # of retries sending 0x[hex] msg to ILC module [dec]

説明 NMP とモジュール間の SCP メッセージ交換が、最大エントリ数を超えました。0x[hex] は 16 進数のオペレーションコード、[dec] はモジュール番号です。

推奨処置 モジュールがオンラインになっていることを確認してください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_ILCGSGUNKNOWNOPCODE: Unknown SCP opcode 0x[hex] sent from ILC module [dec]

説明 モジュールが認識できないオペレーション コードを送信しました。0x[hex] は 16 進数のオペレーション コード、[dec] はモジュール番号です。

推奨処置 問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_PORTINTFINFSYNC: Port Interface in sync for Module [dec]

説明 モジュールの起動により、バックプレーンとネットワーク ポート間のパケット転送を処理しているオンボード ASIC が同期化されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_PORTINTFOUTOFSYNC: Port Interface not in sync for Module [dec]

説明 バックプレーンとネットワーク ポート間のパケット転送を処理しているオンボード ASIC が同期化されていません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールを取り付け直し、非脱落型ネジを確実に締めてください。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_PORTINTFPOWERDOWN: Port Interface sync not recovered for module [dec]. Powering it down

説明 モジュールのポート同期化プロセスが回復せず、モジュールがパワーダウンします。[dec] は、対象のモジュールです。

推奨処置 モジュールを取り付け直し、非脱落型ネジを確実に締めてください。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_PWRFAIL: Module [dec] failed to power up

説明 モジュールがパワーアップしません。[dec] は、パワーアップしないモジュールの番号です。

推奨処置 モジュールを取り付け直し、非脱落型ネジを確実に締めてください。

エラーメッセージ SYS-3-MOD_RAPIDBOOTERROR: Rapid boot message received when expecting normal boot. Resetting module [dec]

説明 高速ブート リクエストを受信しましたが、モジュール上で Shared RAM (SRAM) 障害が検出されていません。モジュールは標準ブートする予定だったことを示しています。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-MOD_TRCPEXCEPTION: TRCP exception occurred on module [dec]

説明 FDDI モジュール上で Token Ring Control Processor(TRCP)例外が発生しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-MODONLINE_LCPRUNRDY: LCPRUNRDY message received after module [dec] online...resetting module

説明 これは、スイッチング モジュールがオンラインに戻るときに表示される登録メッセージです。モジュールがオンラインになったあとでこのメッセージが表示される場合は、エラーが発生しています。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_MODNONSBY: Module [dec] is present but not in standby mode

説明 セカンダリ スーパーバイザ エンジンが検出されましたが、そのスーパーバイザ エンジンがスタンバイ スーパーバイザ エンジンとして認識されていません。この状況は、スーパーバイザ エンジンに識別できない障害があったり、スーパーバイザ エンジンが ROMMON モードでスタックしたりした場合に発生することがあります。[dec] は、スタンバイ スーパーバイザ エンジンのモジュール番号です。

推奨処置 モジュールをリセットし、スタンバイ スーパーバイザ エンジンが正常に再起動するかどうかを確認します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-NOLCPBOOTRDY: No LCPBOOTRDY message received after RxREGISTRATION... resetting module [dec]

説明 高速リブートを実行中のモジュールが取り外され、高速リブートをサポートしていないシステムに取り付けられました。モジュールの高速ブート ステートが、正しくクリアされていません。この場合、RxREGISTRATION のあとに LCPRUNDDY が受信され、ブート シーケンスから LCPBOOTRDY が削除されます。[dec] は、問題が発生したモジュール番号です。

推奨処置 モジュールをリセットしてください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogBrBadGbic: Port [chars]: Gbic's seeprom is bad, try reinserting: vendor: [chars], p/n: [chars], s/n: [chars]

説明 シリアル EEPROM 搭載の GBIC(ギガビット インターフェイス コンバータ)が検出され、EEPROM の内容が読み込まれましたが、内容が無効です。port [chars] は問題のある GBIC の場所、その他の3つの [chars] は GBIC ベンダー、GBIC 部品番号、GBIC シリアル番号の読み込み情報です。

推奨処置 GBIC を、ポートに取り付け直してください。問題が解消されない場合には、GBIC を交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogBrGbicSeepromReadFailed: Failed to read gbic serial eeprom on port [chars], try reinserting

説明 指定フィールドによって識別されたポートに GBIC が検出されましたが、シリアル EEPROM の読み込みに失敗しました。搭載された GBIC のタイプを判別するには、EEPROM を読み込む必要があります。

推奨処置 GBIC を取り付け直してください。問題が解消されない場合には、GBIC を交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogBrSeepromReadFailedAfterWrite: Wrote module's serial eeprom, but it read back incorrectly

説明 CLI(コマンドライン インターフェイス)リクエストへの応答としてモジュールのシリアル EEPROM に書き込みましたが、シリアル EEPROM から誤ったデータが読み戻されました。

推奨処置 モジュールを取り付け直してください。問題が解消されない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogEbmCantAllocateEbmPort: No EbmPort memory to allocate EbmPort for PimPort [chars]

説明 メモリ不足により、ポート関連情報にスペースを割り当てられません。[chars] は、ポート番号です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogEbmCantAllocateIeNode: No interposition table memory to add entry for addr [ether]

説明 メモリ不足により、内部データ構造にスペースを割り当てられません。[ether] は、ホストのアドレスです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogEbmCantAllocatePortHostEntry: No port host table memory to add entry for addr [ether]

説明 メモリ不足により、内部データ構造にスペースを割り当てられません。[ether] は、ホストテーブルに追加できないアドレスです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogEbmCantAllocateVlanGroupEntry: No vlan group table memory to add entry for addr [ether]

説明 メモリ不足により、グループ エントリを追加できません。[ether] は、グループ テーブルに追加できないアドレスです。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogEbmCantAllocateVlanHostEntry: No vlan host table memory to add entry for addr [ether]

説明 メモリ不足により、ホスト アドレスを追加できません。[ether] は、テーブルに追加できないホスト アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalBadGbic: Port [chars]: Gbic's seeprom is bad, try reinserting: vendor: [chars], p/n: [chars], s/n: [chars]

説明 ポートに、シリアル EEPROM 搭載の GBIC が検出されました。port [chars] はポート番号です。シリアル EEPROM の内容を読み込みましたが、内容が無効です。vendor [chars]、part number [chars]、serial number [chars] は、シリアル EEPROM から読み込まれた情報です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalBadMacRangeInSprom: Module [dec] serial eeprom contains [dec] mac addresses, but needs [dec]

説明 シリアル EEPROM に保管されている MAC アドレス数が、モジュールフロントパネルのポート数と一致していません。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はシリアル EEPROM から読み込まれた MAC アドレス数、3 番めの [dec] は必要な MAC アドレス数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalDaughterCardSeepromReadFailed: Failed to read the serial eeprom on module [dec], daughter card [dec]

説明 モジュール ドータカード上のシリアル EEPROM の読み込みを何度か試み、失敗しました。読み込みに失敗したので、ドータカードはオフラインのままです。module [dec] はモジュール番号、daughter card [dec] はドータカード番号です。

推奨処置 モジュールからドータカードを取り外し、再び取り付けてください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalGbicSeepromReadFailed: Failed to read gbic serial eeprom on port [chars], try reinserting

説明 シリアル EEPROM 搭載の GBIC が検出されましたが、EEPROM の読み込みに失敗しました。port [chars] は、GBIC が取り付けられているポートです。

推奨処置 GBIC を取り外し、再び取り付けてください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalIlcS2wCommunicationError: Communication with ILC over S2W failed, reason [dec]

説明 I2C 障害により、スーパーバイザ エンジンとインテリジェント モジュール プロセッサ間の論理コンフィギュレーション プロトコルにエラーが発生しました。[dec] は、メッセージ番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalLinecardSeepromReadFailed: Failed to read module [dec] serial eeprom, try reinserting module

説明 モジュール上でのシリアル EPROM の読み込みに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールをスロットに取り付け直してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalLinecardSeepromWriteFailed: Failed to write module [dec] serial eeprom

説明 モジュール上でのシリアル EPROM の書き込みに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールをスロットに取り付け直してください。

エラー メッセージ SYS-3-P2_LogGalUnknownLinecard: Unknown module (fru minor type [dec]) in slot [dec]

説明 システムに未知のタイプのモジュールが検出されました。最初の [dec] は FRU のマイナータイプ番号、2 番めの [dec] は未知モジュールが搭載されているスロット番号です。

推奨処置 モジュールを認識するには、システム ソフトウェアのアップグレードが必要な場合があります。テクニカル サービス担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-P4_ERROR: SFP/GBIC integrity check on port [dec]/[dec] failed: bad crc or bad key

説明 Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) の値またはキーの値が不正であるために、Small Form-Factor Pluggable (SFP) または GBIC の一貫性チェックに失敗しました。[dec]/[dec] は、エラーが発生したモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 ポートに、サポート対象ではない、または承認されていない GBIC または SFP が搭載されていないかどうかを確認してください。

エラー メッセージ SYS-3-PKTBUFBAD: Port [dec]/[dec] failed packet buffer test. This port [chars] automatically disabled for future use.

説明 パケットバッファテストにより、モジュールポート上に破壊されたパケットバッファが検出されました。[dec]/[dec] はテストに失敗したモジュール番号 / ポート番号、[chars] は [faulty] (障害あり) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PKTBUFFERFAIL_ERRDIS: Packet buffer failure detected. Err-disabling port [dec]/[dec]

説明 デフォルトのエラー検出パケットバッファの設定により、ポートを errdisable にしていません。ポート上でパリティ障害が検出され次第、ASIC ポートは errdisable になります。[dec]/[dec] は、errdisable になったポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 errdisable になったポートのスイッチングモジュールをオフ / オンしてください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_ALIGNMENT_ERROR: Port [dec]/[chars] detected [dec] alignment errors in last 30 minutes

説明 ポートが FCK チェックに合格しませんでした。最初の [dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、2 番目の [dec] は直前の 30 分間に発生したアライメント エラーの数です。アライメント エラーは、MAC サービスから LLC (または別の MAC ユーザ) に alignmentError ステータスが返されたときに増加します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_BADPORT: Bad port [dec]/[dec] detected, inline power is turned off

説明 モジュールに障害が検出され、ポートへのインライン パワーがオフになりました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_COLL: Port [dec]\[dec] [chars] collision ([dec]) detected

説明 ポートに過度のコリジョンまたはレイト コリジョンが検出されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラーのタイプ (late または excessive)、[dec] はコリジョン カウンタ値です。

推奨処置 ポートのデュプレックスの不一致を確認し、修正してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_COLLDIS: Port [dec]\[dec] disabled due to collision

説明 ポート上のレイト コリジョンまたは過度のコリジョンがスレッシュホールドの値を超えました。ポートがディセーブルになる条件は、4 セットあります。500 ミリ秒単位の過度のコリジョン数が 11 を超え、ページ カウンタ値が 335 を超えた場合、500 ミリ秒単位の過度のコリジョン数が 11 を超え、シングル コリジョン数が 3 未満でマルチ コリジョン数が 3 未満の場合、500 ミリ秒単位の Abort Late コリジョン数が 5 を超えた場合、および 500 ミリ秒単位のレイト コリジョン数が 11 を超えた場合です。これらの 4 つの条件のいずれかに適合すると、ポートはディセーブルになります。[dec][dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 デュプレックスの不一致、不正ケーブル、または不正ケーブル長がないかどうかを確認し、ポートを再びイネーブルにしてください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_DEVICENOLINK: Device on port [dec]/[dec] powered but no link up

説明 インライン パワー使用ポートから電力を供給されているデバイスが、割り当て時間内にリンク アップしないことを示しています。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。ポートへの電力供給はオフになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_ERR: Port [dec]/[dec] [chars] ([dec])

説明 ポートエラーが検出されました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はポートカウンタ名、([dec]) はカウンタ値です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ PORT_FCS_ERROR:Port [dec]/[chars] detected [dec] FCS errors in last 30 minutes

説明 ポートで FCS エラーが発生しましたが、フレーム同期エラーは発生しませんでした。最初の [dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、2 番めの [dec] は直前の 30 分間に発生した FCS エラーの数です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_GBICBADEEPROM: Port [dec]/[dec] bad gbic eeprom checksum

説明 モジュールに搭載されている GBIC から、不正なチェックサムが検出されました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_GBICFAILED: Port [dec]/[dec] gbic cannot be enabled/disabled

説明 モジュールに搭載されている GBIC が応答しません。[dec]/[dec] は、障害のある GBIC が取り付けられているモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 GBIC を交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_GBICNOTAPPROVED: Port [dec]/[dec] gbic not approved

説明 モジュールポートに取り付けられた GBIC が、システムのサポート対象外です。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 モジュールからサポート対象外の GBIC を取り外し、サポート対象の GBIC と交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_GBICNOTSUPP: Port [dec]/[dec] GBIC is unsupported

説明 GBIC シリアル EPROM が不正、または GBIC がサポートされないバージョンであるため、取り付けられた GBIC を認識できません。[dec]/[dec] は、エラーが発生した GBIC のモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 シスコのサポート対象 GBIC を使用している場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。それ以外の場合は、サポート対象の GBIC に交換するか、このメッセージを無視してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_IN_ERRORS:Port [dec]/[chars] detected [dec] input packet(s) contained errors in last 30 minutes

説明 ポートで入力パケットエラーが発生しました。最初の [dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、2 番目の [dec] は直前の 30 分間に発生した入力エラーの数です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_INVLDPWRCONS: Device on port [dec]/[dec] is reporting invalid power consumption, inline power will be turned off.

説明 インライン電話からの Type/Length/Value (TLV) に、不正な電力消費量が示されています。[dec]/[dec] は、障害のある IP Phone のモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 障害のある IP Phone を切断して、交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_MIIIBAD: Bad MII status Port [dec]/[dec], [chars]

説明 モジュールの Media Independent Interface (MII) が不正です。Link Control Protocol (LCP; リンク コントロール プロトコル) と Master Communication Processor (MCP) 間に通信エラーがあるか、または診断テストに失敗したかのどちらかが考えられます。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_NO64POLL1: SWPoll64bCnt task exits: failed to malloc scp queue buffers

説明 スイッチのメモリが不足し、64 ビット カウンタのポーリングが実行されていません。状況により、DRAM 容量を増加する必要があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_NO64POLL2: Memory allocation fail: no 64 bit counters for module [dec] will be available

説明 スイッチのメモリが不足し、64 ビット カウンタのポーリングが実行されていません。[dec] は、モジュール番号です。状況により、DRAM 容量を増加する必要があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_NOPOWERAVAIL: Device on port [dec]/[dec] will remain unpowered

説明 ポートをパワーアップするだけの十分なシステム電力が得られません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。十分な電力が供給されるまで、ポートはパワーアップしません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ PORT_RX_BADCODE:Port [dec]/[chars] detected [dec] bad code errors in last 30 minutes

説明 ポートが不明なプロトコル エラーにより影響を受けました。最初の [dec] はモジュール番号、[chars] はポート番号、2 番めの [dec] は直前の 30 分間に発生した不明プロトコルでの着信パケット数です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_SSUPFAIL: Failed to bring up ports on standby supervisor

説明 アクティブスーパーバイザエンジンと冗長スーパーバイザエンジン間の SLP チャンネルに障害があるか、冗長スーパーバイザエンジン上の 1 つまたは複数のポートに障害があります。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジンをリセットしてください。問題が解消されない場合には、システムをリセットするか、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-PORT_WRNGLTVS: Device on port [dec]/[dec] is transmitting both old and new TLVs, inline power will be turned off

説明 ポートに接続している IP Phone が、CDP メッセージで古い TLV と新しい TLV の両方を送信したり、古い TLV だけを送信しています。IP Phone へのインライン パワーがオフになります。[dec]/[dec] は、IP Phone が接続されているモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 障害のある IP Phone を切断して、交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-PKTBUFFERFAIL_SUP_PWRCYCLE: Packet buffer failure detected on module [dec]. Shutting down supervisor.

説明 スーパーバイザエンジンでパケットバッファ エラーが検出されました。スーパーバイザエンジンはシャットダウンされ、ROM ベース (ROMMON) モニタは失敗します。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 スーパーバイザエンジンの電源をいったん切ってから再投入してください。

エラー メッセージ SYS-3-PRF_FLASH_FILEDELSBYERR: Error deleting profile file [chars] from the standby supervisor

説明 スタンバイスーパーバイザエンジンからプロファイル ファイルが削除されていない場合、このメッセージが表示されます。[chars] はプロファイル ファイル名です。

推奨処置 システムが稼働したら、アクティブスーパーバイザエンジンに `clear system profile` コマンドを入力してください。

エラー メッセージ SYS-3-PRF_FLASH_FILESTRINGSYNCERR: Failed to sync the profile file string to the standby supervisor

説明 スタンバイ スーパーバイザ エンジンからプロファイル ファイル コンフィギュレーションが消去されていない場合、このメッセージが表示されます。スタンバイ スーパーバイザ エンジンの準備が整っていない場合に、このイベントが発生することがあります。プロファイル ファイルが設定されていなくても、アクティブ スーパーバイザ エンジンはスタンバイ スーパーバイザ エンジンでこの機能を解除しようとします。これは、新しいスタンバイ スーパーバイザ エンジンが取り付けられ、プロファイル ファイルが設定されたことが原因と考えられます。

推奨処置 システムが稼働したら、アクティブ スーパーバイザ エンジンに `clear system profile` コマンドを入力してください。

エラー メッセージ SYS-3-PRF_FLASH_FILESYNCERR: Failed to sync profile file [chars] to the standby supervisor

説明 スタンバイ スーパーバイザ エンジンにプロファイル ファイル コンフィギュレーションが同期されていない場合、このメッセージが表示されます。スタンバイ スーパーバイザ エンジンの準備が整っていない場合に、このイベントが発生することがあります。[chars] は、プロファイル ファイル名です。

推奨処置 システムが稼働したら、アクティブ スーパーバイザ エンジンに `set system profile filename` コマンドを入力してください。このように対処することで、アクティブ スーパーバイザ エンジンとスタンバイ スーパーバイザ エンジンがともに同じコンフィギュレーション プロファイルを持つことになります。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_HOLDMany: Task [chars] holds too many semaphores

説明 タスクが保有しているセマフォが多すぎます。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 これは内部エラーです。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_IDBAD: Invalid sem_id:[hex] ([chars],[chars])

説明 指定のタスクの関数により、無効なセマフォがリクエストされました。[hex] はセマフォ ID の値、最初の [chars] はタスク名、2 番めの [chars] は関数名です。

推奨処置 システムに内部エラーが発生しています。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_KERNELWAIT: Kernel wait for semaphore [chars]

説明 カーネル タスクがセマフォをリクエストしています。[chars] は、セマフォの名前です。

推奨処置 これは内部エラーです。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_MAGICNUMBAD: Invalid magic number:[hex] ([chars],[chars])

説明 指定のタスクの関数からリクエストされたセマフォのマジック番号が無効です。[hex] はマジック番号、最初の [chars] はタスク名、2 番めの [chars] は関数名です。

推奨処置 システムに内部エラーが発生しています。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_NOPID: Dequeued pid([dec]) not found

説明 セマフォの待機リストから削除しようとしたタスクが存在しません。[dec] は、タスクの ID 番号です。

推奨処置 システムに内部エラーが発生しています。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_NOWAIT: No waiting task to dequeue

説明 タスクを削除するときに、セマフォが待機リストを見つけれませんでした。

推奨処置 システムに内部エラーが発生しています。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SEM_REQBAD: Task [chars] waits for the same semaphore [chars]

説明 タスクが、すでに保有しているものと同じセマフォをリクエストしました。[chars] はタスク名、semaphore [chars] はセマフォの名前です。

推奨処置 これは内部エラーです。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SPAN_MEMALLOCFAIL: Failed to allocate memory in span [dec]

説明 Sswitched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) コード内でメモリの割り当てに失敗しました。[dec] は、コード内の位置マーカーです。

推奨処置 これは内部エラーです。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SPAN_SRCNOTSUPPORTED: Port [dec]/[dec] not supported as SPAN source

説明 ポートが SPAN 機能をサポートしていません。[dec]/[dec] は、モジュール番号/ポート番号です。

推奨処置 `show port capabilities` コマンドを使用して、ポートが SPAN 送信元をサポートできるかどうかを確認してください。SPAN 送信元に適したポートを選択してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ACONNFAIL: [chars] unable to connect with standby

説明 [chars] が、冗長スーパーバイザエンジンと TCP/IP 接続を確立できません。[chars] は、アクティブスーパーバイザエンジン上のタスク名です。

推奨処置 システムをリセットしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AIMGCPYFAIL: [chars] unable to copy flash into DRAM

説明 タスクがフラッシュ コードを圧縮できず、DRAM にダウンロードできません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 フラッシュ ファイルが不正または破壊されている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AIMGDIFF: The nvram update tasks will not be running

説明 NVRAM 更新タスクが実行されていません。

推奨処置 システムをリセットしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AIMGDIFF1: Module [dec] runtime image differs from flash image

説明 モジュールの実行イメージが、フラッシュのイメージと異なります。[dec] は、モジュール番号です。NVRAM 更新タスクが実行されていないので、問題を解決するにはシステムをリセットする必要があります。

推奨処置 システムをリセットしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AIMGDIFF2: Please reset the system to rectify the problem

説明 問題を解決するために、システムをリセットする必要があります。

推奨処置 システムをリセットしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AIMGTOOBIG: [chars] image is larger than reserved memory

説明 同期化するイメージ ファイルが大きすぎて、アクティブ スーパーバイザ エンジンのバッファに保管できません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AOUTOFSYNC: [chars] standby is out of sync

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンの通信で、同期が取れていません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_APENDINGCLI: The command [chars] did not execute completely before the HA switchover

説明 実行中のスーパーバイザ エンジン コマンドが処理を完了する前に、ハイ アベイラビリティ スイッチオーバーが実行されました。[chars] は、実行されなかったコマンドラインです。

推奨処置 失敗したコマンドを再度実行します。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ARECVFAIL: [chars] unable to receive data from standby

説明 冗長スーパーバイザ エンジンからアクティブ スーパーバイザ エンジンへのフラッシュ コードのコピー中にエラーが発生しました。[chars] は、アクティブ スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 システムに障害があり、TCP/IP 接続が失われている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASEARLDIFF: Active and standby supervisors are of different earl types

説明 冗長スーパーバイザ エンジンが、互換性のないタイプのフォワーディング エンジンです。この場合、フラッシュおよび NVRAM のコンフィギュレーションの同期化はディセーブルになります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASENDFAIL: [chars] unable to send data to standby

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンへのフラッシュ コードのコピー中にエラーが発生しました。[chars] は、アクティブ スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 システムに障害があり、TCP/IP 接続が失われている可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASIMGDIFF: Active supervisor card is running a different version of NMP image

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンで、実行している NMP イメージのバージョンが異なります。

推奨処置 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジン上で実行されている NMP ソフトウェアのバージョンを確認してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASMMSGUNKNOWN: [chars] unknown message received

説明 冗長スーパーバイザ エンジンが、アクティブ スーパーバイザ エンジンから未知の TCP/IP メッセージを受信しました。[chars] は、冗長スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASTATBAD: [chars] status failed received from standby

説明 冗長スーパーバイザ エンジンが、アクティブ スーパーバイザ エンジンから送信された TCP/IP リクエストを処理できませんでした。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジンに問題がある可能性があります。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_ASTYPEDIFF: Active and standby supervisors are of different card types

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンのタイプに差異があります。アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンの ASIC タイプの違いを示していることもあります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AUTHENTICATION_ACTION: Shutdown port [dec]/[dec]

説明 取り付けられた GBIC がセキュリティ署名と一致しないため、ポートがシャットダウンされました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_AUTHENTICATION_FAILURE: Ports [dec]/[dec] and [dec]/[dec] have the same serial number

説明 取り付けられた 2 つの GBIC のシリアル番号が同じです。[dec]/[dec] は、2 つのポートのモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカル サービス担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_BUSSYNCFailure: Bus sync failure. Resetting Active Supervisor

説明 ハイ アベイラビリティ スイッチオーバーの実行後、新しいアクティブ スーパーバイザ エンジンがバスの同期化を完了できなかったため、アクティブ スーパーバイザ エンジンがリセットされました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_CFGNOSYNC: Nvram synchronization will not happen

説明 シャーシの冗長スーパーバイザ エンジンが、同じタイプの EARL またはスーパーバイザ エンジンではありません。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジン、および冗長スーパーバイザ エンジンの EARL ボードを同じタイプにしてください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_CONFIGNOSYNC: Config file synchronization will not happen

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジン間で、コンフィギュレーション ファイルの同期化が実行されませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_DIFFBOOTIMAGE: Supervisor's boot images are not identical ([chars])

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジンのブートバージョンが異なります。[chars] は、high version、low version、または不一致が検出された時点のタイムスタンプです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_DNLDAREAXCEED: Download aborted. File size larger than download buffer

説明 ファイル サイズがバッファ サイズを超えています。正しいイメージかどうかを確認してください。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_DNLDINPROG: Download in progress

説明 スーパーバイザ エンジンへのソフトウェア イメージのダウンロードを実行中です。イメージのダウンロード中は、リセットはディセーブルになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_HA_DISABLE_AND_SRM_ENABLE: Invalid system configuration. High availability disabled with single router mode enabled.

説明 ルータ プロセッサを Single Router Mode (SRM) で実行するには、スーパーバイザ エンジンにハイ アベイラビリティを設定する必要があります。

推奨処置 スーパーバイザ エンジンのハイ アベイラビリティをイネーブルにしてください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_IMGNOSYNC: Flash synchronization will not happen

説明 シャーシの冗長スーパーバイザ エンジンが、同じタイプの EARL またはスーパーバイザ エンジンではありません。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジン、および冗長スーパーバイザ エンジンの EARL ボードを同じタイプにしてください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_MODNONSBY: Module [dec] is present but not in standby mode

説明 このメッセージは、Supervisor Engine III モジュールを使用している場合に、アクティブな Supervisor Engine III モジュール上でのみ表示されます。冗長スーパーバイザ エンジンが搭載されたシステムで、起動時にどちらかの Supervisor Engine III モジュールに問題が発生し、ROM ベース モニタ (ROMMON) に送信されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 冗長スーパーバイザ エンジンのコンソールから、冗長スーパーバイザ エンジンを手動で起動してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_NOSTANDBYSUP: No standby supervisor in system

説明 システムに冗長スーパーバイザ エンジンが搭載されていないため、reset mindown を実行できませんでした。reset mindown を実行できるのは、冗長スーパーバイザ エンジンが搭載されたシステムだけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_NVQUEUE: NVRAM Queue not empty

説明 NVRAM のキューが空です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_PORTINTFRESET: Supervisor Port Interface sync (Module [dec]) not recovered. Resetting the module.

説明 スーパーバイザ エンジンのポート インターフェイス モジュールが同期化されていません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 スーパーバイザ エンジンを取り付け直してください。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_PWRDNPORTINTF: Supervisor Port Interface sync (Module [dec]) not recovered. Powering down the module\n

説明 スーパーバイザ エンジンにスイッチング モジュールとの同期化の問題があります。スーパーバイザ エンジンは、モジュールおよびポート インデックスを使用してシーケンス エラーの原因となっているスイッチング モジュールを判別します。スーパーバイザ エンジンは、シーケンス エラーのあるスイッチング モジュールをリセットします。エラーが解消されない場合には、スーパーバイザ エンジンがスイッチング モジュールの電源を切ります。[dec] は、シーケンス エラーのあるモジュールの番号です。

推奨処置 電源を切ったスイッチング モジュールでオフラインおよびオンライン診断を実行します。問題が解消されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_RESETMINDOWNNOPROC: Unable to create reset mindown process

説明 reset mindown タスクの作成に失敗しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_RESETMINDOWNNOTSUP: Reset mindown not supported by downloaded version

説明 ダウンロードしたソフトウェアバージョンが、reset minimum down time コマンドをサポートしていません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_RESETMINFAILED: Reset mindownload failed

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンがリセットに失敗しました。このメッセージの前に、アクティブ スーパーバイザ エンジンがリセットに失敗した原因を示す別のエラー メッセージが生成されることがあります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SACCEPTFAIL: [chars] standby task accept call failed

説明 TCP/IP accept call に失敗しました。この場合、フラッシュのコピーおよび NVRAM の同期化は実行されません。[chars] は、冗長スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SBINDFAIL: [chars] standby task bind call failed

説明 TCP/IP bind call に失敗しました。この場合、フラッシュのコピーおよび NVRAM の同期化は実行されません。[chars] は、冗長スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SBYSUPNOTONLINE: Failed to bring standby supervisor online

説明 冗長スーパーバイザ エンジンがオンラインになりませんでした。reset mindown タスクは中止されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SBYSUPRSTMINMSG: Standby supervisor did not acknowledge reset mindown message

説明 冗長スーパーバイザ エンジンが、アクティブ スーパーバイザ エンジンから送信された reset mindown メッセージに 응답しませんでした。アクティブ スーパーバイザ エンジンはリセットを開始しません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SBYSUPSLPFAILED: Unable to communicate with standby using SLP

説明 アクティブとスタンバイのスーパーバイザ エンジン間に SLP 通信障害が発生しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SDNLDNOSPACE: [chars] image larger than standby supervisor reserved memory

説明 同期化するイメージ ファイルが大きすぎて、冗長スーパーバイザ エンジンのバッファに保管できません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SIMGPROGFAIL: [chars] standby flash programming failed

説明 冗長スーパーバイザ エンジンのフラッシュ プログラミングに失敗しました。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SINBOOT: Standby supervisor module [dec] is running boot code

説明 冗長スーパーバイザ エンジン モジュール [dec] が、BOOT コードを実行中です。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 これは単なる通知メッセージですが、スーパーバイザ エンジンのフラッシュが壊れている、冗長スーパーバイザ エンジンに有効イメージでのブートアップが設定されていない、またはブートに失敗したことを示す場合もあります。スーパーバイザ エンジンのフラッシュが壊れている可能性がある場合には、アクティブスーパーバイザ エンジンがフラッシュを再プログラミングするまで待機してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SLISTENFAIL: [chars] standby task listen call failed

説明 TCP/IP listen call に失敗しました。[chars] は、冗長スーパーバイザ エンジンです。この場合、フラッシュのコピーおよび NVRAM の同期化は実行されません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SMSGUNKNOWN: [chars] unknown message received

説明 フラッシュから NVRAM への同期化中に、スーパーバイザ エンジンが未知のメッセージを受信しました。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SOUTOFSYNC: [chars] standby is out of sync

説明 システムに何らかの問題があり、アクティブスーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジン間でフラッシュの同期化ができません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SRECVFAIL: [chars] unable receive data from active

説明 システムに問題があり、冗長スーパーバイザ エンジンがアクティブ スーパーバイザ エンジンからデータを受信できません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SSENDFAIL: [chars] unable send data to active

説明 システムに問題があり、冗長スーパーバイザ エンジンがアクティブ スーパーバイザ エンジンにデータを送信できません。[chars] は、タスク名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SSOCKFAIL: [chars] standby task socket call failed

説明 TCP/IP socket call に失敗しました。この場合、フラッシュのコピーおよび NVRAM の同期化は実行されません。[chars] は、冗長スーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_SYNCDIAGFAILED: Unable to sync diag info. Please reset manually

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンと冗長スーパーバイザ エンジン間で診断情報が同期化されず、アクティブ スーパーバイザ エンジンから冗長スーパーバイザ エンジンに制御を引き継げません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_THERMALERROR: ERROR: CPU [dec] overlapped ERROR temperature

説明 CPU の動作温度が制限値を越え、シャットダウンされる可能性があります。[dec] は、CPU 番号です。

推奨処置 シャーシの通気口が妨げられていないかどうかを確認し、シャーシ内に十分な冷気を送り込んでください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_THERMALWARNING: WARNING: CPU [dec] overlapped WARNING temperature

説明 CPU の動作温度が制限値に近づいています。[dec] は、CPU 番号です。

推奨処置 シャーシの通気口が妨げられていないかどうかを確認し、シャーシ内に十分な冷気を送り込んでください。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_THISSUPRESET: Resetting this supervisor.. standby supervisor will take over

説明 reset mindown により、アクティブ スーパーバイザ エンジンがリセットされます。冗長スーパーバイザ エンジンが制御を引き継ぎます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SUP_WAITSBYSUPONLINE: Wait for standby supervisor to come online

説明 冗長スーパーバイザ エンジンがオンラインになるまで、reset mindown の実行を待機しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_ADDRFAIL: TFTP address is invalid

説明 Trivial File Transfer Protocol (TFTP; 簡易ファイル転送プロトコル) アドレスが無効です。

推奨処置 この機能に有効なアドレスを設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_FTPCFGERR: Ftp username or password not configured, Authentication Failure

説明 システム情報ロギング機能で転送プロトコルとして FTP を使用するように設定されているが、適切なユーザ名およびパスワードが設定されていない場合に、このメッセージが表示されます。

推奨処置 set ftp username *username* コマンドおよび set ftp password *password* コマンドを使用して、ユーザ名とパスワードを適切に設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_MEMFAIL: Malloc for system information logging failed

説明 システム情報ロギング機能に十分なメモリが割り当てられていません。

推奨処置 使用していない機能をオフにし、メモリを解放してください。十分なメモリ スペースを割り当てられない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_NOCMDS: No commands are configured

説明 処理を実行するコマンドが設定されていません。

推奨処置 宛先ファイルに保管したい出力のコマンドを設定してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_RCPFAIL: RCP failure: [chars]

説明 システム情報ロギング プロセスが、Remote Copy Protocol (RCP) 方式でのサーバへの情報のコピーに失敗しました。[chars] は、失敗の原因です。

推奨処置 RCP コンフィギュレーションと RCP ユーザ名を確認し、スイッチから宛先サーバに確実にアクセスできるようにしてください。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_WRITEFAIL: Failed to write to the destination [chars] on the server

説明 システム情報ロギング機能が、宛先ファイルに書き込みできません。[chars] は、宛先ファイルの名前です。

推奨処置 宛先ファイルが存在し、ファイルに適切な許可が設定され、スイッチから宛先サーバにアクセスできることを確認してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Bus Asic #[dec] out of sync error

説明 バス ASIC とポート ASIC 間に多重同期の問題が発生しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC 番号です。

推奨処置 エラーが繰り返し発生する場合には、モジュールを交換してください。または、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Bus Asic #[dec] Pt #[dec] receive FIFO error detected

説明 特定ポートのバス ASIC のエラーを示しています。モジュールがバス ASIC に受信 First-in First-out (FIFO; 先入れ先出し) エラーを検出しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC 番号です。3 番めの [dec] は ASIC ポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。メッセージが繰り返し表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil [dec] Port [dec] stuck [dec] times([dec] due to lcol; [dec] due to notx)

説明 モジュールがポート ASIC 障害を検出し、ASIC ポートがロックアップされています。デュプレックスの不一致、ハブとスイッチの混在、ネットワーク インターフェイス カードが仕様と異なる、インターフェイス ケーブルが長すぎる、などの原因が考えられます。Module [dec] はエラーを通知したモジュール、Coil [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、Port [dec] はエラーが発生した ASIC ポートです。各 ASIC は 12 ポート (0 ~ 11) で、ASIC 番号とポート番号は 0 から開始されます。Stuck [dec] はエラーの持続時間、最後の 2 つの [dec] はレイト コリジョン (lcol) および no data transmission (notx) カウントです。

推奨処置 デュプレックスの不一致、接続ワークステーション上のネットワーク インターフェイス カードの同期外れ、エラー ディセーブル条件、レイト コリジョン、リンク レベル エラーなど、ポートの物理ステータスを確認してください。このメッセージは、ハードウェアの問題だけを示しているとは限りません。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil Master CPU Interface Error - Coil #[dec]

説明 ポート ASIC 制御アクセス上のエラーを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC 番号です。

推奨処置 <http://www.cisco.com/warp/public/473/163.html> のトラブルシューティング情報にある『*Troubleshooting WS-X6348 Module Port Connectivity for Catalyst 6500/6000 Using CatOS*』を参照してください。エラー メッセージが表示され続ける場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil Mdtif CPU Interface State Machine Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 <http://www.cisco.com/warp/public/473/163.html> のトラブルシューティング情報にある『*Troubleshooting WS-X6348 Module Port Connectivity for Catalyst 6500/6000 Using CatOS*』を参照してください。エラーメッセージが表示され続ける場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil Pb Rx Underflow Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC 受信パケットバッファのアンダーフローを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 <http://www.cisco.com/warp/public/473/163.html> のトラブルシューティング情報にある『*Troubleshooting WS-X6348 Module Port Connectivity for Catalyst 6500/6000 Using CatOS*』を参照してください。エラーメッセージが表示され続ける場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil Pb Tx Underflow Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC 送信パケットバッファのアンダーフローを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 <http://www.cisco.com/warp/public/473/163.html> のトラブルシューティング情報にある『*Troubleshooting WS-X6348 Module Port Connectivity for Catalyst 6500/6000 Using CatOS*』を参照してください。エラーメッセージが表示され続ける場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Coil Pinnacle Header Checksum Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 <http://www.cisco.com/warp/public/473/163.html> のトラブルシューティング情報にある『*Troubleshooting WS-X6348 Module Port Connectivity for Catalyst 6500/6000 Using CatOS*』を参照してください。エラーメッセージが表示され続ける場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Debug Port Counter Initialization Complete

説明 モジュールがポートカウンタエラー検出を開始しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: EOBC Collision detect count = [dec]

説明 システムの他のモジュールとの帯域外通信に使用しているチャンネルに問題があります。モジュールが異常なレベルのコリジョンを検出しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: EOBC CRC detect count = [dec]

説明 システムの他のモジュールとの帯域外通信に使用しているチャンネルに問題があります。モジュールが CRC エラーのあるフレームを検出しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: EOBC Illegal frame length error count = [dec]

説明 システムの他のモジュールとの帯域外通信に使用しているチャンネルに問題があります。モジュールが長さの不正なフレームを検出しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Medusa #[dec]: Number of packet(s)/byte(s) switched through the fabric uplink is 0 (Registers B0 & B2)

説明 モジュールが、アクティブ スイッチ ファブリック モジュールにデータを送信していません。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は ASIC 番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Pinnacle #[dec] : Port #[dec], Frames with CRC errors on RBus (PI_PN_S_RBUS_ERR_CNT_REG - 0x159) = [dec]

説明 Rbus からのバス ASIC が、CRC エラーのあるフレームを受信しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、3 番めの [dec] は ASIC ポート、4 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Pinnacle #[dec], Frames with Bad Checksum on RBus(PI_CI_S_RBUS_FCS - 0xC6) = [dec]

説明 Rbus からのバス ASIC が、チェックサムの不正なフレームを受信しました。最初の [dec] はこのエラーが 2 回以上発生しているモジュール番号、2 番めの [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、3 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Pinnacle #[dec], Frames with Bad Header Checksum on DBus (PI_CI_S_HDR_FCS - 0xC5) = [dec]

説明 DBus からのバス ASIC が、チェックサムの不正なフレームを受信しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、3 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Pinnacle #[dec], Frames with Bad Packet CRC Error (PI_CI_S_PKT_CRC_ERR - 0xC7) = [dec]

説明 DBus からのバス ASIC が、パケット CRC が不正であるフレームを受信しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、3 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Pinnacle #[dec], Frames with Bad Packet Length Error (PI_CI_S_PKT_LEN_ERR - 0xC8) = [dec]

説明 DBus からのバス ASIC が、パケット長の不正なフレームを受信しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] はエラーを通知した ASIC 番号、3 番めの [dec] はエラー カウントです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Port #[dec] (Bus Asic #[dec] Pt #[dec]) receive FIFO error detected

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールがバス ASIC に受信 FIFO エラーを検出しました。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番めの [dec] は、フロントパネルのポートです。3 番めの [dec] は ASIC 番号、4 番めの [dec] は ASIC ポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_LCPERR3:Module [dec]: Santa Ana #[dec] is stuck (SA_GLOBAL_CONTROL_0 reg is RESET)

説明 モジュールとアクティブスイッチ ファブリック モジュールを相互接続している ASIC に問題があります。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は ASIC 番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_MEMERR: [chars] while [chars] address 0x[hex]

説明 メモリ管理機能によりメモリの破壊が検出されました。最初の [chars] は Out of range (範囲外)、Bad alignment (不正配列)、Block is not free (ブロックが解放されていない)、No clusters left (クラスタがなくなった)、Back pointer mismatch (バックポインタの不一致)、Bad magic number (不正マジック番号)、succeeding block out of range (次ブロックが範囲外)、succeeding block improperly aligned (次ブロックが不正配列)、preceeding block out of range (前ブロックが範囲外)、preceeding block improperly aligned (前ブロックが不正配列)、または bad process id (不正プロセス ID) です。2 番目の [chars] は freeing (解放中)、getting (取得中)、または allocating (割り当て中) です。[hex] は、解放、取得、または割り当てを試みたブロックのアドレスです。たとえば、メッセージ SYS-3-SYS_MEMERR: No clusters are left while allocating for address 0x409c1900 およびメッセージ SYS-3-SYS_MEMERR: Null cluster while getting next from address 0x30e8eda0 は同時に発生することがあり、システムがオーバーロードになっている可能性があります。負荷の増大が一時的なものであれば、システムは適正に回復します。

推奨処置 システムがオーバーロードしていないかどうかを確認してください。オーバーロード状態の場合には、負荷を減らしてください。システムがオーバーロードしていないようであれば、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_MEMLOW: [chars] usage exceeded 90%

説明 メモリ使用率が 90% を超えました。[chars] は、memory cluster (NMP オペレーティングシステムメモリ) または mbuf (メモリバッファ) です。memory cluster の場合には、NMP オペレーティングシステムのメモリ使用率が 90% を超えています。mbuf の場合には、制御プレーンのフレームバッファの使用率が 90% を超えています。これには、スパニングツリー BPDU、CDP、PAgP、DISL、その他のすべての管理プロトコル、および NMP CPU に宛てられる管理 VLAN の SNMP および Network Time Protocol (NTP) などのプロトコルが含まれます。

推奨処置 メモリクラスタの使用率が 90% を超えている場合には、一部の機能をディセーブルにするか、メモリをアップグレードしてください。mbuf の使用率が 90% を超えている場合には、パケット損失を防ぐために管理 VLAN 上のトラフィックを減らしてください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_RMONLOWMEM: Fail to allocate memory for RMON. Memory usage exceeds [dec]

説明 ユーザが定義した RMON のメモリ割り当てに失敗しました。[dec] は、超過したメモリ使用率です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-3-SYS_RMONMEMLOW: Fail to allocate memory for RMON. System memory usage excess [dec]

説明 RMON ファシリティがシステムからのメモリを要求していて、システムメモリの使用率が設定されたスレッシュホールドを超えている、または超えそうです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-SYSINFOLOG_MEMFAIL: Malloc for system information logging failed

説明 メモリの障害を示します。ロギングはスキップされます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-3-TRANSCEIVER_FAILED: [chars]

説明 トランシーバがセキュリティチェックに失敗した場合に表示されます。1. [chars] は表示されるメッセージです。ファームウェアからポートが承認されていない旨のレポートがあったり、ファームウェアに不良のシリアル再書込み可能 ROM (SPROM) がある場合、「Transceiver integrity check on port [dec]/[dec] failed:bad crc or bad key.」というメッセージが表示されます。NMP が重複シリアル番号を検出した場合、「Transceivers on ports [dec]/[dec] and [dec]/[dec] have duplicate serial numbers.」というメッセージが表示されます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 トランシーバを交換してください。

エラー メッセージ SYS-3-TRANSCEIVER_NOTAPPROVED: [chars]

説明 サポートされていない SFP または XENPAK (またはその両方) が、ファームウェアから NMP に通知されました。サポートされていない GBIC はトラフィックを通過させることができますが、サポートされていない SFP または XENPAK はできません。[chars] は表示されるメッセージであり、デバイスのタイプ (GBIC、SFP、または XENPAK) によって異なります。デバイスが GBIC である場合、「GBIC on port [dec]/[dec] is not supported.」というメッセージが表示されます。デバイスが SFP または XENPAK である場合、「Transceiver on port [dec]/[dec] is not supported.」というメッセージが表示されます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 サポートされていない SFP または XENPAK を取り外し、サポートされている SFP または XENPAK を取り付けます。サポートされている SFP と XENPAK については、スイッチのハードウェアマニュアルを参照してください。このエラーメッセージが再表示される場合は、現行ソフトウェアリリースを使用していることを確認してください。必要であれば、ソフトウェアをアップグレードしてください。

エラー メッセージ SYS-3-TRANSCEIVER_NOTSUPP: [chars]

説明 サポートされていない GBIC、SFP、または XENPAK をスイッチングモジュールに挿入した場合に表示されます。サポートされていない GBIC、SFP、または XENPAK は、トラフィックを通過させることができません。[chars] は表示されるメッセージであり、デバイスのタイプ (GBIC、SFP、または XENPAK) によって異なります。デバイスが GBIC である場合、「GBIC on port [dec]/[dec] is not supported.」というメッセージが表示されます。デバイスが SFP または XENPAK である場合、「Transceiver on port [dec]/[dec] is not supported.」というメッセージが表示されます。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 サポートされていない GBIC、SFP、または XENPAK を取り外し、サポートされている GBIC、SFP、または XENPAK を取り付けます。サポートされている GBIC、SFP、および XENPAK については、スイッチのハードウェア マニュアルを参照してください。このエラーメッセージが再表示される場合は、現行ソフトウェア リリースを使用していることを確認してください。必要であれば、ソフトウェアをアップグレードしてください。

SYS-4

エラー メッセージ SYS-4-LINK_RXCRCWARN: Port [dec]/[dec] rxcrcErrors warning

説明 設定されている下限スレッシュホールドおよびサンプリング要件を下回る、CRC エラー パケットおよびアライメントエラー パケットをポートが受信しました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-LINK_TXCRCWARN: Port [dec]/[dec] txcrcErrors warning

説明 設定されている下限スレッシュホールドおよびサンプリング要件を下回る、CRC エラー パケットおよびアライメントエラー パケットをポートが送信しました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-MODHPRESET: Host process (860) [dec] [dec] got reset asynchronously

説明 モジュールのホスト プロセッサがリセットされました。最初の [dec] はホスト プロセッサが常駐するモジュール番号、2 番めの [dec] はリセットされたプロセッサの番号です（一部のモジュールは複数のオンボード プロセッサを搭載しています）。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-MOD_SHUTDOWNEND_RESET: Module [dec] shutdown completed. Module resetting...

説明 スイッチング モジュールをリセットしたことによりモジュールがシャットダウンし、リセットが開始されました。[dec] はシャットダウンされたスイッチング モジュールのモジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-NVLOG: Failed to automatically save system configuration to NVRAM as system configuration is being updated

説明 システム設定を保存できませんでした。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-4-P2_LogBrObsoleteGbicInserted: Port [chars]: Gbic serial eeprom date [chars] is earlier than 07/98; return to [chars] for reprogramming

説明 試験段階の GBIC が検出されました。最初の [chars] は問題の GBIC が取り付けられているポート、2 番目の [chars] はシリアル EEPROM の日付、3 番目の [chars] は GBIC を返却すべき場所です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-4-P2_LogEbmZeroEtherAddr: Filtering Ethernet MAC address of value zero from agent host table interface

説明 MAC アドレス 00:00:00:00:00:00 が検出されました。この MAC アドレスは標準規格に準拠していません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-4-P2_LogEpcHostAccessDenied: Host [ether] access denied on port [chars]

説明 指定したホストが、特定ポート上の送信元アドレスです。ただし、システムは、特定ポート上のホストからのトラフィックを拒否するように設定されています。したがって、このポート上のこのアドレスからのトラフィックはすべて廃棄されます。この状況は通常、ポートセキュリティがイネーブルである場合に発生します。セキュアポートに異なるアドレスが割り当てられていると、他のアドレスからのトラフィックはセキュリティ違反となるので、廃棄されます。[ether] はイーサネットホストアドレス、[chars] はポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-4-P2_LogEpcMulticastSource: Invalid traffic from multicast source address [ether] on port [chars]

説明 特定ポート上で、マルチキャスト送信元からのトラフィックを受信しました。これは標準に準拠した動作ではありませんが、情報は宛先アドレスに基づいて転送されます。[ether] は送信元アドレス、[chars] はデータを受信したポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ SYS-4-P2_LogEpcPermanentHostWrongPort: Traffic from permanent host [ether] but seen on incorrect port [chars]

説明 特定のポートだけに表示されるように設定したホストが、他のポート上でも表示されています。不正ポート上のホストトラフィックは、すべて廃棄されます。[ether] はホストアドレス、[chars] はホストトラフィックが表示されているポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogEpcVlanTagConflictsWithAccessPort: Tag [dec] on packet from [ether] port [chars], but port's native vlan is [dec]

説明 非トランク ポート上で 802.1Q タグ付きパケットを受信しました。パケットのタグに基づく VLAN (仮想 LAN) は、ポートのネイティブ VLAN ではありません。Tag [dec] はパケットに基づく VLAN ID、[ether] はホスト アドレス、port [chars] はポート ID、2 番目の [dec] はネイティブ VLAN 番号です。

推奨処置 ローカル ポートが、トランク ポートではなくアクセス ポートとして誤って設定されている可能性があります。または、リモート側がアクセス ポートではなくトランク ポートとして設定されています。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogGalLinecardCleanupTooLong: Module [dec] is taking an unusual amount of time to come online

説明 ホットスワップ対応モジュールのパワーアップに時間がかかりすぎています。新しいモジュールのパワーアップ プロセス中に、古いモジュールに関連する条件を削除するためのクリーンアップ プロセスが実行されています。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 クリーンアップ プロセスが再び開始されるので、モジュールをすぐに取り外して、再び取り付けることは避けてください。10 分間待ってモジュールがオンラインにならなければ、スイッチをリセットしてください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogNicerManDiagsFailed: [chars] failed diags

説明 ASIC が診断テストに失敗しました。[chars] は、ASIC 名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogNicerManFailedToSendLoopbackTries: [chars] port [dec] failed to send packet in [dec] tries

説明 ASIC が、指定された ASIC ポート上でループバック パケットを送信できません。ループバック パケットが送信されるのは 3 回だけです。[chars] は ASIC、[dec] はポート番号、2 番目の [dec] は試行して失敗した回数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogNicerManNotifySuicide: Online diags [chars] received suicide event while in state [dec]

説明 ASIC 診断テストを制限時間内に完了できませんでした。[chars] は制限時間を超えた ASIC、[dec] は時間切れになったときの ASIC のステートです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogNicerManResettingNicer: Warning-resetting Nicer [chars] due to loss of all communications

説明 ASIC マネージャが、ASIC に対して 10 回続けてパケットを再送信し、応答が得られませんでした。ASIC マネージャは、この ASIC のリセットを試みます。[chars] は、ASIC 名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogNicerManUnexpectedLoopback: [chars] sent out a loopback packet on port [dec], but it came back on port [dec]

説明 ASIC の診断テストにより 1 つのポートから送信されたループバック パケットが、別のポートで受信されました。[chars] は ASIC 名、最初の [dec] は送信したポート番号、2 番めの [dec] は受信したポート番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogScxManOutOfMcis: Out of multicast table entries

説明 システムのリソース不足により、マルチキャスト トラフィックおよび宛先が未知のトラフィックを転送できません。

推奨処置 通常、トラフィックが過密なときだけに発生する一時的な状態です。問題が解消されない場合には、CGMP/IGMP をディセーブルにしてください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogScxSingleK1ManOutOfMcis: Out of multicast table entries

説明 システムのリソース不足により、マルチキャスト トラフィックおよび宛先が未知のトラフィックを転送できません。

推奨処置 通常、トラフィックが過密なときだけに発生する一時的な状態です。問題が解消されない場合には、CGMP/IGMP をディセーブルにしてください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogScxTripleK1ManOutOfMcis: Out of multicast table entries

説明 システムのリソース不足により、マルチキャスト トラフィックおよび宛先が未知のトラフィックを転送できません。

推奨処置 通常、トラフィックが過密なときだけに発生する一時的な状態です。問題が解消されない場合には、CGMP/IGMP をディセーブルにしてください。

エラー メッセージ SYS-4-P2_LogSknmpInvalidVlanDropPacket: Invalid vlanId [dec], dropping packet DA [ether] SA [ether]

説明 スーパーバイザ エンジンから送信されたインデックス付きパケットの VLAN 番号が無効です。[dec] は無効の VLAN 番号、DA [ether] はパケットの宛先アドレス、SA [ether] はパケットの送信元アドレスです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-PKTBUFFERFAIL_SUP_WARN: Packet buffer failure. Powercycle supervisor to recover from this error.

説明 スーパーバイザ エンジンのポートでパケット バッファ エラーが検出されました。エラーの発生したポートは、errdisable になります。

推奨処置 影響を受けたスーパーバイザ エンジンの電源をいったん切ってから再投入してください。

エラー メッセージ SYS-4-PORT_GBICBADEEPROM: Port [dec]/[dec] bad gbic eeprom checksum

説明 GBIC モジュールで不正チェックサムが検出されました。[dec]/[dec] は、エラーが発生した GBIC のモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 GBIC を交換してください。

エラー メッセージ SYS-4-PORT_GBICNOTSUPP: Port [dec]/[dec] GBIC is unsupported

説明 GBIC シリアル EPROM が不正、または GBIC がサポートされないバージョンであるため、取り付けられた GBIC を認識できません。[dec]/[dec] は、エラーが発生した GBIC のモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 シスコのサポート対象 GBIC を使用している場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。それ以外の場合は、サポート対象の GBIC に交換するか、このメッセージを無視してください。

エラー メッセージ SYS-4-PORT_WARN: Port [dec]/[dec] [chars] ([dec]) [chars] ([dec]) [chars] ([dec])

説明 複数のポート エラー カウンタで値が増分しました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、最初の [chars]([dec]) は最初のポート エラー カウンタとその値、2 番めの [chars]([dec]) は 2 番めのポート エラー カウンタとその値、3 番めの [chars]([dec]) は 3 番めのポート エラー カウンタとその値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-PS_INPUT: Power supply [dec] input [chars]

説明 一部の DC 電源装置は、運用中に容量を変更できます。このメッセージは、変更後の新しい容量を通知します。[dec] は電源装置番号、[chars] は電源装置の容量です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-PS_MINORPOWERALARM: System power usage exceeds the recommended range of [chars] W

説明 放熱のため、一部のシャーシの消費電力を制限する必要があります。このメッセージは、消費電力が最大許容範囲を超過した場合に表示されます。システムは動作を続行しますが、この消費電力レベルでの継続的な運用は推奨しません。[chars] は、最大消費電力設定です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-PS_MINORPOWERALARMRECOVER: System power usage returned to the normal range

説明 タイマーが満了する前に、消費電力が最大消費電力設定未満に低下しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-4-PS1_EMPTYALERT: Single power supply system should utilize slot 1

説明 電源装置が電源装置ベイ 2 に取り付けられ、電源装置ベイ 1 には取り付けられていません。1 つの電源装置だけを使用するシステムでは、電源装置ベイ 1 に取り付ける必要があります。

推奨処置 電源装置を電源装置ベイ 1 に取り付けてください。

エラー メッセージ SYS-4-PS1_FAILALERT: Power supply [dec] input [chars]

説明 一部のシャーシでは、最大消費電力を提供するには、電源装置スロット 1 に電源装置が取り付けられている必要があります。このメッセージは、スロット 1 の電源装置を取り外したために、消費電力の最大許容電力が減少した場合に表示されます。[dec] は電源装置番号、[chars] は消費電力です。

推奨処置 電源装置をスロット 1 に取り付けます。電源装置はオンでもオフでも構いませんが、電源装置の存在により放熱が緩和され、エラー状態が解消されます。

エラー メッセージ SYS-4-SPAN_RSPANVLAN_DSTPORT_INPKTS: Rspan Vlan [dec] belongs to span destination which has inpkts enabled

説明 SPAN 宛先 (オプション inpkts が有効) のネイティブ VLAN が RSPAN VLAN になりました。[dec] は、SPAN 宛先ポートのネイティブ VLAN です。

推奨処置 SPAN 宛先ポートのネイティブ VLAN を通常の VLAN (非 RSPAN VLAN) に戻します。

エラー メッセージ SYS-4-SUPERVISOR_ERR: [chars] [chars]

説明 スーパーバイザ エンジンのエラー カウンタが増分しました。最初の [chars] はカウンタ名、2 番目の [chars] はカウンタの値です (64 ビット カウンタは出力前に文字列形式に変換されます)。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Bic Catastrophic Error, Info=[hex]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Bic Fifo Overflow Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Noc Global Error, Info=[hex]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Port#[dec] Noc Address Sequence Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが QChip ASIC にシーケンス エラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はフロント パネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Pq Arb Fifo Full Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Red Average Count Overflow Error, Info=[hex]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Red Used Count Overflow Error, Info=[hex]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: QChip Txmm Noc Decrement Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: RChip Boc Error, Info=[hex]

説明 モジュールが、RChip ASIC 関連のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: RChip Port#[dec] Boc Header Crc Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] は、モジュール番号です。2 番目の [dec] は、フロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-4-SYS_LCPERR4:Module [dec]: RChip Port#[dec] Nic Fifo Error, Info=[hex]

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポート、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

SYS-5

エラー メッセージ SYS-5-CFG_FLASH_CONFIGSYNCFINISH: Active supervisor has synchronized config file [chars]

説明 アクティブスーパーバイザエンジンがコンフィギュレーション ファイルの同期化を完了しました。[chars] は、コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-CFG_FLASH_CONFIGSYNCSTART: Active supervisor is synchronizing config file [chars]

説明 アクティブスーパーバイザエンジンが現在、コンフィギュレーション ファイルを同期化しています。[chars] は、コンフィギュレーション ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-CFG_FLASH_FILEDELSBY: File [chars] deleted from the standby supervisor

説明 冗長スーパーバイザエンジンからコンフィギュレーション ファイルが削除されました。[chars] は、削除されたファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-CHASSIS_NOT_SUPPORTED: chassis not supported in current image

説明 このソフトウェア イメージでは、シャーシがサポートされていません。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-EOBC_CHANNELREINIT: Ethernet out of band channel reinitialized [dec]

説明 モジュール間の通信に使用している EOBC 送信チャンネルに異常なコリジョンが発生し、コリジョンをクリアするためにチャンネルが再初期化されました。[dec] は、このエラーが発生した回数です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-EOBC_MODULEDOWNUP: Ethernet out of band channel reenabled power to module [dec]

説明 EOBC 送信チャンネルの異常コリジョンの原因を特定するために、システムによりパワーダウンされたモジュールが、再びパワーアップしました。[dec] は、パワーアップされたモジュールです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-ERRBRDPRES: Erroneous Boards Present message has been received

説明 NMP が、MCP から無効な [board present] メッセージを受信しました。NMP はこのメッセージを無視するので、システムに影響はありません。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。不正なメッセージを表示するには、show log コマンドを使用してください。

エラー メッセージ SYS-5-FAB-BUSMODERESET: Switch Fabric module [dec] reset to change mode

説明 スイッチ ファブリック モジュールのクロスバー ファブリックが、バスへのフェールオーバーを実行しないモードから、バスにフェールオーバーするモードに変更されました。[dec] は、スイッチ ファブリック モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-FAB_CHANNELINSYNC: Fabric channel LC [dec] chan [dec] to FAB [dec], chan [dec] is now in sync

説明 モジュールへのファブリック チャンネルが同期化されました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はファブリック チャンネル番号、3 番めの [dec] は 2 番めのモジュール番号、4 番めの [dec] は 2 番めのファブリック チャンネル番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS_5_FAN_INSERT: Fan [dec] has been inserted

説明 ファントレイがシャーシに装着されました。[dec] は、ファントレイの番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-FAN_REMOVE: Fan [dec] has been removed

説明 ファントレイがシャーシから取り外されました。[dec] は、ファントレイの番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_1SEC: Power devices connected to ports on module [dec] will come up within 1 sec

説明 システムが電力を供給するデバイス (IP Phone) をすぐにパワーアップできるように、パワー マネージャからモジュールに十分なローカル プール パワーが割り当てられました。デバイスは、検出されてから 1 秒以内にアップになります。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_BOOTROMUPGRADEDONE: Download boot image completed on module [dec]. Module will reset.

説明 新バージョンのブート ROM イメージがモジュールにダウンロードされました。ダウンロードが完了すると、モジュールはリセットされます。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_DCPWRMISMATCH: Module [dec] DC power failure detected during polling

説明 通常のポーリング中に、スーパーバイザ エンジンが、1 つのモジュールのパワー マネジメント用の回線に問題があることを検出しました。障害が検出されると、モジュールへのポーリングは行われません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_DNLDFAIL: Download failed for module [dec]

説明 特定のモジュールへのコードのダウンロードに失敗しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 モジュールをリセットし、コードをリロードしてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_INSERT: Module [dec] has been inserted

説明 モジュールが装着されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。モジュールを装着したあと、このメッセージが表示されない場合には、問題がある可能性があります。show module コマンドまたは show port mod_num/port_num コマンドを入力して、システムがモジュールを認識し、モジュールがオンラインになっているかどうかを確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_ILPWR_OK: Module [dec] inline power allocated is within the threshold limit. Threshold: [dec] Watts, Usage: [dec] Watts

説明 モジュール上のポートに割り当てられたインライン パワーの合計が、スレッシュホールド値未満に低下しました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はスレッシュホールド、3 番めの [dec] はワット単位の消費電力です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_ILPWR_OVERTHRESHOLD: Module [dec] inline power allocated exceeds threshold. Threshold: [dec] Watts, Usage: [dec] Watts

説明 インライン パワーの合計が、モジュール上のポートに割り当てられたスレッシュホールドを超過しました。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はスレッシュホールド、3 番めの [dec] はワット単位の消費電力です。

推奨処置 設定を確認し、余分な電力を消費する未知のデバイスがネットワーク上にないことを確認してください。未知のデバイスが存在する場合は、スレッシュホールド設定を変更して、このメッセージが表示されないようにすることを検討してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NO1SEC: Power devices connected to ports on module [dec] may not come up within 1 sec, not enough power in the system

説明 パワー マネージャからモジュールに割り当てられるローカル プール パワーが不足しているために、システムが電力を供給するデバイス (IP Phone) をパワーアップできません。この場合、モジュールは単独では対応できず、デバイスをすぐにはパワーアップできません。モジュールはパワー マネージャにデバイスを検出したことを通知し、パワー マネージャがデバイスをパワーアップできるだけの電力がシステムにあることを確認し、モジュールにパワーが割り当てられるまで待機する必要があります。このプロセスは、1 秒以上かかる場合があります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NOREGISTRATION: No registration received from module [dec]... resetting module

説明 スーパーバイザ エンジンがシャーシのモジュールを検出してから 30 秒以内に、モジュールからスーパーバイザ エンジンにレジストレーション メッセージが戻されませんでした。スーパーバイザ エンジンはモジュールをリセットします。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NORESETACK: Module [dec] not responding... resetting module

説明 スーパーバイザ エンジンまたは NMP が実行コードを開始したあと、モジュールから確認応答を受信しませんでした。このメッセージは 3 分ごとに表示されます。モジュールは、その都度、リセットされます。9 分後に障害が宣言されます。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NORESPONSE: Module [dec] failed to respond

説明 3 回のリセット後、モジュールから NMP にリセットの確認応答が送信されませんでした。このモジュールの障害が宣言されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NOSCPPINGRESPONSE: Module [dec] not responding... resetting module

説明 モジュールへの 3 回のポーリング実行後、モジュールからスーパーバイザ エンジンに回答が戻されませんでした。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_NOTSUPPORTED: Module [dec] is not supported

説明 システムに装着されたモジュールのフィーチャ ID が無効です。[dec] は、モジュールが装着されたスロット番号です。

推奨処置 モジュールをスロットから取り外して、交換してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_OK: Module [dec] is online

説明 モジュールが診断セルフテストを正常に完了し、オンラインになりました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PASSWDCLR: Module [dec] password cleared from [chars]

説明 モジュールのパスワードがクリアされました。同時に、パスワードをクリアしたユーザ名またはユーザ ID が識別されています。[dec] はモジュール番号、[chars] はパスワードがクリアされた場所です。パスワードは Telnet、コンソール、または SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) からクリアできます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_POWERDENY: Module [dec] inserted, but not powered up as power to slot is disabled in the configuration.

説明 電源拒否スロットにスイッチング モジュールが挿入されました。このような状態が発生した場合、モジュールの電源が切られるためオンラインにはなりません。[dec] は、電源拒否スロットに挿入されたモジュールの番号です。

推奨処置 電源が拒否されていないスロットにモジュールを挿入し、`set module power up [dec]` コマンドを入力してモジュールをオンラインにしてください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PROGSTAT: Module [dec] flash programming [chars]

説明 インテリジェント モジュールのフラッシュ プログラミング ステータスを示しています。[dec] はモジュール番号、[chars] はステータスで、*complete* (完了) または *failed* (失敗) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PWRDENY: Power denied to module [dec]

説明 電源装置の容量不足により、モジュールをパワーアップできません。スーパーバイザ エンジンは、ブート中にモジュールの消費電力をモニタします。スーパーバイザ エンジンは、モジュールをパワーアップする時点で、モジュールに必要な電力と、電源装置の使用可能容量を比較します。電源装置に十分な容量が残っていない場合、スーパーバイザ エンジンはモジュールをパワーアップしません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PWRDN: Module [dec] powered down

説明 モジュールがパワーダウンされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PWRMISMATCH: Module [dec] SW/HW power status mismatch

説明 スーパーバイザ エンジンにより、パワー マネジメント ハードウェアのレジスタとソフトウェアのレジスタ間の不一致が検出されました。スーパーバイザ エンジンのソフトウェアは、300 ミリ秒ごとに、ソフトウェアとハードウェア間のパワー マネジメント チェックを実行します。不一致が検出されると、このメッセージが生成されます。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_PWRON: Module [dec] powered up

説明 モジュールがパワーアップされました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_REMOVE: Module [dec] has been removed

説明 モジュールが取り外されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。モジュールを取り外したあと、このメッセージが表示されない場合には、問題がある可能性があります。show port mod_num/port_num コマンドを入力して、モジュールを照会してください。次のメッセージが返されます。

Module n is not installed. (モジュール n は存在しません)

この応答が返されない場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_RESET: Module [dec] reset from [chars]

説明 モジュールが、指定のリクエストによってリセットされました。[dec] はモジュール番号、[chars] はコンソール セッションからリクエストした場合にはコンソール番号、Telnet セッションまたは SNMP からリクエストした場合には IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-MOD_RMVDNLDSTOP: Download terminated for module [dec].
Module removed

説明 コードのダウンロード中にモジュールが取り外されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-P2_LogGalOverheatingOver: Resuming normal operation
after return to acceptable temperatures

説明 装置の温度が限界を超えたため、発熱量を減らすためにモジュールがリセットされました。装置の温度が許容レベルまで低下すると、正常な稼働状態に戻ります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-P2_LogGalSufficientFansRestored: Resuming normal
operation after restoration of adequate fan cooling

説明 動作可能なファンの数が不足しているため、発熱量を減らすためにモジュールがリセットされました。ファンによる冷却が十分に回復すると、正常な稼働状態に戻ります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-P2_LogGalSufficientPowerRestored: Resuming normal
operation after restoration of adequate power

説明 必要な電源装置の数が不足しているため、消費電力を削減するためにモジュールがリセットされました。電力が十分に回復すると、正常な稼働状態に戻ります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-P2_LogPimFlapShutdown: Temporarily disabling port [chars] due to flap

説明 ポートリンクが、急速にアップとダウンを繰り返しています。通常、接続が不良であるか、リンクレベルのハードウェア障害が原因です。パフォーマンスへの影響を防ぐために、問題のあるポートはシャットダウンされます。ポートは5秒おきに再びイネーブルになり、問題が解消されたかどうかを確認されます。問題が解消されるまで、ポートはシャットダウンされたままです。[chars]は、ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PKTTESTDONE: Packetbuffer test done. Use 'show test' to see test results

説明 パケットバッファのテストが完了しました。テスト結果を表示するには、show test コマンドを使用してください。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PKTTESTSTART: Packet buffer test started

説明 パケットバッファのテストが開始されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PORT_SSUPOK: Ports on standby supervisor (module [dec]) are up

説明 冗長スーパーバイザエンジンを搭載したシステムで、冗長スーパーバイザエンジンのポートがアップになりました。[dec]は、モジュール番号です。このメッセージは、システムの電源投入時またはリセット時に発生します。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PRF_FLASH_FILEDELSBY: Profile file [chars] deleted from the standby supervisor

説明 スタンバイスーパーバイザエンジンからプロファイルファイルが削除されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PS_INSERT: Power supply [dec] has been inserted

説明 電源装置がシャーシに装着されました。[dec]は、電源装置の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-PS_NOTSUPP: Power supply type present is not supported by this system

説明 シャーシのサポート対象外である電源装置がシステムに取り付けられました。

推奨処置 シャーシに取り付けた電源装置が、シャーシでサポートされるタイプかどうかを確認してください。

エラー メッセージ SYS-5-PS_REMOVE: Power supply [dec] has been removed

説明 電源装置がシャーシから取り外されました。[dec] は、電源装置の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-REDUNDANTCLOCK_FAIL: Redundant clock failed

説明 冗長(スタンバイ)クロックの障害を示しています。プライマリ クロックから冗長クロックへのクロックのスイッチオーバーが保留されます。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-REDUNDANTCLOCK_OK: Redundant clock recovered

説明 冗長(スタンバイ)クロックがエラーから回復しました。プライマリ クロックから冗長クロックへのクロックのスイッチオーバーが有効になります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-RTE_DEFGATEFROM: Default Gateway switching from [chars]

説明 デフォルト IP ゲートウェイの障害を示しています。[chars] は、IP ゲートウェイの名前です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-RTE_DEFGATETO: Default Gateway switching to [chars]

説明 IP ゲートウェイが、新しいデフォルト IP ゲートウェイです。[chars] は、ゲートウェイの名前です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_ADMINPORTDEL: Admin ports delteded for [chars] session for [chars]

説明 セッションの管理ポート リストから、ポートが1つ以上削除されます。最初の [chars] はローカルまたはリモートの SPAN セッション、2 番めの [chars] は RSPAN VLAN の宛先ポートです。モジュールを取り外して異なるタイプのモジュールに交換した場合、このエラーが発生することがあります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_CFGFAIL: Failed to configure source port [dec/dec]

説明 送信元モジュール上で SPAN 機能がサポートされません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_CFGSTATECHG: [chars] session [chars]active for [chars]

説明 セッションがアクティブまたは非アクティブです。最初の [chars] はローカルまたはリモートの SPAN セッション、2 番目の [chars] はアクティブまたは非アクティブ、3 番目の [chars] は RSPAN VLAN の宛先ポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_NOADMINPORTS: No admin ports: [chars] session disabled for [chars]

説明 管理ポート リストが空になるため、セッションがディセーブルになりました。モジュールを取り外して異なるタイプのモジュールに交換した場合、このエラーが発生することがあります。最初の [chars] はローカルまたはリモートの SPAN セッション、2 番目の [chars] は RSPAN VLAN の宛先ポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_NOADMINVLANS: No admin vlans: [chars] session disabled for [chars]

説明 管理ポート リストが空になるため、セッションがディセーブルになりました。モジュールを取り外して異なるタイプのモジュールに交換した場合、このエラーが発生することがあります。最初の [chars] はローカルまたはリモートの SPAN セッション、2 番目の [chars] は RSPAN VLAN の宛先ポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_NOFILTERVLANS: No filter vlans: [chars] session disabled for [chars]

説明 フィルタ VLAN リストが空になるため、セッションがディセーブルになりました。1 つまたは複数の VLAN がクリアされた場合、このエラーが発生することがあります。最初の [chars] はローカルまたはリモートの SPAN セッション、2 番目の [chars] は RSPAN VLAN の宛先ポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_SRCMODCFGFAIL:Failed to configure source module [dec]

説明 モジュール上のポートを SPAN 送信元ポートとして設定できません。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 メッセージに示されたモジュールが SPAN 機能をサポートしているかどうかを確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-SPAN_SRCPORTCFGFAIL: Failed to configure source port [dec]/[dec]

説明 ポートを SPAN 送信元ポートとして設定できません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 メッセージに示されたモジュールが SPAN 機能をサポートしているかどうかを確認してください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_BOOTSYNCFINISH: Supervisor's boot images are synchronized

説明 スーパーバイザ エンジンが BOOT イメージの同期化を完了しました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_CHASSISMISMATCH: Supervisor does not support the current chassis

説明 スーパーバイザ エンジンが、このシャーシでサポートされません。

説明 リリースノートを参照し、ハードウェアとソフトウェアの互換性を確認してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_CONFIGSYNCFINISH: Active supervisor has [chars] the Config File

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンが、コンフィギュレーション ファイルのコピーまたは同期化を完了しました。[chars] は、copied (コピー) または synchronized (同期化) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_CONFIGSYNCSTART: Active supervisor is [chars] the Config File

説明 アクティブ スーパーバイザ エンジンが、コンフィギュレーション ファイルのコピーまたは同期化を開始しました。[chars] は、copying (コピー) または synchronizing (同期化) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5_SUP_FILENOTFOUND: File [chars] not found.

説明 システムがファイルを検出できません。[chars] は、ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_HASWOVER: Supervisor becoming active (HA switchover)

説明 ハイ アベイラビリティがイネーブルで、スイッチオーバーが実行され、冗長スーパーバイザ エンジンがアクティブになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_HASWOVERDONE: Started switching traffic after HA switchover

説明 ハイ アベイラビリティがイネーブルで、スーパーバイザエンジンのスイッチオーバーが実行され、冗長スーパーバイザエンジンでパケット交換が開始されました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_IMGSYNC: File synchronization process will start in [dec] seconds

説明 表示された秒数の経過後、アクティブスーパーバイザエンジンと冗長スーパーバイザエンジン間でファイルの同期化が開始されます。[dec] は、秒数です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_IMGSYNCFINISH: Active supervisor has [chars] the NMP image

説明 アクティブスーパーバイザエンジンが NMP イメージをコピーまたは同期化しました。[chars] は、*copied* (コピー) または *synchronized* (同期化) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_IMGSYNCSTART: Standby supervisor is [chars] the NMP image

説明 冗長スーパーバイザエンジンが NMP イメージをコピーまたは同期化しています。[chars] は、*copying* (コピー) または *synchronizing* (同期化) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_MODNONSBY: Module [dec] is present but not in standby mode

説明 このメッセージは、Supervisor Engine III モジュールを使用している場合に、アクティブな Supervisor Engine III モジュール上でのみ表示されます。冗長スーパーバイザエンジンが搭載されたシステムで、起動時にどちらかの Supervisor Engine III モジュールに問題が発生し、ROM ベース モニタ (ROMMON) に送信されたことを示しています。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 冗長スーパーバイザエンジンのコンソールから、冗長スーパーバイザエンジンを手動で起動してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_MODSBY: Module [dec] is in standby mode

説明 モジュールがスタンバイモードです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_NOINTERNALVLANAAVAILABLE: No Internal Vlan Available

説明 OSM または FlexWAN モジュールに必要な内部 VLAN を使用できないため、モジュールのインターフェイスがアップになりません。デフォルトでは、VLAN 番号 1025 がアップになり、OSM および FlexWAN のインターフェイスとサブインターフェイスに割り当てられます。VLAN 1025 がユーザトラフィック用に割り当てられていると、内部 VLAN の割り当てに失敗します。

推奨処置 ユーザトラフィックに拡張 VLAN を使用する必要がある場合には、VLAN 4094 から開始し、1 つずつ下位の番号を使用してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_NONHASWOVER: Supervisor becoming active (non-HA switchover)

説明 システムでハイ アベイラビリティを使用しないスイッチオーバーが実行され、スーパーバイザエンジンがオンラインになります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_REDMISMATCH: Standby supervisor [dec] redundancy/power mgmt board detection mismatch

説明 冗長スーパーバイザエンジンが、冗長設定またはパワー マネジメント設定です。[dec] は、冗長スーパーバイザエンジンのモジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_SBYHIGHWPWR: Standby drawing more power. System may run over power budget

説明 冗長スーパーバイザエンジンの消費電力がアクティブスーパーバイザエンジンよりも大きいことを示しています。フル構成のシステムでは、電源装置の定格電力以上の電力が消費されることがあります。アクティブスーパーバイザエンジンは通常、冗長スーパーバイザエンジンと同じ電力量を確保します。冗長スーパーバイザエンジンの消費電力がアクティブスーパーバイザエンジンより大きい場合、電力要件が使用可能な定格電力を超えることがあります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-5-SUP_SBYLOWWPWR: Standby drawing less power. Potential power budget violation at switchover

説明 冗長スーパーバイザエンジンの消費電力がアクティブスーパーバイザエンジンよりも少ないことを示しています。フル構成のシステムでアクティブスーパーバイザエンジンから冗長スーパーバイザエンジンへのスイッチオーバーが実行されると、電力要件が電源装置の定格電力を超えることがあります。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SYS_HITRFC: [dec] traffic load exceeded threshold on switching bus

説明 スイッチングバスのトラフィック負荷が、ユーザが定義したレベルを超えました。[dec] は、スイッチングバスで検出された負荷レベルです。

推奨処置 必要に応じて、スイッチングバス上のトラフィック負荷を軽減してください。

エラー メッセージ SYS-5-SYS_HITRFC3: [dec] traffic load exceeded threshold on switching bus [chars]

説明 1つのスイッチングバスのトラフィック負荷が、ユーザが定義したレベルを超えました。[dec] はスイッチングバス上の負荷レベル、[chars] はオーバーロードしたスイッチングバスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SYSINFOLOG_DNLD: TFTP session in progress, Task [chars], pid [dec] is downloading

説明 システムリソースが、システム情報ロギングプロセス以外のプロセスによって使用されています。システム情報ロギングは継続的なプロセスなので、このインターバル中はコピーを実行せず、次のインターバルでコピーを再開します。[chars] および [dec] は、リソースを使用しているプロセス名およびプロセスIDです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SYSINFOLOG_DONE: Successfully copied the system information the file [chars] on the server

説明 システム情報がファイルに正常にコピーされました。[chars] は、ファイル名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SYSINFOLOG_NOFILE: No destination file is set

説明 システム情報ロギングがイネーブルに設定されていますが、ロギングの出力先となる宛先ファイルが指定されていません。

推奨処置 システム情報ロギングをイネーブルにする前に、宛先ファイル名を設定する必要があります。

エラー メッセージ SYS-5-SYS_INSUFFPWR: Insufficient power available for current configuration

説明 シャーシに搭載されている電源装置では、シャーシの現在のモジュール構成をサポートできません。

推奨処置 一部のモジュールを取り外すか、より定格電力の大きい電源装置にアップグレードしてください。

エラー メッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: Coil Mdtif Packet CRC Error - Port #[dec]

説明 ポートASICのエラーを示しています。最初の [dec] はモジュール番号、2番めの [dec] はASICポート番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: Coil Mdtif CPU Interface State Machine Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: Coil Pinnacle Header Checksum Error - Port #[dec]

説明 ポート ASIC のエラーを示しています。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] は ASIC ポート番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: QChip Bic Length Mismatch Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: QChip Packet Filter Payload Crc Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_LCPERR5:Module [dec]: QChip Port#[dec] Noc Header Crc Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが QChip ASIC にヘッダー CRC エラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番めの [dec] はフロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-5-SYS_RESET: System reset from [chars]

説明 システムが特定のセッションによってリセットされました。[chars] はコンソールセッションからリセットされた場合にはコンソール番号、Telnet セッションまたは SNMP からリセットされた場合には IP アドレスです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-5-SYS_TIMECHNG: System time has changed to due to summertime

説明 システムが夏時間に切り替えられました。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

SYS-6

エラー メッセージ SYS-6-AUTOSAVE: [chars]

説明 自動保存タイマーがタイムアウトになり、システムの設定が NVRAM に書き込まれます。このメッセージが表示されるのは、自動保存機能がイネーブルで、設定の内容が NVRAM に書き込まれる場合だけです。[chars] は、次のメッセージです。

Writing to nvram on timer expiry. (タイマーの時間切れにより NVRAM に書き込み中)

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-6-CFG_CHG: [chars]

説明 コンフィギュレーション ブロックが変更されました。ユーザ名が認証されている場合には、コンフィギュレーションを変更したユーザの名前も表示されます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-6-MOD_INVALIDSEQ: Bus asic invalid sequence occurred on module [dec] (asic=[dec], srcidx=0x[hex], seq=[dec])

説明 システムにより、無効のシーケンス番号がロギングされました。トラフィック転送中のモジュールを取り外したり、リセットしたり、またはホットスワップを実行すると、無効のデータシーケンス番号が生成されることがあります。スイッチは、このメッセージを生成し、修正を行います。Module [dec] はモジュール番号、asic [dec] は ASIC 番号、srcidx [dec] は送信元インデックス番号、seq [dec] は無効データシーケンス番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。ただし、このメッセージが、モジュールをリセットしていない状態で生成された場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-MOD_SEQMISMATCH: Bus asic sequence mismatch occurred on module [dec] (asic=[dec], srcidx=0x[hex], seq=[dec])

説明 受信したシーケンス番号が、予期したシーケンス番号と一致していません。トラフィック転送中のモジュールを取り外したり、リセットしたり、またはホットスワップを実行すると、シーケンス番号の不一致が発生することがあります。スイッチは、このメッセージを生成し、修正を行います。Module [dec] はモジュール番号、asic [dec] は ASIC 番号、srcidx [dec] は送信元インデックス番号、seq [dec] は不一致のデータシーケンス番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。ただし、このメッセージが、モジュールをリセットしていない状態で生成された場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-PORT_ERR: Port [chars] [chars] [hex]

説明 ポート上でエラーが検出されました。最初の [chars] はモジュール番号 / ポート番号、2 番目の [chars] はカウンタ名、[hex] はカウンタ値です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-PORT_INLINEPWRFLTY: Port [dec]/[dec] reporting inline power as faulty

説明 IP Phone が、ポート上で受信しているインライン パワーの異常を通知しています。[dec]/[dec] は、IP Phone が接続されているモジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 必要に応じて、音声モジュール上のインライン パワー ドータカードを交換してください。

エラー メッセージ SYS-6-SUP_OSBOOTSTATUS: [chars]

説明 コマンドを完全に実行できません。[chars] は、コマンドの説明です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Coil Tx got stuck and restart at Port [dec]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロント パネルのポート番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Pentamak Ddr Sync Error

説明 モジュールのポートが、Double Data Rate (DDR) チェッカーのエラーを受信しました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: QChip Cpu State Machine Error, Info=[hex]

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はステート マシン情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: QChip Packet Filter Do Not Forward Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグ メッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: QChip Packet Filter Header Crc Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: QChip Port#[dec] Noc Payload Crc Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが QChip ASIC にペイロード CRC エラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Cpu State Machine Error, Info=[hex]

説明 モジュールが、RChip ASIC 関連のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] はモジュール番号、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Ddr Sync Error

説明 モジュールが、RChip ASIC 関連のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Port#[dec] Boc Payload Crc Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Port#[dec] Nic Header Crc Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Port#[dec] Nic Length Error

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポートです。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Port#[dec] Nic Sequence Error, Info=[hex]

説明 特定ポートのエラーを示しています。モジュールが、RChip ASIC のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。最初の [dec] はモジュール番号、2 番目の [dec] はフロントパネルのポート、[hex] はデバッグ情報です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: RChip Rxmm Over Read Error

説明 モジュールが、RChip ASIC 関連のエラーを検出しました。これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cbic Int State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cbic State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cbif CycStl State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cboc Header CRC Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cboc State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Cboc Packet Length Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor CpGen State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Pll Tune State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Rwen Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Rxpr State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Rxwr State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Tbwr Sequence Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Tbwr State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Txif Dbus Header CRC Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Txif Packet Length Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Txif Sequence Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ SYS-6-SYS_LCPERR6:Module [dec]: Sculptor Txif State Machine Error

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 単一モジュールのエラーであれば、そのモジュールを交換してください。エラーが繰り返し発生する場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

SYS-7

エラーメッセージ SYS-7-FAB_DISABLECHANNEL: Disabling fabric channels for module [dec] during switchover

説明 スイッチオーバー実行中にモジュールのファブリック チャンネルがディセーブルになりました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ SYS-7-LLC_TUNNEL: Tunnel-[chars]([dec]) ([chars], vlan [dec],proto [hex])

説明 これは、シスコの開発用デバッグメッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

TAC メッセージ

ここでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチの TACACS+ メッセージについて説明します。

TAC-2

エラー メッセージ TAC-2-DROPPKT: Accounting queue is full. Some accounting events may not be logged

説明 送信待ちのアカウントリング パケットが多すぎます。キューに保管できるアカウントリング パケット数の制限値は、1000 です。この制限値に達すると、以降のアカウントリング パケットはキューに保管されません。このメッセージは、500 のアカウントリング パケットが廃棄されるごとに 1 回だけ表示されます。

推奨処置 アカウントリング サーバの接続を確認し、アカウントリング動作の速度を遅くしてください。

エラー メッセージ TAC-2-NOADDR: No TACACS server defined

説明 TACACS+ サーバが定義されていないために、スイッチが TACACS+ サーバにアクセスできません。

推奨処置 スイッチからアクセスする TACACS+ サーバのアドレスを設定してください。

エラー メッセージ TAC-2-SRVRNORESP: Unable to contact TACACS server

説明 スイッチが、TACACS+ サーバから応答を受信しませんでした。

推奨処置 TACACS+ サーバのアドレスが正しく設定され、サーバが正常に稼働していることを確認してください。

TAC-7

エラー メッセージ TAC-7-BADADDR: Address not configured as a Server

説明 TACACS+ アドレスがサーバとして設定されていません。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 TACACS+ アドレスを TACACS+ サーバとして設定してください。

エラー メッセージ TAC-7-BADDATA: Received unsane data from server

説明 サーバから受信したデータを認識できません。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 もう一度、接続を試みてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ TAC-7-BADLEN1: Received bad packet: length = [dec]

説明 不正パケットを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。length = [dec] は、不正パケットの長さです。

推奨処置 もう一度、試行してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ TAC-7-BADLEN2: Received bad packet: length = [dec], expected [dec]

説明 不正パケットを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。length = [dec] は不正パケットの長さ、2 番めの [dec] は適正な長さです。

推奨処置 もう一度、試行してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ TAC-7-BADSESS: Received packet with bad session id

説明 セッション ID が不正なパケットを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 もう一度、試行してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ TAC-7-BADVER: Received packet with bad version

説明 バージョンが不正なパケットを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 サーバのソフトウェア バージョンを確認し、必要に応じてアップグレードしてください。

エラー メッセージ TAC-7-CONNERR: Socket connection error to [integer]

説明 サーバにネットワーク接続不良のエラーが発生しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。[integer] は、サーバのアドレスです。

推奨処置 もう一度、接続を試みてください。このメッセージが再表示される場合には、次の作業を行い、各作業の終了後に接続を試みてください。

-
- ステップ 1** インターフェイスの設定を確認します。インターフェイスが不正な場合には、インターフェイスを再設定して接続を試みます。インターフェイスが正しく設定されている場合は、次のステップに進みます。
- ステップ 2** ネットワーク接続を確認します。接続に問題がある場合には、回復してください。接続が正常な場合は、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。
- ステップ 3** サーバの動作を確認します。サーバに問題がある場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。サーバが正常な場合も、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。
-

エラー メッセージ TAC-7-DECRYPTERR1: Decrypt: no key for encrypted packet

説明 パケットが暗号化されているが、使用できるキーが存在しません。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 正しいキーを設定してください。

エラー メッセージ TAC-7-DECRYPTERR2: Decrypt: packet is unencrypted but we have a key

説明 暗号化されていないパケットにキーが存在しています。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 キーを削除してください。

エラー メッセージ TAC-7-PAKSENDERR: Error sending continue packet

説明 システムからサーバに TACACS+ パケットを送信できません。

推奨処置 TACACS+ サーバがオンラインになっていることを確認してください。オンラインでない場合には、TACACS+ サーバをオンラインにしてください。TACACS+ サーバがオンラインの場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ TAC-7-SOCKERR: Socket creation error

説明 ネットワーク接続不良のエラーが発生しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。

推奨処置 もう一度、接続を試みてください。このメッセージが再表示される場合には、次の作業を行い、各作業の終了後に接続を試みてください。

-
- ステップ 1** インターフェイスの設定を確認します。インターフェイスが不正な場合には、インターフェイスを再設定して接続を試みます。インターフェイスが正しく設定されている場合は、次のステップに進みます。
- ステップ 2** ネットワーク接続を確認します。接続に問題がある場合には、回復してください。接続が正常な場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。
- ステップ 3** サーバの動作を確認します。サーバに問題がある場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。サーバが正常な場合も、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。
-

TCP メッセージ

ここでは、TCP メッセージについて説明します。

TCP-2

エラー メッセージ TCP-2-TCP_MAXESTABLISHED: Possible TCP ACK attack. Maximum established

説明 システムは、SYN ステートまたは EST ステートの、同時に開いている接続の数をカウントします。カウントがスレッシュホールドを超過すると、システムはそれを DoS 攻撃であると認識し、この Syslog メッセージが表示されます。

推奨処置 管理ポートのトラフィックを閉じ、DoS 攻撃の送信元を確認します。

TCP-4

エラー メッセージ TCP-4-MAXCONNRATE: Possible TCP attack - [dec] TCP connections per minute exceeded. Last connection from [chars]

説明 スイッチ上で TCP/IP への攻撃 (DoS) があった場合、このメッセージが表示されます。1 分あたりに確立できる接続数にはレート制限があります。いったんそのレート制限を超えると、このメッセージが表示されます。

推奨処置 管理ポートのトラフィックを閉じ、DoS 攻撃の送信元を確認します。

UDLD プロトコル メッセージ

ここでは、UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方向リンク検出) プロトコルのメッセージについて説明します。

UDLD-3

エラー メッセージ UDLD-3-AGGRDISABLE: Neighbor(s) of port [dec]/[dec] disappeared on bidirectional link. Port disabled

説明 イーサネット ポート接続に障害が検出され、他のプロトコルの誤動作を防ぐためにポートがディセーブルになりました。両方向リンク上のハートビート パケットが停止され、スパンニングツリー ループの防止措置としてポートがディセーブルになります。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 すべての光ファイバ ストランド ペアまたは銅線ペアが正しく接続され、Tx と Rx の光ファイバ コネクタが結合されているかどうかを確認します。また、ポートが正常に機能し、ハードウェアのカウンタが適正に動作していることを確認します。明らかな不正接続または誤動作が見つからない場合には、ポートを再びイネーブルにし、アグレッシブ モードをディセーブルにしてください。ポートは、ハブ、メディア コンバータ、または同様のデバイスに接続しないでください。

エラー メッセージ UDLD-3-AGGRDISABLEFAIL:Neighbor(s) of port [dec]/[dec] disappeared on bidirectional link. Failed to disable port

説明 イーサネット ポートの配線に障害が検出されましたが、UDLD でポートをディセーブルにできません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 すべての光ファイバ ストランド ペアまたは銅線ペアが正しく接続され、Tx と Rx の光ファイバ コネクタが結合されているかどうかを確認します。また、ポートが正常に機能し、ハードウェアのカウンタが適正に動作していることを確認します。明らかな不正接続または誤動作が見つからない場合には、アグレッシブ モードをディセーブルにしてください。テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ UDLD-3-DISABLE: Unidirectional link detected on port [dec]/[dec]. Port disabled

説明 イーサネット ポート接続に障害が検出され、他のプロトコルの誤動作を防ぐためにポートがディセーブルになりました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 すべての光ファイバ ストランド ペアまたは銅線ペアが正しく接続され、Tx と Rx の光ファイバ コネクタが結合されているかどうかを確認します。また、ポートが正しく機能しているかどうかを確認します。明らかな不正接続または誤動作が見つからない場合には、ポートを再びイネーブルにしてください。

エラー メッセージ UDLD-3-DISABLEFAIL: Unidirectional link detected on port [dec]/[dec], failed to disable port

説明 イーサネット ポートの配線に障害が検出されましたが、UDLD でポートをディセーブルにできません。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 すべての光ファイバストランドペアまたは銅線ペアが正しく接続され、Tx と Rx の光ファイバコネクタが結合されているかどうかを確認します。また、ポートが正しく機能しているかどうかを確認します。テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ UDLD-3-SENDFAIL: Transmit failure on port [dec]/[dec]

説明 特定のポート上で伝送障害が発生しました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

UDLD-4

エラー メッセージ UDLD-4-MULTINEIGHBORS: Multiple UDLD neighbors on port [dec]/[dec]

説明 2番めのネイバが同じ UDLD ポート上にあります。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 リンクがポイントツーポイント接続になっていることを確認します。

エラー メッセージ UDLD-4-ONEWAYPATH: A unidirectional link from port [dec]/[dec] to port [dec]/[dec] of device [chars] was detected

説明 メディア共有型の環境でイーサネット接続に障害が検出され、この接続により誤動作が発生する可能性があります。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、[chars] はネイバの CDP 名です。名前を検索するには、`show cdp neighbor` コマンドを使用してください。

推奨処置 (ローカル装置と近接装置の両方で) すべての光ファイバストランドペアまたは銅線ペアが正しく接続され、Tx と Rx のコネクタが結合されているかどうかを確認します。また、ポートが正しく機能しているかどうかを確認します。明らかな不正接続または誤動作が見つからない場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

UDLD-7

エラー メッセージ UDLD-7-PKTDROP: Packet dropped as UDLD is disabled on port [dec]/[dec]

説明 特定のポート上で UDLD がディセーブルになっているため、パケットが廃棄されました。[dec]/[dec] は、モジュール番号 / ポート番号です。

推奨処置 UDLD ポートのステータスを確認してください。ポートがディセーブルの場合には、イネーブルにしてください。ポートがイネーブルの場合には、テクニカルサポートの担当者に連絡してください。

VMPS メッセージ

ここでは、VLAN Membership Policy Server (VMPS; VLAN メンバーシップ ポリシー サーバ) のメッセージについて説明します。

VMPS-2

エラー メッセージ VMPS-2-BINDFAIL: Failed to bind socket

説明 システム リソースが不十分です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-DNLDFAIL: Download Failed. VMPS is now inactive

説明 ダウンロードに失敗し、VMPS が非アクティブです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VMPS-2-DOWNLOADFAIL1: Another download in progress, try later

説明 現在、別のダウンロード プロセスが実行されています。

推奨処置 実行中のプロセスが完了したあと、再びダウンロードしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-DOWNLOADFAIL2: Unable to download file [chars]

説明 Trivial File Transfer Protocol (TFTP; 簡易ファイル転送プロトコル) サーバがオンラインになっていないか、またはサーバ上にファイルが存在しません。[chars] は、VMPS ファイル名です。

推奨処置 サーバがオンラインかどうか、ファイル名とパス名が正しく、サーバ上にファイルが存在するかどうかを確認します。何らかの問題があれば、修正してください。すべての条件を満たしている場合は、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-ENABLEFAIL: VMPS Enable Failed

説明 VMPS をイネーブルにできませんでした。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VMPS-2-INVFILE: PARSER: Invalid File Format, syntax error at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、構文 エラーが存在します。[dec] は、行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-NOMEM: Out of memory

説明 VMPS コンフィギュレーション データベースをロードするには、Dynamic RAM (DRAM) 容量が不足しています。

推奨処置 スーパーバイザ エンジンの DRAM の容量を増やしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-NOMGMTDOM: Management Domain not defined in configuration file

説明 コンフィギュレーション ファイルに管理ドメインが定義されていません。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルに管理ドメイン名を設定してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-NORES: Insufficient resources to build database

説明 VMPS コンフィギュレーション データベースをロードするには、DRAM 容量が不足しています。

推奨処置 スーパーバイザ エンジンの DRAM の容量を増やしてください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-PARSEMSG: PARSER: [dec] lines parsed, Errors [dec]

説明 VMPS がコンフィギュレーション ファイルの一定の行数を解析し、多数のエラーを検出しました。[dec] は解析した行数、Errors [dec] は検出されたエラー数です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-PREVCONF: VMPS is using the previous configuration

説明 VMPS が以前の設定を使用しています。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VMPS-2-SOCFAIL: Failed to create socket

説明 システム リソースが不十分です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-2-TASKCREATFAIL: Failed to create task

説明 システムのプロセス数が、最大限度に到達しました。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

VMPS-3

エラー メッセージ VMPS-3-BADKEYWRD: PARSE: Unknown keyword [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、未知のキーワードが存在しています。[chars] はキーワード、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-DUPMAC: PARSE: Duplicate MAC addr [chars] at line [dec]

説明 VMPS パーサが VMPS コンフィギュレーション ファイル内に重複する MAC アドレス エントリを検出した場合に、このメッセージが表示されます。[chars] は重複する MAC アドレス、[dec] はコンフィギュレーション ファイル内での重複する MAC アドレスの行番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。任意で重複する MAC アドレスを削除できます。

エラー メッセージ VMPS-3-INVARGS: PARSE: Invalid no. of args at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの解析エラーを示しています。[dec] は、コンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVIP: PARSE: Invalid IP addr [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、無効な IP アドレスが存在しています。[chars] は IP アドレス、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVMAC: PARSE: Invalid MAC addr [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、無効な MAC (メディア アクセス制御) アドレスが存在しています。[chars] は MAC アドレス、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVPORTGRP: PARSE: Unknown port group [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、未知のポート グループが存在しています。[chars] はポート グループ番号、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVSYNTAX: PARSE: Invalid syntax at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、無効な構文が存在しています。[dec] は、コンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVVLAN: PARSE: Invalid VLAN [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、無効な VLAN (仮想 LAN) が存在しています。[chars] は VLAN 番号、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-3-INVVLANGRP: PARSE: Unknown VLAN group [chars] at line [dec]

説明 コンフィギュレーション ファイルの特定の行番号に、未知の VLAN グループが存在しています。[chars] は VLAN グループ番号、[dec] はコンフィギュレーション ファイルの行番号です。

推奨処置 コンフィギュレーション ファイルのエラーを修正してください。このメッセージが再表示される場合には、テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

VMPS-7

エラー メッセージ VMPS-7-INVLEN: Invalid length [dec] for IP address

説明 サーバがクライアントから無効なリクエストを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。[dec] は、リクエストの無効なデータの長さです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-7-INVOPCODE: Invalid opcode 0x[hex] in packet

説明 サーバがクライアントから無効なリクエストを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。0x[hex] は、無効なリクエスト番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-7-INVTLV: Invalid TLV type 0x[hex]

説明 サーバがクライアントから無効なリクエストを受信しました。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。0x[hex] は、リクエストの無効なデータです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VMPS-7-INVVER: Invalid version 0x[hex] in packet

説明 サーバが旧バージョンの VMPS を実行しています。このメッセージが表示されるのは、デバッグ実行中だけです。0x[hex] は、クライアントが実行しているバージョンです。

推奨処置 サーバを新しいバージョンにアップグレードしてください。

VTP メッセージ

ここでは、VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) のメッセージについて説明します。

VTP-1

エラー メッセージ VTP-1-GVRPDYNVLANCREATE: Can't get out of transparent mode when dynamic vlan creation is enabled

説明 VTP がトランスペアレント モードの場合、イネーブルにできるのはダイナミック VLAN の作成だけです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

VTP-2

エラー メッセージ VTP-2-INBANDINRSPANVLAN: Rspan vlan [dec] assigned to inband port

説明 帯域内ポートに RSPAN VLAN が割り当てられました。[dec] は、RSPAN VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-2-ISL1QMAPMALLOCFAIL: Malloc failed [chars]

説明 メモリの割り当てに失敗しました。[chars] は、動作です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-2-ISL1QMAPSCPSSENDFAIL: Send [chars] via scp failed to module [dec]

説明 Switch Module Configuration Protocol (SCP) メッセージがモジュールに到達しませんでした。[chars] は送信した情報、[dec] はメッセージの宛先モジュール番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-2-ISL1QMAPSCPSTATUSNOTSUPPORTED: Module [dec] does not support vlan mapping - upgrade module software if vlan mapping is required

説明 スイッチが、すべての 1q 対応モジュールにすべての isl-1q VLAN マッピングを送信し、1つのモジュールからスイッチに SCPSTAT_NOTSUPPORTD ステータスが戻されました。[dec] は、モジュール番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-2-LLCRXFAIL: LLC couldn't parse received vtp packet.

説明 LLC の内部エラーを示しています。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-2-RXINVSUMMARY: rx invalid summary from [chars], len=[dec], rev=[dec]

説明 VTP 検証テストにより、長さが無効な受信 VTP メッセージが検出されました。[chars] はメッセージを受信したモジュールまたはポート、最初の [dec] はメッセージの長さ、2 番めの [dec] はコンフィギュレーションのリビジョン番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-2-SOFTBOUNDARY: Failed to create [chars] Vlan ([dec]) in [chars]-Vlan range. Highest-IV=[dec], lowest-UV=[dec]

説明 ユーザ VLAN 範囲に内部 VLAN を作成しようとした、または内部 VLAN 範囲にユーザ VLAN を作成しようとしたために、VLAN (仮想 LAN) の作成に失敗しました。最初の [chars] は内部またはユーザ、Vlan ([dec]) は VLAN 番号、2 番めの [chars] は内部またはユーザ、Highest-IV=[dec] は 1025 ~ Highest-IV までの最上位の内部 VLAN 番号、Lowest-UV=[dec] は拡張範囲の最下位のユーザ VLAN 番号 (Lowest-UV ~ 4094 がユーザ VLAN 範囲) です。

推奨処置 正しい範囲の有効な VLAN 番号を使用してください。

エラー メッセージ VTP-2-TXINVSUMMARY: tx invalid summary to [dec]/[dec], len=[dec]

説明 VTP 検証テストにより、送信する長さが無効な VTP メッセージが検出されました。[dec]/[dec] は宛先モジュール/ポート、3 番めの [dec] はメッセージの長さです。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

VTP-4

エラー メッセージ VTP-4-DBLOCKED: Database for domain [chars] locked, giving up

説明 ドメインのデータベースがロックされています。[chars] は、エントリが許可されないドメイン名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-4-ISL1QMAPSCPSTATUSNOTOK: Send [chars] via scp to Module [dec] result no OK, status = [dec]

説明 SCP 経由でモジュールに送信される情報が正しく送信されませんでした。[chars] は送信メッセージ、Module [dec] はメッセージの宛先モジュール番号、status = [dec] はエラー メッセージです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-4-NODOMAIN: domain [chars] not found

説明 ドメインが見つかりません。[chars] は、ドメイン名です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-4-NOTSERVER: Cannot configure a VLAN in client mode

説明 VTP がクライアント モードのときに、VLAN の作成を試みました。

推奨処置 VLAN を作成するには、VTP をサーバ モードまたはトランスペアレント モードに変更してください。

エラー メッセージ VTP-4-NOVLAN: vlan [dec] not found (mode = [dec])

説明 変更または削除を指定した VLAN が見つかりません。vlan [dec] は VLAN 番号、(mode = [dec]) はモードの値です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-4-PORTSINRSPANVLAN:Port [dec]/[dec] inactive in rspan vlan [dec]

説明 ポートの RSPAN が非アクティブになりました。[dec]/[dec] はモジュール番号 / ポート番号、vlan [dec] は RSPAN VLAN 番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-4-RSPVLAN_NOHWSUPP: Rspan vlan not supported: hardware upgrade required

説明 RSPAN VLAN 機能を使用するには、ハードウェアをアップグレードする必要があります。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラー メッセージ VTP-4-UNSUPPORTEDCFGRCVD: Rcvd VTP advert with unsupported vlan config on trunk [chars] - VTP mode changed to transparent

説明 スイッチが、トランク ポート上の VLAN コンフィギュレーションがサポートされないことを示す VTP アドバタイズを受信しました。スイッチは、VTP をトランスペアレント モードに変更します。[chars] は、トランク ポートです。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

VTP-5

エラー メッセージ VTP-5-DYNCREATEVLAN: Vlan [dec] dynamically created successful

説明 ダイナミック VLAN が作成されました。[dec] は、作成された VLAN の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-5-DYNDELETEVLAN: Vlan [dec] dynamically deleted successful

説明 ダイナミック VLAN が削除されました。[dec] は、削除された VLAN の番号です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-5-PVLANMODECONFLICT: VTP has to be in Transparent mode if Private Vlans are configured

説明 スイッチにプライベート VLAN が設定されているときに、VTP をクライアントモードまたはサーバモードに設定しようとした。プライベート VLAN を設定できるのは、VTP がトランスペアレントモードの場合だけです。

推奨処置 VTP をトランスペアレントモードに設定してください。

エラー メッセージ VTP-5-RSPANVLANCHG: Rspan vlan [dec] [chars]ed

説明 RSPAN VLAN が作成または削除されました。[dec] は RSPAN VLAN 番号、[chars] は created (作成) または deleted (削除) です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

VTP-6

エラー メッセージ VTP-6-DOMAINCHG: Domain [chars] modified

説明 ドメインが変更されました。[chars] は、ドメイン名です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラー メッセージ VTP-6-EXTVLANCHG: Vlan [dec] added in Extended Range does not propogate

説明 拡張範囲 VLAN は VTP によって管理されないため、設定の変更が VTP 管理ドメイン全体に通知されません。このメッセージは、拡張範囲 VLAN の作成時に表示されます。[dec] は、VLAN 番号です。

推奨処置 テクニカル サポートの担当者に連絡してください。

エラーメッセージ VTP-6-INTVLANALLOCPOLICY: Internal vlan allocation policy "set to [chars]scending"

説明 内部 VLAN 割り当てポリシーが ascending (昇順) または descending (降順) に設定されました。VLAN 割り当てポリシーを昇順に設定すると、内部 VLAN に 1006 から順番に上位番号が割り当てられます。内部 VLAN 割り当てポリシーを降順に設定すると、内部 VLAN に 4094 から順番に下位番号が割り当てられます。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ VTP-6-PRIMARYSERVCHG: [chars] is the new Primary server for [chars] feature

説明 VTP ドメインの機能に応じて、プライマリ サーバが変更されました。このメッセージは、最初の [chars] 文字列に示されるスイッチ ID とともにサーバ上にロギングされます。2 番目の [chars] は、VTP ドメインの機能です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。

エラーメッセージ VTP-6-VLANCHG: VLAN [dec] [chars]ed

説明 VLAN が変更、追加、または削除されました。[dec] は VLAN 番号、[chars]ed は実行された処理です。

推奨処置 対処は不要です。これは、単なる通知メッセージです。



略語

表 A-1 では、このマニュアルで使用されている略語を定義しています。

表 A-1 略語の一覧

略語	説明
AAA	Authentication, Authorization, and Accounting; 認証、許可、およびアカウントイング
ACE	Allegro Crypto Engine
ACL	Access Control List; アクセス制御リスト
ACS	Access Control Server; アクセス制御サーバ
ARP	Address Resolution Protocol; アドレス解決プロトコル
ATM	Asynchronous Transfer Mode; 非同期転送モード
ASIC	Application Specific Integrated Circuit; 特定用途向け IC
ASLB	Accelerated Server Load Balancing
AV	Attribute Value; 属性値
BDD	Binary Decision Diagram
BPDU	Bridge Protocol Data Unit; ブリッジプロトコルデータユニット
CAM	Content-Addressable Memory; 連想メモリ
CBAC	Context-Based Access Control; コンテキストベースのアクセス制御
CDP	Cisco Discovery Protocol
CGMP	Cisco Group Management Protocol
CLI	Command-Line Interface; コマンドラインインターフェイス
COPS	Common Open Policy Server
CoS	Class of Service; サービスクラス
CPU	Central Processing Unit; 中央演算処理装置
CRC	Cyclic Redundancy Check; 巡回冗長検査
CRF	Concentrator Relay Function; コンセントレータリレー機能
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DISL	Dynamic Inter-Switch Link
DMP	Data Movement Processor
dot1x	802.1X
DRAM	Dynamic RAM; ダイナミック RAM

表 A-1 略語の一覧 (続き)

略語	説明
DRiP	Dual Ring Protocol
DSCP	Differentiated Services Code Point; DiffServ コード ポイント
DTP	Dynamic Trunking Protocol; ダイナミック トランキング プロトコル
DVLAN	Dynamic VLAN; ダイナミック VLAN
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol; ディスタンス ベクタ マルチキャスト ルーティング プロトコル
EAP	Extensible Authentication Protocol; 拡張認証プロトコル
EARL	Enhanced Address Recognition Logic
EEPROM	Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory; 電氣的消去再書き込み可能 ROM
EOBC	Ethernet Out-of-Band Channel; イーサネット帯域外チャンネル
EPROM	Erasable Programmable Read-Only Memory; 消去再書き込み可能 ROM
ETHC	Ethernet Channel; イーサネット チャンネル
FCS	Frame Check Sequence
FIB	Forwarding Information Base; 転送情報ベース
FIFO	First-in First-Out; 先入れ先出し
FPOE	First Port Of Entry; エントリの最初のポート
FRU	Field-Replaceable Unit
FTP	File Transfer Protocol; ファイル転送プロトコル
GBIC	Gigabit Interface Converter; ギガビット インターフェイス コンバータ
DA	Group Destination Address; グループ宛先アドレス
GMRP	GARP Multicast Registration Protocol
GVRP	GARP VLAN Registration Protocol
HA	High Availability; ハイ アベイラビリティ
FDDI	Fiber Distributed Data Interface
HSRP	Hot Standby Routing Protocol
IGMP	Internet Group Management Protocol
IOS	Internet Operating System (Cisco)
IP	Internet Protocol; インターネット プロトコル
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISL	Inter-Switch Link
L2	Layer 2; レイヤ 2
L2PT	Layer 2 Protocol Tunneling
LACP	Link Aggregation Control Protocol
LAN	Local Area Network; ローカルエリア ネットワーク
LCP	Link Control Protocol; リンク コントロール プロトコル
LD	Local Director
LDA	Local Director Acceleration
LLC	Logical Link Control; 論理リンク制御
LOU	Logical Operation Unit; 論理演算ユニット
LTL	Local Target Logic

表 A-1 略語の一覧 (続き)

略語	説明
MAC	Media Access Control; メディア アクセス制御
MCAST	Multicast; マルチキャスト
MII	Media-Independent Interface; メディア独立型インターフェイス
MLS	Multilayer Switching; マルチレイヤ スイッチング
MMLS	Multicast Multilayer Switching; マルチキャスト マルチレイヤ スイッチング
MSFC	Multilayer Switch Feature Card; マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード
MST	Multiple Spanning Tree (802.1s)
MSTP	Multi-Instance Spanning Tree Protocol
NFFC	NetFlow Feature Card; NetFlow フィーチャ カード
NMP	Network Management Processor; ネットワーク管理プロセッサ
NVRAM	Nonvolatile RAM; 不揮発性 RAM
OAM	Operation, Administration, and Maintenance
OID	Object Identifier; オブジェクト ID
PAACL	Port Access Control List; ポート アクセス制御リスト
PAgP	Port Aggregation Protocol; ポート集約プロトコル
PBF	Policy-Based Forwarding; ポリシーベース転送
PC	Personal Computer; パーソナル コンピュータ (旧 PCMCIA)
PDU	Protocol Data Unit; プロトコル データ ユニット
PFC	Policy Feature Card; ポリシー フィーチャ カード
PIM	Protocol Independent Multicast
Protfilt	Protocol filter; プロトコル フィルタ
PVLAN	Private VLAN; プライベート VLAN
QoS	Quality of Service; サービス品質
RACL	Router Access Control List; ルータ アクセス制御リスト
RADIUS	Remote Access Dial-In User Service
RAM	Random-Access Memory; ランダムアクセス メモリ
rep	remote control protocol; リモート制御プロトコル
RGMP	Router-Ports Group Management Protocol
RPF	Reverse Path Forwarding
RMON	Remote Monitoring
ROM	Read-Only Memory; 読み取り専用メモリ
ROMMON	ROM monitor; ROM モニタ
RSVP	ReSerVation Protocol; リソース予約プロトコル
SBM	Subnet Bandwidth Manager
SCP	Serial Control Protocol
SFP	Small Form-Factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol; シンプル メール転送プロトコル
SNMP	Simple Network Management Protocol; 簡易ネットワーク管理プロトコル
SPROM	Serial Programmable Read-Only Memory; シリアル再書き込み可能 ROM
SSH	Secure Shell Protocol; セキュア シェル プロトコル
SRAM	Static Random Access Memory; スタティック RAM

表 A-1 略語の一覧 (続き)

略語	説明
SRM	Single Router Mode; 単一ルータモード
STP	Spanning Tree Protocol; スパニングツリープロトコル
RSA	RSA 公開鍵暗号アルゴリズム
TAC	Technical Assistance Center
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCAM	Ternary Content Addressable Memory
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TCP	Transmission Control Protocol
TFTP	Trivial File Transfer Protocol; 簡易ファイル転送プロトコル
TLV	Type-Length-Value
TopN	ユーザがレポートを使用してポートトラフィックを分析するためのユーティリティ
TrBRF	Token Ring Bridge Relay Function; トークンリングブリッジリレー機能
TRCP	Token Ring Control Processor
TrCRF	Token Ring Concentrator Relay Function; トークンリングコンセントレータリレー機能
UDLD	UniDirectional Link Detection Protocol; 単一方向リンク検出プロトコル
UDP	User Datagram Protocol; ユーザデータグラムプロトコル
VACL	VLAN Access Control List; VLAN アクセス制御リスト
VLAN	Virtual LAN; 仮想 LAN
VMPS	VLAN Membership Policy Server; VLAN メンバーシップポリシーサーバ
VTP	VLAN Trunking Protocol; VLAN トランキングプロトコル



Numerics

- 10 進数の変数フィールド 1-4
- 16 進整数の変数フィールド 1-4

A

- ACL メッセージ 2-5 2-13

C

- CallHome メッセージ 2-14 2-15
- CDP メッセージ 2-16 2-17
- Cisco Discovery Protocol メッセージ
CDP メッセージを参照
- Cisco Group Management Protocol (CGMP) メッセージ
MCAST メッセージを参照
- Common Open Policy Service Protocol メッセージ
COPS メッセージを参照
- COPS メッセージ 2-18 2-20

D

- DHCP Snooping メッセージ 2-21 2-22
- DRIP メッセージ 2-24 2-26
- DTP メッセージ 2-27 2-29
- Dual Ring Protocol メッセージ
DRIP メッセージを参照
- DVLAN メッセージ 2-30 2-34
- Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング メッセージ
DHCP Snooping メッセージを参照
- Dynamic Trunking Protocol メッセージ
DTP メッセージを参照

E

- EARL メッセージ 2-35 2-39
- Enhanced Address Recognition Logic メッセージ
EARL メッセージを参照
- ETHC メッセージ 2-44 2-46
- Ethernet Channel メッセージ
ETHC メッセージを参照

F

- FILESYS メッセージ 2-47

G

- GARP Multicast Registration Protocol (GMRP) メッセージ
MCAST メッセージを参照
- GARP VLAN Registration Protocol メッセージ
GVRP メッセージを参照
- Generic Layer 2 Protocol Tunneling メッセージ
GL2PT メッセージを参照
- GL2PT メッセージ 2-48 2-50
- GVRP メッセージ 2-50 2-52

I

- Internet Group Management Protocol (IGMP) メッセージ
MCAST メッセージを参照
- IP メッセージ 2-53 2-54

K

- KERNEL メッセージ 2-55 2-56

L

LD メッセージ 2-57
 LocalDirector メッセージ
 LD メッセージを参照

M

MCAST メッセージ 2-58 2-66
 MGMT メッセージ 2-67 2-75
 MLS メッセージ 2-76 2-84

P

PRIVATEVLAN メッセージ 2-86 2-89
 PROTFILT メッセージ 2-90
 PRUNING メッセージ 2-91 2-97
 PVLAN メッセージ
 PRIVATEVLAN メッセージを参照

Q

QoS メッセージ 2-98 2-106

R

RADIUS メッセージ 2-107 2-108
 Remote Authentication Dial-In User Service メッセージ
 RADIUS メッセージを参照
 Resource Reservation Protocol メッセージ
 RSVP メッセージを参照
 RSVP メッセージ 2-109 2-110

S

SECURITY メッセージ 2-111 2-119
 Simple Network Management Protocol RMON メッセージ
 SNMP RMON メッセージを参照
 Simple Network Management Protocol メッセージ
 SNMP メッセージを参照
 SNMP RMON メッセージ 2-127 2-128
 SNMP メッセージ 2-120 2-126
 SPANTREE メッセージ 2-129 2-140
 SYS メッセージ 2-141 2-223

Syslog サーバ
 設定 1-7
 追加 1-7

Syslog サーバ メッセージのファシリティおよび重大度の設定 1-7

Syslog サーバの削除 1-8
 Syslog デーモン 1-7

T

TAC メッセージ 2-224 2-226
 TACACS+ メッセージ
 TAC メッセージを参照
 TCP メッセージ 2-227
 Telnet ログイン セッション
 設定 1-9
 Transmission Control Protocol メッセージ
 TCP メッセージを参照

U

UDLD プロトコルのメッセージ
 UDLD メッセージを参照
 UDLD メッセージ 2-228 2-229
 UNIX サーバ
 Syslog デーモンの設定 1-7
 メッセージの保存 1-5

V

VLAN Membership Policy Server のメッセージ
 VMPS メッセージを参照
 VLAN Trunking Protocol のメッセージ
 VTP メッセージを参照
 VLAN トランキング プロトコルのブルーニング メッセージ
 PRUNING メッセージを参照
 VMPS メッセージ 2-230 2-234
 VTP メッセージ 2-234 2-238

あ

アクセス制御リスト メッセージ
 ACL メッセージを参照

か

確認

- Telnet ログイン セッション 1-12
- システム メッセージ ログの設定 1-11

さ

サービス品質メッセージ

- QoS メッセージを参照

し

システム メッセージ ログिंग

- clear logging server コマンド 1-8

システム メッセージ ログिंगのイネーブル化

- 現在の Telnet ログイン セッション 1-9
- 設定した Syslog サーバ 1-7

システム メッセージ ログिंगのディセーブル化

- 現在の Telnet ログイン セッション 1-9
- コンソールから 1-6

- 設定された Syslog サーバ 1-8

システム メッセージ ログ

- set logging console disable コマンド 1-6
- set logging server コマンド 1-7, 1-8, 1-9
- Syslog サーバの設定 1-7
- UNIX サーバ上での Syslog デーモンの設定 1-7
- コンソールおよび Telnet セッションの設定 1-6
- デフォルト設定 1-5

システム メッセージ ログの手順 1-5

- Syslog サーバの設定 1-7
- Telnet ログイン セッションの設定 1-9
- UNIX Syslog サーバ上での Syslog デーモンの設定 1-7
- コンソールの設定 1-6
- システム メッセージ ログのデフォルト設定 1-5
- システム ログ設定の表示 1-10

システム メッセージ ログのデフォルト設定 1-5

重大度

- 説明 1-3, 2-1
- 表 1-3

す

スパニングツリー プロトコルのメッセージ

- SPANTREE メッセージを参照

せ

設定

- Syslog サーバ 1-7
- Syslog デーモン 1-7
- Telnet セッション 1-9
- システム メッセージ ログिंग 1-6
- 例 1-6 1-12

た

対象読者 ix

ダイナミック VLAN メッセージ

- DVLAN メッセージを参照

タイムスタンプ

- 変更 1-9

に

二ーモニック コード 1-4

は

バッファ サイズ

- 変更 1-8

ひ

日付 / 時刻スタンプの表示 2-1

表示

- 現在のシステム メッセージの設定 1-10
- 最後のシステム メッセージ 1-12
- 最初のシステム メッセージ 1-12

ふ

ファシリティ コード

- 説明 1-2
- 表 1-2 1-3
- 変更 1-6

フラッシュ ファイル システム メッセージ

- FILESYS メッセージを参照

プロトコル フィルタ メッセージ

- PROTFILT メッセージを参照

- へ
- 変数フィールド
- 10 進数 1-4
 - 16 進数 1-4
 - 表 1-4
 - 文字列 1-4
- ま
- マニュアル
- 関連資料 ix
 - 構成 ix
 - 表記法 x
- マルチキャスト メッセージ
- MCAST メッセージを参照
- マルチレイヤ スイッチング メッセージ
- MLS メッセージを参照
- め
- メッセージの構造 1-2
- メッセージの重大度
- 説明 1-3, 2-1
 - 表 1-3
 - 変更 1-6
- も
- 文字列変数フィールド 1-4
- り
- 略語、一覧 A-1
- れ
- 例
- Syslog サーバ ファシリティを local0 に設定 1-8
 - コンソールへのシステム メッセージ ロギングの
ディセーブル化 1-6
 - システム メッセージ 1-1
 - システム メッセージ ロギングのイネーブル化
1-7
 - デフォルト設定の表示 1-6
- ろ
- ログ
- システム メッセージ ログを参照
- バッファのメッセージの表示 1-12
- メッセージ タイムスタンプのイネーブル化または
ディセーブル化 1-9
- ロギング サーバの重大度の設定 1-8
- ログ バッファ サイズの変更 1-8